

1. 市町村が主体となって取り組んでいる事例
 (1)食育推進協議会等の設置状況

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
空知	芦別市 芦別市食育推進会議 平成18年6月19日	・食育推進計画の作成及びその実施を推進すること ・食育の推進に関する重要事項についての審議及び食育の推進に関する施策に実施を推進すること	(1)学識経験者 (2)食育の推進に関係する機関(食育関係団体、医療関係機関、栄養関係団体、教育関係団体) (3)公募に応じた市民	【時期】必要に応じて会長が招集し開催する 【場所】市役所会議室等 【内容】案件に対し審議し食育の実施を推進する。 【構成人数】11人 【任期】2年	市民福祉部健康推進課健康推進係
空知	滝川市 滝川市食育推進市民会議 平成19年5月25日	滝川市における食育推進行動計画を策定し、その食育を推進する。	・農業生産関係、教育関係、食生活改善推進協議会、PTA等 ・公募による市民	・年1回から2回開催 ・第三次食育推進行動計画の進捗状況に関する審議	健康づくり課
空知	南幌町 南幌町食育推進計画策定委員会 平成27年10月8日	南幌町食育推進計画に住民や食育に関する機関・団体の意見反映させた計画を作成し、より充実した食育の推進を図るため。	町・JA・普及センター・農業関係者・保健福祉関係者・教育関係者	○会議1回(令和3年度実績※書面開催) ○委員12名 ○任期3年	産業振興課
石狩	札幌市／ 札幌市食育推進会議／ 平成19年7月1日	食育推進計画を作成し、その実施を推進する。	学識経験者、食育推進関係団体の役員又は職員、その他(小学校校長会、医師会、歯科医師会、調理師団体連合会、私立保育園連盟等)	令和3年度2回開催(書面開催) 第3次札幌市食育推進計画の進捗状況に関する審議及び第4次札幌市食育推進計画の作成について	保健福祉局 保健所 健康企画課
石狩	札幌市／ 各区食育ネットワーク会議	関係団体が連携・協力して、一体的な食育推進運動を展開する。	教育、保健・栄養、農業、消費者、食品産業などの関係団体や、NPO、ボランティア団体など	令和3年度計9回開催(書面開催も含む) ネットワークで連携・協力してレシピ集の作成や情報共有などを行った。	各区 保健福祉部 健康・子ども課
石狩	江別市／ 江別市食育推進協議会 平成17年5月30日	「食」に関する情報を正しく理解し、望ましい食行動を実践する市民を増やすため、地域の特性を生かした食育活動により一層連携して取り組む。	農業生産者、食品事業者、消費者、行政(農業・教育・保険分野)、農業関係団体、ボランティア団体、栄養士会	時期:3月 内容:総会(文書報告) 当年度における協議会主催の活動、構成団体の活動報告、次年度の活動予定の報告、江別市を取り巻く食に関する問題について意見交換し、解決につながる取組等について話し合う。	経済部農業振興課
石狩	千歳市/食育会議の取り組み	乳幼児期における望ましい食習慣の定着及び食を通じた心身の健全育成を実施するため、食に関する知識や意見交換等を実施し、より発展的な食育活動の推進を図るため	市内認定こども園・保育園の保育士及び栄養士	時期:年3回(6月・7月・10月) 場所:千歳市役所会議室 内容:食育活動に関する事項 給食に関する事項 食物アレルギーに関する事項 その他必要な事項	こども政策課
石狩	恵庭市/恵庭市食育推進協議会 平成24年6月1日	恵庭市における食育推進計画の策定および総合的な食育の推進を図る。	保健所、農工商等連携推進ネットワーク、消費者協会、石狩農業改良普及センター、商工会議所、食品関連事業者、大学、幼稚園、教頭会、栄養教諭、恵庭地域福祉事務所、地域FM放送、老人クラブ連合会、市教委、市経済部、市子ども未来部	回数:年2回場所:えにあす概要恵庭市の食育推進計画の策定に関すること。食育の推進と評価に関すること。関係機関・関係団体等との連携に関すること。	保健福祉部保健課
後志	寿都町/寿都町食育推進委員会/ 平成30年5月30日	食育をめぐる現状と課題などを踏まえ、食育の推進を効果的に図るため、2つの基本目標を設定し食育を推進 ①町民の健康づくりにつながる食育の推進 ②未来を担う子どもを育む食育の推進	寿都町役場(町民課、産業振興課、企画課、教育委員会、保育園(管理栄養士含む))	乳幼児期:魚食推進イベント、食育体験、食育指導、栄養指導・相談、普及啓発 学校教育期:魚食推進イベント、農林漁業体験、食育授業、子ども教室、普及啓発 青年期:魚食推進イベント、料理教室、栄養講話、栄養指導・相談、普及啓発 高齢期:魚食推進イベント、料理教室、栄養講話、栄養指導・相談、普及啓発	寿都町役場町民課
後志	喜茂別町 喜茂別町食育推進委員会 平成27年2月5日	食育推進計画の作成及びその実施を推進すること	喜茂別町・農業関係団体・商工会・教育関係機関・福祉関係機関	令和3年度開催無し	農林課
後志	共和町/共和町食育推進委員会/ 平成22年3月25日	「共和町食育推進計画」を策定し、町民一人ひとりが食に関する正確な知識や的確な判断力を身に付け、健康づくりの重要な役割を担う「食育」をより一層活性化させる。	共和町・きょうわ農業協同組合・共和町観光協会・共和町商工会・町内小中学校・町内幼児センター・食生活改善推進協議会・共和町PTA連合会・共和町女性の会	令和3年度食育推進委員会 開催日:令和4年2月25日(金) 場所:共和町生涯学習センター小ホール 内容 ・令和3年度取組報告について	産業課農業振興係

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
後志	神恵内村	農業体験・料理体験により楽しく食べる事を通じて、食を営む力を育むため	神恵内村	対象:神恵内保育所の所児たち 時期:9月17日 場所:神恵内村内(大きな〜れおこめちゃん農園) 内容:保育所の所児たちを対象に田んぼの稲刈り体験を実施。 (収穫の喜びを感じてもらうことが目的。)	産業建設課
後志	神恵内村	農業体験・料理体験により楽しく食べる事を通じて、食を営む力を育むため	神恵内村	対象:小学生 時期:12月21日 場所:神恵内小学校 内容:神恵内村で収穫した米を給食で提供。 (食への関心を深めてもらうことを目的とする。)	産業建設課
胆振	苫小牧市 苫小牧市食育推進協議会 平成29年1月23日	食育基本法第18条第1項に基づく食育推進計画の策定および総合的かつ効果的な推進にあたり、広く市民及び関係者の意見を反映させるため。	苫小牧市中学校長会、苫小牧市小学校長会、苫小牧商工会議所、(公社)北海道栄養士会苫小牧支部、胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室、苫小牧消費者協会、苫小牧市法人保育園協議会、苫小牧市農業委員会、苫小牧地方食品衛生協会、(一社)苫小牧観光協会、北海道私立幼稚園協会苫小牧・日高支部	開催時期 (1)令和3年9月3日(書面会議) (2)令和3年10月29日 (3)令和3年11月24日 (4)令和4年2月14日(書面開催) 開催場所 苫小牧市役所	健康こども部健康支援課
日高	日高町／日高町食育推進検討会 ／平成29年8月22日	日高町食育推進計画に基づき、食育推進に関わる内部部署での情報交換・共有及び連携して食育推進活動に取り組む	産業課・商工観光課・保育所・教育委員会管理課・教育委員会社会教育課・地域住民課・生涯学習課・子育て健康課	令和3年度 R4.3月<書面開催> 各課部署で行っている食に関する事業の情報共有及び、来年度取組に関する意見の集約	子育て健康課
檜山	江差町/江差町食生活改善推進協議会/1983年	減塩レシピ(えさしレシピ)の作成	江差町食生活改善推進協議会	毎月1回、調理実習、学習会を行いレシピの試作等、行っている。令和3年度は、4.10.11.12.3月(計5回)実施。	健康推進課
檜山	今金町／今金町学校給食食育推進委員会／平成19年7月1日設立	学校給食を通して学校・家庭・地域の連携を深め、地域の良さや農林水産業を理解し、学校給食が『生きた教材』として「食に関する知識と食を選択する力」を身につける事により、子供達の望ましい食習慣の形成や食に関する理解を促進し、今金町の学校給食の更なる食育活動の推進を図る事を目的とする。	学校関係者・今金町PTA役員及び母親代表・生産者団体・団体関係者(農協青年部、商工青年部、農協女性部、商工女性部、農協)	○食育推進委員会(コロナの為書面決議) 第1回目 ・開催日・令和3年6月23日(水) ・概要等・今金食材サプライチームの選任、令和3年度食育推進事業計画等について 第2回目 ・開催日・令和3年10月14日(木) ・概要等・ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日の実施方法等について 第3回目 ・開催日・令和4年2月24日(木) ・概要等・ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日の事業報告等	今金町学校給食センター
檜山	今金町／今金食材サプライチーム／平成21年7月16日設立	現在の地場産物流通ルート維持し、地産地消の推進や地場産物を活用した献立を作成し、児童生徒が地域を学ぶ機会とする。	JA、広域連及びJA各部会で組織し、食育推進委員会内に設置	○今金食材サプライチーム会議 第1回目 ・開催日・令和3年10月14日(木) ・概要等 地場産物流通ルートの維持及び「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」の食材提供等を専門的に協議。(価格、納入方法、規格、支払先、安全性の確保、年間を通じた安定供給(保管の工夫)等)	今金町学校給食センター
上川	下川町 下川町食育推進計画町民委員会 平成24年8月7日	・下川町食育推進計画の策定及び見直しに関する事。 ・下川町食育推進計画に定める施策及び事業等の評価に関する事	小学校養護教諭、栄養教諭、中学校養護教諭、高校養護教諭、下川町民、JA職員	令和3年9月1日書面開催	農林課
上川	鷹栖町(食育推進協議会の設置無し)	鷹栖町産給食の日として、地元の食材を使った給食の提供を行い地産地消を推進するとともに、自分たちの周りでとれる食材を知り、食への知識と関心を深める		実施日及び場所 令和3年8月4日及び10月5日鷹栖町立鷹栖保育園、鷹栖町立北野保育園 令和3年11月19日鷹栖町立鷹栖小学校、鷹栖町立北野小学校、鷹栖町立鷹栖中学校	保育園 健康福祉課子育て支援係 小中学校 教育課総務係
上川	名寄市/名寄市食育推進協議会/ 平成20年9月	名寄市食育推進計画に基づき、市民が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を形成できるように総合的な食育の推進を図るため	市関連部局、市立大学、小学校校長会、高校、消費者協会、食育推進団体、保健推進委員会、食生活改善協議会、栄養士会、農協、グリーンツーリズム推進団体等	・名寄市における食育を推進するための諸活動 ・年に数回会議を開催し、各団体での毎年の活動状況や予定等について報告を行っている。	経済部農務課

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
上川	東川町／東川町学社連携推進協議会体験農園専門部会／平成27年3月4日	給食用として町内の小中学校に食材を提供、農業体験や農業教育及び食育の機会を児童に提供、余剰生産物の販売を通して流通を学ぶ機会の提供及び各事業実施を通して多世代交流を推進する。	農業者、農業協同組合(青年部、女性部)及び本部会の目的に賛同する方々で組織	町から委託されている水田・畑・果樹園の管理・運営について、農育・食育事業の実施等についての協議及び実施	東川町教育委員会生涯学習推進課
上川	士別市／士別市食育推進市民会議／平成22年4月1日設置	食育関連事業の進捗状況確認と食育推進計画の評価、方向性の検討を行うため	一般市民・幼稚園教諭・栄養教諭、教頭会、高等学校校長・教頭、食生活改善協議会、農業者団体・消費者協会、農業改良普及センター、名寄市立大学、名寄保健所	時期:12月3日 場所:士別市保健福祉センター 内容:R3年度食育関連事業実績報告・意見、情報の交換	士別市保健福祉センター食育推進係
上川	旭川市／旭川市食育推進会議／平成18年6月21日	食育基本法第33号第1項の規定により、旭川市食育推進計画の作成及び食育推進に関する基本的事項を調査審議するため、旭川市食育推進会議を置く。	(ア)学識経験者 (イ)教育関係者 (ウ)児童福祉関係者 (エ)消費者団体関係者 (オ)農業関係者 (カ)食品産業関係者 (キ)保健医療衛生関係者 (ク)市民公募 計16名	* 時期:年2回 * 推進計画策定状況:第3次旭川市食育推進計画(平成29～令和4年度) ※計画期間を1年延長した 平成29年3月策定 * 主な審議事項: ・食育に関するアンケート調査について ・食育に関する事業の実施計画及び評価について	保健所保健指導課
上川	東神楽町 東神楽町食育推進会議 平成25年7月31日	食育の現状を認識し、子どもたちに対する食の重要性を踏まえ、町民の健康寿命の延伸に繋がる食育を総合的、具体的に進めることを目的とする。	町内小中学校・幼稚園・保育園、農業委員会、消費者協会、商工会、農業協同組合、旭川大学他	平成25年7月31日第1回会議・講演会 平成25年8月8日事務局会議(計画策定について) 平成25年8月21日～平成26年3月13日ワーキンググループ会議(計画策定について) 平成25年12月4日東神楽町食育推進会議(計画素案について) 平成25年12月30日事務局会議(計画策定について) 平成26年3月25日東神楽町食育推進会議(計画原案の策定)	教育委員会 教育推進課
上川	中川町 中川町食育推進会議 平成18年3月17日	・中川町食育推進計画(第4期)の年度計画の推進、次年度計画案の審議、食育推進活動の報告。	中川町長 小学校校長 中学校校長 PTA会長 中川町商工会会長 農協・農家・町内会連合会代表	時期:2回/年【6月・3月】 場所:中川町役場会議室	住民課幸福推進室
上川	中川町 中川町食育推進連携委員会 平成21年8月	・多くの団体・個人との連携し、具体的に中川町の食育の意識の浸透と推進を図る。 ・食育に関連する具体的な事業の計画・実施。	小学校・中学校・幼児センター 社会福祉協議会・中川町婦人会・老人クラブ連合会・体育協会・商工会・商工会女性部 農協・PTA連合会・町内の各団体(NPO法人など)	時期:3回/年【6月・12月・3月】 場所:中川町役場会議室 内容:	住民課幸福推進室
宗谷	稚内市 地場産提供事業	学校給食を活用した食育の推進	稚内市	給食の材料として地元で生産された食材を学校給食に活用し、地域の食文化・食に関する産業、自然の恵みに対する児童生徒の理解を図り、食への感謝と郷土を愛する心の取り組みを行う 通年	学校給食課
宗谷	稚内市 小中学校食育指導事業	栄養教諭による食育授業	稚内市	生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目標し、児童生徒一人ひとりに望ましい食生活の基礎基本を身に付けさせることを目標とする。 また、楽しい食事や給食活動を通じて豊かな心を育成することを目標とする。 随時	学校給食課
オホーツク	網走市／網走市食育推進会議／平成19年11月13日	食育基本法に規定する市町村食育推進計画を策定し、当市の食育に関する事項を推進する。	市が委嘱する委員20人	2022/2/25 感染症予防のため、書面開催	網走市健康推進課
オホーツク	湧別町 湧別町保健医療福祉協議会 平成26年9月17日	湧別町の保健・医療、地域福祉、高齢者・介護、障がい者、子育て、食育に関する各個別計画の策定や審議を行う。	保健・医療・福祉・介護及び教育関係者、関連機関・団体の代表者、有識者、公募町民	必要に応じて開催する	福祉課 健康こども課

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
オホーツク	滝上町／滝上町食育・地産地消推進会議／令和3年6月1日	食育基本法第33条第1項の規定に基づき設置、食育基本法第18条第1項に規定する滝上町食育・地産地消推進計画を作成し、その実施を推進する。また、食育・地産地消の推進に関して、重要事項を審議し、施策の実施を推進する。	校長会、小学校栄養教諭、PTA連合会、こども園父母の会、JA、畑作振興会、酪農組合、商工会、ボランティア団体、役場(保健師、栄養士ほか)	第2期滝上町食育・地産地消推進計画作成のほか、食育・地産地消に係るアンケート調査、地域畑作製品等消費拡大事業、食育セミナー、食育月間の取組みなどの内容等について協議	農政課
オホーツク	滝上町／滝上町食育推進ネットワーク会議／令和2年5月25日	食育・地産地消推進会議の円滑な運営等を図るため役場組織内に設置	保健福祉課、教育委員会、農政課	第2期滝上町食育・地産地消推進計画作成のほか、食育・地産地消に係るアンケート調査、地域畑作製品等消費拡大事業、食育セミナー、食育月間の取組みなどの内容等について協議(食育・地産地消推進会議の開催にあたり、役場関係課により事前協議)、連絡調整、情報交換	農政課
十勝	更別村／更別村食育推進計画策定委員会／平成22年1月22日(R1.10.28より名称変更)	消費者の食の安全・安心の確保及び健全な食生活を実現する力を育む「食育」の重要性が高まる中、本では、豊富な食資源を活かし様々な食育に係る取組が進められている。今後もこの動きを広め、より効果的なものとしていくため、関係者が一体となった体制の充実を図る目的から設立。	更別村役場内各関係部署(産業課【農業振興係】・教育委員会【社会教育係・学校教育係】・学校給食センター・保健福祉課【保健推進係】・子育て応援課【子育て応援係・母子保健係】)	・更別村食育推進計画(第1次:H22～26及び第2次:H27～31、第3次:R2～6)策定。	更別村産業課農業振興係
十勝	広尾町食育推進委員会 平成26年4月1日	「食」を通じて、町民の生涯にわたる健康で豊かな生活を実現させるために食育推進計画を策定し、広尾町における食育推進事業を全体的に推進する。	農業関係団体、漁業関係団体、商工会、食品衛生協会、ボランティア、行政等	令和3年11月12日 方法:書面会議 内容:広尾町食育推進計画の計画期間延長に関する表決について、食育関連事業の実施状況について	保健福祉課健康管理センター
十勝	市町村名:幕別町 名称:幕別町6次産業化・地産地消推進協議会 設置年月日:平成31年2月4日	幕別町6次産業化・地産地消推進協議会の目的:幕別町内の農林業者と食品産業の事業者、商工業者、金融機関、関係する行政機関等が連携し、町内における6次産業化、農工商連携、地産地消の取組みに関する市町村戦略を策定し、関係機関が連携して戦略に基づき事業等を推進することを目的とする。 ※以下6次産業化等推進戦略抜粋 (4)食農教育・食育活動の推進:地産地消を推進するにあたって重要と考える「食育」を農業と絡めた食農教育として、幼稚園や保育所の幼児から小学校の児童に対する農作業体験等の機会を通じて進めます。また、健康づくり教室等との連携を図り、食に密接に関わる健康とあわせて食育を進めます。さらに、学校給食等への地場産品への取り入れ等を通じて、地元の農畜産物への理解や親しみを感面を創出します。	幕別町農業協同組合営農部長 幕別町農業協同組合施設管理・食品開発課長 札内農業協同組合農産部長 志類農業協同組合営農部長 帯広大正農業協同組合営農振興部長 幕別町商工会事務局 6次産業化などに取り組む実践者又は団体 十勝農業改良普及センター 東部支所支所長 十勝農業改良普及センター 南部支所支所長 北洋銀行幕別支店支店長 幕別町経済部農林課長 幕別町経済部商工観光課長 幕別町志類総合支所経済建設課長 幕別町学校給食センター所長	時期:3/28 場所:幕別町役場3階会議室 内容:幕別町6次産業化・地産地消戦略の点検及び評価について ※毎年3月に点検及び評価について行うこととしている。令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止としていた。	経済部農林課
十勝	帯広市/ 食育推進会議・食育推進部会/ 平成19年度	帯広市食育推進計画や帯広市学校教育指導の重点等に基づき、学校における指導資料や保護者への啓発資料を作成し、児童生徒が健やかに生きるための基礎を培う食育の一層の推進を図ること。	市内小・中学校教諭、養護教諭、教育委員会指導主事及び食育指導専門員にて構成しているもの	①食育推進部会を3回開催した。 ②食育啓発リーフレット及び食育啓発パンフレットを作成し、配付した。 ③「帯広らしい食育プログラム」を活用した食育指導を行った。	学校教育部学校指導室学校教育指導課
十勝	帯広市／帯広市食生活改善推進員協議会／平成7年	食生活改善をすすめるものの相互の連携と理解を深め、その活動の遂行をはかることにより、栄養及び食生活改善の効果をたかめ、市民の健康増進、体力づくりを支援することを目的とする。	食生活改善推進員協議会	・会員による月1回の勉強会(調理実習・施設見学・学習会など) ・「けんこう帯広21推進事業1」への協力 ・各料理教室での調理指導 ・市健診教室での栄養講座 ・幼児親子食育教室の開催 ・高齢者いきいきふれあい館でのランチ提供等	市民福祉部健康保険室健康推進課

振興局名	市町村名/名称/設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
十勝	帯広市/ 帯広市食育推進委員会/ 平成24年6月5日	帯広市食育推進計画に定める施策を総合的に推進し、すべての市民が生涯にわたって「食」に関心をもち、健全な「身体」と豊かな「心」を育み、食の魅力があふれる元気な「地域」を目指すため、帯広市食育推進委員会を設置するもの。	【帯広市】地域福祉課、介護高齢福祉課、こども課、健康推進課、学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、農政課 ※必要に応じて、委員以外の関係者の出席や関係者からの資料の提出を求めることができる。	令和3年度は3回開催 第1回(令和3年7月30日(金)) (1)令和2年度食育推進計画指標数値について (2)次期基本計画策定について (3)食育に関する市民アンケート素案について (4)食育推進計画指標向上に向けた取組について 第2回(令和3年10月22日(金))※書面開催 (1)令和2年度食育推進計画指標数値に係る各課の考察について (2)令和2年度食育事業に係る各課の予算及び取組内容について (3)食育推進サポーターからの食育に関するアンケートに係る意見聴取について (4)食育に関する市民及び小中学生アンケート案について 第3回(令和4年2月24日(木)) (1)令和4年度食育関連事業内容及び予算額について (2)第4次帯広市食育推進計画策定に向けた食育アンケート調査結果について (3)令和3年度アンケート調査実施後現状値の考察について (4)食育推進計画庁内策定委員会について	農政部農政室農政課
釧路	釧路市/釧路市食育推進ネットワーク会議/平成29年7月1日	食育基本法の趣旨に基づき、釧路市における食育を推進するため、食育推進事業に関する検討協議、食育に関する各種団体等の実施状況の掌握及び情報交換、食育推進に必要な事項の検討協議を行う。	釧路市健康福祉部こども健康課・介護高齢課、経済部産業経済課、教育部社会教育課、釧路市学校給食センター、釧路市公民館、釧路市食生活改善協議会、釧路市在宅介護支援ふきのとうの会、特定非営利活動法人ゆめのき、標茶町農業協同組合、昆布森漁業協同組合、社会福祉法人遠矢七五三会、グループホームめぐみ野、グループホームはなしのぶ、釧路市老人クラブ連合会、釧路市女性連絡協議会、釧路市富原小学校、北海道釧路東高等学校、学校法人釧路学園白梅幼稚園、学校法人釧路キリスト教学園釧路めぐみ幼稚園	◎令和3年9月28日/第1回食育推進ネットワーク会議書面開催	健康福祉部こども健康課健康推進係
釧路	弟子屈町/食育推進計画(二次)を健康増進計画「元気でしかが21計画(二次)」/平成27年4月	健康増進計画と一体化し、総合的な健康づくり施策を推進する。	医師、歯科医師、保健所、小中学校長会、学校保健協議会、高校、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、商工会青年部・女性部、農協青年部、健康づくり推進委員	新型コロナウイルスの拡大により書面開催	健康こども課
根室	中標津町地産地消推進協議会設立:2007(平成19)年5月7日	この組織は、地元で生産される新鮮で、安全・安心な農畜産物を利用した学校給食を提供し、将来を担う子ども達の地域農畜産物への理解と地域農業への関心を高めるとともに、地域農畜産物の児童生徒及び家庭、地域に求められている食育の推進、地域農畜産物のPR活動に取り組むことを目的とする。	中標津町農業協同組合計根別農業協同組合根室農業改良普及センター北根室支所根室振興局産業振興部中標津町教育委員会中標津町		農林課農務係

(2)食育の啓発に関わる事例
ア農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
空知	岩見沢市	地元を中心とした旬の野菜などを食材として親子料理教室を開催し、省エネ・節電・食品ロス等(COOLCHOICE)や食育をテーマとした調理の仕方などを学ぶ。	令和4年1月16日(日)岩見沢市生涯学習センターいわなびにて実施。	21	市民環境部環境保全課
空知	赤平市/赤ちゃん教室「ぶくぶく」	離乳食の味や固さの目安や手作りの良さについて理解する。保護者の食生活を見直し、子供の食生活の基本とすることができる。	離乳食づくり体験と試食、保護者の食生活についての講話新型コロナウイルス感染拡大防止のため対象を第1子限定とし、定員(4組)を設定して実施10月13日赤平市ふれあいホール今年度のみ緊急事態宣言等の事業中止で、希望者には訪問で離乳食教室を実施(内訳2組訪問3組)	10	介護健康推進課
空知	三笠市/生活習慣病予防教室調理実習	市民が健康に対する知識を身につけながら、生活習慣の改善に自主的に取り組むことができるよう、食生活改善に着目した調理実習。将来的な医療費の抑制を目的としている。	対象:三笠市民 時期:11月13日 場所:ふれあい健康センター 内容:旭川大学短期大学部名誉教授若杉人美先生を招き、味の深みを探る、おいしく減塩効果についての講習を受けた後、実際に減塩の料理の調理実習を実施	6	保健福祉課
空知	滝川市内全保育所5か所 カミカミ給食	しっかり噛んでよく食べる習慣を身につけることや、噛むことの大切さを知る。	実施日11月8日 内容11月8日のいい歯の日にちなみ、噛み応えのある給食を提供するとともに、リーフレットを配布し、保護者への啓発も併せて行う。 メニューさつまいもごはん、切干大根のペペロンチーノ風、スティック胡瓜、みそ汁、りんご	500	健康づくり課 子育て応援課 学校運営課
空知	滝川市内全保育所5か所 和食の日給食	だしのうま味に慣れ親しみ、和食の食習慣を形成することで、日本食のよさを知る。	実施日11月22日 内容お食の基本である昆布や鰹節の「ダシ」を使用したメニュー及び「ま・ご・わ・や・さ・しい」の食材を取り入れた給食を提供する。 メニューしめじごはん、じゃがいもとひじきの煮物、ほうれん草ごま和え、石狩汁、グレープフルーツ	500	健康づくり課 子育て応援課 学校運営課
空知	深川市 ヘルシーマザーズクラブ	家庭を持ち子育ての時期にある母親が、自分や家族の健康課題を発見し、望ましい生活習慣を身につけることができるよう支援する。	○「子どもと家族の健康」講話・グループワーク 令和3年11月12日健康福祉センター「デ・アイ」母2名子2名 ○「栄養バランスについて」バッククッキングで時短料理」講話・調理実習 令和3年12月21日健康福祉センター「デ・アイ」母3名子3名	10	健康・子ども課
空知	深川市 離乳食教室	離乳期からの食支援を行い、望ましい食習慣を促すことで、乳児の健康の保持増進を図る。	【実施日】4/28・6/25・7/30・9/17・10/29・11/26・12/17 【場所】健康福祉センター「デ・アイ」 【対象者】概ね4〜5か月(1回目)、7〜8か月(2回目)の乳児の保護者、その他希望のあった保護者 【内容】離乳食の調理実習と試食・手作りとおピーフードの比較など	42	健康・子ども課
空知	深川市 ウエストスリムセミナー	特定健診を受診した結果、生活習慣の改善が必要と判断された市民や家族に対し、集団での支援を行うことにより、生活習慣の発症及び重症化を予防する。	○「血圧対策」講話・調理実習 令和3年10月21日健康福祉センター「デ・アイ」11名 ○「生活習慣病対策」講話・調理実習 令和3年11月19日健康福祉センター「デ・アイ」8名 ○「生活習慣病対策」講話・演習 令和4年2月9日健康福祉センター「デ・アイ」6名	15	健康・子ども課
空知	深川市 出前講座	市民等の団体が主催する集客等に職員等が講師として出向き、市政の説明又は職務上習得した専門知識を活かした実習等を行うことで、市民の市政に対する理解を深め、学習機会の充実を図る制度。	○「料理教室(天ぷら盛り合わせ・長いもトッポギ風炒め)」調理実習 令和3年11月25日健康福祉センター「デ・アイ」 JAきたそらら女性部イチャ支支部10名	10	健康・子ども課
空知	深川市 マタニティサロン	妊娠・出産に関する情報交換や妊婦同士の交流を通じ不安や悩みを軽減することで、妊婦の健康の保持増進を図る。	【実施日】4/20・8/19・12/9 【場所】健康福祉センター「デ・アイ」 【対象者】妊婦とその家族 【内容】「マタニティクッキング〜栄養士による食事のお話〜」	3	健康・子ども課
空知	深川市 出張公民館講座「料理教室」	地域での講座開催に対して、助成金を交付し、学習機会を提供することで、地域の社会教育活動を充実させる。	○「地元の食材を利用した料理作り」 サバの椿寿司、じゃがいもドーナツ、玉葱・醤油麺で豚小間肉の炒め 令和4年3月8日(火)多度志コミュニティセンター	10	深川市教育委員会 生涯学習スポーツ課
空知	南幌いちい保育園 収穫体験	町内で生産されている農産物を自らの手で収穫することで、農業への理解を深めるとともに、子どもの食育について関心を高める。	○対象園児(年長、年中) ○場所町内圃場 ○内容8月収穫体験	33	産業振興課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
空知	認定こども園南幌みどり野幼稚園 収穫体験	町内で生産されている農産物を自らの手で収穫することで、農業への理解を深めるとともに、子どもの食育について関心を高める。	○対象園児(年長) ○場所町内園場 ○内容10月収穫体験	47	産業振興課
空知	南幌町 男の料理教室	男性が買い物、料理などの手段的日常生活動作の自立を目指すほか、運動や趣味の発見を図り、介護予防につなげるため	○対象男性 ○内容2回(コロナウイルス拡大防止のため調理を休止。講話のみ2回実施。) ・生活習慣病重症化、介護を要する健康障害の予防を目的とした講話	15	産業振興課
空知	上砂川町/きっずキッズクッキング(園児)	野菜嫌いが多い課題を解決すべく、自分で作った作物を調理し、食べることで食べ物のおいしさを知る機会とする。	対象:園児(5歳児) 時期:令和3年9月17日(金) 場所:認定こども園ふたば保育室 内容:園で収穫した作物を使用した調理体験を食育サポーターの協力を得て、町栄養士と実施。メニューはポテト包み焼きで、芋を洗い、皮をむくなど下処理からゆでた芋をつぶして具材と混ぜ、皮に包むまでの全てを園児が体験した。達成感の得られる内容となった。感染症対策のため、材料を個別に分け、1人分ずつ調理する取り組みとした。	9	福祉課保健予防係
空知	上砂川町/きっずキッズクッキング(小学生)	小中学生の肥満が全国より多い課題対策として、食の知識の習得と食に関する興味を持つため	対象:小学1~6年生 時期:令和3年11月5日(金) 場所:児童館ホール 内容:健康教育(ジュースの糖分クイズ)とゼリーづくりを食育サポーターの協力を得て実施。ジュースの糖分の多さに驚いている児童が多かった。感染症対策としてゼリーは自分の分を自分で作る取り組みとした。	19	福祉課保健予防係
空知	栗山町 バクモグ相談「野菜収穫体験」	幼児期に親子で自然体験を楽しむことで良い親子関係が築けるとともに、食に対して興味・関心を持ち地産地消を意識してもらう。	■野菜の収穫体験 □時期:令和3年8月27日(金) □場所:子育て支援センター「スキップ」 □対象:親子(乳幼児)10組 □概要:栗山町産野菜の紹介・レシピ(栄養ミニ講話)、芋掘り体験、枝豆・ミニトマトの収穫体験	21	住民保健課 福祉課 産業振興課
空知	栗山町 離乳食講座	保護者が乳児にあった離乳食をすすめられるよう支援する。	□時期:5月・7月・9月・11月・1月・3月(1月はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止) □場所:子育て支援センタースキップ □対象:離乳食初期(5~7ヶ月頃)の乳児と保護者 □参加人数:10組 □内容:講義・調理実習(すりつぶし)・試食	22	住民保健課
空知	栗山町 乳幼児栄養相談バクモグ相談	保護者が乳幼児にあった食生活を考えることができるように支援する。	□時期:偶数月第3金曜日(6月はコロナウイルス感染症拡大のため中止) □場所:子育て支援センタースキップ □対象:乳幼児の保護者 □参加人数:組 □内容:食育事業・レシピ紹介豆知識・保健師・保育士講話・料理教室・個別相談	50	住民保健課 福祉課 産業振興課
空知	栗山町 栗山キッズクラブ「ピザ作り」	ミニトマトなどを収穫し、収穫した野菜をトッピングしたピザ作りを行い、調理の楽しさを体感する。	□時期:令和3年8月21日(土) □場所:ハサンベツ里山 □対象:キッズクラブ会員(小学4~中学生) □概要:ピザ作り	18	教育委員会
空知	栗山町 栗山キッズクラブ「農園収穫祭」	収穫体験することで作物の大切さを学ぶ。	□時期:令和3年10月3日(日) □場所:ハサンベツ里山 □対象:キッズクラブ会員(小学4~中学生) □概要:稲刈り、はさがけ、イモ掘り	21	教育委員会
空知	栗山町 栗山キッズクラブ「脱穀作業」	手作業での脱穀を体験することで作物の大切さを学ぶ。	□時期:令和3年11月7日(日) □場所:ハサンベツ里山 □対象:キッズクラブ会員(小学4年生~中学生) □概要:餅米の脱穀、	20	教育委員会
空知	雨竜町取り組みの名称ヘルスアップ教室栄養管理編	ヘルスアップ教室全7回開催の中で、栄養管理編として実施。運動することも、バランスよく食べることも、どちらも大事にすることが健康づくりにつながることを知り、実践できることを目的としている。	○対象者町内在住の成人男女 ○日時令和3年12月10日 ○場所雨竜町公民館調理室 ○内容栄養管理士指導のもと、カルシウムとたんぱく質を豊富に摂取できる献立を参加者で調理した。例年は試食を行っているが、感染症対策のため持ち帰りとした。	10	教育委員会 住民課
石狩	札幌市/ 札幌市農業体験交流施設(サッポロさとらんど)での各種体験メニューの提供	農業に関する体験実習の実施、情報の提供を通じて農業や食の大切さについての理解関心を深める。	市民農園、収穫体験等、子ども学習農園等、バターなどの手作り体験、農畜産物加工講座	59,789	経済観光局 農政部 農政課
石狩	札幌市/体験型食育事業	園庭やプランターでの野菜栽培、収穫の喜びなどを体験し、調理や食事の楽しさを共感できる体験型食育の充実を図る。	公立保育所等において園児に対して実施 ・野菜栽培を活用した食育の実践 ・給食及び給食食材を活用した食育の取組	1,975	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
石狩	江別市／ えべつの逸品！お弁当&レシピコンテスト	食に対する意識が薄くなっている中学生に、地産地消の観点や食を選ぶ力、調理技術を養ってもらう。	対象：市内中学校(1、2年生) ・事前学習(6～7月) 家庭科の授業を使い、江別の農畜産物や地産地消の利点についての学習 講師：野菜ソムリエ、生産者、市内食品加工業者 ・課題(夏休み) 江別産食材を使ったレシピの作成 ・審査等(9～10月) 優秀な作品について審査・表彰 協賛：市内生産者、直売所、食品事業者	739	経済部農業振興課
石狩	江別市／ 小学生向け農業体験及び調理体験	次代を担う小学生が、食の大切さを感じ、地域農業に対する理解を深めてもらう。	対象：市内小学校 ①稲刈り体験学習(11月) お米を作る大変さや生産者の思いに直に触れてもらう。 ※新型コロナウイルス感染症の影響で学校での生産者との交流のみ実施 協力：生産者 ②小麦追跡学習(7・10月) 7月に圃場見学及び講師の出前授業、10月に調理体験を行い、小麦の「生産、加工、消費」の一連の流れを学ぶ。 協力：生産者、食品事業者、江北まちづくり会 ③酪農体験学習(7・10月) 酪農家の仕事を体験し、酪農の仕事に対する思いや牛のからだについて学ぶ。 協力：生産者 ④野菜の学習(7・8月) 野菜の収穫体験を通して、野菜の栽培や流通について学ぶ。 協力：生産者 ⑤野菜づくり体験(5～10月) 学校内菜園で土づくりから野菜の栽培、収穫を行い、野菜づくりの一年を学ぶ。 ⑥色々野菜の観察(5～10月) 学校内菜園で野菜の栽培、収穫を行い、植物の叩き絵等の体験を通して、食への興味関心を育む。	720	経済部農業振興課
石狩	江別市／ 食生活改善推進員再講習	食生活改善推進員の健康維持と、活動のスキルアップを図る	食生活改善推進員を対象に、食からの健康に関する講話と、調理実習を実施 時期：11月、12月、2月	56	健康福祉部健康推進室保健センター
石狩	千歳市／ 健康づくり教室 「健康的な食事の秘訣～基礎編～」	参加者が高血圧や肥満をはじめとする生活習慣病の予防のために、野菜摂取の効果と食生活の具体的な方法を理解し、家庭での実践に取り組む機会とする。	【実施日時】令和3年7月28日(水)10時30分～12時30分 【実施場所】千歳市総合福祉センター307号室 【実施内容】 1.管理栄養士講話「わたしたちの元気を支える野菜の力を知ろう」 2.ヘルシーメニューの試食 【試食メニュー】 香り混ぜご飯、オクラの肉巻き、スパニッシュオムレツ、ほうれん草のくるみみえ ※料理の調理については、食生活改善推進員に協力依頼 【参加者の感想・意見】 ・緑黄色野菜とその他の野菜をより摂取しようと思いが持てた ・野菜摂取の大切さがわかり、保存方法などためになった	8	保健福祉部健康づくり課
石狩	千歳市／ 健康づくり教室 「健康的な食事の秘訣～応用編～」	参加者が高血圧による身体への影響と、高血圧予防のための具体的な食生活の方法を理解し、家庭での実践に取り組む機会とする。	【実施日時】令和3年12月1日(水)10時00分～12時30分 【実施場所】千歳市総合福祉センター307・309号室 【実施内容】 1.管理栄養士講話「知って守ろう！あなたの血管～いろいろな減塩方法を知ろう～」 2.減塩メニューの調理実習 【実習メニュー】 雑穀ご飯、牛肉と焼きネギのたろみ煮、白菜のコールスロー風、根菜ときのこの具だくさん味噌汁 ※料理補助については、食生活改善推進員に協力依頼 【参加者の感想・意見】 ・だしを使うことでうまみアップし、塩分控えて参考になりました ・想像以上に塩を使わない調理だったが、素材そのものの味をまず感じる事ができた ・すぐにマネできそうで嬉しい、違う調理メニューもあり嬉しい	5	保健福祉部健康づくり課
石狩	千歳市／ ちとせっこ子育て塾 げんきこ子育て塾 「離乳食講座」	地域子育て支援センターで、子育てを楽しむために提供しているプログラムのひとつとして実施	管理栄養士による離乳食に関する講座及び離乳食の形状の確認、作り方の紹介 【日時・場所】 ①5月31日Zoom子育て支援センター(ちとせっこセンター)11人(13組) ②11月26日子育て支援センター(ちとせっこセンター)40人(20組) ③10月15日北新子育て支援センター(げんきこセンター)8人(4組) ④令和4年3月14日北新子育て支援センター(げんきこセンター)15人(7組) 【内容】 ①5/31緊急事態宣言を受けてZoomで開催。事前に資料を送り当日の参考とする。Zoom終了後に質問をメールで受け付けし回答していった。 ・5～8か月児向けの離乳食に関する講座(形状の確認あり) ・9か月児～1歳頃向けの内容の講座 ・前半と後半で月齢を分けた内容で講座を実施。(両講座受講可) 【形状の確認】 メニュー～10倍粥、人参ペースト、鶏ささみのすり潰し(11/26は実際に一人ひとり手にとって確認する) ②、③、④11/26各支援センターでの開催。内容は上記と同じ。	74	子ども福祉部子育て総合支援センター
石狩	千歳市／ 児童館連携型地域子育て支援センター事業 「離乳食講座」	地域子育て支援センターで、子育てを楽しむために提供しているプログラムのひとつとして実施	管理栄養士による離乳食に関する講座及び離乳食の試食、作り方の紹介 【日時・場所】 7月16日(金)あんじゅ子育て支援センター(あんじゅ児童館) 【内容】・【試食メニュー】上記と同じ	9	子ども福祉部子育て総合支援センター児童支援係

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
石狩	恵庭市/ えにわ大好き!食の体験ランド	当該事業は平成21年度から22年度まで石狩管内社会教育共同事業として実施され、平成23年度以降については当市主催事業として実施。第3次恵庭市食育推進計画(領域:食とおして地域をつくる)の対象事業としても位置付けられ、食育に関する理解の促進や地産地消の推進を図る。	時期:R3.10.23 場所:オンライン(Zoom)開催 共催:北海道文教大学、ルーキーズカンパニー 内容:食育体験学習 (1)農畜産物の紹介 メイン野菜(ブロッコリー)収穫の様子や生産者の声などを動画で配信。 (2)お野菜クイズ! メイン野菜(ブロッコリー)について、北海道文教大学学生より参加者へクイズを出題。 (3)調理の体験♪ メイン野菜(ブロッコリー)とサブ野菜を使用し、調理実習。 (4)お家で挑戦! ハロウィンカボチャランタン作成の手順について、動画で配信。	12	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	恵庭市/ 日曜趣味講座	平日の講座に参加できない人へ参加の機会を作り、「そば打ち」をテーマに、気軽に受講していただく。	時期:R3.10.17 場所:島松公民館 内容:そば打ち基礎講座	7	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	恵庭市/ 親子ふれあい教室	子どもたちに創作や遊びの技術を学ばせるとともに、作業を通じて親子が触れ合う機会を創出する。	時期:R3.4.17 場所:島松公民館 内容:親子でクッキング 時期:R3.12.11 場所:島松公民館 内容:クリスマスケーキづくり	36	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	恵庭市/ 市民講座料理(パン・菓子)	市民に、基礎的な知識・技能とともに、学びの喜びや仲間づくり等の人間性を身に付ける機会として実施する。	※18講座を開設し、料理関係は1講座。 時期:R3.4~R4.3 場所:島松公民館 内容:パン・お菓子づくり	10	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	北広島市/ 令和3年度食農教室事業「地産地消・みんなのおいしいきたひろレシピ」	市内の農産物を学校給食メニューと絡めて紹介。その農産物を使ったレシピを掲載して調理してもらうことで地域農業への理解や食べることの喜びを知ってもらう。	【発行時期】8月(レタス):小学校、10月(ダイコン):小・中学校、12月(ジャガイモ):中学校 ・学校給食との連動 取り上げる農産物を使ったメニューが学校給食に提供されるタイミングで配布(小学生:2,791人、中学生1,539人)×各2回 【内容】 ・季節の農産物の紹介 ・季節の農産物のレシピ ・防災食育センターニュース 建設中の防災食育センターの情報	8,660	農政課 学校給食センター
石狩	当別町/ ばくばく教室(離乳食教室)	食習慣の基礎となる離乳期に適切な食事についての知識と実践方法を普及することで健やかな成長を支援するとともに育児に関する総合的な支援を行うため	対象:生後4~1歳までの乳幼児とその保護者 時期:年5回 場所:当別町総合保健福祉センターゆとろ 内容:月齢に応じた離乳食の進め方等についてのミニ講話と離乳食調理体験。希望者には個別相談も対応。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、試食は未実施。	26	福祉部保健福祉課
後志	黒松内町/離乳食教室	■離乳食の必要性や月齢に応じた正しい進め方と理解を求め、食事の大切さを知ってもらうことを目的とする。	□実施期間令和3年4月~令和4年3月(年33回) □場所黒松内町保健福祉センター □対象5か月~18か月児・保護者 □内容月齢別離乳食講話、調理実習、試食、食物アレルギー対応支援	76	保健福祉課
後志	黒松内町/幼児食教室	■離乳完了期から幼児食への移行時期の正しい食習慣の知識普及。 ■子供の食べ物の形態や量を知り、親子で食べ物への関心や食べる意欲を高められるよう支援する。	◆野菜の収穫体験 □実施日10月18日 □場所黒松内町保健福祉センター裏ミニ畑 □対象1歳6か月~就学前児(保育園未入園児)・保護者 □内容さつまいも収穫体験 ◆異文化食体験・親子クッキング □実施日7月16日・10月29日、12月17日、3月11日 □場所黒松内町保健福祉センター□対象1歳6か月~就学前児・保護者□献立(12月)ホトトギスサラダ、ふわふわクリスマスハンバーグ、野菜たっぷりシチュー(3月)くるくるラップサンド、鶏団子入り野菜スープ、パフェ風カラフル寒天 □内容国際交流支援員によるHalloween英語教室、Xmasメニュー試食食べ物と口腔機能発達について、野菜嫌いを好きにするための工夫	70	保健福祉課
後志	黒松内町/プレママ&ニューママ・カフェ	妊婦への栄養の偏りや過剰摂取、妊娠高血圧症候群予防、アルコール等の摂取に関する正しい情報の提供、指導を行う。	□実施期間令和3年4月~令和4年3月(10回) □場所黒松内町保健福祉センター □対象妊産婦 □内容妊産婦・授乳期の栄養について ・妊産婦向けのスイーツの提供(貧血・カルシウム・便秘予防) 授乳期の悩み相談、助産師講話、保健師講話、栄養士講話	57	保健福祉課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
後志	倶知安町 離乳食教室	保護者が乳児の発達に応じた栄養の摂取と正しい食生活習慣を習得させる。	①初期コース(4～5か月対象)×9回 ②中期コース(6～7か月対象)×9回 <内容> ・子育て支援センターの紹介、手遊び、絵本の読み聞かせ ・栄養士の講話 ・調理見学	133	子ども未来課 母子保健係 子育て支援センター 業務係
後志	古平町 プレマ教室(栄養)	妊娠期・授乳期における正しい食生活の確立を図る。※妊娠期・授乳期(母乳栄養)において、出産や産後の回復、胎児の順調な発育、良好な母乳分泌のために正しい食生活や栄養摂取について理解する。	◇日時:令和3年7月1日◇会場:古平町地域福祉センター◇対象者:妊娠16週～35週の安定期にある方◇内容:妊娠期に適切な食品や栄養摂取量などについての講話の他、子育て期に向けた食生活改善、生活リズムの大切さを伝えた。※新型コロナウイルス感染症の感染予防と対象者の減少から年1回のみの改正となった	1	保健福祉課保健医療係
胆振	厚真町 子育て講座「すくすく教室」	幼児期における望ましい食生活についての知識を普及し、生活習慣を見直すきっかけを与える。	時期:①令和3年10月21日②令和3年10月22日③令和3年12月17日 内容:調理実習(①②米粉マフィン③もちりパンキン)、試食、栄養相談 場所:厚真町総合ケアセンターゆくり 対象:子育て支援センター利用希望する親子	9	住民課健康推進グループ
胆振	厚真町 研修農場健康教育	厚真町の傾向を踏まえ、自身の健康を維持するための生活習慣について理解する。	時期:令和4年2月25日 内容:保健師、栄養士講話、運動 場所:厚真町総合ケアセンターゆくり	8	住民課健康推進グループ
胆振	厚真町 栄養教室	自身の健康状態を知り、生活習慣の見直しとセルフコントロールするための正しい知識の普及と意識づけを行う。	時期:令和4年3月18日 内容:保健師、栄養士講話、お弁当の配布 従事者:厚真町食生活改善推進員 場所:総合ケアセンターゆくり 対象:特定保健指導該当者及び国保保健指導事業該当者	8	住民課健康推進グループ
胆振	厚真町 米作り体験	厚真町の特産物である米について、田植えから稲刈りまでを体験することで食べ物の大切さ、興味、関心を持ち、食べることを楽しくという気持ちの芽生えを支援する。	時期、実施内容: ①5月28日田植見学 ②9月21日講話(稲刈りについて) ③9月22日稲刈り ④10月26日脱穀体験 ⑤12月7日糶摺り作業体験 ⑥12月16日精米作業見学、新米試食 場所:厚真町錦町水田(田植見学・稲刈り)、子ども園つみき(脱穀、糶摺り体験、精米見学・新米試食) 対象:子ども園つみき・年長児27名 人数:延べ150人	150	教育委員会 住民課
胆振	白老町 離乳食教室		子どもふれあいセンターで開催される赤ちゃん広場にて、1才未満児を対象とし、8回実施(例年12回)。例年、離乳期の食事について、試食と講話を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、試食は中止し、作り方を実演した。	34	健康福祉課
胆振	白老町 幼児食教室		子ども発達支援センターで開催される「ビュビュ」のおたのしみひろばにて、幼児期の食事について例年、試食と講話を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、試食は中止し、レシピ紹介と講話を行った。1歳から未就学児を対象に、1回実施した。(例年の3回減となる。)	4	子ども発達支援センター(子育て支援課) 健康福祉課
胆振	苫小牧市 アスリートフードマイスター養成支援事業	大会・合宿等の誘致推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	①アスリートフードマイスター紹介 HPにて新たなアスリートフードマイスター1名をご紹介します		産業経済部産業振興室観光振興課
胆振	苫小牧市 児童センターおべんとうタイム	異年齢の子ども達と会食することにより、食事のマナーや食生活の大切さを学ぶ。	市内児童センター7館(住吉・日新・沼ノ端・あさひ・錦岡・大成、北栄)で合計557回実施	9,136	健康子ども部青少年課
胆振	苫小牧市／栄養教室(実施主体:苫小牧市保健センター)	市民の健康寿命の延伸を図るためのポピュレーションアプローチの一環として、栄養教室を実施する。	対象:苫小牧市民 内容:野菜料理のレパートリーを増やすというテーマで、4回1コースのオンライン料理教室を実施。対面の教室も予定していたが、コロナ禍で実施できなかった。	33	健康子ども部健康支援課
胆振	室蘭市／クッキング保育	農業体験・料理体験により楽しく食べる事を通じて、食を営む力を育む。	対象:室蘭市内各保育所3歳児(180人)4歳児(175人)5歳児(204人) 時期:通年実施 内容:保育所の畑で育てた野菜を収穫したり、調理体験をして、楽しく食べる。(カレー・野菜の素揚げ・おにぎり等)手洗いや消毒、個別に容器を用意する等、特に衛生面に注意して活動した。	559	保健福祉部子育て支援課子ども育成係
胆振	室蘭市／親子で食育フェス	体に必要な栄養、食事マナーを親子に伝える。正しい手洗いを身につけ、感染症予防の知識の普及を図る。	対象:市内に居住する小学生とその保護者1名 時期:令和4年1月7日(金) 場所:保健センター 内容:ジュース内の砂糖含量を知る、試飲を行い手作りだし汁の美味しさを知る、正しい箸の持ち方と日本食の食卓配置を知る、HD機器を使用して正しい手洗い方法を知る、脂質の少ないドレッシング作りの5つのゲームを設置し食育事業を実施。 参加者からは楽しかったとの意見が多かった。 次年度は、実施時期を小学生の夏休みに合わせ市民が参加しやすいように改善する。	8	健康推進課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
胆振	室蘭市/ちよこっと食育	乳幼児期から食の大切さを啓発する。	対象者:乳幼児を育てる保護者 時期:令和3年6月29日(火)、令和3年12月7日(火) 場所:子育て世代包括支援センターこころん 内容:「遊び食べ」と「野菜嫌い」をテーマにしてポスターを作成し、10分の短時間講話、個別相談を実施。 講話中、参加者の真剣に講話を聞く姿勢が見られた。	15	健康推進課
日高	平取町 「キッズチャレンジTHEあぐり」 ※JAびらとり青年部と連携した取り組み	児童に昔ながらの農業及び調理、試食までを体験させ、食物が生産され食卓へ上がるまでの過程と、そのために必要となる作業やかかる労力を実感してもらい、普段何気なく行っている「食べる」ことの大切さと、「食べ物」を大事にする心を学ばせる。 また、様々な体験を通して、農の循環を学ぶとともに食育を推進する事を目的とする。	○対象者:町内の小学生 ○内容及び参加者数 ①畑の管理・かかしづくり7月17日(土)<JAびらとり青年部員の畑> 児童7名、保護者2名計9名の参加 ②バターづくり11月20日(土)<平取町中央公民館> 児童11名、保護者6名計17名の参加	26	生涯学習課
日高	新冠町 食育教室	望ましい食習慣の基礎を形成するため	対象:認定こども園に通う3~5歳児(①124人、②107人) 時期:年2回 内容:講話①おいしい野菜を残さず食べよう、②よくかんで食べよう 年齢や子の反応にあわせて実施、講話内容を確認するクイズでは正解できる子が多く見られています。	231	保健福祉課
日高	新冠町 給食訪問	望ましい食習慣の基礎を形成するため	対象:認定こども園に通う0~5歳児(167人) 時期:年4回 内容:食事状況の把握、食べ方指導、保護者向け食育資料の配布等 よくかんで食べること、好き嫌いせず食べること等を声かけて席を回ることで、頑張っている子が多く見られます。	668	保健福祉課
日高	新冠町 おやこの楽しい料理教室	望ましい食習慣や知識を習得することができるようになるため	時期:夏期・冬期 対象:小学校1~6年生(①4人、②4人) 内容:食育講話とミニ調理実習 ①食べものの3つの色のグループ、小麦粉料理の科学、かんたん手打ちうどん ②食べものの3つの色のグループ、かぜに負けない元気な体になろう、家で料理を完成させよう(チーズポテトサラダ、にんじんのミニケーキ) 参加者より、「家庭で子と料理する時間を持たず、教室が良い機会となっている」という声が多くあります。講話では親子で食生活について振り返り、改善策を考えることができていました。	8	保健福祉課
日高	浦河町 「挑戦しよう!おしゃれ弁当」	在宅時間が増える今、家族で楽しめる弁当作りで調理のコツや色使い、センスを学ぶ。	対象:18歳以上の町民 日時:令和3年11月20日 会場:浦河町保健センター 内容:同じお弁当に詰め方のコツを学んで食欲そそるおしゃれなお弁当作りを体験	9	保健福祉課
日高	様似町 離乳食講習会	離乳食を月齢や発達に合った調理法や、適量を確認し、進めることができる。	【実施日】令和3年12月3日【場所】様似町保健福祉センター【対象】4~6カ月の第1子を持つ保護者または第2子以降で希望する保護者【内容】①歯のおはなし②食事のおはなし③アンケート	2	保健福祉課
日高	様似町 男性料理教室	男性高齢者が、健康な生活を維持・管理するために、基本的な調理法や食生活に関する知識を普及し、自立して食事を作る力を身につける。	【実施日】令和3年7月21日、8月18日【場所】様似町保健福祉センター【対象】60歳以上の男性【内容】講話、調理実習(持ち帰り)、アンケート 1回目スナップえんどうと牛肉のすき煮、タコと豆苗の生姜醤油だれ、大根の梅おかかかえ他 2回目簡単フライパンパエリア、レタスと卵の中華風スープ、キャベツとハムのさらだ	6	保健福祉課
渡島	北斗市/ 子どもチャレンジ講座	子どもたちが地域の人達と交流・体験し、健やかな成長をサポートするため	対象:小学生、中学生 時期:年数回 内容:①パンづくり講座小学生38人 ②親子ベコ餅講座小学生14人、保護者13人 ③親子豆腐づくり講座小学生19人、保護者18人 ④ケーキづくり講座小中学生26人 ⑤おうちパンづくり講座小中学生10人	138	社会教育課
渡島	八雲町/ 食育料理教室	和食に親しみ、健康な食生活を送ることができるようになるため	対象:子どもの食生活に関心のある町民 時期:10月21日 内容:調理実習、栄養講話	2	農林課
渡島	八雲町/ あそびの広場「手作りおやつ」	望ましいおやつ(補食)の与え方と内容について学ぶため	対象:入園前の幼児の保護者 時期:9月30日 内容:おやつ作り教室、栄養講話	4	農林課
渡島	八雲町/ 子育てサロンおやつ作り教室	望ましいおやつ(補食)の与え方と内容について学ぶため	対象:子育てサロンに通う母親 時期:12月7日 内容:おやつ作り教室、栄養講話	2	農林課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
渡島	八雲町/放課後子ども対策事業体験プログラム「SUNSUN」	地場産食材を使い、食に関する知識、食に関する感謝の念と理解を含め、食文化の継承を促すため	対象:熊石地域小学生 時期:5月26日、7月30日、10月25日、11月24日 内容:学校帰りに講話、クイズ、調理実習を実施 ①ミニパフェ作り28人 ②ラーメンサラダ、フルーツ杏仁豆腐13人 ③卵サンド、フルーツサンド、シチュー14人 ④さつま芋のモンブラン18人、熊石食改善協議会会員7人	80	農林課
檜山	せたな町/ヘルシー料理教室	生活習慣病と食習慣の関係を知り、生活習慣病の予防・改善するために食習慣の実践に取り組むことができる。	各区1回実施。テーマを決めて、講話と調理実習を開催。○内容・テーマ「血糖を上げない食事について」・対象:特定保健指導対象者、高血糖の方、健康や食事に興味のある方・1回目:大成区実施予定も緊急事態宣言のため、参加予定者6人に資料配付・2回目:瀬棚区令和3年7月27日瀬棚町民センター2人参加・3回目:北檜山区令和3年11月24日せたな町民ふれあいプラザ11人参加	19	保健福祉課
檜山	乙部町/乙部町の地場産物を使用した料理教室	乙部町の地場産物(アカモク、黒千石大豆)の健康効果の理解を深め、参加者の健康意識向上と地場産物の活用・消費拡大を目的とする。	11月5日新型コロナウイルス対策のもと実施。事前に下処理した食材を使い料理3品を作る。多世代の交流(30代~70代)及びアンケートを実施。 <メニュー> ・ほたてのピロシキ風〜トマトソース〜 ・アカモクと野菜のフリット ・黒千石大豆の鍋炊きおこわ	26	総務課 町民課
檜山	乙部町/つくって食べよう会	単身高齢者や高齢者のみの増加により、栄養面だけでなく、孤独な食事が懸念されることから、栄養改善に関する啓発と「食」を通しての地域交流を図る	10月19日実施以前は参加者全員で調理したものを喫食していたが、新型コロナウイルス感染症対策として、副菜2品をデモンストレーションの形で実施。主菜のからあげは外注し、出来合いのお惣菜に副菜を加えることでバランスの良い食事を提案(老人クラブ10名)	10	町民課
檜山	乙部町/離乳食教室	乳児健診や育児サークルの場において、コロナ禍でも離乳食に対する苦手意識や悩みを軽減したいという思いから、事業を実施。	11月12日実施新型コロナウイルス感染症対策として、調理は2品のみとし、参加者同士の交流やリフレッシュの場として役立っている。 子ども5名(7カ月~2歳児)、保護者5名	10	町民課
檜山	江差町/畑作	野菜の栽培や収穫を通して、興味や関心を持ち、全ての命を大切にすることを大切にする心を持つ。	実施時期 ○苗植え:令和3年5月~6月頃 ○収穫:令和3年7月~10月頃 野菜の種類:にんじん、大根、えんどう豆、じゃがいも、トマト、きゅうり、パプリカなど 場所:各保育園の畑 ※収穫した農作物は、保育園の給食に利用	80	町民福祉課(かもめ・日明・水堀保育園)
檜山	江差町/親子クッキング ※コロナ感染予防で親子クッキングは中止となり、園児のみで開催	自分たちで収穫した野菜を使って、調理をし美味しく味わう場を作る。	(1)畑で収穫した野菜や、江差の農家さんの協力をいただき収穫体験で収穫した野菜を使って、保育園の給食で提供。 (2)自分たちで収穫したサツマイモを使用し、あんぽてを園児自ら作って食べた。	40	町民福祉課(かもめ・日明・水堀保育園)
檜山	江差町/サツマイモ植え・掘り	野菜の栽培を通じ、生育の様子を知ること。 栽培や収穫を通じ、食への感覚を豊かにする。 地域で収穫されたものを食し、感謝の気持ちを育む。 (地産地消の取り組み)	実施時期 ○苗植え:令和3年6月8日 ○収穫:令和3年10月6日 対象:町立かもめ・日明・水堀保育園/くま組(4歳児)、らいおん組(5歳児) 場所:江差町字越前町 ※収穫した農作物は、保育園の給食や園児たちのクッキングに利用	40	町民福祉課(かもめ・日明・水堀保育園)
檜山	今金町/もぐもぐ赤ちゃん教室(離乳食教室)	保護者が離乳食の重要性を理解し、離乳食に関する不安が軽減されることで、子育ての意欲を高め、乳児の健全な成長と親子の適切な食生活形成の一助となるよう支援することを目的とする。	実施日・参加数(年3回) ①令和3年6月22日(火) ②令和3年10月26日(火) ③令和4年2月22日(火)→中止 場所:今金町総合福祉しべつ保健センター 対象:生後1~15ヶ月の親子 概要:①ミニ講話②試食③身体計測④相談 ※調理実習はコロナのため実施しなかった。 ・保健福祉課管理栄養士、保健師、歯科衛生士による講話と試食により、月齢で変化する形状や味付け、量を確認。 ・4ヶ月児未満では離乳食の準備を始める機会となっている。 (内訳①7名②4名③中止)	11	今金町保健福祉課
檜山	今金町/こども歯みがき教室(第2回栄養編)	幼児期からの虫歯予防に対する意識の向上や、発達段階に合わせたブラッシング方法の定着を目指す。	実施日 ①令和2年10月19日(金) ②令和3年11月2日(火) 場所: ①認定こども園いまかね ②種川へき地保育所 概要: 1. 栄養士・保育士等による栄養教育(エブロンシアター、パネルシアター) 2. 歯科衛生士による歯科指導・ブラッシング指導 おやつと虫歯の関係について、おやつに含まれる砂糖の含有量、時間を決めて食べることに講話。経年の実施で、どのようなおやつ、食べ方が虫歯のリスクとなるの事を理解し、おやつの摂り方を気をつけようとする行動するきっかけとなっている。 (内訳①年長児34名年中児25名②全園児6名)	65	今金町保健福祉課 今金町教育委員会

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
檜山	今金町／ゆうゆうクラブ(通所型サービスC; 栄養講話)	生活機能を改善するための運動機能向上などを目的とした複合的なプログラムを3ヶ月間の短期間で行い、1年間に2クール実施している。プログラムに栄養改善や口腔機能の向上プログラムが含まれており、1クール(10~12回)のうち1~2回を栄養講話でフレイル予防(低栄養予防)をテーマに実施している。	実施日・参加数 ①令和3年10月11日(月) ②令和3年11月8日(月) ③令和4年2月14日(月) ④令和4年3月7日(月) 場所: あったからんど和室 対象: (1)65歳以上の要支援認定者で介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーションを利用していない者 (2)65歳以上の基本チェックリスト該当者 概要: ①健康相談②ドミン・リハ体操③講話④筋力トレーニング⑤バランスチェック スタッフ: 管理栄養士、保健師、歯科衛生士、作業療法士、理学療法士 ・低栄養の概要と予防(BMI、アルブミン) ・低栄養予防の食事(10食品群チェックシート、たんぱく質摂取、手ばかり法) ・各クール前半に栄養相談を行い、参加者の食傾向の把握や参加者との栄養課題の共有に繋がっている。 ・参加者は食に関する話への関心が高く、質問や自分の食事内容、工夫していることを参加者間で共有し、自分の食事を振り返る機会となっている。 (内訳①4名②5名③6名④5名)	20	今金町地域包括支援センター
上川	美瑛町／テーブルマナー教室	基本的なテーブルマナーの学ぶため。美瑛町の地場産物の良さを理解するため。	時期: 11月17日(水)・18日(木)・19日(金) 場所: レストラン・アスベルジュ 対象: 町内中学生3年生 内容: 美瑛中学校68名、美馬牛中学校11名計79名 内容: レストランにて基本的なテーブルマナーを学ぶ。地場産食材を使用した一流シェフの料理を味わうことで、地場産物の良さを理解するとともに、食材が料理になる過程を学ぶ。	79	教育委員会管理課
上川	美瑛町／親子クッキング教室	地場産物を使用し調理をすることで、食の大切さを学ぶ。	時期: 10月23日(土) 場所: 美瑛町町民センター 対象: 町内親子(小学生) 内容: 美瑛産食材を使用し調理をすることで食の大切さを学ぶ。親子で調理することで親子でのふれあいを深め、家庭での食育の実践に促す。	59	美瑛町文化スポーツ課
上川	鷹栖町	稲作体験をとおして、栽培活動の楽しさや収穫の喜びを味わい、感謝の気持ちをもつことができるとともに、地域を愛し、大切にしていこうとする心情を育てる。	実施日: 田植え: 令和3年6月8日 稲刈り: 令和3年8月31日、令和3年9月6日 場所: あったかファーム 参加者: 鷹栖町立鷹栖小学校27人、鷹栖町立北野小学校30人 関係機関: ノースフィールズ、たいせつ農業協同組合青年部	57	産業振興課農業振興係
上川	東川町／チャレンジキッチン	地元関係団体や地元食材を有効的に活用し、人材育成と地域の絆づくりを目的とする。	通年、せんとびゅあ I (東川町北町1丁目1番1号) 利用時間: 9:00~17:00 利用料金: 町民500円、町外1,000円※11~4月は別途暖房料100円/時間	100	東川町産業振興課農林業振興室
上川	東川町／第三地区体験農園	地元関係団体や地元農家等と連携し、人材育成と都市住民及び地域住民との交流を通じた農業の魅力発信・拡大を目的とする。	5~10月、東川町第三地区コミュニティセンター(東川町東8号北1丁目5番2号) 利用料金: 5,000円/区画(全40区画)	40	東川町産業振興課農林業振興室
上川	士別市／菜園作り(保育園)	農業体験を通じて基幹産業を身近に感じるとともに、食の正しい知識の理解・偏食の減少・命の大切さ・日本の食文化について、興味や関心を持つ。	園児が種蒔き、苗植え、草取り、水やりにより携わり随時収穫した野菜を給食やおやつで提供した。園児には水やりなどの作業や野菜の生長をとおして、命を育てる大切さを感じるとともに、農業従事者への理解を深めることができ、偏食の改善がみられた。	215	士別市保育推進課
上川	旭川市／旭川市民農業大学	「食料」やその基礎となる「農業」「農村」の重要性を広く市民に知ってもらい、これからの旭川の農業・農村の在り方を共に考える。	*対象: 旭川市民 *場所: 市内 *協力機関: 市内農業者、旭川大学 *時期: 令和3年4月~令和4年3月 *内容: 1. 農業体験(4~12月) 2. 座学研修(7月) 3. 農村文化講座(10月) 4. 収穫祭(11月) 5. 農産加工実習(1月) 6. まなびピア・パネル展(2月) 7. 修了式・入学式(3月)	24	農政部農政課
上川	旭川市／子ども農業体験塾	通年での農業体験の場を設けること「食」や「農」、「いのち」について考える機会を提供する。	*対象: 市内小学生4~6年生 *場所: 市内 *協力機関: 市内農業者、北海道教育大学旭川校 *時期: 令和3年5月~令和3年11月 *内容: 1. 農業体験(5~10月) 2. 収穫祭(11月)計6回	25	農政部農政課
上川	中川町「農業体験バケツ稲づくり教室」	・水稲の作付けがない中川町で、子どもたちがバケツを使い稲作の一連の流れを体験する。バケツ稲づくりを行うことにより、主食である米を深く知るとともに、農業への理解を深めることを目的とする。	対象: 中川町幼児センター園児26名(3~5歳) 時期: 令和3年5月~11月 場所: 中川町幼児センター 内容: 北はるか農業協同組合より苗(もち米)の提供、田植え、水やり、稲刈り、乾燥、脱穀、もみすり、精米を行い、幼児センター行事の餅つき会で使用する。	26	産業振興課 産業振興室

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
上川	中川町 「子ども弁当事業」	・道産食材の消費拡大や農業への理解の醸成、食育の推進を目的とする。 ※学校給食を実施していない町のため、普段は家からお弁当を持参。(ミルク給食)	対象: 中川町中央小学校児童 時期: 令和3年7月～令和4年3月計11回延べ人数752人 場所: 中川町立中央小学校 内容: 道産食材を使用したお弁当の提供により、食べる楽しさを感じ、農畜産物への関心を高め、食事の大切さへの理解を深める機会とする。	752	教育委員会
上川	中川町 「子ども弁当事業」	・道産食材の消費拡大や農業への理解の醸成、食育の推進を目的とする。 ※学校給食を実施していない町のため、普段は家からお弁当を持参。(ミルク給食)	対象: 中川町中川中学校生徒 時期: 令和3年7月～令和4年3月計11回延べ人数277人 場所: 中川町立中川中学校 内容: 道産食材を使用したお弁当の提供により、食べる楽しさを感じ、農畜産物への関心を高め、食事の大切さへの理解を深める機会とする。	277	教育委員会
上川	上川町／保育所・幼稚園農業体験	農業体験を通じて、町内の児童に対し食への関心を高めてもらうため	対象: 町内の保育所及び幼稚園に通っている年長(満6歳)の児童 時期: 8月23日(月) 場所: 上川町大根生産組合農場 内容: 大根の収穫体験 人数内訳: 上川町立中央保育所7人上川幼稚園2人のぞみ幼稚園3人計12人	12	上川町立中央保育所
上川	和寒町 離乳食教室	離乳食の意義を理解し、発達に適した進め方ができる。月齢にあった調理法や形態、適量を確認することができる。母親同士の交流の場として、育児全般の意見交換や仲間づくりができる。	実施回数: 年4回 場所: 保健福祉センター 対象: 概ね3～16ヶ月児とその親 内容: 栄養講話～月齢に添った離乳食の進め方と栄養の学習。調理実習と試食～離乳食の調理実習をし児へ与えてみる保健師講話～育児に関する疑問・悩みを支援する。 特記事項: コロナ禍による育児中の母子の孤立を防ぐため、感染症対策(調理実習のマニュアル作成)をとり少数人数で実施。離乳食の供与は単なる栄養補給にとどまらず、楽しく食事し食べる意欲が増す環境づくりが大切である。参加者同士が離乳食を児へ与える様子を確認することで、子の発達や離乳食の疑問や不安の解決の場となっている。	104	保健福祉課保健係
上川	和寒町 幼児食教室	幼児食の意義を理解し、成長や発達に適した進め方ができる。家庭での調理法や食事量と、適正量との比較確認ができる。子供の間食の意義を理解できる。母親同士の交流を通して、育児全般の意見交換や仲間づくりができる。	実施回数: 年3回 場所: 保健福祉センター 対象: 1～4歳児とその親 内容: 栄養講話～幼児期の栄養、適正量の学習とともに、家族の食を振り返ることのできる内容。調理実習と試食～離乳の完了期からの幼児食づくりを体験。保健師講話～育児に関する問題を解決できるよう支援する。 特記事項: コロナ禍による育児中の母子の孤立を防ぐため、感染症対策(調理実習のマニュアル作成)をとり少数人数で実施。	54	保健福祉課保健係
上川	愛別町/あいべつ体験農園	作物の種まきから収穫までの一連の作業体験を通じて食文化の理解、世代間交流を通じて人を敬う心、思いやりの心を学び豊かな情操の育成を図ることを目的とする。	対象: 町内外から申請があった者、町内の幼児センター等 実施期間: 5月中旬～10月上旬 実施場所: 愛別町農村公園内体験農園管理棟前 作付面積: 1区画30㎡ 作付作物: じゃがいも、にんじん、かぼちゃ、玉ねぎ、とまと等	73	産業振興課
上川	愛別町/離乳食教室	味覚の形成、咀嚼の発達に応じた食べ物の固さなど、これからの食生活の基本となることを学ぶ。	対象: 1歳までの乳児を持つ保護者 実施日時: 令和3年6月30日、12月22日 内容: 例年はサンライズの調理室で講話と調理実習を行っているが、今年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、対象者へレシビの郵送を行った。	11	保健福祉課
留萌	苫前町/稲作体験	地域の基幹産業について、自ら体験し、学習する。	実施日: 4月26日、4月27日、5月25日、7月13日、10月15日、11月30日、12月3日 開催場所: 町内小学校ほか 対象: 小学5年生 運営: 社会教育課 協力: 苫前町農業協同組合、苫前町農業協同組合青年部、北海道中央農業共済組合留萌支所、苫前土地改良区、留萌農業改良普及センター	22	社会教育課
留萌	苫前町/メロン農家見学	作物を育てている人たちの様子や工夫、仕事の様子などを見学し、苫前町の農業について理解を深める。	実施日: 9月10日 開催場所: 早川日出利氏園場 対象: 苫前小学校3年生 運営: 苫前小学校 講師: 早川日出利氏	8	社会教育課
留萌	苫前町/酪農体験	物を作る仕事(牛乳生産)についての体験を通して、その苦労や働いている様子などを知る。	実施日: 9月24日 開催場所: (株)箱柳牧場 対象: 古丹別小学校3年生 運営: 古丹別小学校 協力: (株)箱柳牧場	10	社会教育課
留萌	苫前町/酪農体験	物を作る仕事(牛乳生産)についての体験を通して、その苦労や働いている様子などを知る。	実施日: 10月28日 開催場所: 小林牧場 対象: 苫前小学校3年生 運営: 苫前小学校 協力: 小林牧場 講師: 小林博之氏	8	社会教育課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
留萌	苫前町／水産加工場見学	水産加工場や加工品の製造の様子を通して、水産加工場で働く人々の工夫や苦勞について理解を深める	実施日:10月21日 開催場所:(株)丸や岡田商店 対象:町内小学校3年生 運営:社会教育課 協力:(株)丸や岡田商店	18	社会教育課
留萌	苫前町／地引き網体験	海にどのような魚や生き物がいるのか、実際に捕獲する体験を通して理解を深める	実施日:7月1日 開催場所:苫前漁港付近 対象:苫前小学校4年生 運営:社会教育課 協力:留萌地区水産技術普及指導所、北るもい漁業協同組合苫前支所、苫前漁協青年部	12	社会教育課
留萌	苫前町／ポップコーン用とうもろこし種蒔き、収穫、ポップコーンづくり	自分で植え、収穫したとうもろこしを使ったポップコーンづくりを体験する。	実施日:中止、9月25日、11月27日 開催場所:苫前町公民館 対象:少年少女体験教室生徒 運営:社会教育課職員	25	社会教育課
留萌	苫前町／親子料理・料理教室	子供が食への興味関心を高めること及び保護者が食育の大切さについて考える契機とする。	実施日:10月30日、11月3日 開催場所:苫前町公民館 対象:苫前町少年少女体験教室生徒、幼児及び保護者 運営:社会教育課職員、保健福祉課栄養士、苫前町食生活改善協議会員 メニュー:変わりいなり、甘酒プリン	17	保健福祉課社会教育課
留萌	苫前町／料理講習	高齢者に必要な栄養について学び、バランスの取れた献立調理を行う。	実施日:11月14日 開催場所:苫前町公民館 対象:シニアスクール生徒 運営:社会教育課職員、苫前町食生活改善協議会員 メニュー:たこの炊き込みご飯、カラフル野菜の塩昆布和え、スペイン風オムレツ	7	保健福祉課社会教育課
留萌	苫前町／鮭トバ作り	日本海で水揚げされる秋鮭を使い、鮭トバ作りを習い、味わうことで食への興味関心を高め、鮭トバ作りを広める。	実施日:11月25日 開催場所:苫前町公民館 対象:シニアスクール生徒、一般町民 運営:社会教育課職員 講師:磯崎功氏	12	社会教育課
留萌	苫前町／正しく学ぶ！筋力トレーニング講座	バランスのとれた食事とトレーニング方法を習得して筋力アップを図る。	実施日:11月28日 開催場所:苫前町公民館 対象:一般町民 運営:社会教育課職員 協力:苫前町食生活改善協議会 メニュー:玄米ご飯、カラフル野菜の塩昆布和え、スペイン風オムレツ	12	保健福祉課、社会教育課
留萌	苫前町／お菓子づくり	本格的なお菓子作り(パウンドケーキ)を体験する	実施日:2月24日 開催場所:苫前町公民館 対象:シニアスクール生徒 運営:社会教育課職員	6	社会教育課
留萌	苫前町／夏季宿泊体験	長期休業中に正しい生活リズム作りのために自炊生活を中心に運動を取り入れた宿泊体験を行う	実施日:8月3日～4日 開催場所:苫前町公民館他 対象:町内小学4年生以上の児童 運営:社会教育課職員 メニュー:(夕食)カレーライス、サラダ(朝食)ホットサンド、サラダ、スクランブルエッグ(昼食)そうめん、サンドウィッチ	12	社会教育課
留萌	羽幌町 育児教室(母くらぶ)におけるおやこクッキング	親子で調理する楽しさを知る	対象:2歳1か月～未入園児 内容:簡単なおやつづくり(かぼちゃまんじゅう、ニコニコおにぎり) 日程:年2回(10、3月) 人数内訳:10月実施時19名(親9名、子10名) /3月実施時18名(親9名、子9名)	37	福祉課 健康支援課
留萌	羽幌町 育児教室(母くらぶ)における昼食体験	親子で楽しく食事をする	対象:2歳1か月～未入園児 内容:昼食体験(カレーライス、フルーツヨーグルト) 日程:年1回(9月)	18	福祉課 健康支援課
留萌	羽幌町 離乳食教室	離乳食の基本的な知識や調理法を知り、適切に離乳をすすめられる母親同士の交流を通じ、離乳食に対する不安を解消する	対象数:2～5か月の母親 内容:離乳食のすすめ方の説明、離乳食の調理実習(離乳初期)、試食 日程:年4回(4.7.10.1月)※1月は中止 人数内訳:4月実施時6名/7月実施時1名/10月実施時2名	9	健康支援課
留萌	羽幌町 出前講座	食や栄養に関する知識の普及	対象:一般町民 内容:栄養や食に関する講話、調理実習、試食 実施数:4回 人数内訳:①食生活改善推進員6名 ②自主組織(すこやかクラブ)17名 ③自主組織(悠悠クラブ)13名 ④自主組織(悠悠クラブ)12名	48	健康支援課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
宗谷	稚内市 いきいき大学(高齢者大学)前期・後期 「そば打ち」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和3年7月8日(木)/11月11日(木)10:00~12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上定員10人 【参加者の感想】切り方が難しかった。自分で打ったソバ最高です。 【問題点・課題】特になし	8	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市 いきいき大学(高齢者大学)前期/声問楽生大学(高齢者大学)合同 「健康講座」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和3年8月11日(水)10:00~12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上 【参加者の感想】健康講座だけだと思っていたら、体のこと、腸のことを考えた食事もありうれしかったです。 【問題点・課題】特になし	14	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市 いきいき大学(高齢者大学)前期 「ひとくちビザ」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和3年10月7日(木)10:00~12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上定員10人 【参加者の感想】何でも具材になり、食べてもおいしく楽しかった。 【問題点・課題】特になし	3	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市 いきいき大学(高齢者大学)後期 「うどん作り」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和4年1月20日(木)10:00~12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上定員10人 【参加者の感想】体力を使いました。うどん作りは初めて、手作りの面白さ、難しさがわかりました。 【問題点・課題】コロナの関係で試食なし。持ち帰り。	9	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市 声問楽生大学(高齢者大学) 「体験学習①うどん作り」	高齢者の皆さんが様々な学習活動を通して楽しみながら教養を身につけ喜びと生きがいのある充実した人生を過ごすことを目的とする。	【開催日】令和3年7月21日(水)10:00~12:00 【参加対象】市内在住の65歳以上 【参加者の感想】結構力のいる作業でした。 【問題点・課題】特になし	14	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市 ヘルスアップ教室(栄養編)	日常生活において適切な食生活が継続できるよう、生活習慣病予防及び健康増進となるための知識や方法を周知普及啓発を行う	1.日時:令和4年1月19日(水)10~12時 2.場所:稚内市保健福祉センター2階健康学習室・栄養指導室3.対象者:稚内市民 4.内容:太りにくく、免疫力維持に役立つ食事 (1)調理実習<メニュー>鶏肉のホイル焼き、レタスと小松菜の蒸し煮、サバ缶の具たくさん汁、(白飯) (2)講話 5.参加者の感想:身近な食材で減塩しながら生活習慣病予防だけではなく、免疫力を高めて感染症から体を守ることを学べてよかった等	9	生活福祉部健康づくり課
宗谷	猿払村 「男の栄養教室」 「ゆっくり栄養教室」 「いきいき栄養教室」 「農協女性部学習会」	栄養教育・調理実習を通して、健康づくりのための食事管理ができるようになり、自分の健康は自分で守る意識を持てるようにする。有所見者に対しては、病気の理解が深められるようにする。また、教室に参加することによって介護予防事業対象者への予防を行う。	開催日:4月、7月、8月、9月、10月、11月、12月 場所:猿払村保健福祉総合センター 参加人数:4~10名 対象:20歳以上の男性 65歳以上の女性及び20歳以上の精神・知的障害者の女性 20歳以上の女性 東京谷農業協同組合女性部員 内容:栄養講話(食品衛生・栄養について)と調理実習	10	保健福祉課
宗谷	礼文町/たVege料理教室	町の健康課題として、肥満、高血圧、糖尿病の合併症を有する割合が高いことから野菜摂取量向上の取り組みを通じて、これらの生活習慣病の発症予防、重症化予防に繋げる。	実施時期:令和3年11月 場所:ピスカ1階調理実習室 対象:町民 内容:栄養士が、たVege12月号のテーマであるかぼちゃを使用した料理3品の調理、かぼちゃに関する栄養教育、1日の野菜摂取量について説明した。また、調理した3品の中から味や調理の手軽さなどを参加者と一緒に検討し、毎月発信している野菜レシピの12月号を決定した。	5	保健課保健推進係
宗谷	礼文町/栄養教育「むし歯予防教室」	う歯に繋がる食生活、食習慣を理解し予防行動をとることやう歯の本数、う歯罹患率の減少に繋げる。	実施時期:令和3年6月 場所:香深保育所、船泊保育所 対象:年長児 内容:栄養士が、①おやつ摂取後のお口の中の状況やむし歯がおこる仕組み②むし歯予防のために大切なこと③おやつ役割④おやつの食べ方について説明した。	12	保健課保健推進係
宗谷	礼文町/栄養教育「野菜について」	野菜の生育や種類、健康効果について学ぶことで、「食」に興味・関心をもち、将来自分たちで正しい食生活を身につけることができる。また、野菜摂取の重要性を学び野菜摂取量向上を図る。	実施時期:令和3年9月 場所:香深保育所、船泊保育所 対象:香深/全園児、船泊/年長児 内容:栄養士が、野菜の生育や種類、野菜の健康効果について説明し、クイズを交えながら実施した。教室の内容を習得した児に対し、メダルを授与した。また、香深保育所では、園内の畑で栽培していたにんじんの収穫も行い、作物の生育を実際に確かめた。	28	保健課保健推進係
宗谷	礼文町/栄養教育「バランスよくたべよう(3色食品群)」	3色食品群について学び、食事をすることの意味を理解し、健康と食物の関係や自分の健康に関心をもち、将来自分たちが必要な食品を摂ることができる。	実施時期:令和3年2月 場所:香深保育所、船泊保育所 対象:年長児 内容:栄養士が、食べ物の役割ごとに大きく3つ(色)に分類されることや各色該当する食品について、クイズを交えて実施した。また、教室終了後も保護者と子どもが家庭でも3色を意識した食事ができるよう、チャレンジカードを作成し、親子で食事を意識するきっかけとした。	21	保健課保健推進係

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
宗谷	礼文町/官学協働健康づくり事業「島の幸と天使の献立で町民ヘルシープロジェクト」	健康なまちづくりの実現に向け、島の食材を活用した新たなヘルシーメニューの企画、立案、販売を通じて、健康無関心層を含めた幅広い世代における健康づくりへの意識向上を図り、家庭や地域での継続的な活動へ繋げる。	実施時期:令和3年10月 場所:船泊診療所 対象:特定健診受診者 内容:北海道札幌市にある天使大学のサークル“たべてる”の学生(栄養学科)が、町の健康課題改善のため管理栄養士助言の下、島の食材を使った健康レシピ「タコチヂミ」を考案し、特定健診の場で「タコチヂミ」(昨年度)の試食とレシピの配布を行った。予定では、礼文島海峽祭りにて役場職員と一緒に調理から販売までを行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりお祭りが中止となったため予定を変更して実施した。	237	保健課保健推進係
オホーツク	北見市「幼児食教室」	幼児期の食事について正しい知識を身につけることで育児の不安を軽減し、適切な栄養を確保するとともに、心身の健康づくりをすすめる食生活の基礎をつくる。	対象:1歳2か月～1歳4か月児を持つ保護者 場所:北見市保健センター 内容:栄養講話「幼児期の食事と生活リズムについて」 「調理の工夫、簡単レシピの紹介」 開催時期:5月、8月、12月、2月(5月、2月は中止)	10	北見市保健福祉部健康推進課
オホーツク	北見市食育事業「うんち先生こんにちは！」	食生活に関心を持ち、食と健康に対する意識を高め、心身の健康づくりをすすめる適切な食生活の基礎をつくる。	対象:市内の児童センター、児童館に通う児童 場所:各児童センター 内容:栄養講話「うんち先生こんにちは！～早寝・早起き・朝ごはん～」 保護者への啓発(リーフレット配布) 開催時期:6月～10月	488	北見市保健福祉部健康推進課 端野総合支所保健福祉課 常呂総合支所保健福祉課 留辺蘂総合支所保健福祉課
オホーツク	北見市/幼児への健康教育「幼児むし歯予防教室」	健康づくりに大切な食生活や歯予防を理解し、自分の歯や生活に関心を持つことができる。	時期:11月2日、5日 場所:ところ認定こども園、錦水保育所 対象:年長児(および年中児) 内容:栄養講話、歯科講話、歯顎模型を用いた歯みがき体験 保護者への啓発(リーフレット配布)	30	常呂総合支所保健福祉課
オホーツク	網走/東京農業大学オホーツクキャンパス食堂事業	市内水産関係団体と連携して食材提供し、網走市外出身の学生が大半を占める同大学の在学学生等が地場水産物に触れる機会を創出することで、地場水産物の普及促進を図る。	・実施時期:令和3年11月16日～12月8日。 ・対象:東京農業大学オホーツクキャンパスに在学学生等(教職員含む) ・内容:水産関係団体と連携し、同大学の食堂メニューの食材として地場水産物を無償提供。 〈食材提供者〉 サケ:網走漁業協同組合、シジミ:西網走漁業協同組合、ホタテ:網走市提供メニュー:さけフライ、ほたてフライ(各定食メニューにシジミ汁付き)	500	農林水産部水産漁港課
オホーツク	網走市/シニア料理教室	高齢者の健康づくりのため、栄養バランスに配慮した手軽な料理を参加者自らが調理・試食し、栄養士による解説・指導を行うことにより正しい生活のあり方について認識を深めてもらうことを目的とする。	網走市食生活改善協議会 ・開催日:令和3年11月11日(木) ・開催場所:保健センター ・参加者数:9名 ・内容:60歳以上の市民を対象として、網走市食生活改善協議会の協力により、調理、試食・栄養指導を実施。	9	健康福祉部介護福祉課
オホーツク	美幌町わくわくクッキング教室	食への関心を深め、料理を作る喜び、楽しさを体験する。	対象小学3～6年生実施時期:7月28日 場所:しゃきとプラザ協力:美幌町ヘルスリーダーの会 バランスのよい献立作成の学習(栄養士)と調理実習(美幌町ヘルスリーダー) 実施メニュー:野菜の手まり寿司スパイスキンナゲットと野菜サラダ 野菜スープ 結果:申込は定員に達したものの、コロナ感染状況の影響を受けて当日になり参加者が減少した。参加者には彩のよいメニューで好評だった。	4	保健福祉課健康推進グループ
オホーツク	美幌町自分でつくる朝ごはん教室	朝ごはんの必要性を知り、簡単にバランスのよい朝ごはんを調理体験することで食に関心を持つ子どもを増やす。	対象小学3～6年生実施時期8月10日 場所:しゃきとプラザ協力:美幌町ヘルスリーダーの会 朝ごはんの効用についての講話(栄養士)と調理実習(美幌町ヘルスリーダー) 実施メニュー:ハムとチーズのフレンチトースト、コーンスープ 結果:夏休み期間中に日程を設定したところ、昨年度より参加者が増加した。すべての調理工程を経験してもらっており、参加者の感想では「家で姉とフレンチトーストを作った時は姉にほとんどやってもらったが、今日は全部自分で作ったのがとても楽しく、勉強になった。」などの感想があった。	10	保健福祉課健康推進グループ
オホーツク	美幌町冬休小学生おやつ教室	望ましいおやつとり方について考え、身近なおやつで簡単にできるおやつ作りを体験する。	対象:小学3～6年生実施時期1月12日 場所:しゃきとプラザ協力:美幌町ヘルスリーダーの会 おやつ学習(講話・グループワーク)と調理実習 実施メニュー:キャベツと桜えびのお好みロール、冷めてもやわらかいみたらし団子 結果:今年度から午後の開催としたところ、定員12名のところ12名の参加があった。アンケートでは「料理は全部おいしかった」「楽しかったのでまたやりたい。かんたんだから家でもやりたい。」などの感想があった。	12	保健福祉課健康推進グループ
オホーツク	美幌町ママの手作りクッキング	子育て支援センターの依頼に応じて、幼児のおやつ作りの体験を実施。	対象:子育て支援センター利用者(幼児の親8名。調理は親のみ試食は親子) 場所:しゃきとプラザ協力:美幌町ヘルスリーダーの会 実施メニュー:さつま芋のきなこあえ、ミルクキャロットゼリー 幼児のおやつに関する講話と調理実習 結果:キャロットジュースを使用するなど調理工程が簡単で「自分にもできそう」との感想があった。	8	社会福祉課児童支援グループ 保健福祉課健康推進グループ

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
オホーツク	湧別町 バランス料理教室	主食・野菜・副菜をバランスよく食べることが健康づくりにつながることを知り、日頃の食事作りや料理の選択に生かすことができる。	時期：毎月1回、計2回 ※コロナ感染症対策等により実施できなかった月もあり、レシビ送付で対応している。 場所：保健福祉センター 内容： ・町管理栄養士による、食事のバランスについての講話 ・調理実習(バランス丼ほか1品)	8	健康こども課
オホーツク	滝上町/スイートコーンの収穫体験	町内で生産された食物を児童自らが収穫し食すことにより、地場産品への興味関心を喚起、地産地消の大切さや農業への興味を少しでも持ってもらおう。	対象：滝上小学校児童(特別支援学級) 時期：9月16日 場所：農産品加工研究センター 内容：滝上小学の児童(7名)が畑作農家の協力を得て、滝上町農産品加工研究センターの花壇で栽培したスイートコーンの収穫を体験した。収穫したスイートコーンは施設内で茹でて、試食した児童からは「甘くて美味しい」との声があがった。その後、施設内を見学した。	7	生涯教育課(教育委員会)/農政課
オホーツク	滝上町/スイートコーンの収穫体験	町内で生産された食物を園児自らが収穫し食すことにより、地場産品への興味関心を喚起、地産地消の大切さや農業への興味を少しでも持ってもらおう。	対象：認定こども園園児 時期：9月29日 場所：農産品加工研究センター 内容：認定こども園の園児(11名)が畑作農家の協力を得て、滝上町農産品加工研究センターの花壇で栽培したスイートコーンの収穫を体験した。園児からは「とても楽しい」との声があがった。	11	保健福祉課/農政課
オホーツク	滝上町/地域畑作物等消費拡大事業	町内産の畑作物を原料とする加工食品を通して、農業や地産地消への興味・関心を持ってもらうとともに、新型コロナウイルス感染症の流行により影響を受けた畑作物の消費拡大のため。	対象：町内小中学生及び教職員 時期：2月28日 内容：小学生(91名)、中学生(37名)、教職員(38名)へ町内産の畑作物を原料としたうどん、ラーメン、スイートコーンパウダー、小麦粉などの製品及び食育リーフレットを配布。アンケート結果からも食育・地産地消に対する関心が高まった。	166	食育・地産地消推進協議会/保健福祉課/農政課
オホーツク	滝上町/離乳食教室	①乳児の保護者が、乳幼児期に必要な栄養素や食中毒の予防など、離乳食調理に関する基本的な知識を身につける。②乳児の保護者が、地産地消について理解を深め、健康づくりに必要な食を選択する力を養う。	対象：離乳食初期(生後5ヶ月頃)及び離乳食中期(生後8ヶ月頃)の乳児の保護者 開催時期：年3回程度(不定期) 開催場所：滝上町文化センター 内容： ①月齢にあった食材選択や食形態及び食事のリズムに関する講話 ②滝上町食育・地産地消推進計画の配布及び説明 ③地場産品の紹介 ④調理実習	14	滝上町子育て世代包括支援センター(滝上町役場保健福祉課内)
オホーツク	興部町 幼児学級(調理実習) 興部保育所・沙留保育所	・家族のために作ったものを食べてもらい喜んでもらうことで、何かを作ることを喜びをわかってもらい、家で料理をする機会が増える。	対象者：保育所通所児・保護者 時期：年各保育所1回(興部保育所9月・沙留保育所8月) 場所：興部町福祉保健総合センター(調理室) ○興部保育所 内容：調理実習～簡単ブレッド～コロナ感染症感染予防の為試食無し(後日試食した感想等のアンケート実施) ○沙留保育所 内容：調理実習～簡単バナナブレッド～コロナ感染症感染予防の為試食無し(後日試食した感想等のアンケート実施) 結果：各保育所の参加者、作った物をすぐ試食できなかったが親子で楽しく作業していた。 【参加者】 興部保育所：保護者5名・園児5名・保育士5名 沙留保育所：保護者3名・園児5名・保育士2名	25	福祉保健課健康推進係
オホーツク	興部町 食育(健康教育) 興部保育所・沙留保育所	・子どもの食への関心を育み「食を営む力」の基礎を培い、子ども達が大人になっても健康で質の高い生活を送ることができるように支援する。	対象者：保育所通所1～5歳児 時期：各保育所年2回(今年度は各保育所2月に実施) 場所：興部保育所・沙留保育所 内容：赤・黄・緑の食べ物～何でも食べて元気な体を作ろう～ よく噛んで食べよう 食事のマナーについて(食事時の姿勢、お茶碗・箸の持ち方) 結果：各保育所の小さい児も、最後まで話を聞くことができていた。給食の時間に食育のお話を思い出し、先生やお友だちと意識しながら食べていた。 【参加者】 興部保育所：1回目→園児25名・保育士6名/2回目→園児23名・保育士6名 沙留保育所：1回目→園児20名・保育士4名/2回目→園児17名・保育士4名	105	福祉保健課健康推進係
十勝	中札内村/七色献立プロジェクト「食育体験教室」	地域の生産者との協働により、地場産野菜への理解と思い入れを深め、地域での野菜の消費拡大を目指す。	日時：令和3年8月21日 場所：村内農場(2か所) 対象：村内在住の保育園年中児～小学生(保護者も参加可) 内容：農協青年部の協力により、じゃがいもと枝豆の収穫体験、トラクター見学を実施	21	福祉課保健グループ
十勝	更別村/小学生親子料理教室	親子での調理を通じて食べる楽しさや食への興味の醸成、栄養バランスや食事の大切さを学び日常に活かすこと、また、家庭教育の推進を図る。	対象：村内の小学生親子 時期：令和3年11月27日 場所：更別村農村環境改善センター 子育て応援課と教育委員会の連携事業として更別村農村環境改善センター調理実習室にて開催。5組の親子計12人が参加。豆腐入りハンバーグのロコモコ丼、冬野菜の豆乳スープ、サラダ、ゼリーの4品を作った。	12	教育委員会・子育て応援課
十勝	広尾町 子ども料理教室	「調理」という作業を通して食材を身近に感じるとともに「楽しい食事作り」「味わう力」を身につけることができる。	対象：小学生 時期：7月29日(新型コロナウイルスにより中止)、1月13日、1月14日(人数制限をし、2日間に分けて実施) 場所：健康管理センター 内容：調理実習、栄養講話 参加数：13日9人、14日9人	18	保健福祉課健康管理センター

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
十勝	新得町/夏休みなかよし学習塾体験活動	全町教育の理念・目的をふまえ、より多くの子どもたちと関わりながら体験活動等を行い、子どもたちに満足感や達成感、自己肯定感を体験させる。	●対象者:小学生(4~5年生)●時期:7月28日●場所:保健福祉センターなごみ調理実習室●内容:パイ生地を使ったお菓子作り	8	教育委員会
十勝	大樹町/食講座	作物の栽培から収穫、食べることまでの一連の食農体験を通して子どもたちに食や命の大切さを学ばせる。	対象:尾田認定こども園おひさま園児(11名) 時期:春~秋 内容:春に芋植えをし、秋に収穫し調理する。	19	保健福祉課児童保育係
十勝	幕別町/男の料理教室	・健康で自立した生活を送るために、よりよい食生活の知識と調理技術を身につける。 ・旬の地場農産物を取り入れて、薄味でおいしい健康食をすすめる。	対象:男性で20歳以上の町民 時期:7月13日、11月9日、11月22日 場所:忠類ふれあいセンター福寿、百年記念ホール 内容: (忠類)なめたけとツナのご飯、豚肉の長芋ロール焼き、豚と野菜の血ごとレンジ蒸し (札内)麻婆大根、白菜とあさりの蒸し煮、たたき胡瓜、たたきごぼうなど コロナ対策を行い、幕別町食生活改善協議会の協力のもと実施。旬の野菜をたっぷり食べられる工夫や電子レンジや缶詰などを使った手軽な料理を中心に、栄養バランスのよい簡単な健康食を紹介した。家族に作り喜んでもらった、簡単なので数回作ってみたなどの声も多く好評であった。	18	住民福祉部保健課・忠類総合支所保健福祉課
十勝	幕別町/ロコモ&低栄養予防教室	・低栄養予防のために、しっかり食べる大切さを伝える。 ・手軽な筋力アップ運動を実践し、生活に取り入れてもらえるよう働きかける。	対象:60歳以上の町民 時期:11月2日、11月5日 場所:百年記念ホール・保健福祉センター 内容:ツナとなめたけのご飯、南瓜と野菜のカレースープ、中華風雨蒸し鶏、大根甘酢漬 コロナ対策を行い、幕別町食生活改善協議会の協力のもと実施。旬の野菜をたっぷり食べられる工夫や主菜の握り方を学び、手軽な料理を中心に栄養バランスのよい簡単な健康食を紹介した。食事と運動を組み合わせることの大切さを伝え、簡単な筋力アップ運動を紹介し、調理しながら運動を取り入れた。運動は家の中で簡単にできるものなので家庭でも取り入れていけそうという声も多く好評であった。	13	住民福祉部保健課
十勝	幕別町/夏休みこどもクッキング教室、冬休みこどもクッキング・歯みがき教室	・簡単な料理づくりを通して料理の楽しさや気持ちを育み、家庭での継続を図る。 ・地場産の農産物を多く取り入れ、“旬”や“地産地消”の意味や大切さを伝える。 ・野菜摂取について学びを深め、野菜の大切さを伝える。 ・虫歯予防のために正しい歯みがき方法を習得する。	対象:町内小学生(夏休み)小学5、6年生(冬休み)小学4~6年生 時期:7月26日、30日、8月2日、1月5日、6日、11日、12日 場所:保健福祉センター、百年記念ホール、忠類ふれあいセンター福寿内容: (夏休み)トマトスバゲティ、野菜のレンチンとえ、ミニパフェ (冬休み)ツナとなめたけのごはん、豚肉と長芋の味噌煮、たたきごぼう 食生活改善協議会と共に計画・実施。みんなと一緒に作って楽しかった、上手にできてうれしかったという感想も多く好評な事業である。栄養士の講話として、夏休みは野菜摂取、冬休みは虫歯予防をテーマとし、食生活と口腔ケアの大切さを伝えている。歯みがき教室と合わせて実施し、歯科衛生士の指導により正しい歯みがき方法を習得する機会となっている。	55	住民福祉部保健課・忠類総合支所保健福祉課
十勝	幕別町/親子クッキング教室	親子で一緒に料理をすることで食への興味を育み、食べることの楽しさや家庭での食育の取組に役立てるきっかけを作る。	対象:子育て支援センター利用の親子1~5歳まで 時期:11月25日 場所:子育て支援センターあおぼ分室 内容:色々ころおにぎり、ぼんぼこ胡瓜、ぼんぼこごぼう 1歳児から3歳児が集まり、保護者と楽しく料理づくりを行った。普段食べない子ども喜んで食べており、簡単な作業なので家庭でも取り入れてみたいという感想が多かった。	28	住民福祉部保健課
十勝	農業体験塾	・町内の小中学生を対象に農作業体験、収穫体験、加工体験を実施することにより、農業の大切さや食の安心安全について理解を深めてもらう。	時期:5/22、9/11 場所:幕別町試験圃場 内容:農作業体験(収穫、収穫物の加工)。 令和3年度は、枝豆とコーンの種まき及びその収穫と調理体験を行い、農業と食料への理解を深めた。 参加者:町内の小学生7名	7	経済部農林課
十勝	めむろ農業小学校	・このまちの土、空気、人、食に触れ、子どもたちの五感を刺激し、発見や驚き、感動を体感することで、芽室町の基幹産業「農業」の理解を深める。 ・自ら育てた作物を自ら調理し食べることで、食べ物本来のおいしさや大切さを学ぶ。 ・生産者から直接指導を受け、交流を深める中で、生産者を身近に感じ、「農業」の格好良さと重要性を認識する。 ・「芽室の農業を応援する心」及び、食に対する正しい知識を持って「食べ物を選択できる力」を身につける。	5月~11月(播種、管理作業、町内企業バス学習、収穫、調理実習など)	40	農林課農業振興係
十勝	帯広市/畑づくり(公立保育所)	児童が作物を育てることに興味を持ち、収穫する喜びを味わう。	対象:保育所入所児童 時期:春~秋 場所:各公立保育所 内容:作物の栽培(育てる作物は保育所ごとに決めている)		市民福祉部こども福祉室こども課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
十勝	帯広市/こどもクッキング(公立保育所)	保育所入所児童に対し、地元産食材を使って調理体験をすることで、みんなで作る楽しさを味わってもらおうとともに、地元産食材に親しみを持つ。	対象:保育所入所児童 場所:各公立保育所 内容:保育士・調理員が主体となって計画し、児童に調理してもらおう <実施した献立(例)・その中の地元産食材> ○カレー	85	市民福祉部こども福祉室こども課
十勝	帯広市/プラザ・エンジョイスクール	料理講座を通じて食育を推進し、市民が生産にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう、啓発していくもの。	講座名:家庭料理 対象:高校生以上 時期:年間10回開催(令和3年度:6/30、7/7、7/21、8/4、8/18、11/10、11/17、12/1、12/15、1/26) 場所:とからプラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)	85	生涯学習部生涯学習文化室生涯学習文化課
十勝	帯広市/プラザ・エンジョイスクール	料理講座を通じて食育を推進し、市民が生産にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう、啓発していくもの。	講座名:美味しい十勝 対象:高校生以上 時期:年間5回開催(令和3年度:5/12、6/23、7/14、7/28、8/4) 場所:とからプラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)	35	生涯学習部生涯学習文化室生涯学習文化課
十勝	帯広市/プラザ・エンジョイスクール	料理講座を通じて食育を推進し、市民が生産にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう、啓発していくもの。	講座名:シェフの簡単料理 対象:高校生以上 時期:年間10回開催(令和3年度:5/13、6/24、7/8、7/29、8/5、11/11、11/25、12/9、12/16、1/13) 場所:とからプラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)	75	生涯学習部生涯学習文化室生涯学習文化課
十勝	本別町/子ども体験教室の取り組み	①お菓子作りを通じて、ものづくりの楽しさを学ぶ ②調理・試食体験を通じて食生活について考える	対象:小学1～6年生(募集10名) 時期:令和3年12月6日 場所:農産物ものづくり館(ケンキッチン) 内容:パン教室の先生と町営の農産物加工施設の指導員の指導を受け、地元産の小麦粉やグラニュー糖等を使って、「スコーン」と「ミニカップケーキ」作りを行いました。 「1年生1人、2年生2人、3年生3人、4年生1人、5年生3人計10人」	10	本別町教育委員会社会教育課
釧路	釧路市(釧路市食生活改善協議会と共催)/親子の料理教室	親子が食について一緒に考え、調理実習を行う機会を設けることにより、「食」からの健康づくりとして栄養バランスのとれた食事や望ましい生活習慣の習得を目指す、生活習慣病の予防を図る。	対象:音別小学校1～6年生と保護者 日時:12月18日、12月19日 場所:音別町福祉保健センター 内容: ・釧路市食生活改善協議会ヘルスメイトとの調理実習と試食(焼きそばナポリタン、白菜とベーコンのスープ、プリンアラモード) ・管理栄養士講話「野菜の働きについて」	10	音別町行政センター保健福祉課
釧路	釧路町/つくし保育所子育て支援センター「赤ちゃん教室」	乳児期に健やかな生活習慣、利用できる社会資源等を知り、また、地域の保護者同士のつながりを持つことで、子育て期の孤立化を防ぐ。	令和3年7月13日(火) 釧路町保健福祉センターあいばーる栄養・調理研修会、会議室 「見て、聞いてわかる!離乳食のすすめ方」 講師:町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士 参加者:乳児の保護者4名(保育士による託児あり) 内容:離乳食づくりのコツやベビーフードの活用方法などをデモンストレーション方式で伝える(食材に触るが、試食なし)。 ※栄養士以外にも、別日程で助産師、保健師、保育士が講師となる教室	4	健康福祉部こども健康課母子保健係
釧路	標茶町/標茶中央学校給食共同調理場主催事業「子どもと学校給食調理員との調理実習会」	子どもと学校給食調理員との調理実習を通して、「食べ物と食べる大切さ」を学び、「食事をつくる楽しさ」を体験し、して、日常の学校給食をより楽しいものとするために、子どもと給食調理員との「ふれあい」を深め、「食」に関する知識と、選択する力を習得する「食育」を推進することを目的とする。	<実施日> 令和3年10月29日(金) <会場> 標茶町立虹別小学校図工家庭科室 <参加対象> (1)調理実習23名(児童15名、教職員4名、栄養教諭1名、給食調理員3名) (2)試食会23名(児童15名、教職員4名、栄養教諭1名、給食調理員3名) <調理献立> ビーフカレーライス、フルーツ白玉 <実習日程> (1)9:30準備開始 (2)10:25開会式 (3)10:30実習開始 (4)12:15試食会開始、食育の時間 (5)12:45食器洗浄、清掃等	23	標茶町学校給食共同調理場
釧路	標茶町/標茶高校と連携した食育推進事業「小学生の標茶農園体験」	標茶高校で生産された野菜等を学校給食で提供するにあたり、その食材となる野菜を子どもたち自ら標茶高校の農園で高校生との交流を通して育てることにより、地域(地元の高校)の良さを理解させ、関心をもたせるとともに地域への愛着や誇りを育み、もって食に関する知識の習得と地産地消の意識向上を図ることを目的とする。	①小学生の標茶農園体験はコロナ禍の影響で未実施。 ②標茶高校産野菜を使用したカレーライスの提供 <実施日>(1)令和3年8月31日(火)、9月29日(水)		標茶中央学校給食共同調理場
釧路	標茶町/離乳食学習会	離乳食について正しい知識を持ち、発育に応じた食生活を理解し、将来様々な食べ物をよく噛んで食べられることを目指す。	日時:年6回場所:ふれあい交流センター対象者:3か月児から5か月児とその保護者内容:講話(離乳食の進め方や発達の様子)担当:町管理栄養士*感染症対策のため一部内容を変更して実施	9	保健福祉課母子保健係

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
釧路	標茶町/パパママ教室	妊婦とその夫を対象とし、講話、実技を通して妊娠中の過ごし方や、安心して出産・育児に臨むための知識の提供。また妊婦同士の交流と仲間づくりの場となることを目的としている。	日時:年3回場所:ふれあい交流センター対象:妊娠の届出からおむね妊娠8か月までの妊婦と夫 内容:講話「妊産婦のための食生活」①妊娠中の栄養、体重管理について②出産後、授乳期の栄養担当:町管理栄養士*感染症対策のため一部内容を変更して実施	7	保健福祉課母子保健係
釧路	弟子屈町川湯保育園	いろいろな野菜を育てて収穫し食べることを楽しむ	0~5歳児 7月~9月 川湯保育園園庭 ミニトマト、ナス、ピーマン、きぬさや、白かぶを何度も収穫して観察して絵を描いたり、給食で食べたりした。	26	健康こども課 (川湯保育園)
釧路	弟子屈町川湯保育園	食材に触れての料理体験	5歳児 クリスマスケーキ作り(12月22日) ホットケーキ作り(3月24日) カリカリピザ作り(3月28日)	6	健康こども課 (川湯保育園)
釧路	弟子屈町川湯保育園	協力し合い食材に触れての料理体験	2~5歳児 2月16日 川湯保育園内 カレー作り~2歳児は野菜を洗う、3歳児は人参の皮むき、4、5歳児は野菜を包丁で切るなど手分けしての調理体験。	20	健康こども課 (川湯保育園)
釧路	弟子屈町川湯保育園	簡単おにぎり作り体験	2歳児(6/1、6/15、6/29、7/13、8/24) 3歳児(6/15) 4、5歳児(8/24)	20	健康こども課 (川湯保育園)
釧路	弟子屈町川湯保育園	自然に触れて食を楽しむ	4、5歳児 5月25日 保育園裏の林 コゴミ、ヨモギ摘みをして、おやつにコゴミの天ぷらとヨモギ入りイモだんごを食べた。 3月4日 園庭で缶蹴りをして遊びながらアイスクリームづくりをして、おやつで食べた。	9	健康こども課 (川湯保育園)
釧路	弟子屈町川湯保育園	収穫した食材を使っでの料理体験	3歳児 9月13日 川湯保育園内 人参ホットケーキ作り	7	健康こども課 (川湯保育園)
釧路	弟子屈中学校、川湯小学校	食育調理実習を通じて食への興味関心を育む	①弟子屈中学校1年生/10月12日、13日/ハンバーグ作成/51人 ②川湯小学校5年生、6年生/10月26日/かぼちゃ料理/11人 ③弟子屈中学校1年生2年生/12月6日、9日、21日、22日/鮭のムニエル、ミネストローネづくり/95人 ④川湯小学校3年生、4年生/12月23日/ポトフづくり、13人 ⑤弟子屈中学校特別支援学級/1月28日/簡単にできるおやつ作り/6人	176	給食センター
釧路	美留和小学校	食育調理実習を通じて食への興味関心を育む	美留和小学校/12月24日/全校生徒4人/簡単に作れる料理の調理実習	4	健康こども課 (健康推進係)
釧路	川湯小学校	食育調理実習を通じて食への興味関心を育む	川湯小学校/1年生~4年生/10月27日、11月15日、25日/生活習慣病の予防、簡単に作れる朝食の調理実習	25	健康こども課 (健康推進係)
根室	標津小学校、川北小学校 「酪農体験学習」	・標津町の基幹産業である酪農業について、自ら体験をしながら学習し、理解を深める。 ・酪農、漁業の仕事の大変さ、生産から消費者の口にはいるまでの過程をふるとして学習として実施。	時期12月 場所各小学校 内容農業者の講話、酪農運動会、乳製品づくり体験	50	標津町教育委員会生涯学習課
根室	標津中学校 「酪農体験学習」	・標津町の基幹産業である酪農業について、自ら体験をしながら学習し、理解を深める。 ・酪農、漁業の仕事の大変さ、生産から消費者の口にはいるまでの過程をふるとして学習として実施。	時期2月 場所各小学校 内容農業者の講話、牛乳を使った調理実習	25	標津町教育委員会生涯学習課

(2) 食育の啓発に関わる事例
イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
空知	赤平市/からだ測定会	自分の身体や生活習慣を見つめなおし、改善へ向けた取り組みをはじめるきっかけとする	10月9日(土)交流センターみらい ・1食のメニュー展示・1日の野菜摂取推奨量の展示 ・体成分測定・骨量測定・血管年齢測定・血圧測定・パンフレット、減塩食品の配布	38	介護健康推進課
空知	南幌町 野菜を食べよう! 南幌小学校スーパカレーセミナー	農業や農産物のPR及び児童への食育の推進を目指し、食育を核としたまちの活性化を図るため、町民と行政が連携して事業を実施することで、町の魅力をPRすることを目的としている。	○対象 小学6年生 ○場所 南幌町立南幌小学校 ○内容 12月 札幌で人気スーパカレー「らっきょ」の井手剛氏を招き、食育セミナーを行い終了後に地元農産物を使用したスーパカレーを給食として提供し。	60	産業振興課
空知	上砂川町/食育講演会2021	上砂川町の健康課題の児童の朝食欠食率の改善のため「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育むための基礎を身につけるため	対象:小学4~6年生 時期:令和3年10月27日(水) 場所:上砂川町立中央小学校 内容:授業の一環として実施。体作り、回復のための材料は食事であり、5大栄養素の必要性や睡眠と食事の質と食べる時間についてなどの話であった。児童から「食事によって勉強や運動にも関係しているのが分かった」「ジュースの砂糖の多さに驚いた」や「寝ているときに成長ホルモンが筋肉を作ることが分かった」などアンケートに多くの感想が寄せられた。 参加数:4年生14人、5年生16人、6年生10人の計40人	40	福祉課保健予防係
空知	長沼町/教育委員会	長沼町生涯学習講座において冷蔵庫整理で食品ロスや食材の使い切り等を学ぶ	対象:一般町民 時期:12月15日 場所:長沼町総合保健福祉センターりふれ 講師:おうちスタイリスト札幌 内容:長沼町生涯学習講座 冷蔵庫整理講座	25	教育委員会社会教育課
空知	栗山町 健康教育(栄養)	各団体等からの依頼を受け栄養に関する講話を体験を交えながら実施し、生活習慣病予防の普及啓発、食生活を見直し、食生活に取入れる機会とする。	□時期:依頼に応じて実施 □概要:依頼に応じて栄養をテーマにした内容で講話・個別相談を実施 □実施回数・実績 老人クラブ等:2回33名	33	住民保健課
空知	新十津川町 食育の日	保育園児が食に関する興味や関心を持つことにより、自分の健康を守ることができるようになる。	【時期】毎月19日前後 【場所】保育園 【対象者】保育園児 【内容】「食育の日」として、保育士から園児に対して、紙芝居やペープサートなどの媒体を使用して、食に関する知識の普及啓発活動を実施。	100	保健福祉課子育て・福祉グループ
空知	新十津川町 学童栄養教室 (新十津川町食生活改善推進員協議会との共催事業)	小学生を対象に講話とデザート試食提供を実施することにより、食に関する関心や興味を持ち、健康な体と伸びやかな心を育む。	【時期】年1回(12月7日) 【場所】小学校 【対象者】小学4年生 【内容】「野菜をもっと食べよう」をテーマに、講話と試食提供を実施。講話では、町の栄養士が「トマトの栄養」、「緑黄色野菜と淡色野菜の分類」について行い、給食時に手作りデザートを試食提供する。 【テーマ】野菜をもっと食べよう 【メニュー】トマトのかくれんぼゼリー	46	保健福祉課健康推進グループ
石狩	札幌市/ 講師派遣講座(食味テスター事業)	道産食品を使った調理体験を交えた講座を通じ、道産食品に対する関心や表示に対する理解を深めるとともに、地産地消を推進する	「ホタテガイ加工の研究事例から」 時期:令和3年7月15日(木) 場所:札幌エルプラザ 会議室1.2 講師:北海道立総合研究機構 中央水産試験場 受講者:食味テスターとして登録された市民 内容:ホタテガイ加工の研究事例とホタテガイを加工した商品「貝柱フレーク」の開発経緯等について	22	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市/ 講師派遣講座(食味テスター事業)	道産食品を使った調理体験を交えた講座を通じ、道産食品に対する関心や表示に対する理解を深めるとともに、地産地消を推進する	「北海道産小麦の魅力と『おまち道産』シリーズのできるまで」 時期:令和3年8月24日(木) 場所:札幌エルプラザ 会議室1.2 講師:北海道製麺協同組合 受講者:食味テスターとして登録された市民 内容:道産小麦の魅力と道産小麦を使用した麺のブランド「おまち道産」シリーズの開発経緯等について	18	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市/ 講師派遣講座(食味テスター事業)	道産食品を使った調理体験を交えた講座を通じ、道産食品に対する関心や表示に対する理解を深めるとともに、地産地消を推進する	「乳製品とプロテイン」 時期:令和3年11月4日(木) 場所:札幌エルプラザ 会議室1.2 講師:酪農学園大学 受講者:食味テスターとして登録された市民 内容:プロテインの効果や、身体への作用等について	16	市民文化局 市民生活部 消費生活課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
石狩	札幌市/ 講師派遣講座(高齢者向け)	食育を含む消費生活に関する講座を開催し、知識や理解を深める	「～健康寿命を延ばすため～バランスのとれた食事とは」 時期:令和3年7月13日(火)、16日(金)29(木) 場所:介護予防センターまこまない 講師:吉田 陽子 受講者:介護予防センターまこまない利用者 内容:バランスの取れた食事の重要性と健康寿命との関係性について	20	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市/ 消費生活講座	食育を含む消費生活に関する講座を開催し、知識や理解を深める	「ダシの秘密にせまる～削り節の飲み比べ～」 時期:令和3年10月29日(金) 場所:札幌エルプラザ 体験テスト室 講師:独立行政法人の売り水産消費安全技術センター札幌センター 受講者:市民 内容:JAS制度と削り節について	20	市民文化局 市民生活部 消費生活課
石狩	札幌市/小中学校向け派遣講座	エンカル消費を学ぶ	エンカル消費を学ぼう 時期:令和3年11月15日(月) 場所:北海道札幌視覚支援学校 講師:札幌消費者協会 受講者:1,2年生 内容:ガーナのカカオ農家の生活や児童労働、フェアトレードを通して、エンカル消費を考える。	14	市民文化局 市民生活部 消費生活係
石狩	札幌市/小中学校向け派遣講座	バランスの取れた食事について学ぶ	バランスの取れた食事とは 次期:令和3年11月18日(木)、19日(金) 場所:札幌市立豊明高等支援学校 講師:札幌消費者協会 受講者:2年生 内容:バランスの良い食事と、塩分の摂取について学ぶ。「食事バランスガイド」について学び、五大栄養素の役割やバランスの良い食事について考える。また、ポテトチップスと醤油のラベルから、塩分摂取量について考える。	34	市民文化局 市民生活部 消費生活係
石狩	恵庭市/ 食育講演会	市民及び関係者が食育についての理解を深め、共に食育推進に取り組めるよう普及啓発を図る。	・時期:令和3年11月19日(金) ・場所:えにあす ・対象:市民 ・テーマ:食で育む子どもの未来 ～星澤流の食育、伝授します～ ・特記事項:講演内容をより広く周知するため、実施後講演内容をまとめた「恵庭市食育講演会ダイジェスト版」を発行。市内関係機関に配布し、恵庭市ホームページにも掲載。	33	保健福祉部保健課
石狩	恵庭市/ 食育推進展示(えにあすの食育展)	・関係機関や団体での食育の取組みを紹介し、食に関する知識や情報を伝え、市民の食に対する関心を高める。	・日程と会場: 6～7月 図書館、えにあす、恵庭駅 11月 えにあす(食育講演会と同時開催) ・対象:市民 ・展示内容:食育取組み紹介パネル展示(北海道文教大学・若手農業生産者団体・子育て支援課・学校給食センター・教委社会教育課・商工労働課・保健課)、給食メニューレシビ、食育関連冊子、食育すごろく配布	355	保健福祉部保健課
胆振	白老町 出前講座		町内の団体やグループ(5人以上)が行う研修会等から依頼を受けて、保健師・管理栄養士等を講師として派遣し、講座メニューに合わせた健康教育を行った。R3年度も昨年度に引き続き、コロナウイルス感染拡大の懸念から、毎年講座を行っている団体からの依頼がなかった等で回数や人数が激減し、の実施となった。	44	健康福祉課
胆振	白老町 食育月間 図書館展示		町立図書館にて、食品ロス削減と正しい食品の保存をテーマに展示を行い、図書の紹介とリーフレットの配布を行った。		健康福祉課 町立図書館(生涯学習課)
胆振	苫小牧市 出前講座	ごみ減量の観点から「食品ロス」に関する市民向けの出前講座を行う中で、次の世代の担い手である子供たちの意識の向上を図る。	希望を受けて、随時出前講座を行っている。 未就学児を含む児童生徒への実績は下記のとおり。 (勇弘小学校、豊川小学校、沼ノ端児童センター)	97	環境衛生部ゼロごみ推進室ゼロごみ推進課
胆振	苫小牧市/食育人材バンク	食育に関わるさまざまな分野で専門的な知識や経験を有する方を講師として登録し、町内会やサークル等に派遣することで、市民の食育活動をサポートする。	対象:苫小牧市民 内容:希望を受けて、食育活動をする市民団体へ登録講師を派遣した。また、随時講師の募集も行っている。 ・平成31年4月から運用開始 ・令和3年度末時点で、個人・企業併せて10名の講師登録あり。 ・令和3年度派遣実績:1団体	13	健康こども部健康支援課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
胆振	苫小牧市／苫東・和みの森 木育と食育を体験しよう！(主催：北海道胆振総合振興局森林室)	子育て世代をはじめとする全世代に対し、木育と食育の大切さを伝える。	対象：苫小牧市民 時期：12月 場所：イオンモール苫小牧 内容：箸のマナーや地産地消を通じて食育への関心を高めるため、パネル展示や豆つかみ体験を行った。	237	健康こども部健康支援課
胆振	登別市 子育て講座(朝食パワーで元気いっぱい！)	朝食の大切さを知り、健康な体づくりのために必要な栄養素について学ぶことを目的とする。	◇対象 開放に遊びに来ている保護者と子ども ◇日時 令和4年3月18日(金)11時30分～12時00分 ◇場所 鷺別子育て支援センター ◇概要 理学療法士と食育インストラクターの資格を保有している講師を迎え、朝食の大切さと、食品の五大栄養素について分かりやすく説明してもらいながら、それぞれの食品や調理をする人になりきって楽しく体を動かす。	22	登別市保健福祉部こども育成グループ 鷺別子育て支援センター
胆振	登別市 へるしー親子相談	体組成計測定の結果から、子育て中の保護者が自身の日ごろの食生活を振り返り、美しく、健康に暮らすために適切な栄養管理のための改善点に気づくことができる。	◇対象 市内子育て支援センターを利用する保護者 ◇日時 月1回(計7回) ※5月、6月、9月、2月、3月はコロナウィルスの影響で中止 ◇場所 中央子育て支援センター、鷺別子育て支援センター、登別子育て支援センター、富岸子育てひろば ◇概要 体組成測定、保健師と管理栄養士による個別健康相談	22	登別市保健福祉部健康推進グループ
胆振	登別市 からだスッキリ運動教室	運動習慣がなく将来的に生活習慣病の発症や重症化の可能性がある19歳以上の市民に対し、健康づくりのための運動の重要性を伝えることにより、継続的な運動習慣を身につけるきっかけづくりとすることを目的とする。	◇対象 19歳以下の市民 ◇日時 令和3年10月28日(金) 令和3年12月3日(火) ◇場所 総合福祉センターしんた21 ◇概要 運動教室と生活習慣予防や栄養についての講話	18	登別市保健福祉部健康推進グループ
胆振	登別市 もぐもぐ食育ひろば	乳児期から基本的な食習慣を身につけることにより、将来的な生活習慣病の予防につなげる。	◇対象 7～8か月児と、その保護者 ◇日時 2か月に1回(計5回) ※2月はコロナウィルスの影響で中止 ◇場所 総合福祉センターしんた21 ◇概要 管理栄養士による講話、保育士による遊びの紹介(親子遊び・絵本の紹介)、個別相談	54	登別市保健福祉部健康推進グループ
胆振	室蘭市／0歳の親子講座『びびよクラブ』	子どもの発達にそった遊びを学んだり、子育ての悩みを共有したり楽しく子育て出来るよう、交流の場として、親子でできる遊びやカード作り、離乳食の講話を行う	対象：0歳児とその保護者 時期：月1回(計12回のうち4回離乳食のお話を実施) ※5月と8月はコロナウィルスの影響で中止 場所：室蘭市子育て世代包括支援センター「こころん」 内容：離乳食後期～完了期を対象に、食材の大きさ、味付け、進め方等の講話、個別相談、ふれあい遊び 参加人数内訳：親子9組	18	保健福祉部子育て支援課子育て世代包括支援センター
渡島	福島町／子育て支援センターの参加者を対象とした食育教室	幼児の保護者を対象とした食育の普及・啓発	対象：幼児親子 時期：7月1日、9月30日 内容：次のテーマで講話を実施 ①離乳食について 幼児8人、保護者7人 ②お米について 幼児2人、保護者2人	19	福祉課
上川	愛別町／ぐんぐん広場	乳幼児の食生活の中で、食の基本や栄養のとりの必要性を知ってもらうこと、また、家族で減塩を心がけ、子どもの食事やおやつ選びの参考にできることを目的とする。	対象：0～3歳までの子を持つ保護者 実施日時：令和3年11月9日 場所：子育て支援センター 内容：子育て支援センターの事業の一環として、「子どもの食事」というテーマで講話をした。(年齢ごとの食事のとり方、食事量の目安、塩分について)	5	保健福祉課
上川	旭川市／出前講座「あさひかわの農産物と地産地消」	旭川の農業や農畜産物についての出前講座を行うことで、地域農業への理解や地産地消への意識の向上を図る。	*対象：旭川市民等(2回) *場所：市内 *時期：令和3年4月～令和4年3月 *内容：市農政部職員による旭川の農業や地産地消についての出前講座。	31	農政部農業振興課
オホーツク	網走市/プレマクラブ(母親学級)	母性及び児の健康の維持・増進を図るため知識の普及を行う	対象：妊婦(主に初妊婦) 1コース3日間「妊娠中の栄養のポイント」として栄養士による講話を実施。 個別に食事票を記入して記入した食事内容に基づき個別のアドバイスを行っている。	14	健康福祉部健康推進課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
オホーツク	網走市/食育パネル展	市民へ食育の浸透を図る。	・食育用のパネルを展示するとともに、リーフレットなどの提供を行う。		健康福祉部 健康推進課
オホーツク	網走市/市民健康展(食育推進コーナー)	当市の食育推進活動を市民に知ってもらう。	・食育をテーマとしたアンケートを実施した。また、食育推進パネル・パンフレットで当市の食育促進活動をPRした。	90	健康福祉部 健康推進課
オホーツク	網走市/市民健康展(地産地消コーナー)	網走市の地場産農産物についての周知を図る	もち麦に関するパネル展示を行い、網走市の地場産農産物のPRを行った。	90	農林水産部農林課
オホーツク	佐呂間町 子育て支援事業 パパママたまたご教室	子育て情報を提供することで保護者の不安の軽減を図る	【対象】妊婦～0歳児を育てる母親 【日程】令和3年12月22日 【場所】子育て支援センター 【内容】離乳食の月別別調理携帯や量の見本を用意し、実際に目で見て学べるようにしている。調理器具と食材(おかゆ、茹で野菜)を用意し、参加者が調理作業を体験できるようにしている。	7	保健福祉課 子育て支援センター
オホーツク	滝上町(滝上町教育委員会)	生きる上で大切な「食」と、暮らしと地域に豊かさをもたらす「交流」の関係性と重要性を説き、食育を意識した活動の普及を図るとともに、食育リーダーの養成も兼ねる。	対象: 滝上町民 時期: 11月27日 講師: 佐々木十美氏(置戸町食のアドバイザー) 場所: 文化センター(ロビー)講演・試食会(実習室)カレー調理実習 実施内容 ①「愛情ポークカレー&ひと手間チキンカレー」を講師と参加者が交流しながら実習、試食会を実施 ②「生きることは食べること」についての講義 ③置戸町の給食における取り組みと、その効果とポイントを学ぶ。 ④新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えた、食の取り組みについてヒントを習得。	22	生涯教育課
十勝	新得町/屈足わすれん塾・新得わすれん塾栄養教育	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者: 高齢者 ●時期: 7月6日7月7日 ●場所: 屈足総合会館、保健福祉センターなごみ ●内容: 高血圧の予防と減塩について	46	保健福祉課在宅支援係・健康推進係
十勝	新得町/麻雀サロン栄養教育	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者: 高齢者 ●時期: 9月2日 ●場所: 保健福祉センターなごみ ●内容: 高血圧の予防と減塩について	19	保健福祉課健康推進係
十勝	新得町/ほっとクラブ栄養教育	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者: 高齢者 ●時期: 11月22日 ●場所: 新得労働会館 ●内容: 高血圧の予防と減塩について	18	保健福祉課健康推進係
十勝	新得町/転ばん塾・屈足バランス教室栄養教育	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者: 高齢者 ●時期: 12月14日12月15日 ●場所: 公民館ふれあいホール、屈足さわやかホール ●内容: 骨粗鬆症を予防する食事のポイント	19	保健福祉課在宅支援係・健康推進係
十勝	新得町/寿大学栄養教育	正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●対象者: 高齢者 ●時期: 1月20日 ●場所: 公民館ふれあいホール ●内容: 主食、主菜、副菜を組み合わせたバランスの良い食事について	49	教育委員会
十勝	帯広市/食育講座	保育所入所児童の保護者に対し、乳幼児期の食の大切さを伝えるもの。	対象: 保育所入所児童の保護者 場所: 保護者懇談会や保育参加、給食試食会等の行事に合わせて保育所で実施 内容: 子育て栄養士が講師となり、15～30分程度講話を行う <主な内容> ○朝ごはんについて ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で5回のみ実施	48	市民福祉部子ども福祉室子ども課
十勝	帯広市/帯広市民大学講座	市民が生涯にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう啓発していくもの。	対象: どなたでも参加可能 時期: 令和3年度は3回実施(7/1,7/9,11/2) 場所: とからプラザ(帯広市西4条南13丁目1番地) 内容: 地産地消など、地域に根ざした「食」や「農」にかかわる講座の開講	99	生涯学習部生涯学習文化室生涯学習文化課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
十勝	帯広市/地域リハビリテーション活動支援事業「リハビリ専門職派遣事業」(栄養士)	65歳以上の自主活動団体及び介護予防普及啓発事業参加者へリハビリ専門職(栄養士)を派遣し、介護予防に関する知識や情報を普及啓発することにより高齢者の自主的な活動を支援する。	対象:65歳以上の自主活動団体及び介護予防普及啓発事業参加者 時期:随時(5月~3月) 場所:市内コミュニティーセンター等 回数:自主活動団体10回(92人)、介護予防普及啓発事業げんき活動コース27回(178人) 内容:栄養士による、栄養や食生活に関する講話	270	市民福祉部地域福祉室地域福祉課
釧路	釧路市「短期集中予防サービス(口腔機能向上プログラム)」	要支援認定を受けている方や、生活機能に低下がみられた高齢者を対象に、口腔機能を向上するための短期的な指導を行い、要介護状態となることを予防する。	口腔機能の評価、口腔トレーニング、口腔に関する講義・歯磨きや入れ歯の手入れの指導等。	35	介護高齢課
釧路	釧路市/小・中学生口腔衛生指導教室	口腔衛生に対する正しい知識をもち、健全な生活習慣・食習慣を身につけて実践することにより、虫歯・歯周病疾患の発生を予防する。	対象:音別小学校3・4年生、音別中学校1~3年生(小学校については隔年実施のため、R3年度は実施無し。) 時期:10月19日 場所:音別中学校 内容: ・歯に関する事前アンケートの実施 ・中学校養護教諭による虫歯予防や歯肉炎予防に関する講話・ブラッシング指導 ・嗜好品の砂糖含有量についての説明と媒体展示	25	音別町行政センター保健福祉課
釧路	釧路市子育て教室「はじめての離乳食」	離乳食の進め方と基本を学ぶ	4~6か月の乳児を育てる母親を対象に、母乳育児や離乳食、子どもとの関わり等について学ぶ教室を年4クール(1クール4回)開催。「はじめての離乳食」の回は、離乳食の進め方と基本を学ぶ事を目的に、実演や試食などを交えて例年開催している。(今年度はコロナ禍のため、試食等は行わなかった)	124	こども育成課
釧路	釧路市子育て講座「気持ちを楽しく！こどもも大人も楽しめる食事」	市販の材料の上手な活用法や食事作りの大事なポイントを学ぶ	0歳~就学前の子を持つ母親等を対象に、子育てに役立つ知恵や知識について学んだり、親子で楽しめる色々な講座(「乳菌のお手入れ」「救急法」など)を開催。「気持ちを楽しく！こどもも大人も楽しめる食事」の回は、市販材料の上手な活用法や食事作りのポイントを学ぶ事を目的としている。	48	こども育成課
釧路	釧路市子育て講座「おさかな料理教室」	子育て中の家族に釧路の旬の魚を知ってもらい、さばくところから調理の仕方まで学ぶ	0歳~就学前の子を持つ母親等を対象に、子育てに役立つ知恵や知識について学んだり、親子で楽しめる色々な講座(「乳菌のお手入れ」「救急法」など)を開催。「おさかな料理教室」の回は、子育て中の家族に釧路の旬の魚を知ってもらい、さばくところから調理の仕方まで学ぶことを目的としている。	21	こども育成課
釧路	釧路町/令和3年度食育推進事業食育教室(地域支援事業)釧路めぐみ幼稚園	今年度の園の保育テーマ「ほっかいどう」の学びを深めるため、北海道の食べ物を知ること。	令和3年11月8日(月) 場所 釧路めぐみ幼稚園 講師 町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士「ほっかいどうのたべもの」園児70名教諭10名	80	健康福祉部こども健康課母子保健係
釧路	釧路町/令和3年度食育推進事業食育教室(地域支援事業)白梅幼稚園	食べ物の体での働きや3つのグループ分けについて知ることによってバランスよく食べることの大切さを学ぶこと。	令和3年12月3日(金) 場所 白梅幼稚園 講師 町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士満3歳・年少(20名)「どんなやさいがあるのかな?やさいのたいせつさ」 年中(21名)「すききらいするとどうなるの?たべものはたらき」 年長(23名)「あか・きいろ・みどりでわかる たべものはたらき」 他教諭等5名	69	健康福祉部こども健康課母子保健係
根室	根室市/離乳食教室(前期~中期)	第1子目の保護者に対し、離乳食の重要性や離乳食の進め方や調理方法等について説明することで、児の健全な成長を支援するとともに、保護者が持つ離乳食に対する悩みの軽減を図る。	対象者:生後3~4か月の子を持つ第1子目の保護者(希望があれば2子目以降の保護者も参加可能) 時期:偶数月(年6回) 会場:根室市総合文化会館 内容:離乳食の始め方や各月齢の離乳食のポイントについての講義	44	市民福祉部保健課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
根室	根室市／離乳食教室(後期～完了期)	第1子目の保護者に対し、離乳食の重要性や離乳食の進め方や調理方法等について説明することで、児の健全な成長を支援するとともに、保護者が持つ離乳食に対する悩みの軽減を図る。	対象者:生後8～9か月の子を持つ第1子目の保護者(希望があれば2子目以降の保護者も参加可能) 時期:奇数月(年6回) 会場:根室市総合文化会館 内容:各月齢の離乳食のポイントについての講義	40	市民福祉部保健課
根室	根室市／食育劇	バランスのよい食べ方、おやつや望ましい食べ方、歯みがきや朝ごはんの大切さを伝え、規則正しい食生活の実現に繋げる。	対象者:市内保育所幼稚園の全乳幼児 時期:5～7月 会場:各保育所・幼稚園 内容: DVDを各保育所・幼稚園へ配布(上映は各園で実施)※ DVDの内容はペープサート劇で食事バランスや間食の望ましいとり方、朝食の大切さを題材としたオリジナル。 食育アンケートの実施 食育だよりの配布。	594	市民福祉部保健課
根室	根室市／パパママ学級	妊娠期を食育のスタートと捉え正しい食習慣を身につける妊娠期に必要な食事について理解する	対象者:初産の妊婦とパートナー 時期:通年(1期4講座、年4期開催) ※新型コロナウイルスにより令和3年度開催実績は1期分(3期)のみ 内容: 1講座…妊娠期・授乳期の食事(講義) 4講座…新ママ交流会 動画配信…新型コロナウイルスによる中止や仕事等で欠席される方を対象に市で作成した講座動画の視聴を案内。	4	市民福祉部保健課
根室	羅臼町 離乳食教室	望ましい離乳食の進め方とその実際(食品の選定とその調理法、形態など)を知り、乳汁栄養から離乳食、幼児食への移行が適切にできる事を目的とする。	開催月:11, 3月 午前・午後 年4回 対象者:スタート編2～4か月児とその母親、ステップアップ編9～11か月児とその母親 内容:スタート編:栄養士による離乳食の進め方についての講話・離乳食の作り方/保健師による育児相談・計測 ステップアップ編:月齢にあった離乳食について栄養士及び歯科衛生士による歯科指導をパワーポイントにて講話・相談	11	保健福祉課
根室	羅臼町教育委員会 家庭教育学級	食育に関する知識の習得や食に関する適切な判断力を養い、生活習慣を整えるケア行動がとれる人材育成を目指す。	◎らうす寺子屋kids 内容:長期休業期間中に、絵本の読み聞かせと体験活動を連動させて、日本の伝統食に対する気づきを促す食育教室。 運動プログラム・体験プログラム(手作り絵本作成・読み聞かせと調理体験)・学習プログラム・親子プログラム(食育教室)で、子供たちが飽きないように実施。 日時:7月31日～8月2日 1月8日～1月10日 対象:小学校1～3年生	19	羅臼町教育委員会社会教育課
根室	羅臼町教育委員会 家庭教育学級	食育に関する知識の習得や食に関する適切な判断力を養い、生活習慣を整えるケア行動がとれる人材育成を目指す。	◎羅臼高校家庭科授業講師対応 内容:家庭科教科書に記載の乳児・幼児の食生活の内容について、乳汁栄養から離乳食・幼児食までの流れの講話と、実際に調理と試食を体験してもらい、プレ親期への気持ちの準備や動機付けを図る。 日時:7月9日 対象:高校1年生	7	羅臼町教育委員会社会教育課

(2) 食育の啓発に関わる事例
ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
空知	芦別市 広報あしべつ「食育だより」	市の広報を通じて、食育に関する情報や市内の食育取組事例を紹介し、広く食育を推進するとともに食育への関心を高める。	広報あしべつ「食と健康のひろば」に年6回掲載(健康推進係、農政係、生涯学習係、子どもセンター保育園、学校給食センター、芦別地区栄養士会) 行政や食育関係団体の食育取組の様子を具体的に明示し、食育への関心を高められるよう努めている。記事では写真やイラスト等をいれて、読み手にイメージしてもらいやすい様に工夫をしている。	市民福祉部健康推進課健康推進係
空知	赤平市／広報あかびら	健康的な生活のために広く市民に周知する	市民の食生活を様々なデータを基に分析し、傾向や改善方法等を周知する。 ①7月号 食中毒予防 ②1月号 食事を見直そう	介護健康推進課
空知	赤平市／菌みがき教室	食習慣の観点からむし歯予防を啓発する	幼稚園児・保育所に通う2～5歳児の保護者に対して実施。 6月 よく噛む習慣を身に付けよう 12月 旬の食材を食べよう	介護健康推進課
空知	赤平市／ほけんだより	対象者が取組みしやすいように身近な話題や簡単な調理方法を合わせて紹介する	幼稚園・保育所に通う園児の保護者に対して実施。 6月 食育月間	介護健康推進課
空知	滝川市 広報たきかわ 健康レシピ	市の広報を通じて、季節に応じた地産地消など、家庭で簡単にできるレシピの提供を行う。	5月号 旬のふきのガーリック炒め 7月号 旬のトマトで減塩 豚肉の生姜焼き 9月号 かぼちゃのガーリックきんぴら 11月号 しいたけのさつまいも入り肉詰め 12月号 クリスマスリースサラダ 3月号 菜ばなの「茹でない」おひたし	健康づくり課 企画課
空知	滝川市 図書館展示	減塩を主とした啓発を図書館を使用し行い、広く食育への関心を高める。	食育月間に合わせた展示を実施 期間 6月21日から7月20日	健康づくり課 社会教育課
空知	滝川市 FM G-Sky	FM放送を利用し食育の意義を知り、健康への関心を高める。	各回のテーマに合わせ、パーソナリティと対話方式で放送。 放送月 5月 歯と口の健康習慣について 8月 減塩について 11月 食育・和食の日について 1月 生活習慣病の予防・ヘルシー食生活について 2月 オーラルフレイルについて	健康づくり課
空知	奈井江町	広く町民に健康に関する食の情報普及啓発する。	広報6月号「早寝早起き朝ごはん」 広報10月号「糖尿病の重症化予防について」 各テーマに沿って、広報誌での普及啓発を行った。	保健福祉課
空知	栗山町 広報くりやま「今月のいただきます」	旬の農産物を使用したレシピを提供することにより、健康及び地産地消を意識してもらおう。	【時期】4月～3月の計12回 【内容】美味しく栄養バランスの取れた、地産産食材を使ったレシピを町の管理栄養士が考案し、町広報の「くらしのカレンダー」に連載	住民保健課
空知	新十津川町 広報しんとつかわ 「こんにちは、ヘルスメイトです」	町の広報誌を通して、食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】12月、3月の計2回 【内容】食生活改善推進員協議会の活動内容の紹介と、事業の中で実施したメニューの中から、特に町民におすすめしたいメニューを掲載。	保健福祉課健康推進グループ

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
空知	新十津川町 広報しんとつかわ 「健康だより」	町の広報誌を通して、食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】保健師と栄養士で分担して、毎月掲載。栄養士が担当時に、食に関する内容を掲載。 【内容】 6月：水分ととろう 1月：食物繊維で生活習慣病を防ぎましょう	保健福祉課健康推進グループ
空知	新十津川町 プレス空知 (中空知地域の新聞) 「体にやさしい健康レシピ」	食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】4月、6月、1月の計3回 【内容】食生活改善推進員協議会が考案したレシピの中からおすすめのレシピを掲載。	保健福祉課健康推進グループ
石狩	札幌市／ 札幌市公式ホームページ 食育情報	市民の食育への関心を高め、広く情報を提供する。	・札幌市食育推進計画・取組 ・食育活動紹介 ・食育・イベント活動紹介投稿 ・サポーター紹介・募集 ・栄養成分表示の店 ・食育・栄養関連資料 等	保健福祉局 保健所 健康企画課
石狩	札幌市／ 札幌市公式ホームページ 令和3年度ごみ減量キャンペーン	食品ロスの削減をテーマにしたキャンペーン情報を提供する	定期的な冷蔵庫整理、小分け・ばら売りの活用、商品の手前取りを呼び掛ける啓発動画・パンフレットや企画・イベント情報の掲載など	環境局 環境事業部 循環型社会推進課
石狩	札幌市／ Facebookページ さっぽろコミュニケーション	食品ロスの削減をテーマにしたキャンペーン情報を提供する	食品ロス削減に関するコラム(定期的な冷蔵庫整理、食品が長持ちする保存法、商品の手前取り実践、見切り品活用の呼び掛け)や企画・イベント情報の掲載など	環境局 環境事業部 循環型社会推進課
石狩	札幌市／ 札幌市公式ホームページ 事業系生ごみの削減	食品ロスの削減に関する取組情報を提供する。	・「さっぽろ学校給食フードリサイクル」の紹介 ・「ドギーバッグ」、「2510(ニコット)スマイル宴(うたげ)」、 食べきり・手前取りの啓発動画、事例集など食品ロス削減に関する取組紹介	環境局環境事業部事業廃棄物課
石狩	札幌市／ 札幌市公式ホームページ さっぽろ子育て情報サイト 保育園の食育・レシピ集	乳幼児期からの望ましい食習慣形成のための情報を提供する。	・保育園の食育取組事例紹介 ・食育資料集(ポスター、リーフレット等) ・保育園のレシピ紹介 ・ラクラク離乳食紹介など	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援課
石狩	江別市／食育だよりの発行	市立保育園の園児の保護者に対して食育の重要性を啓発する。	年2回、保護者全員に対して食育だよりを配布する。	健康福祉部子ども育成課
石狩	江別市／ 広報	市民の食からの健康意識を高める	生活習慣病予防などを目的とした記事の掲載 時期：9月	健康福祉部健康推進室保健センター
石狩	江別市／ 認定こども園及び幼稚園児と保護者向け朝ごはん啓発資料の配布	若い世代の野菜摂取推進、朝食習慣の啓発を図ることにより健康意識を高める	朝食の重要性や、簡単朝ごはんレシピを掲載した親子向けの冊紙を作成し、市内認定こども園及び幼稚園の保護者に配布 時期：2月	健康福祉部健康推進室
石狩	千歳市／ 食育パネル展	食育事業に係る関係部署と連携し、食育をテーマにしたパネル展を開催することにより、市民が食育の重要性及び、食に関する正しい知識について理解を深めてもらう	【開催期間】 令和3年6月12日(土)～18日(金) 【展示場所】 千歳市総合福祉センター1階ロビー 【開催内容】 1.食育事業に係る関係部署、関係団体の食育の取り組みについて紹介するパネル展示 2.食と健康づくりに関するパネル展示、リーフレットの設置 3.第3次千歳市食育推進計画概要版の設置、千歳市食育推進マークのPR	保健福祉部 健康づくり課
石狩	千歳市／ 生ごみ堆肥化啓発 生ごみ処理機等購入費助成事	家庭ごみの減量	・「段ボール生ごみ堆肥化セット」の配布 ・「電動生ごみ処理機」、「コンポスト」等の購入費の助成	市民環境部 環境センター 廃棄物対策課
石狩	千歳市／ 千歳市ごみ減量アイデア集	家庭ごみの減量	食品廃棄物を含む、家庭ごみの減量に関するアイデアを市民から募集して作成した千歳市ごみ減量アイデア集をホームページに掲載	市民環境部 環境センター 廃棄物対策課
石狩	千歳市／ 千歳市ホームページ 「公設卸売市場」	市場の情報や野菜・果物など、食に関する情報の提供	・旬の食材紹介 ・市場紹介 ・関連行事など	産業振興部 千歳市公設卸売市場
石狩	恵庭市／「食育だより」の発行	食生活に関する情報や問題を取り上げ、正しい「食」に対する知識の周知と、不足しがちな栄養素を補う献立などを家庭に紹介するため	回数：月1回の年12回 内容：毎月の給食だよりの裏面に掲載し、学校をとおして児童・生徒へ配布するほか、恵庭市のホームページに掲載。	教育部 学校給食センター
石狩	北広島市／ 広報誌8月1日号特集	食育に関する言葉や意味を理解し、認知度の上昇につながるよう、市民へ周知を図る。	【テーマ】健康な食生活のために 【内容】 単純糖質と複合糖質 血糖値を上げない食事のとり方	保健福祉部 健康推進課
石狩	当別町／野菜350g普及事業	生活習慣病予防に効果的な野菜350gを摂取している住民の割合が少ない現状に対し、1日に必要な野菜摂取量とその必要性について伝え	8月31日「野菜の日」にちなみ、広報とうべつ8月号に野菜の効能や手軽に調理できる野菜レシピを掲載。レシピについては、当別町食生活改善協議会と協働で作成。	福祉部保健福祉課健康推進係(当別町食生活改善協議会と協働で記事作成)
石狩	当別町／レシピカードの周知	生活習慣病予防に必要な1日350gの野菜摂取をサポートする手段として実施	町内の施設3カ所にレシピカードの設置と町ホームページにも掲載。野菜の調理方法を紹介し、野菜摂取の普及啓発を図る。レシピについては当別町食生活改善協議会と協働で作成。	福祉部保健福祉課健康推進係(当別町食生活改善協議会と協働で作成)
後志	寿都町/寿都町食育推進委員会	食育の普及啓発	役場庁舎内に食育普及ポスターの掲示	寿都町役場町民課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
後志	寿都町/寿都町食育推進委員会	食育の普及啓発	寿都町広報誌への食育関係情報の掲載(栄養・レシピ等、奇数月に掲載)	寿都町役場町民課
後志	ニセコ町 広報ニセコへ「食と栄養のおはなし」を掲載	食事・栄養に関する知識の普及啓発	2ヶ月に1度広報に、食事・栄養に関する知識の普及啓発として「食と栄養のおはなし」を掲載。 ・5月 三色食品群について ・7月 ご飯の量について ・9月 減塩について ・11月 野菜について ・1月 生活習慣病予防料理 ・3月 介護予防料理	保健福祉課健康づくり係
後志	倶知安町	町民が健康や食生活について関心を持ち、食生活を充実させることで、健康維持していくことを目的とする	広報「くっちゃん」に月1回、そのときのテーマの話、それにちなんだ料理、レシピを掲載している。 例 2月 テーマ:しっかり食べてフレイル予防 レシピ:かに玉 7月 テーマ:夏休みは料理にチャレンジしてみよう レシピ:レンジでナポリタン	福祉医療課 保健指導係
後志	共和町/ みんなの食育	町のホームページを活用し、食育活動を紹介。幅広い世代に食育を呼びかける。	食育だよりや各部会の取り組みをリアルタイムに発信することで、幅広い世代に食育に触れるきっかけをつくる。 また、各部会がどんな取り組みをしているのか各関係機関で情報共有ができる。	産業課 農業振興係
後志	泊村	食育推進計画の周知	泊村食育推進計画が作成されたことを周知	産業課
後志	古平町 健康カレンダー	・保健事業の紹介や各種事業の結果について掲載し、町民への保健事業のPRと町における健康課題について周知する。 ・季節にあった疾病予防や健康増進のためのテーマをとりあげ、町民の健康づくりを啓	◇時期:月1回 ◇方法:町広報誌に折込み全戸配布 ◇内容:8月27日発行の広報9月号において、9月の食生活改善普及運動月間の周知に合わせ、バランスの良い食事、減塩の方法、乳製品摂取のすすめに関する記事を掲載した。	保健福祉課保健医療係
胆振	むかわ町/食育・地産地消の町 広報連載	地元の食材を取り上げ、地産地消の推進	令和4年3月の広報むかわから、地元食材の情報の連載をスタートした	農林水産課 教育委員会 健康福祉課
胆振	むかわ町/むかわ学YouTube	地元で生産されている食材の周知と地産地消の推進	地元の農業者や漁業者等への取材や食材の料理動画を、町教育委員会YouTubeで配信	農林水産課 教育委員会 健康福祉課
胆振	厚真町 広報あつま	バランスの良い食事、野菜増加普及啓発	内容:ベジアップレシピ(5、8、11、1月) バランスの良い食事(4月) 毎日いきいき過ごすための食習慣(9月) 野菜不足を解消しよう(2月)	住民課健康推進グループ
胆振	白老町	食に関する正しい知己の普及啓発	・町広報誌に、災害時の食についての記事掲載 ・町公式ホームページにて減塩やフレイル予防など様々な食のテーマに関する記事掲載	健康福祉課/危機管理室
胆振	苫小牧市/広報とまこまい6月号	市民の食育への関心を高めるため、市の広報誌にて情報発信をする。	対象:苫小牧市民 内容:食育とは何か、旬の食材についてのコラムを通じた食育PR記事を掲載した。	健康こども部健康支援課
胆振	登別市 健康通信☆きらり	こころとからだの健康づくりに関する知識の普及を図り、市民の主体的な健康づくり意識を醸成すること	令和3年9月1日「おうち時間の増加で食生活が乱れてはいませんか」 令和3年12月1日「寒い時期におすすめメニューの紹介」 ◇概要 健康通信の食に関する記事の作成	登別市保健福祉部健康推進グループ
胆振	室蘭市/食育だより	栄養や食に関する情報提供	内容:保育所の保護者向けに配布している食育だより(栄養や食に関する情報、保育所で人気のレシピ等)を市のHPに掲載	保健福祉部子育て支援課子ども育成係

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
日高	日高町／広報日高 (6,7,8,9,11,12,1月号)	食に関する情報提供	食育月間、高血圧予防、食中毒喚起、食生活改善普及 運度、栄養士コラム1～3、食品ロス、について周知 6月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachmen t/10481.pdf 7月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachmen t/10742.pdf 8月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachmen t/10946.pdf 9月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachmen t/11110.pdf 11月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachmen t/11340.pdf 12月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachmen t/11663.pdf http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachmen t/11659.pdf 1月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachmen t/11781.pdf	子育て健康課
日高	日高町／食生活改善普及運動	「野菜摂取量の増加」、「食塩摂取量の減少」及び「牛乳・乳製品摂取習慣の定着」	11/2～11/28の期間、門別図書館で+1等ポップとともに、野菜レシピ、減塩レシピ、牛乳に関する本の貸し出し及びコーナーの開設、ポスターの設置 * 食生活改善普及運動の期間に行う予定が変更となりこの時期の実施	子育て健康課 門別図書館
日高	日高町／健康増進普及月間	食事を含めた生活習慣の改善や健康づくりの実践を促す	早寝早起き朝ごはんに関連して、しおりの配布、門別図書館にて自作のぬりえや絵本の自由配布	教育委員会社会教育課 門別図書館
日高	様似町 様似町食育協議会 「エプロンだよりの発行」	様似町食育協議会の一環として、食育の普及啓発を行い、町民の食への興味・関心を高める。	【時期】年2回 【内容】①バランスの良い食事ってなあに？	保健福祉課
渡島	函館市／ 広報媒体での食育月間の周知	食育月間・食育の日の普及啓発のため	対象:市民 時期:6月、毎月19日 内容:市政はこだて(広報誌)や市ツイッターアカウント等で、食育月間の周知啓発	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／レシピコンテスト	食育の推進のため	対象:市民 時期:募集7月～9月、動画公開1月～ 内容:市民から野菜料理のレシピを募集し、優秀作品の動画を作成し公開	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ はこだて市民健幸大学 「みんなde健幸づくり」	健康づくりのきっかけづくりのため	対象:市民 時期:8月4日、10月23日 内容:プロの講師による調理実習と、管理栄養士によるミニ講話	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ みんなde健幸づくり「食育講演会」	食育の推進のため	対象:市民 時期:10月30日 内容:子どもが作る“弁当の日”提唱者の竹下和男先生を講師とした講演会	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ はこだて市民健康大学「選んで見よう 健康お役立ち動画集 健幸チャンネル」	食育の推進のため	対象:市民 時期:通年 内容:簡単にできる野菜料理レシピや家でできる運動の動画などを配信	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ はこだて市民健幸大学「楽しく学べる健康のヒケツ 健幸ラーニング」	“食で健康なからだをつくる”を推進するため	対象:市民 時期:通年 内容:健幸づくりをテーマに、在宅でも楽しみながら学べるクイズを出題した。	保健福祉部健康増進課
渡島	北斗市／ 広報「ほくと」の栄養コラムの連載	健康・栄養の知識向上、正確週間の改善により医療費の削減につなげるため	対象:市民 時期:通年 内容:。食と健康をテーマに季節や社会の動向に合わせて、日常生活の中で実践できる身近な改善ポイントを周	保健福祉課
渡島	福島町／広報誌(広報ふくしま)を活用した食育に関する周知	食育月間の普及啓発のため	対象:町民 時期:6月 内容:広報ふくしま6月号に第4次食育推進基本計画と一汁三菜の食事に関する記事を掲載。	福祉課
渡島	福島町／ 食育だよりによる普及啓発	健康及び食育の普及・啓発	対象:幼稚園、小学校、中学校 時期:12月 内容:福島町学校給食センターから幼稚園、小・中学校向けに発行している「食育だよりを町の管理栄養士、栄養教諭と協同で作成し、配布	福祉課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
渡島	福島町／ 広報誌「広報ふくしま」による普及啓発	健康及び食育の普及・啓発	対象：町民 時期：7月、9月、10月、11月、2月 内容：福島町の広報誌「広報ふくしま」を活用し、健康や食育に関する記事を掲載。	福祉課
渡島	七飯町／ 栄養士だより	食育月間・食育の日の普及啓発のため	対象：町民 時期：6月 内容：町ホームページに、食育月間に関する記事及び感染症予防に係る免疫力向上効果のある食材等の記事を毎月、健康に関する記事を掲載。(うち、食に関する内容を記載) ○内容 ・糖尿病に気をつけて ・夏の高血糖に気をつけて ・糖尿病と食事の深い関わり	民生部子育て健康支援課
檜山	せたな町／広報せたな「保健師からの健康アドバイス」	保健師等による健康に関する記事を広報に掲載し、町民の健康管理に役立てる。	毎月、健康に関する記事を掲載。(うち、食に関する内容を記載) ○内容 ・糖尿病に気をつけて ・夏の高血糖に気をつけて ・糖尿病と食事の深い関わり	保健福祉課
檜山	せたな町／広報せたな「栄養士のおすすめ料理」	管理栄養士による行事食や旬の食材について掲載し、行事食の成り立ちや旬の食材の理解を促す。	令和3年10月号まで行事食と旬の食材に関する記事とレシピを掲載。 ○内容 ・5月号「子どもの日」「たけのこ：中華ちまきおこわ」 ・6月号「食育月間」「アスパラ：アスパラガスのオープン焼き」 ・7月号「七夕」「パプリカ：彩りそうめん」 ・8月号「山の日」「ブロッコリー：ブロッコリーのチーズ蒸し」 ・9月号「防災の日」「鮭：鮭と豆乳のクリームパスタ」 ・10月号「土用の丑の日」「さんま：サンマ缶の蒲焼き」	保健福祉課
檜山	せたな町／ホームページ「せたな町の食材」	町内で生産される食材の基本的な知識や町内の歴史などを紹介し、地元食材を身近に感じてもらうことで、地産地消につなげる。	毎月発行される広報誌で、旬を迎える海産物や農産物の食材の知識のほか、町内での歴史や栽培・収穫方法や生産者が行っている工夫などを発信(広報掲載期間：平成27年12月～平成30年3月まで)。過去に掲載した広報記事をまとめ、せたな町ホームページに掲載中。 ○内容 エゾアワビ・ホソメコンブ・ジャガイモ・岩のり・ブロッコリー・ほうれん草等	まちづくり推進課
檜山	厚沢部町／広報あさぶ	地元食材のPR及び健康づくりを図る	厚沢部町らしい食材を使い、主婦目線で手軽にできる料理を考案	保健福祉課・健康増進係
檜山	今金町／今金町広報誌「栄養士ネットワーク掲示板」	専門性を生かした幅広い栄養に関する情報の提供によって、町民の食への関心を高め食育の普及啓発を図る。	活動：町内9施設に所属する管理栄養士、栄養士で構成された今金町栄養士ネットワーク活動の一つである。 【内容】 ・今金産の食材をメインとしたレシピ、季節に合わせた講話を毎日輪番で担当し掲載している。 ・1年間の原稿を集約した「栄養士ネットワーク掲示板レシピ集」を作成し食育の普及啓発を行っている。	今金町保健福祉課 くらし安心課
檜山	今金町／学校給食センターホームページ	毎月予定献立表を各家庭に配布しているが、文字だけではどのような献立かイメージがつかないため、写真を撮り今金産食材の使用内容を掲載することで、児童生徒がどのような給食を食べているのか広く知っていただくことを目的とする。	予定献立表については、給食センターで提供している給食の写真を撮り、カレンダー形式の様式に写真を貼りつけホームページに掲載する。 給食だよりについては、原本をそのまま掲載している。 また、今年度より地元スーパーにも掲示させて頂いている。	今金町学校給食センター
檜山	今金町／町広報誌における各食育事業の内容紹介	今金町においてどのような食育事業を行っているか町民の方々に知ってもらうことを目的とする。	○広報いまかね11月号 ・今金黒毛和牛を使った給食の日(11月2日実施) ○広報いまかね12月号 ・ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日(11月19日実施) ○広報いまかね1月号	今金町学校給食センター くらし安心課
檜山	上ノ国町／広報誌を活用した普及啓発	広報誌に食育関係記事に掲載することで、正しい食の知識普及を目的とする。	【題名】 ・お酒を飲むときはおつまみを	保健福祉課
上川	愛別町／給食だより	栄養士による食にまつわるコラムを掲載することで、乳幼児期の栄養管理に役立てる。	毎月、幼児センターから発行される「給食だより」で、栄養士コラムを掲載(年5回程度掲載) 【令和3年度 掲載内容】 5月「朝ごはんを食べましょう」 7月「熱中症予防について」 9月「たくさん噛んでいますか？」 12月「風邪予防について～免疫力を高める食品～」 3月「必要な栄養素について」	保健福祉課
上川	下川町 下川町食育推進計画町民委員会	食品ロス削減月間 食品ロス削減の日	・広報しもかわ10月号、行政情報告知端末にて周知 ・町内飲食店に食品ロス削減を周知する三角ポップを配付	農林課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
上川	美瑛町／学校給食だよりの発行	食に関する情報を発信することで、児童・生徒の食に対する興味関心を高めるため。また、学校給食の内容等を発信することで、家庭における食の理解を深め、家庭と連携した食育の推進を	時期: 通年(年10回程度) 場所: 町内全焼酎学校 内容: 学校給食だよりの発行し、学校給食の献立や使用食材、食に関する情報を提供。	教育委員会管理課
上川	名寄市食育推進協議会 広報による啓蒙・啓発の取り組み	食育について広く市民に周知し、健康や食の大切さについて認識を深めてもらう	市広報6月号に食育月間の記事を掲載。 食育の意義や、名寄市第3次食育推進計画の7つの目標を掲載した。 市広報10月号に食品ロス削減月間の記事を掲載。 10月30日を食品ロス削減の日と定めていること、食品ロスの削減は食育推進計画の目標の1つであることを掲載した。	経済部農務課
上川	士別市／「食育の日につくろう! しっかり野菜349g(サフォークレシビ)」の公開	若い世代の野菜類の摂取量を増加させ、生活習慣病予防対策を強化する	2017年に20～39歳の市民に実施した食事調査で摂取量が少なかった野菜類・芋類・豆類・乳製品類の簡単レシピを毎月19日(食育の日)に市フェイスブック・市HPで公開	士別市保健福祉センター食育推進係
上川	東神楽町	町ホームページへ食育推進計画を掲載することで町内外へ取組等を広く周知する。	「東神楽町食育推進計画」平成26年3月(初版)、平成29年3月(改定版)の掲載 ※令和4年3月改定中(公表時期未定)	教育委員会 教育推進課
上川	中川町 中川町広報 食育通信(毎月)	食と健康の情報提供による健康増進を目的とする。	【内容】 朝食を食べるメリット 健康ダイエット法 備蓄食品 内臓脂肪型肥満予防 健康ポイント事業のご案内 夏にお勧めの料理の紹介 野菜レシピの紹介 筋力強化 選択ダイエット法 など	住民課 幸福推進室
留萌	羽幌町 ホームページ	地域の食材を使った料理の普及	グリーンアスパラや甘エビなど地元食材を使った料理レシピの掲載	健康支援課
留萌	羽幌町 広報はぼろ	町民に対し広く食や栄養に関する情報を提供する	広報はぼろ「健康コラム」等に掲載 R3.10～12「減塩の工夫」	健康支援課
宗谷	稚内市 稚内市ホームページ	市民へ情報を提供する。	■掲載概要 ①稚内食育推進計画	教育部 教育総務課
宗谷	稚内市 けんこうライフ ななかまど	住民の健康づくりに関する、知識や保健活動等について、周知及び啓蒙をおこなう	1、対象者: 稚内市民 2、発行月: 2021年8月号及び2022年3月号「健康ライフななかまど」に「食べて元気になる話」を掲載 3、発行元: 稚内市・稚内市保健推進委員連絡会 4、発行部数: 1回につき17500部(全世帯へ配布) 5、掲載内容: 2021年8月号「体の冷えによる免疫力低下の予防」メニュー: 鶏肉と夏野菜のガーリック炒め 2022年3月「フレイル予防に繋がる食事」メニュー: ビーマンの豆腐詰め	生活福祉部健康づくり課
宗谷	利尻町	減塩活動を広く勧め、高血圧ひいては腎機能の低下を予防する。	町内広報誌「広報りしり7月号」にて、町の健康課題である血圧・腎機能と塩分摂取量の因果関係についてふれ、麺類の食べ方や減塩食品の活用など減塩を勧めた。	保健課
宗谷	礼文町/野菜摂取促進事業(たVege事業)	町の健康課題として、肥満や高血圧、糖尿病の合併症を有する割合が高いことから野菜摂取向上の取り組みを通じて、これらの生活習慣病の発症予防、重症予防、重症化防止に繋げる。	実施時期: 毎月月初め 内容: 管理栄養士が旬の野菜1つをテーマとして取り上げ野菜の栄養効果・体への働きが書かれたポップ、レシピ1品を町内商店の野菜売り場及び、レジ横等に展示している。ポップへの掲載については、町医師に監修を依頼し、疾患と栄養との関係性などの一言コメントを掲載している。レシピについては、礼文町HPに掲載し、QRコードの読み取りからダウンロードもできるようにしている。	保健課 保健推進係
オホーツク	網走市/食生活改善協議会の健康レシピ	健康づくりに視点をいたした料理を普及する。	1.市広報誌にレシピ・栄養知識の掲載(毎月) 2.市ホームページにレシピ・栄養知識の掲載(毎月)	健康推進課
オホーツク	網走市/食べ残しを減らそう推進事業	食品ロス、食べ残しを減らす。	事業者と協力し、外食や宴会時の食べ残しを減らし、ごみの減量を図る。 登録店舗数50店舗(R2年3月現在) 網走市「食べ残しを減らそう」推進事業 http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/225gomi_recycle/020bika_eco/syokuhinloss201010.html	市民環境部 生活環境課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
オホーツク	美幌町 食育普及啓発事業	食育の推進を目的とし、特に子育て中の親を対象に健全な食生活を実践するための栄養・食生活に関する知識の普及を行う。	年3回(5月、7月、12月)各テーマ3週間程度 場所 子育て支援センター、しゃきっとプラザ 内容:ポスター展示 ①令和2年度10ヶ月健診栄養相談結果 ②子どもの飲み物についてくわしくなろう ③冬こそ!朝ごはんをしっかり食べよう	保健福祉課 健康推進グループ
オホーツク	佐呂間町 町広報誌「げんき王国」	健康情報の掲載を行い、町民の健康意識改善を図る。	町広報誌にて情報提供 掲載月:令和3年12月号 内容:「子どもの歯の健康について」	町民課 保健福祉課
オホーツク	湧別町 広報ゆうべつへ「簡単にできる副菜レシピ」を掲載	町民が食事や健康へ興味関心をもつきっかけを作る。	広報紙・HPに簡単にできる副菜のレシピを掲載(毎月1回計12回)	健康こども課
オホーツク	滝上町/食育月間(6月)の取組	国が定める食育月間の周知及び食育推進運動を実施し、町民の食育・地産地消に対する理解促進を図る。	時期:6月～ 内容:食育月間の取組として、ホームページに食育月間の周知と併せて、町内産の農畜産物を紹介する農畜産物カレンダーと一番の国内商業生産量を誇るハッカを紹介する内容を掲載した。	食育・地産地消推進会議
オホーツク	雄武町 広報への記事掲載	町民の生活習慣病予防に関する知識及び意識の向上を目的とする。	栄養に関する記事を広報に掲載し、町民全体にアプローチを行う。	保健福祉課保健係
オホーツク	大空町 広報誌による啓発普及	地場産の野菜を使用したレシピを季節ごとに掲載し、健康な食習慣をみにつけることができるよう適切な情報と知識の普及を図る	年4回、広報誌に「大空町の季節の野菜を使った簡単レシピ」を掲載 レシピは町内栄養士ネットワーク(病院、福祉施設、学校給食センター、認定こども園、行政)の集まりで作成	福祉課 健康介護グループ
オホーツク	大空町 季節の野菜を使った簡単レシピの配置	地場産の野菜を使用したレシピを季節ごとに配置し、健康な食習慣をみにつけることができるよう適切な情報と知識の普及を図る	年4回、「大空町の季節の野菜を使った簡単レシピ」を町内商店、公共施設に設置 レシピは町内栄養士ネットワーク(病院、福祉施設、学校給食センター、認定こども園、行政)の集まりで作成 野菜の栄養、保存法などの情報も掲載	福祉課 健康介護グループ
十勝	足寄町 広報誌(広報あしよ)	町の広報誌を活用して食生活に関する情報の普及啓発を行い、食生活に対する関心を高め、食育を推進する。	6月号:テーマ 6月は食育月間・毎月19日は食育の日です。 道民の野菜摂取量は減っています 1日の目標摂取量350gにはあと78g不足しており、なぜ必要かを広報誌に記事を掲載し、住民へ普及啓発を行った。	福祉課 保健福祉室 保健推進担当
十勝	足寄町 食育月間に関わる展示コーナー設置	6月の「食育月間」に合わせ、図書館で健康な食生活を推進する「食」に関する展示を行い、普及啓発を行った。	展示期間:6月22日(火)～7月11日(日) 内容: ①パネル展示 ②食育関連図書展示と貸出 高血圧について・野菜不足を解消するための本を中心とした図書の紹介と食育のパネル展示を行った。	図書館 福祉課
十勝	幕別町/広報紙への掲載	・野菜摂取量アップをめざし、広く町民へ周知する。	時期:R3. 4月～R4. 3月(全12回) 内容:地場産野菜を使ったレシピ、栄養情報、野菜の選び方や冷凍保存方法を紹介	住民福祉部保健課
十勝	幕別町/ホームページ及びSNSの活用	・野菜摂取量アップをめざし、広く町民へ周知する。	時期:R2. 12月～掲載 内容:簡単野菜レシピをホームページに掲載	住民福祉部保健課
十勝	帯広市/帯広市図書館ホームページ、帯広市図書館ホームページ内「食文化.com」	食についての知識や理解を深め、心身ともに健康で豊かな生活を送るための「生きた」情報を入力できるよう、帯広市図書館で収集した様々な食文化に関する資料を紹介する。	帯広市図書館内HP内に食のサイト「食文化.com」を掲載するもの。 【帯広市図書館HP】 ①図書館HPトップのお知らせ欄等に、随時更新情報を掲載 【帯広市図書館HP「食文化.com」】 ①フードバレーとかちコーナー…帯広・十勝の食に関する資料を集めたコーナーについて紹介 ②広報誌「食☆ナビ」…年1回、「食ナビ☆ベビー」「食ナビ☆ジュニア」を発行しているもののPDFを掲載 ③「食」イベント…6月の食育月間に合わせて行う展示やおはなし会などの紹介 ④「食」DVD・雑誌・新聞…図書館で所蔵する食に関する資料の紹介 ⑤「食育」って?…食育について、帯広市の取り組み等を紹介 ⑥リンク集…農林水産省や北海道・十勝の食に関する公的機関のリンクを掲載	生涯学習部生涯学習文化室図書館

振興局名	市町村名/名称	目的	概要	担当部課名
十勝	帯広市/広報誌「食ナビ」	食についての知識や理解を深め、心身ともに健康で豊かな生活を送るための「生きた」情報を入手できるよう、帯広市図書館で収集した様々な食文化に関する資料を紹介する。	【広報誌等の啓発】 ①「食ナビ☆ジュニア」を年1回発行し、市内全小学校に配布 ②「食ナビ☆ベビー」を年1回発行し、乳児の5ヵ月検診や保育所で配布 ○「食ナビ☆ジュニア」とは、子ども向けの食に関する資料を紹介したブックリスト ○「食ナビ☆ベビー」とは、乳児やその保護者向けの食に関する資料を紹介したブックリスト	生涯学習部生涯学習文化室図書館
十勝	帯広市/本の展示	食についての知識や理解を深め、心身ともに健康で豊かな生活を送るための「生きた」情報を入手できるよう、帯広市図書館で収集した様々な食文化に関する資料を紹介する。	【本の展示】 ①食文化コーナー…毎月展示テーマに沿った、食に関する本を展示・貸出 ②フードパレーとかちコーナー…十勝・帯広の食に関する本を展示・貸出	生涯学習部生涯学習文化室図書館
十勝	帯広市/ 帯広市ホームページ「食育」	帯広市における食育の取り組みや関連情報を発信し、市民に幅広く普及・啓発を行うもの。	・第3次帯広市食育推進計画 ・帯広市食育推進サポーター ・食育推進サポーター登録者 ・食育推進サポーターの取組事例 ・おびひろ市民学 ・おびひろ食育カレンダー ・各課の食育推進事例 など	農政部農政室農政課
十勝	帯広市/ 帯広市広報(「広報おびひろ12月号」)	市が取り組んでいる食育活動や、食育推進サポーター制度等について紹介し、食育の推進を啓発する。	広報おびひろ12月号の5ページに掲載。 ・記事タイトル:学ぼう「食」のこと ・内容 食育推進サポーター事業の紹介	農政部農政室農政課 (政策推進部広報秘書室広報広聴課)
釧路	釧路市/児童発達支援センター野のはな園 給食だよりの配布	保護者へ地産地消や栄養等について情報提供し、食への意識を高めてもらうため。	野のはな園通園児保護者向けに作成し、食について(地産地消、栄養についてなど)情報提供を行う。	釧路市子ども保健部児童発達支援センター
釧路	釧路市/児童発達支援センター野のはな園 食事に関するアンケートの実施	園児の食生活や嗜好等を把握し、今後の給食提供等の参考資料とするため。	実施時期:令和3年12月 回収数:48件(配布数 54件) 野のはな園通園児保護者宛に実施し、集計結果も配布した。	釧路市子ども保健部児童発達支援センター
釧路	釧路市 「周知・啓発活動」	ごみ排出量削減を目的に実施している。	ごみの減量化を目標に、食品ロス削減に向けた取組について広報誌、HP、SNS(Instagram・Facebook)、出前講座等で周知・啓発を行っている。	環境事業課
釧路	釧路市 「環境ニュース」	ごみ排出量削減を目的に実施している。	市民環境部「環境ニュース」を発行(年2回)し、連合町内会回覧やイベント等において配布しており、その中で食品ロス削減に向けた取組を紹介している。	環境事業課
釧路	釧路町/広報釧路町	健康的な食習慣を身につけるための情報提供を行う	・毎月発行釧路町広報誌で健康的な食習慣を身につけるための簡単なヘルシーレシピを掲載	健康福祉部子ども健康課健康推進係
釧路	釧路町/ヘルシーレシピ設置配布	健康的な食習慣を身につけるための情報提供を行う	・健康的な食習慣を身につけるための簡単なヘルシーレシピと健康に関する情報を記載したリーフレットを設置配布 【設置場所】支所、公民館、体育館、保健福祉センター、町内認可保育所、児童館、地産地消センター、町内飲食店、郵便局、町内スーパー	健康福祉部子ども健康課健康推進係
釧路	釧路町/デジタルサイネージによる食育月間周知	釧路町食育推進計画に定められた釧路町独自の食育月間を周知する。	町内商業施設に設置されたバスロケーションデジタルサイネージに食育月間周知記事を掲載。 実施時期:令和3年9月中	健康福祉部子ども健康課健康推進係
釧路	釧路町/つくし保育所子育て支援センター「わくわくチャレンジ」(動画作成)	離乳期に重要な鉄補給の手段として鶏レバーの調理方法を紹介することで、栄養源の選択肢を増やすこと。	「はじめての離乳食 みんなで食べてみよう レバー」 町公式youtubeチャンネルで公開(公開は令和4年度)	健康福祉部子ども健康課母子保健係
釧路	釧路町/マタニティスクール(動画作成)	「妊娠前から始める妊産婦のための食生活指針」を周知し妊婦と胎児が健康に妊娠期を過ごすことの助となること。	「妊娠前から!健康なからだをつくる食生活」 町公式youtubeチャンネルで公開(公開は令和4年度)	健康福祉部子ども健康課母子保健係
釧路	標茶町/広報しべちや		・「牛乳を食べよう」というテーマで、乳製品を使ったレシピを紹介している。	農林課農業企画係
釧路	弟子屈町/広報5月号	朝食の大切さを周知する	広報5月号の保健師の記事に朝食の大切さを掲載	健康子ども課 (健康推進係)
根室	根室市/食生活バランスアップ事業	正しい食習慣の普及と野菜摂取量を増やす	内容:料理レシピを市ホームページ、市Facebookに毎月掲載 工夫:料理内容は、減塩料理を基本とし、なるべく簡単に作ることができる料理を中心として配信している。	市民福祉部保健課

(3) 食育推進リーダーの育成

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)	担当部課名
石狩	札幌市／札幌市食生活改善推進員養成講座	食生活改善の輪を広げるための推進役となる人材を養成し、地域住民の意識の高揚を図り地域に密着した食生活改善を進めるため、この人材を養成する。	開催時期:令和3年10月～令和4年1月	45	保健福祉局 保健所 健康企画課 各区 保健福祉部 健康・子ども課
上川	士別市／食生活改善推進員研修会	地域において正しい食生活の実践を普及し、健康長寿を推進する活動に必要な知識・技術などを学び、積極的に地区組織活動を行うことができる推進員を育成する	①10月6日 講話「肥満と脳の関係」「ロコモ予防」講師:市作業療法士、市管理栄養士 ②1月27日 軽運動・講話「体力づくりと運動」講師:市スポーツ協会 講話「食品ロス」講師:市管理栄養士	25	士別市保健福祉センター食育推進係
オホーツク	網走市／食生活改善推進員養成講座	食生活改善地区組織活動を行う推進員の養成に必要な教育事業を実施し、地域住民の健康増進並びに体力づくりの向上に寄与する。	食生活改善地区組織活動に必要な基礎項目、下記の講座、合計20時間。令和3年2月～3月実施。 1. 網走市の保健事業、健康づくりプランについて 2. 食品衛生と生活環境と食事バランスガイド他 3. 栄養の基礎知識 4. 身体の中の栄養の働き 5. 栄養計算をしてみよう・調理の基本 6. 調理実習(生活習慣病予防) 7. 調理実習(低栄養予防) 8. こころとからだの健康づくり	9	健康福祉部 健康推進課
オホーツク	美幌町 美幌町ヘルスリーダー育成事業	美幌町ヘルスリーダーとして地域における健康づくりに主体的に取り組む人材を育成することを目的とし、その資質向上と活動の促進を図る。	所属数令和3年4月現在19名 4月～3月 育成講座伝達講習会2回 24名 ミニ学習会7回 107名 <内容> ヘルスリーダーが考案したレシピの伝達講習2回 ミニ学習会①バックッキングの実施にむけて②令和3年度健診案内③メタボリックシンドロームに関する④介護予防に関する⑤運動に関する⑥10期生へ！私たちの一押しレシピ準備⑦私たちの一押しレシピ調理実習 結果:緊急事態宣言により育成講座1回、ミニ学習会が1回中止となった。10期生が10月からから加入し先輩ヘルスリーダーと共に積極的に活動している。	131	保健福祉課 健康推進グループ
オホーツク	美幌町 美幌町ヘルスリーダー養成事業	美幌町ヘルスリーダーとして地域における健康づくりに主体的に取り組む人材を養成する。	対象:18歳以上の町民 実施期間:令和3年5月～8月 全9回 参加者:8名 修了者6名 うちヘルスリーダーの会に所属し活動につながった者5名 結果:70代の方は途中辞退や活動につながらなかった。 時期養成講座は年齢制限を設ける予定。	8	保健福祉課 健康推進グループ
釧路	釧路市／地区組織(釧路市食生活改善推進員)の養成・育成	主体的に健康づくりを行うことの必要性や重要性について認識し、地域での住民のリーダーとなり、健康づくりを実践できる食のボランティアを養成及び育成する。	対象: 【養成】釧路市民、食のボランティアに興味のある方(食生活改善協議会入会希望者) 【育成】釧路市食生活改善推進員 時期:4月～3月 場所:音別町福祉保健センター等 内容: 【養成】規定のカリキュラムの受講 【育成】住民の自主的、相互協力的な栄養改善に資するため、住民参加型の地域ボランティア組織の育成に努めるとともに、自主性を尊重した活動を図ることができるよう支援する。 参加者:【養成】延7名 【育成】延49名	56	音別町行政センター 保健福祉課

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例

(1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	岩見沢市内各小中学校 食に関する指導	給食という生きた教材を活用し、市内全小中学校の児童・生徒を対象に食に関する指導を行う	食生活の欧米化が進み、子どもたちの食事の内容も大きく変化している。小中学生は大きく成長する時期であることから、この時期に健全な食生活の実践と食習慣の確立に向け、望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身に付けることが、子どもたちの現在の健康だけではなく、将来の健康な生活に必要なことと考え実施。 令和3年度は、19校、延べ106学級で実施。	
空知	岩見沢市立幌向小学校	給食が、食に関わる様々な人の活動に支えられていることを理解する。	対象:1年生各クラス 時期:11月25日、11月18日 内容:調理所見学	41
空知	岩見沢市立幌向小学校	給食をしっかりと食べることができるように、三大栄養素や食のバランスについての理解をはかる。	対象:3年生各クラス 時期:10月14日 内容:栄養士による食育指導	39
空知	岩見沢市立幌向小学校	五大栄養素についての理解し、食べ物をバランスよく食べることができる。 主体的に自他の健康な食生活を実現しようとし、食料生産に関わる人に対して感謝する心を育む。	対象:5年生各クラス 時期:11月16日 内容:栄養士による食育指導	44
空知	岩見沢市立東小学校	食への感謝や食の大切さを学ぶ	健やかな成長に欠かせない「牛乳」をテーマに、明治乳業の食育担当者が講師となり、「乳牛」や「牛乳」「運動」をテーマにしたセミナーを受講する。 R3年度 11月実施(第3学年教室、2クラス)	48
空知	岩見沢市立北真小学校	食育の指導	対象:1年生(14名) 時期:9月 場所:岩見沢市立学校給食共同調理所 内容:「給食ができるまで」のテーマのもと調理所見学を行い、栄養教諭から給食の調理方法、作業している方から仕事内容等の話を聞いて、食に関する理解を深めた。	14
空知	岩見沢市立栗沢中学校	SDGs食品ロス削減	保体常任委員会(後期)主体で、「学校給食残量調査」を毎週2回実施した。【調査方法】給食終了時、iPadで食缶内を撮影し保存。委員会開催時に各クラスの調査結果を共有し、生徒自身が啓発活動(健康的な食習慣の定着、人間は魚や肉など他の命をいただくことによって生きていくということ等)に取り組み、食品ロス削減の成果が得られた。	95
空知	岩見沢市立上幌向中学校	食品の栄養について学び、積極的に食する態度を養う。	対象:2学年 時期:10月14日 場所:上幌向中学校2年A組教室 内容:給食時間を利用し、栄養教諭による講話を実施した。当日の給食に使用されている食材の栄養素等について説明し、給食の栄養価を理解させて喫食を促した。	22
空知	岩見沢市立北村中学校	3度の食事をとることが、学力向上にもつながることを理解させる	対象:北村中学校2年生(10名) 時期:令和3年10月5日 4校時 場所:北村中学校2年生教室 内容:岩見沢市教育委員会 栄養教諭による「食に関する指導」	10
空知	美瑛市内全小・中学校 食に関する指導	・学校給食や栄養教諭を通して、学年に応じた食についての興味関心や、知識と理解を深める。 ・学校給食の充実を図るため、実態を把握する。	・年度内の各学校の給食時間、各教科、特別活動の時間。	1,270

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	美唄市内全小・中学校 ふるさと給食	・美唄産の食材を使用した「ふるさと給食」を実施し、市内の小・中学校とへき地保育所の子どもたちに、ふるさと美唄の味を味わってもらおう。	・収穫の秋を迎え、美唄で栽培されているお米や野菜、じゃがいもなどをふんだんに使用した「ふるさと給食」を実施し、ふるさと美唄の味を子どもたちに味わってもらいます。	1,270
空知	芦別小学校 食育の取組み	自ら食生活を考え作り出していく態度を育てる。	栄養教諭の協力のもと、各クラス、全学年の給食の時間に栄養教諭が訪問し、児童の給食を取る様子を見ながら望ましい食の在り方等について指導している。また、高学年では、家庭科の時間を中心にバランスの良い食事と健康について指導している。 学活の中で食育の授業を各クラス1時間ずつ行っている。	279
空知	上芦別小学校 食育の取組み	自ら食生活を管理する意識と態度を育てる。	栄養教諭の協力のもと、1年生:「給食のマナーと手洗い」、2年生:「お箸の持ち方と食べ物のはたらき」、3年生:「かむことの大切さ」、4年生:「食べ物の栄養」、5年生:「地産地消の必要性」、6年生:「食品表示について勉強し自分たちの身体に良いものを考える」の内容で、全校児童に食育の授業を行った。	76
空知	三笠市立萱野中学校	地元で収穫された農産物を使用したメニューを考案・調理することで、地元の農産物の良さを知り、郷土愛を深める。	事業実施時期: 令和3年9月27日～令和4年1月28日 事業実施場所: 萱野中学校及び三笠高校生レストラン内「キッチンスタジオ」 事業内容: 栄養教諭指導のもと、献立の作成から調理作業工程表の作成までを教室においてiPadを活用して行い、最終的な調理は「キッチンスタジオ」を活用して実施した。考案したメニューは学校給食のメニューに取り入れ、市内全学校で提供された。	16
空知	三笠市立岡山小学校	・食事の必要性を理解すること ・ごはんのみそ汁の調理ができる ・栄養素の働きがわかり、食品のグループ分けができる ・毎日の食事にごはんのみそ汁の調理を生かすことができる	事業実施時期: 令和3年10月27日、29日 事業実施場所: 岡山小学校三笠高校生レストラン内「キッチンスタジオ」 事業内容: 栄養教諭指導のもと、調理実習前の学習では全員iPadを活用して行い、調理手順等を確認した。前日の調理実習準備では、煮干しの試食を行い、食材の理解を深めた。調理実習は「キッチンスタジオ」で行ったが、地域おこし協力隊2名の協力により文化鍋でご飯を炊き、みそ汁を作り全員で食事を行った。	9
空知	三笠市立岡山小学校	・給食センターを見学することで、給食の調理される様子、給食が学校に運ばれてくるまでの流れを理解する	事業実施時期: 令和3年11月17日 事業実施場所: 給食センター 事業内容: 本来であれば給食センター内部を見学するが、コロナ禍のため立ち入ることはせず、隣接する公民館において、給食センターの調理場での様子を収録した様子を各自のiPadを活用して動画を視聴した。動画視聴後、公民館で給食を食べたが、給食を食べるまでの流れを学ぶことができた。	13
空知	三笠市学校給食センター	市民の食生活環境の充実を目的に、学校給食のレシピを公開する	事業実施時期: 令和3年11月から 事業実施場所: 給食センター 事業内容: 給食センターのInstagramアカウントを作成し、人気のあるメニューや簡単に調理できるメニュー、素材を変えて応用ができるメニューを、月に2回程度紹介している。Instagramを利用することで、スマホから簡単に、気軽にレシピを確認することができる道内唯一の取り組みである。	
空知	滝川市内全小学校6校・全中学校4校 カミカミ給食	しっかり噛んでよく食べる習慣を身につけることや、噛むことの大切さを知る。	実施日 11月8日 内容 11月8日のいい歯の日にちなみ、噛み応えのある給食を提供するとともに、リーフレットを配布し、保護者への啓発も併せて行う。 メニュー ごはん、ひよこ豆のカレースープ、鶏むね肉のレモン風味揚げ、切干大根のペペロンチーノ風、牛乳	2,600
空知	滝川市内全小学校6校・全中学校4校 和食の日給食	だしのお味に慣れ親しみ、和食の食習慣を形成することで、日本食のよさを知る。	実施日 11月22日 内容 和食の基本である昆布や鰹節の「だし」を使用したメニュー及び「ま・ご・わ・や・さ・し・い」の食材を取り入れた給食を提供する。 メニュー ひじきごはん、根菜みそ汁、いわしの梅煮、切干大根のごまネーズ和え、牛乳	2,600
空知	栗山町立栗山小学校	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	①給食指導～栄養教諭が学校を訪問し「食に関する指導」を実施。(計2日間2回実施)・実施日と実施学年、指導内容、対象人数1)3月8日(火)2年1組「給食ができるまで」28名2)3月10日(木)2年2組「給食ができるまで」26名	54

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	栗山町立角田小学校	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	①給食指導～栄養教諭が学校を訪問し「食に関する指導」を実施。(計3日間6回実施)・実施日と実施学年、指導内容、対象人数1)11月18日(木)1年「やさいをもっとすきになろう」8名2)11月18日(木)2年※給食時間に訪問し給食指導を実施12名3)11月16日(火)3年「なんでも食べよう」15名4)11月16日(火)4年※給食時間に訪問し給食指導を実施6名5)12月10日(金)5年「規則正しい生活をしよう」12名6)12月10日(金)6年※給食時間に訪問し給食指導を実施9名	62
空知	栗山町立継立小学校	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	①給食指導～栄養教諭が学校を訪問し「食に関する指導」を実施。(計5日間5回実施)・実施日と実施学年、指導内容、対象人数1)11月26日(金)1年「やさいをもっとすきになろう」12名2)11月29日(月)2年※給食時間に訪問し給食指導を実施7名3)11月25日(木)3年「なんでも食べよう」6名4)11月24日(水)4年※給食時間に訪問し給食指導を実施11名5)11月22日(金)5・6年「なぜ食べる～五大栄養素」17名	53
空知	栗山町立栗山中学校	学校教育の一環として、栄養教諭による、栄養バランスの良い食事をとるための指導や食生活への食に関する指導、食生活への正しい理解と望ましい食習慣等について指導を行う。	①給食指導～栄養教諭が学校を訪問し「食に関する指導」を実施。(計5日間7回実施)・実施日と実施学年、指導内容、対象人数1)2月28日(月)2年A組「中学生と栄養」31名2)3月1日(火)2年B組「中学生と栄養」29名3)3月2日(水)2年C組「中学生と栄養」30名4)3月7日(月)3年A組※給食時間に訪問し給食指導を実施34名5)3月7日(月)3年B組※給食時間に訪問し給食指導を実施33名6)3月17日(木)1年A組※給食時間に訪問し給食指導を実施34名7)3月17日(木)1年B組※給食時間に訪問し給食指導を実施34名	225
空知	月形町立月形小学校 食に関する指導	学校教育活動全体を通して、学校における食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を育成する。	9月～10月、各教室 発達段階に応じて、給食を生きた教材として活用しながら、食に関する正しい知識や食を選択する能力を身につける内容で、45分間の授業を栄養教諭が行う。	90
空知	月形町立月形中学校 食に関する指導	学校教育活動全体を通して、学校における食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を育成する。	10月、各教室 発達段階に応じて、給食を生きた教材として活用しながら、食に関する正しい知識や食を選択する能力を身につける内容で、50分間の授業を栄養教諭が行う。	42
空知	月形町立月形小学校 バイキング給食	自分の体にあった食品や量のとり方を学ぶ機会とする。また、望ましい食事の雰囲気づくりや食事のマナーを考える機会とする。	10月 月形小学校の小学校6年生が対象 栄養を考えながら、バランスの良い食事を自ら選んで喫食する。また、卒業式前に行い、卒業のお祝いを兼ねて行った。 新型コロナウイルス対策として、手洗い後使い捨て手袋を着用し、トング等の使い回しによる感染症拡大防止を図った。また、間隔をあけたり、喫食時の場所や配置等を工夫した。	22
空知	月形町立月形中学校 リクエスト給食	卒業を控えた中が校3年生が、9年間の給食を振り返り、今後の自分の食のあり方を考える機会とする。	1～3月、中学校3年生を対象 9年間食べた給食を振り返り、思い出のエピソードとともに、リクエスト給食のアンケートをとる。リクエストされたものを取り入れた献立を提供している。	9
空知	月形町立月形小学校 月形町立月形中学校 防災給食	9月1日が防災の日に合わせて、防災食を提供することで、給食を通して防災の意識を高めてもらう。また、通常給食センターに備蓄しているものを知ってもらう機会とした。	9月1日(防災の日)(2019年～) 非常時(電気やガスを使わない)でも提供できる非常食(救給カレー)を、学校給食として提供し、給食センターで備蓄しているものを知ること、非常食を食べ慣れること、さらに防災への意識を高めてもらう。また、その内容を給食だよりで発信した。	172
空知	月形町立月形小学校 月形町立月形中学校 全国学校給食週間(日本で最初の給食を再現)	学校給食の歴史を知らせ、ふりかえらせる。	1月(全国学校給食週間のうちの1日)・町内小中学校 学校給食のはじまりとされる、明治22年の献立(おにぎり、鮭の塩焼き、青菜の漬物)をもとにした献立を作成し、学校給食で提供している。また、給食だよりでもその内容を取り上げている。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、手で食べるおにぎりではなく、ごはんとして提供した。	172
空知	月形町立月形小学校 食に関する指導(給食ワンポイント)	食に関する正しい知識を提供し、毎日繰り返すことで、知識・理解の定着をはかる。	通年(給食がある日) 小学校の児童委員会(放送委員会)と連携し、給食時間中に食に関わる三択クイズを放送している。今年度は、新型コロナウイルス拡大防止策として児童による放送をせず、栄養教諭が放送した。	90

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	月形町立月形小学校 食に関する指導(給食センター見学)	給食センターを見学することで、給食や給食についての理解や学びを深める。	10月下旬・給食センター・2年生対象 小学校での食の指導の授業で給食センターについて触れ、事前指導を行い、本時で給食センターを見学し、実際に見学したり、調理道具を持ってみたりして、学びを深める。	11
空知	新十津川町立新十津川小学校 栄養教諭による食に関わる指導	・食事が人と人とのつながりを豊かにすることを知ると共に食事が体に及ぼす影響を知る。 ・食品の衛生に気を付けて簡単な調理をする。	対象:第1学年、第2学年、第3学年、第4学年、第5学年、第6学年 時期:6月から12月 場所:新十津川小学校 内容:6月から1月に、1年生から6年生までの各クラスにおいて栄養教諭が、学年に合わせて、好き嫌いをせず食べること、調理員さんのこと、味覚について、主食主菜副菜を知る、清涼飲料水を題材にして、おやつ・カロリーについてを題材にした授業を実施した。	314
空知	新十津川町立新十津川小学校 学童栄養教室の実施	・食事が人と人とのつながりを豊かにすることを知ると共に食事が体に及ぼす影響を知る。	対象:第4学年 時期:12月7日 場所:新十津川小学校 内容:12月に、4年生を対象に、町の栄養士を講師に招き、「本物から学ぶ」として授業を実施した。	47
空知	新十津川町立新十津川小学校 バイキング給食の実施	・自ら食べる量や栄養のバランスを考え選択するバイキング給食の実施を通じて、栄養、マナー、感染症予防、食事の楽しみを知る。	対象:第6学年 時期:3月3日 場所:新十津川小学校 内容:3月に、6年生を対象に、コロナウイルス感染症予防対策を講じたバイキング給食を実施した。	52
空知	新十津川町立新十津川小学校 食に関わる掲示の実施	食物を大切にし、食物の生産に携わる人々へ感謝する態度を身に付ける。	対象:第1学年、第2学年、第3学年、第4学年、第5学年、第6学年 時期:4月から3月 場所:新十津川小学校 内容:掲示板を利用し、その時期の学習に合わせた食に関する内容で、掲示物を作成し提示した。学習内容に新十津川町とつながる事例があったものについては、発展として掲示物に表した。	314
空知	新十津川町教育委員会/食育の日の取組	食育の大切さを実感し、食への意欲向上を図る。食事を作ること、バランスなどの工夫をすることの重要性や苦勞を学ぶ。	対象:新十津川小学校、新十津川中学校、雨竜小学校、雨竜中学校 時期:令和3年11月30日(火) 内容: 保護者の協力を得ながら、児童・生徒が弁当作りに関わる。給食だよりでコース別に子どもの発達に合った弁当作りの取り組み方を紹介した。 新十津川小では給食時間にテレビ放送で取り組みの呼びかけを行い、食に関する本の紹介を学校図書館司書が行った。実施後、学級通信に食育の日についてとりあげた学級がいくつかあり、多くの児童が買い物やお弁当作りに関わり、お弁当の準備をする事や食べる事の楽しみを感じていたようだった。	652
石狩	札幌市教育委員会/ さっぽろ学校給食フードリサイクル	食育・環境教育の充実 学校給食の調理くずや残食のリサイクルだけでなく、食や環境を考え、ものを大切に育てる。	札幌市では、学校給食を作る過程で発生する調理くずや食べ残しなどの生ごみを堆肥化しており、平成18年度からその堆肥で栽培した作物を学校給食に取り入れるという食物の循環に取り組んでいる。また、リサイクル堆肥を学校における栽培活動に活用し、食育・環境教育の充実を図っている。 (さっぽろ学校給食フードリサイクル ホームページアドレス) https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/kyushoku/recycle/foodrecycle.html □リサイクル堆肥で栽培した作物の学校給食での提供。 玉ねぎ(全校)、レタス・とうもろこし・かぼちゃ(希望校) □フードリサイクル堆肥活用校での取組(令和3年度 206校) リサイクル堆肥を活用した栽培活動を中心に、教科等と関連させた活動を行う。 □成果 「フードリサイクルの仕組みについて理解した」「地産地消に興味関心を持った。」「残食量が減少した」などの効果がある。 □今後の課題 ・天候不順の影響を受け、作物が提供中止となった期間があった。リサイクル堆肥を使用した作物の安定供給が課題である。 参加者数:約133,000人(全給食実施校300校の児童生徒)	133,000
石狩	江別第二小学校/食育の学習	給食の準備とマナーについて知ろう	1学年担任教諭とTT授業 R3年4月19日(月) 給食の準備の仕方や食事のマナーを知り、楽しい給食時間にする。	107

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	江別第二小学校／食育の学習	給食のことを知り、楽しくたべよう	1学年担任教諭とTT授業 R4年1月25日(火) 給食が出来上がるまでには多くの人たちが関わっていることを知り、食事について感謝の気持ちをもとうとする。	107
石狩	江別第二小学校／食育の学習	よい食べかたをしよう	2学年担任教諭とTT授業 R4年1月24日(月) 食事のマナーが必要なことがわかる。 食事の正しい姿勢や箸の持ち方、会話の仕方などがわかる。 自分のこれまでの食事の態度を振り返り、よい食べ方について進んで実践していこうとする意欲を高める。	92
石狩	江別第二小学校／食育の学習	野菜のことをもっと知ろう	3学年担任教諭とTT授業 R3年7月19日(月) 野菜は食べる部位により、仲間分けができることを知る。 野菜の働きを知ること、野菜を進んで食べようとする意欲をもつ。	91
石狩	江別第二小学校／家庭科「まかせてね今日の食事」	1食分の献立を考える	6学年教科教諭とTT授業 R3年12月13日(月) 主食・主菜・副菜・汁物という食事の形態を知り、分けることができる。 バランスよく食品を組み合わせ、1食分の食事を考えることができる。	91
石狩	江別第二小学校／家庭科「まかせてね今日の食事」	1食分の献立を考える調理実習	6学年教科教諭とTT授業 R3年12月14日(火) R3年12月15日(水) R3年12月16日(木) R3年12月17日(金) 各自でバランスのよい野菜炒めを考え、自分で調理する。	91
石狩	江別第二小学校／食育の学習	健康な体をつくるおやつと飲み物について知ろう	4学年くろみ学級担任・養護教諭と授業 R3年7月7日(水) 健康な体をつくるために必要な知識を得ることができる。	2
石狩	江別市立江別太小学校	子供達が弁当づくりにかわり、自分で作ることで、 ・食材を大切に作る ・食べ物への感謝の心が生まれる ・料理を作る大切さがわかる ・弁当を作ってくれた人に感謝する	対象:全校児童 時期:7月6日(火) ※運動会明けの給食なしの日 場所:各家庭・江別太小学校各教室 内容:事前に、「食育弁当の日」のお知らせを配布し、学年に応じて、無理のない範囲で、以下の項目から取り組めるものを選んでもらった。 ①保護者と一緒に買い物に行く。 ②保護者が作ったおかずを、お弁当箱につめる。 ③おかずづくりを手伝う。 ④おにぎりをつくる。 ⑤自分でおかずを1品つくる。 ⑥自分でメニューを考える。 ⑦おかずを全部つくる。 ⑧お弁当すべてをつくる。 実施状況:低学年でも、作るお手伝いをした子がわりと多かった。	442
石狩	江別市立対雁小学校	給食のない遠足予備日に実施。食材に感謝する、作っていただく人に感謝することを目的とし、望ましい食習慣をみにつける	食育弁当の日 7月9日 市内全小中学校それぞれで「弁当の日」を設定し、親子あるいは児童自身がお弁当作りを行う。	621
石狩	江別市立対雁小学校	身近な給食を通して、栄養面からの重要性を確認するとともに、食事のマナーについても学ぶ機会とする。	栄養教諭の派遣により、各学級で実施 1年生「給食のことを知り楽しく食べよう」 2年生「よい食べ方をしよう」 3年生「野菜のことをもっと知ろう」 4年生「カルシウム貯金箱をいっぱいしよう」 5年生「栄養素の働きを知る」 6年生「一食分の献立を考える」	621
石狩	千歳市内小学校・中学校／栄養教諭による食に関する指導	より良い食生活の実践を通じた心と身体の健康な子の育成	栄養や食事のとおり方などについての学習を、栄養教諭配置校(小学校)は全学年、配置校以外は小学1年生、小学3年生、小学4年生、小学6年生、中学校1年生を対象に実施。 また、教科との連携を図り、家庭科において小学校5年生「食べて元気ご飯とみそ汁」、小学校6年生「まかせてな、今日の食事」について授業を実施。 小学校17校(3,131人)中学校1校(117人)	3,248

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	恵庭市／ 子ども未来部子育て支援課 保育所給食「食育の日」献立実施	・「食育月間」「食育の日」の啓発を行い、給食や地元農産物等食に対する関心を高める。	日程:令和3年6月18日(金) 対象者:市内保育園・認定こども園(12園)園児 概要: ・初夏の恵庭産・北海道産の食材を取り入れた献立を提供。特に恵庭市の特産品である「えびすかぼちゃ」を取り入れ、地元の農産物を知る機会としての給食の提供を行った。保護者には「しよくくだより」のなかで「食育月間」「食育の日」献立実施について周知した。 (実施献立)地元野菜の豆乳シチュー、鮭ザンギ、かぶとブロックリーの甘酢和え、いちご、ごはん【午後間食】えびすかぼちゃだんご ・取組実施の課題として、園により食材の購入先に違いがあるため、恵庭産農産物を使用することが難しい状況がある。	750
石狩	石狩市内全小中学校／ 「いしかりウィーク」の実施	・児童や生徒に石狩産の食材を紹介することにより地元食材への関心を高める。 ・石狩の良いところを再認識し郷土愛を深める。 ・給食を通して地産地消の良さについて理解する。	□時期:9月13日(月)～17日(金) □概要: ・普段よりもさらに多く石狩産食材を使った学校給食を提供する。(ピーツについてポスターやひとくちメモで紹介)	4,909
石狩	【旧石狩地区】全小学校／ バイキング給食	・小学校最後の思い出作りをするため、楽しく和やかな雰囲気の中で給食をとってもらう。 ・食事のマナーや思いやりの心を育てる。 ・3色栄養のバランスと栄養	□時期:3月11日(金) □概要: ・6年生対象に実施。 ・事後アンケートを実施し、楽しい給食となったのかを評価する。また、栄養診断を行い、摂取カロリー及び3色栄養バランスの見直しを行う。	502
石狩	【厚田・浜益地区】全小学校／ セレクト給食	・1食分の食事を考える活動を通して、自分の食生活に関心を持ち、食品や料理の組み合わせによって栄養バランスのとれたメニューになることを理解し、楽しく食事をする。	□時期:3月11日(金) □概要: ・給食献立(主菜・デザート)を児童生徒自らが選択することにより、自分の食生活に関心を持ち、食事の楽しさを再認識する機会とする。	112
石狩	石狩市内全小中学校／ 食に関する指導	・児童や生徒が栄養や食事の摂り方に関して、正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく能力を身に付け、健康で豊かな人間性を育てていくことができるようにする。	□時期:通年 □概要: ・給食時間のほか、各教科時間、特別活動の学級活動時間、総合的な学習時間等、学校の教育活動全体の時間を使いながら栄養教諭による食に関する指導を実施する。	4,103
石狩	石狩市／大人の食育講座	・学校給食を通し、食事の大切さや共食する良さを感じ、豊かな食生活に繋がることを目指す。また、石狩市学校給食センターを食育の発信拠点として認識してもらう。	□時期:学校給食のある第4水曜日(個人向け)、通年(団体向け) □概要: ・市栄養士による給食センター施設紹介、食育講座、給食の試食を行う。	18
石狩	当別町内小中学校(4校)／ 食育授業	生涯にわたって健康な生活を送るため子どもたちに健全な食習慣を身につけること	時期 6月～2月 場所 町内全小中学校(クラスごと) 栄養教諭が各学校に訪問し、各学年にあった授業をおこなう。	706
石狩	当別町内小中学校(4校)／ 訪問給食	食への興味を高め、食べる意欲へとつなげていくこと	時期 5月～12月 場所 町内全小中学校(各学年1クラス) 栄養教諭が訪問し、給食時間の2、3分をいただき全体へ指導を行っている。	396
石狩	当別町内／ 小学校6年生(2校) 中学校3年生(2校) セレクト給食	バランスよく食べることを意識して、食事を選択し、バイキングのマナーなどを学ぶ	小学校6年生 時期 2月 場所 各小学校(115名) 中学校3年生 時期 11月、12月 場所 各中学校(130名)	245

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	新篠津小学校／給食指導	○食に関心を持たせ、食事の重要性を理解させる。 ○食事のマナーを身に付けると共に、感謝の気持ちを養う。	場所:小学校食堂、給食喫食教室	125
石狩	新篠津小学校／給食マナー週間・学校給食週間	○食に関心を持たせ、食事の重要性を理解させる。 ○食事のマナーを身に付けると共に、感謝の気持ちを養う。	場所:小学校食堂、給食喫食教室	125
石狩	新篠津小学校／栄養教諭による指導	○食に関心を持たせ、食事の重要性を理解させる。 ○食事のマナーを身に付けると共に、感謝の気持ちを養う。	場所:各教室 内容:1年「給食のこを楽しく食べよう」 2年「給食の片付け方について知ろう」「苦手なものにチャレンジしよう」 3年「野菜について知ろう」 4年「よくかんで食べよう」 5年「栄養素について知ろう」 8年「朝食をしっかりと食べよう」「バランスの良い食事を考えよう」	125
後志	寿都小学校・潮路小学校・寿都中学校・寿都高校/給食指導	給食の献立を通じて地場産品をはじめとした食に関する知識の情報提供・紹介を行う。	対象:各学校の児童・生徒 時期:通年 場所:各学校 内容:食事のマナーや栄養バランス、時季の食べ物について、栄養教諭より給食前の5分程度の時間で講話を行った。	256
後志	寿都小学校/食育指導(おやつについて考えよう)	おやつの役割や食べ過ぎによる体への影響について理解する。おやつの適切な量を知り、おやつのとり方の工夫について考えることができる。	対象:小学校4年生 時期:令和3年9月6日 場所:寿都小学校 内容:①自分の普段のおやつの食べ方をつかむ。②おやつの役割とおやつの目安、食べ過ぎるとどんな影響があるかを知る。③おやつの上手な付き合い方について考え、全体で出し合う。④これからどのようにおやつを食べていくか目標を決める。	17
後志	寿都小学校/食育指導(はしの使い方)	箸の正しい持ち方を知り、正しく使うことができる。箸を正しく持つと、食べ物をはさんだり切ったり様々な使い方ができることを理解する。	対象:小学校2年生 時期:令和3年10月29日 場所:寿都小学校 内容:①箸の正しい持ち方を確認する。②自分の箸の持ち方を見直し、正しい持ち方を練習する。③箸にはどんな使い方ができるかを知る。④箸で「はさむ」「つまむ」練習をする。⑤箸を使う時にどんなことに気をつけたいか目標を決める。	13
後志	留寿都村 ・留寿都村立留寿都小学校 ・留寿都村立留寿都中学校 ルスツふるさと給食まつりの開催	学校給食に地場の食材や地元業者が製造した食品を集中的に提供し、献立に合わせた食に関する指導をすることで、子どもたちにふるさとの産業を伝える。	実施日:令和3年10月18日(月)～10月22日(金) 場 所:各学校 内 容:留寿都高校の学生が考案したルスツ豚を使ったルスツポークシチューやルスツみそまんじゅう、岩崎菓子店のカップ入りケーキなどを給食で提供した。また、みそまんじゅうを作っている梅屋の店主に小学校で講話をしていただいたり、給食ができるまでのDVDを視聴したり、留寿都産野菜の実物展示を行ったりした。	178
後志	留寿都村 ・留寿都村立留寿都小学校 ・留寿都村立留寿都中学校 全国学校給食週間における取組	全国学校給食週間を通じて毎年テーマを変え、様々な地域や国の食文化にふれるきっかけをつくる。	実施日:令和4年1月24日(月)～1月28日(金) 場 所:各学校 内 容:今年の全国学校給食週間は「北海道味めぐり」として、北海道の郷土料理を学校給食で提供した。当日給食メモを配布し、それぞれの料理の特徴や由来などを紹介して、興味関心を持たせた。	178
後志	留寿都村 ・留寿都村立留寿都小学校 食育指導	給食を生きた教材として活用し、児童に望ましい食習慣を身に付けさせる。	時 期:1～4年生…年1回ずつ、5・6年生…年2回ずつ 場 所:各学級 内 容:発達段階に応じて、野菜のはたらきやおやつの取り方、栄養バランスなどについて指導し、望ましい食習慣を身に付けさせる内容とした。	90
後志	留寿都村 ・留寿都村立留寿都小学校 ・留寿都村立留寿都中学校 学校給食だより	児童生徒とその保護者に対し、学校給食や食に関する情報を提供する。	時 期:毎月1回発行 内 容:季節に合わせた内容や、学校給食レシピ、家庭で取り組んでもらいたい食育などについて周知した。	178

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
後志	留寿都村 ・留寿都村立留寿都小学校 ・留寿都村立留寿都中学校 食育だより	児童生徒とその保護者に対し、学校給食について、実際の取り組み内容や様子について発信する。	時 期:不定期発行(令和3年度は2部発行) 内 容:村内の高校、業者から食材を提供していただき、学校給食に活用した旨を知らせた。	178
後志	留寿都村 ・留寿都村立留寿都小学校 ・留寿都村立留寿都中学校 地産地消の推進	地元の農産物を使った給食を提供することで、児童及び生徒に地産産物の良さや豊富さ、食の大切さを伝える。	時 期:道の駅の野菜については通年使用。 留寿都高校で生産している野菜は8～10月に提供いただいた。 留寿都村の業者より、5月～1月にかけて食材を提供いただいた。 場 所:各学校 内 容:生産者の協力を得て、地元農産物を学校給食に提供した。また、給食メモを配布して地元の食材について紹介した。	178
後志	留寿都村 ・留寿都村立留寿都小学校 ・留寿都村立留寿都中学校 栄養教諭による給食時間訪問	給食を通じて、食の重要性や栄養素、食事のマナーなどについて指導し、望ましい食習慣を身に付けさせる。	時 期:小学校は通年。中学校は月に1回の訪問。 場 所:各学校 内 容:学校で統一した指導をすることで、児童生徒に望ましい食習慣を身に付けられるよう、給食時準備や後片付け、食事マナーなどについて指導、助言を行った。訪問できない学級、学校に対しては、給食メモを配布し、情報提供に努めた。	178
後志	留寿都村 ・留寿都村立留寿都小学校 ・留寿都村立留寿都中学校 栄養教諭による給食時間訪問	給食を通じて、食の重要性や栄養素、食事のマナーなどについて指導し、望ましい食習慣を身に付けさせる。	時 期:小学校は通年。中学校は月に1回の訪問。 場 所:各学校 内 容:学校で統一した指導をすることで、児童生徒に望ましい食習慣を身に付けられるよう、給食時準備や後片付け、食事マナーなどについて指導、助言を行った。訪問できない学級、学校に対しては、給食メモを配布し、情報提供に努めた。	178
後志	共和町内各小中学校／ 食育指導	食べ物を大切にすることを育み、食べ残しを減らす。	・栄養教諭が中核となり、地産産物を使用した学校給食の提供やりザーブ給食を実施。 ・残食の傾向や原因を把握するために、各学校の学級ごとに「残食調査」を実施 ・残食調査の結果周知や食に関する情報の発信として、給食だよりの発行 ・各地に伝わる郷土料理を提供	394
後志	共和町内各小中学校及び各幼児センター／ ふるさと給食	共和町の新鮮で安心な農産物を学校給食の食材として多く使用することで、幼児・児童生徒の地産産物に対する理解を深め、ふるさとを大切にすることを育むことを目的とする。	令和3年度 ふるさと給食 実施日:令和3年11月10日(水) 場 所:町内小中学校・幼児センター 内 容 ・共和町の新米をはじめ、地元で収穫された新鮮な野菜を利用したメニューを考案し、地産地消を推進	542
後志	古平町学校給食センター 地産地消、地場産食材の推進	地元でとれた食材等を給食で提供することにより、地元の食文化にふれ、知識や役割など関心を深める。	白米は100%地元産ななつぼしを提供している。 一部鶏卵も地元産を使用。 畜産については、古平飼育場で育った豚肉を使用。 野菜や魚類についても、旬の時期にできる限り提供している。 令和3年度の地産産食材の使用は77品目となり、R2と比較し8品目の増となった。	135
後志	古平町立古平小学校 食に関する指導	児童一人一人が正しい食事のあり方や望ましい食生活を身に付け、食に関する理解を深める。	食関する指導の年間計画に基づき、食の重要性、感謝の心、心身の健康、食事のマナー、栄養バランスの良い食事の摂り方を指導。	88
胆振	むかわ学校給食センター/給食だより	食育月間の周知と食を営む力の育成、食環境づくりの推進についての啓発	令和3年6月 町内小中学校5校の児童生徒に給食だよりを配布	600
胆振	町内小中学校5校/ほべつメロンの提供	地元の名物である季節の食を知ることを	令和3年7月 町内小中学校5校へほべつメロンを給食で提供	600
胆振	町内小中学校5校/むかわっ子給食	町内産の食材の豊かさの周知	令和3年10月 町内小中学校5校へ、食材・調味料全て町内産のものに限定して調理し、給食で提供	600
胆振	町内小中学校5校/地元の食材の提供	地元産の食材の周知	令和4年1月 町内小中学校5校へ、地元で生産された豚肉を給食で提供	600

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
胆振	町内小中学校5校/卒業記念ケーキの提供	地元産の食材の周知	令和4年3月 町内小中学校5校を対象に、卒業記念として町内産のイチゴを使用したケーキを提供	600
胆振	保育園・認定こども園	食に関する正しい知識の普及	・食育指導計画に基づき、月1回保育園において食育指導を実施。	
胆振	保育園・認定こども園	望ましい食習慣の定着	・給食のメニューに行事食(正月、ひな祭り等)を取り入れ、食を通して行事の意味、関心、大切さを伝える。	
胆振	保育園・認定こども園	食に対する感謝の気持ちを育む	・農業体験を通して食への関心、興味、感謝の気持ちを育む。	
胆振	保育園・認定こども園	安心安全な食の提供	・アレルギー児童の把握。 ・アレルギー対応の給食の提供。	
胆振	保育園・認定こども園	安心・安全な食の提供	・栄養士が作成した献立を基に安心安全な給食の提供。	
胆振	町内小中学校	地場産物の利用促進	・給食の食材において、地場の食材にこだわり(魚、昆布、卵、しいたけ等)利用の促進を図っている。	
胆振	町内小中学校	・将来の生活習慣病を予防・改善するための食習慣を身に着けるため、学年に応じた食育の指導。	・各小中学校の食育全体計画・指導計画をもとに、教科、給食時間における、栄養教諭、家庭科教諭、担任、養護教諭等による発達段階に応じた食育、栄養指導	
胆振	町内小中学校	・食生活や健康についての関心を高めるための「子どもがつくるお弁当の日」の実施。	・町内各小中学校における「子どもが作るお弁当の日」の実施 白老小12月2月 萩野小7月2月 竹浦小6月7月 虎杖小7月9月 白老中11月3月 白翔中12月1月	
胆振	しらおい食育防災センター「ふるさと給食」	学校給食を通じて、子どもたちが、ふるさとの食材や食文化に関心を持つ機会を提供する。	地場産物[地域]やアイヌ伝統料理をを学校給食献立として提供する。 ・ふるさと給食の提供、提供時にチラシの発行 アイヌ料理オハウ等(3回) 白老産のほつきカレー(1回) 白老牛の牛丼(1回) 白老産ます(3回) ・白老産の食材、アイヌ食材カレンダーの発行(毎月)	720
胆振	しらおい食育防災センター「リクエスト給食」	学校給食を通じて、子どもたちの食への興味・関心を高め、食に関する知識と選択する力を醸成する。	児童・生徒のアンケートによるリクエスト結果を反映した献立を学校給食として提供する。 ・年10回 「リクエスト給食の日」のアンケート結果ランキングについてチラシ配布	720
胆振	登別市立若草小学校「給食を楽しく食べよう」	基本的な食事のマナーを知る。	□対象 小学校1学年 □実施時期 10月21日 □内容 学級で、栄養教諭により食事のマナーや食事の大切さについて学んだ。 □成果と課題 自分の体に興味を持ち、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。	55
胆振	登別市立若草小学校「望ましい食生活について」	五大栄養素を知り食事の重要性を学ぶ。	□対象 小学校5学年 □実施時期 11月16日 □内容 学級で、栄養教諭により望ましい食生活や五大栄養素について学んだ。 □成果と課題 自分の体に興味を持ち、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。	59

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
日高	新冠町立新冠小学校	生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の安全確保等が図れるように、自ら食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身につけるための学習等の取組みであることから、新冠産食材を活用し、食や命の大切さについてより効果的な学習を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 年2回 ・実施場所 新冠小学校 ・内容 新冠産食材を使用したメニューによる学校給食を実施。 ・メニュー ・7月14日:ごはん/夏野菜ふるさとカレー/ピーマンサラダ/ホロシリ牛乳 9月22日:バターロール/ハンバーグ つけあわせ/マカロニスープ/ホロシリコーヒー牛乳	262
日高	新冠町立朝日小学校	生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の安全確保等が図れるように、自ら食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身につけるための学習等の取組みであることから、新冠産食材を活用し、食や命の大切さについてより効果的な学習を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 年2回 ・実施場所 朝日小学校 ・内容 新冠産食材を使用したメニューによる学校給食を実施。 ・メニュー ・7月7日:ごはん/夏野菜ふるさとカレー/ピーマンサラダ/ホロシリ牛乳 9月15日:バターロール/ハンバーグ つけあわせ/マカロニスープ/ホロシリコーヒー牛乳	51
日高	新冠町立新冠中学校	生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の安全確保等が図れるように、自ら食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身につけるための学習等の取組みであることから、新冠産食材を活用し、食や命の大切さについてより効果的な学習を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 年2回 ・実施場所 新冠中学校 ・内容 新冠産食材を使用したメニューによる学校給食を実施。 ・メニュー ・7月19日:ごはん/夏野菜ふるさとカレー/ピーマンサラダ/ホロシリ牛乳 9月7日:バターロール/ハンバーグ つけあわせ/マカロニスープ/ホロシリコーヒー牛乳	181
日高	新ひだか町内6小学校・3中学校(全小中学校)	新型コロナウイルス感染症の影響により、当町における特産品である黒毛和牛肉や地場産米などの需要が大幅に減少し、販売価格が低下するなど先行き不透明な中、町が地場産食材を購入して町内の学校給食食材として提供することによって生産者を支援するとともに、子供達が日頃口にする機会が少ない地元農畜産物への理解を深めてもらい、今後の消費拡大に繋げて地域経済を活性化することを目的として実施した。	対象:新ひだか町内6小学校・3中学校の教職員・児童生徒数約1,700人 時期:令和3年6月～令和4年2月間の月1回 内容:黒毛和牛肉ブランドとして主に東京に出荷されている「みつしし牛」、地場産米の「万馬券」と「トキノミノル」を町内6小学校・3中学校の全教職員・児童生徒に延べ9回に亘り食材提供し、特に子供たちが好むカレーや牛丼などを中心とした給食メニューとした。 ※参加人数は1回当たりの数(延べであれば、1700人×9回=15,300人となる。)	1,700
渡島	福島町認定こども園福島保育所／食育月間・食育の日の普及啓発	食育月間・食育の日の普及啓発のため	対象:認定こども園 時期:6月 内容:認定こども園福島保育所の月間献立表の余白スペースや健康カレンダーを活用し、食育月間・食育の日に関する記事を掲載(参加者数記入なし)	0
渡島	福島町認定こども園福島保育所／食育教室	保育園児に食に関心を持ってもらうため	対象:認定こども園 時期:6月1日 内容:認定こども園福島保育所の園児(4・5歳児)を対象とし、食べものと栄養素をテーマに、イラストや写真を使いながら講話を行った。給食のメニューを活用し、食に関心を持つよう心掛けた。	26
檜山	せたな町(全小中学校)／せたな産給食の日	せたな町産の食材を中心とした献立で給食を提供することにより、地元食材に対する理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・実施時期:5月、10月 ・実施場所:町内の全小中学校 ・献立:5月「アスパラガスのスパゲッティ」、10月「つぶの炊込ご飯」 	

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
檜山	せたな町(全小中学校)／食に関する指導	児童・生徒が食事を通じて、食事の重要性や食事のマナーを通じた社会性及び心身の健康・食品を選択する力について学ぶ	・実施時期: 通年 ・実施場所: 町内の全小中学校 ・内容: 栄養教諭を講師に、下記の内容をメインに1時間の授業を実施する。 小学1年生 食事のマナー 小学2年生 よく噛んで食べる 小学3年生 おやつのはり方 小学4年生 どんな朝ご飯を食べるといいのかな 小学5年生 なぜ食べるのだろう 小学6年生 生活習慣病を予防しよう 中学1年生 成長期の栄養 中学2年生 骨をつくるためのライフスタイルを考えよう 中学3年生 生活習慣病とその予防～塩分のはり方～	460
檜山	厚沢部町内全小・中学校／食育指導・給食指導	食育指導…食事の重要性の理解、食べ物の正しい知識の習得 給食指導…食指のマナー、食習慣の形成	栄養教諭が各学校に出向いて、授業及び給食時間における指導を行う。 各学年年間数回実施 ・食育指導の内容 小学校…好き嫌いについて・箸の持ち方・食事のマナー・食品の分類・給食ができるまで・おやつのはり方・「食事・運動・睡眠」について・生活習慣と食事について 中学校…スポーツと栄養・正しいダイエットについて・生活習慣と食事について・食物アレルギーについて ・給食指導の内容 給食時間に児童生徒との交流を図ることによって、本日の給食に使われている食材の栄養素を伝え、栄養に対する意識を向上させる。 厚沢部町内小学校児童数:164人 中学校生徒数:71人 先生:1人	236
檜山	今金町内各小中学校／今金産黒毛和牛を使用した給食の提供	地場産黒毛和牛を食する事で地域の畜産業に関心を持つ事を目的とする。	開催日…令和3年11月2日(火) 場 所…町内各小中学校 提供メニュー…スープカレー・フルーツのゼリー和え・牛乳概要等 JA和牛生産改良組合、JA今金町、町産業振興課の協力のもと、安価で今金産黒毛和牛の肉を提供していただき、学校給食センターで給食として提供。和牛生産者が各小中学校で食事の前に和牛に関する講話をし、交流しながら給食を食べる事で、生産者を身近に感じ、畜産業に関心を深めることができた。(今年度に関しては、コロナウイルスの影響もあり、生産者の方を学校へ呼ぶ形ではなく、Zoomや映像を通して講話して頂いた。) また、今年度は今金小学校と種川小学校6年生を対象にした、JA主催の「地元食材を使用した食育教室」と合同で実施した。	390
檜山	今金町内各小中学校、認定こども園いまかね、種川へき地保育所／ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日	生産者より提供された地場産品を生産者と一緒に食することにより、地場産物への関心や生産者への感謝の気持ちをもつ機会、また、児童生徒と生産者が直接接することでお互いの理解を深める機会とする。	開催日…令和3年11月19日(金) 場 所…町内各小中学校、認定こども園いまかね、種川へき地保育所 調理メニュー…いまカレー、ふかし芋、牛乳 内容 本来であれば、PTA・JA女性部・生産者の方々の協力を得て実施していたが、今年もコロナ禍の影響のため、従来通りの献立提供が困難であることから、内容を変更して実施。調理における協力は参集せず、生産者様から食材提供をして頂き、素材の味を楽しんでもらいたいという趣旨のもと、給食形式での提供を実施。「いまカレー」は、減塩を目的とした献立であり、中央に今金男爵が添えられているカレー。「いまカレー」であれば、例年使用していた食材をカレーに用いることで地元産の食材を味わい、かつ密を避けるための調理も給食センター職員のみで対応できることから感染予防対策も講じた事業実施となっている。	450
檜山	今金中学校／【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】おにぎり作り体験学習	自分でおにぎりを作る事により、作ってくれる人へ感謝の気持ちを持つ。おにぎり作りを体験する事により、将来自分でお弁当を作れるようになる。 今年度は12月6日の日曜参観日に合わせて、1年生はおにぎり弁当を自分で作って持参した。	開催日…令和3年11月15日(月) 場 所…今金中学校食堂 対 象…今金中学校1年生 内容 本来であれば、ふるさとの恵みとほほえみに感謝する日で提供される今金産の「ふっくらんこ」を使用して、自分でおにぎりを握る体験をしており、調理協力をいただいたJA女性部の方を講師として事業を行っていたが、今年度は例年同様の実施が困難であったため、別日に実施。感染対策上、友達と楽しく話しながら握ることは難しかったが、一緒におにぎりを作るという行為自体が楽しい上に、自分で握ったおにぎりが予想以上に美味しいと回答していた。普段何気なく食べているおにぎり作りが意外と難しく、特に三角のおにぎりを握る事が難しかったと回答。難しさを自分で実感することにより、作ってくれている人への感謝の気持ちが生まれていた。	30

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
檜山	今金中学校／【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】「洋食のマナーを体験しよう！」	洋食のテーブルマナーを学ぶことにより、基本的な作法の習得を目指し、日常の食生活や将来洋食を食べる機会の際に役立ててもらおう。また、作っていただいた食事を大切にいただく気持ちを育む事も目的とする。	開催日…令和3年12月5日(日) 場 所…今金町民センター 対 象…今金中学校2年生 講 師…八千よ 大倉 寮一 氏 テーマ…「洋食のマナーについて」 提供メニュー 「コーンスープ」「クロワッサン、ソフトフランス」 「若鶏のソテー季節の野菜添え」 「野菜サラダ」「カンスシャーベット」 内容 今金町の料理店に洋食を作っていただき、コース料理の形式で提供。料理の配膳については、日曜参観日に実施する事で保護者から協力をいただき保護者の皆さまと給食センター職員で給仕したが、今年度は感染予防対策上、給食センター職員のみで対応。飛沫感染予防のため、つい立使用。	44
檜山	今金町中学校／【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】バイキング給食	個人にとって必要なバランスを良くとるために、食べ物の組み合わせ方を覚え、食事を選択する周りの人々を考慮する等、栄養を意識した食事を選択する力とマナーを体験する。	開催状況…令和4年 1月19日(水) 今金中学校3年生 令和4年 2月 9日(水) 種川小学校全校児童 令和4年 3月15日(火) 今金小学校6年生 講 師…栄養教諭 内 容 主食・主菜・副菜・デザートをそれぞれ数種類用意し、栄養バランスを学ぶため各品目から取る目安を伝える。 食べていた食材を栄養素のグラフに図示し、取れている栄養素・不足している栄養素を把握し、今後の食生活に活かす。	120
檜山	今金中学校／【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】お弁当作り体験	中学校を卒業したら給食が無くなることから、食と向き合うきっかけとする。 限られた食材の中から献立を班毎に考え、作り方を各家庭で教えてもらう事で家庭と連携し、工夫して調理する事により、お弁当を作ってくれる人の苦勞を学び、感謝の気持ちを育む事を目的とする。 今年度は12月6日の日曜参観日に合わせて3年生はお弁当を自分で作って持参した。	開催状況 令和3年10月29日(金) お弁当のおかずを考えよう(事前学習) 令和3年11月4・8日(木・月) お弁当のおかずを作ろう 講 師…栄養教諭・学校給食センター栄養士 内 容 ・事前学習 生徒は各班に分かれて、肉料理の献立を示された食材から考えて決める。作り方のレシピは家庭で教えてもらう等家庭のサポートをいただく。 ・体験学習 厚焼き玉子は全員必修で作る。 お弁当箱に作った肉料理、厚焼き玉子、当日の給食の献立を盛り付けて、当日の給食と一緒に食べる。調理器具の用意から後片付けまで、一連の作業を行う。	40
檜山	今金中学校／食に関する指導	今金町で作られた食材を食べる良さを知る。	開催日…令和3年11月15日(月) 場 所…今金中学校 概要等 対 象…今金中学校1年生 講 師…栄養教諭 テーマ…「地産地消」	30
上川	下川町認定こども園 下川小学校 下川中学校	とまとジュースの日	本町の特産品である、とまとジュース「ふるさとの元気」を月1回程度各学校に提供することで、地域で生産された食材を地域で食す「地産地消」の理解と意識を促し、食育へと繋げていく一環として実施している。 (参加者数記入なし)	0
上川	町内全小中学校／学校給食 美瑛町立美瑛小学校 美瑛町立美瑛東小学校 美瑛町立美馬牛小学校 美瑛町立美沢小学校 美瑛町立明德小学校 美瑛町立美瑛中学校 美瑛町立美馬牛中学校	美瑛産の食材を最大限活用した給食を提供し食への関心を高め、また地産地消の推進への意識向上を図るため。	時期:通年 場所:町内全小中学校 内容:美瑛米や美瑛牛乳など、美瑛町の地産産物を最大限活用した給食を提供する。	632
上川	当麻町立当麻小学校 「食に関する指導」(栄養教諭の指導)	○食事の重要性や楽しさを理解させる。 ・心身の成長や健康の保持増進のため、正しい知識を身に付ける、など	○各学級に給食時間の中で、配膳、後片付け、栄養について指導 ○感染症拡大防止に向けた「黙食」の徹底 ○高学年に、食に関する指導を実施	270
上川	当麻町立宇園別小学校	栄養素の働きや食事のマナーを学ぶ	コロナ禍のため令和3年度は二度しか実施できなかったが、当麻町の栄養教諭による給食事に指導を行った。	15

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	当麻町立当麻中学校 「食に関する日常指導」	○規則正しい食事の重要性や食事の楽しさを理解する。 ○自分自身の食生活に関心をもち、心身の成長や健康の保持増進のため望ましい食生活について考え、実行しようとする態度を育成する。	○学級ごとの給食時間において、盛り付け、配膳、後片付けについての指導するとともに生徒自らが考え実行する。 ○新型コロナウイルス感染症防止の観点にたった食事の在り方を生徒自ら考え実行する。 ○毎月発行される「給食だより」を活用し、心身の成長と健康の保持増進を踏まえ、望ましい食習慣の在り方を考える。	147
上川	名寄市学校給食センター アレルギー給食の実施	食物アレルギーを有する児童生徒もアレルギーのない児童生徒と同じように学校給食を楽しめるように、安全性を最優先とした給食の提供を行う	通年 名寄市内各小中学校 ・実態を踏まえた適切な対応 ※提供数や日にちが異なるため参加者数不明	
上川	名寄市学校給食センター 地場産品の活用による学校給食の教育的効果の引き出し	学校給食食材としての積極的使用による食育教育や地場産品との連携	名寄市内各小中学校 ・主食米の年間使用 ・パン用小麦の使用 ・旬に応じた野菜 ・地場産野菜の冷凍品 ・地場産加工品 ※提供数や日にちが異なるため参加者数不明	
上川	名寄市学校給食センター 季節行事食の提供	伝統料理を献立に組み込み、国や地域の伝統文化を継承してゆくための関心や意欲を高めるきっかけ作り	名寄市内各小中学校 ・卒入学祝い赤飯、冬至かぼちゃ、入試験担ぎ、節分、ひなまつりなど ※行事によって提供数や日にちが異なるため参加者数不明	
上川	士別市内小・中・高等学校/ふるさと給食・地元産の米粉と小麦を使ったパンや麺の提供	地元産農畜産物を使用し食を通じて地域の産業や自然の恵みを理解し、また生産や流通などに関わる人々との交流を深めることなどを通じて、食育の推進に努めるとともに、地場産食材の消費拡大を図る。	6月～1月まで計9回実施。地元食材については農家へ直接交渉し作付けを依頼するほか、収穫物の情報を集めて給食に利用している。献立表に食材についての情報を掲載するなど工夫をしている。	12,100
上川	富良野学校給食センター 「ふるさと食材の日」	「ふるさと給食」に加えて、地元の旬な食材を知ってもらう機会とする。	5月～2月(9月を除く)期間 ・月1回地元で採れる旬の食材を使用したメニューを提供。給食だより号外を発行して食材を生産者とともに紹介し、食育の理解を深める。 ・動画を作成し食育に活用。	2,221
上川	富良野市内、中富良野町内、占冠村内各小中学校 「食に関する指導」	学校給食を「生きた食材」として活用し、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるよう指導する。	学校給食を供給する3市町村の小中学校からの希望に応じて、3名の栄養教諭による食の指導を実施 ・実施時期 4月～3月 ・対象校3市町村 22校(小学校14校、中学校7校、義務教育学校1校) ・実施内容 各教科、給食時間等における指導 ・保護者向け講話の実施 ・年間指導計画作成及び給食だよりの発行 ・児童・生徒と保護者、学校との個別相談	2,221
上川	上川小学校/大雪高原牛給食	地場産物の活用した給食を通し、生産者の仕事の内容や、町内の子どもたちへ伝え、生産者や食材への感謝の気持ちをもたせる。	11月実施。町内の畜産振興会より、地場産物である大雪高原牛の寄付があり、給食で提供した。その日の小学校の授業で生産者の様子やメッセージをビデオに撮影し、生産者の苦労や思いを伝えた。 子どもたちは、生産者や食べものに感謝する気持ちをもつことができ、生産者へ感謝や味の感想を手紙にして届けた。生産者も、消費者からの直接の感想が伝わる機会が少なかったため、子どもたちからの感想をとっても喜んでいました。	18
上川	上川小学校/お祝い給食	地場産物の活用した給食を通し、生産者や食材への感謝の気持ちを持たせる。	3月実施。上川町農産物連盟より地場産物のもち米の寄付があり、給食で提供した。給食時間に全校放送で、生産者や団体の「地元の食材を地元の子どもたちに食べてほしい。」との思いを伝えた。子どもたちは、喜んで食べていた。	92
上川	上川小学校/バイキング給食	食を選択する力を身に付ける。	3月実施。卒業を前にした6年生を対象にして、バイキング形式で給食を提供した。複数のメニューから、自分の好みや栄養バランス、食べられる量を考え、自分で選択してメニューをつくる。子どもたちは、楽しみながらも栄養バランスを偏らせことなく選択し、それぞれに自分だけのメニューを完成させていた。1～5年生も、6年生になってバイキング給食を体験することを楽しみにしている。	16

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	上川中学校/特別活動	健康や食習慣の知識を深め、今後の成長について考え、望ましい食習慣を形成するために判断し行動ができるようになる。	1年(23人)、時期:11月、「朝食を見直そう」 2年(16人)、時期:5月、「体に合ったエネルギー量を考えよう」 3年(19人)、時期:3月、「バランスの取れた食事を考えよう」 各学年、栄養教諭による講話と演習を行い、理解を深めた。	58
上川	美深町内各小中学校 栄養教諭による食育授業	・生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送るために望ましい食習慣の定着と食生活の関心を高める。	・時期:令和3年5月から12月 ・対象:各学校各クラス1回 ・実施方法:勤務校は年間計画、連携校は指導内容を調査し、学校の希望に沿った指導を行う。	233
上川	美深町学校給食センター 地産地消の推進	・地場産品を給食に取り入れることにより、地元の食文化にふれ、知識や役割などの関心を深めつつ、地産地消を推進していく。	・地元でとれたアスパラ、メロン、じゃがいも、葉菜類、もち米、牛肉等を使った献立を作成し、可能な限り地場産の食材を使用するよう努めている。	233
上川	美深町学校給食センター お弁当レシピ	・お弁当を作ることで、食を大切にし、感謝する心を育て、生きる力を身につける。	・時期:3月上旬 ・対象:卒業生(中学3年生) ・概要:学校給食の献立も取り入れながら簡単お弁当レシピ(30品)とお弁当を作るときの5つのルール、ポイントをわかりやすく載せている。	24
留萌	増毛町立増毛小学校 増毛町立増毛中学校 「まるごと増毛デー」	地場産物の消費拡大	・甘エビ等の地元食材を旬を意識しながら使用し、新聞報道や広報などで周知した。 ・生ものなので、天候に左右されやすい。 ・地元食材を普段から使用しているので、特別感を出すために、創意工夫している。	284
留萌	増毛町立増毛小学校 「卒業お祝いケーキ」	地場産物の消費拡大	・卒業式で在校生が参加できないので、儀式的行事を意識させるため、町内の店からケーキを購入し、校内放送で流したり、新聞報道や広報などで周知した。	185
留萌	小平町立小平小学校	・栄養バランスの取れた食生活や正しい食習慣を身につける。 ・食事の組み合わせや食事量、食品の持つ様々な機能性など食と健康の正しい知識を学ぶ。	対象:5.6年生 概要:栄養素についての講話を聞き、給食の献立を考え、自分たちで考えた献立の給食を食した。	23
留萌	小平町立鬼鹿小学校	・栄養バランスの取れた食生活や正しい食習慣を身につける。 ・食事の組み合わせや食事量、食品の持つ様々な機能性など食と健康の正しい知識を学ぶ。	対象:5.6年生 概要:栄養素についての講話を聞き、給食の献立を考え、自分たちで考えた献立の給食を食した。	8
留萌	小平町立鬼鹿小学校	・楽しい食事につながるための食事マナーについて学ぶ。 ・食事に感謝する心を育み、楽しく食事しようとする態度を養う。	対象:全学年 ・給食の時間に、食事マナーの動画を見て、楽しく食事をするためのマナーについて学んだ。	29
宗谷	稚内市立稚内南小学校	児童一人一人が望ましい食生活の基礎基本と食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理をできるようにする。 また、楽しい食事や給食活動を通じて豊かな心を育成する。	□栄養教諭による食に関する指導の実施 ・1・2・3・4・5・6年・特別支援学級の食育教育	364
宗谷	稚内市立稚内東小学校	・自分の食生活を見直し、好き嫌い無くバランス良く食べることが出来るようになる。 ・食事のマナーを知り、実践することが出来るようになる。	・3学期、低学年と特別支援学級に栄養教諭が入り、授業。食べ物の色々なはたらきや、食事の際のマナーについて学習。3年55名4年61名	116

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
宗谷	稚内中央小学校	栄養教諭から、各学年のねらいに沿った食に関する指導をしていただく。	1～6年生各教室 各学年学級活動1時間と給食指導時間	184
宗谷	稚内中央小学校	当日の献立内容と食に関するミニ知識を放送する。	保体委員会の活動として献立に関する知識(給食センター作成の放送原稿)を毎日放送する。	9
宗谷	稚内市立稚内港小学校	食事のマナーや、食の大切さ・栄養について学ぶ。	栄養教諭が学期に1回各学年で『食の指導』を行う。内容は各学年による。	61
宗谷	稚内市立大岬小学校	食の指導の目標の達成のため(昨年度は「食事のマナー」「栄養のバランス」「よく噛んで食べること」など)	稚内市の栄養教諭が年間に各学年1回ずつ(昨年度は7月に実施)学校を訪れ食の指導を行う。	43
宗谷	稚内市立声問小学校	子どもたちに、食事のマナーや栄養のバランスのとれた食事をとることの大切さを理解させる	6月、9月、10月、12月、2月、声問小各教室。養護教諭が、栄養素や食べ物、マナーにかかわる教材を用意して指導。	15
宗谷	稚内市立宗谷小学校	食に関する指導の目標達成のため	稚内市の栄養教諭が年間に各学級1回ずつ来校し、食の指導を行う。	20
宗谷	稚内市立天北小中学校	食に関する指導の目標の達成のため	稚内市の栄養教諭が来校し、各学級に食の指導を行う	16
宗谷	稚内市立天北小中学校	食に関する指導の目標の達成のため	中学校の修学旅行でフランス料理のマナー講座を体験する	6
宗谷	稚内市立宗谷中学校	自らの生活習慣を見直し、よりよい生活習慣について考える。	11月に栄養教諭が全学年を対象に、自らの生活習慣の振り返りや成長期に必要な栄養について考え、実践に向け具体的なアドバイスやペア学習で学び合うことができた。	28
宗谷	稚内市立稚内東中学校	食についての興味関心を高める機会とする。	・給食センターから送られてくる献立放送原稿を報道委員会生徒がお昼の校内放送で全校に伝える。(通年)	174

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
宗谷	稚内市立白樺保育所 「お味見当番」	給食メニューや食材、調味料や味付け等に興味を持ち、仲間に教えたり、発表することを楽しむ。	時期:1月中旬から3月まで 対象: 年長児 お当番2名が、給食の前に試食し、メニューを知る。また、食材、味付けなどを自分で感じたり、分からないときは調理員さんに質問したりして、知っていく。 給食を食べる前に覚えたことを自分で表現しながら発表する。	12
宗谷	稚内市立港保育所	好きなものばかりではなく、栄養のある物を知り、楽しんでいただく。	3月上旬 保育所ホール バイクング給食	37
宗谷	稚内ひかり幼稚園・きらきら保育園	実際に食べているものを通して、食べ物の大切さ、作っている者への感謝を知る。	各クラスへ定期的実施(0~2歳は毎月) 給食従事者(管理栄養士、栄養士、調理師、調理員)が実施調理している者を知り、食事への関心を深め、感謝の気持ちをもって食する。実際に食べている食材についても説明し、学びを通して自分の体への影響を知る機会をつくる。 子どもたちが食べている姿を通して、子どもの食事傾向・嗜好を知り、今後の調理等に生かす。	140
宗谷	浜頓別町こども園・浜頓別町立浜頓別小学校・浜頓別町立浜頓別中学校・北海道立浜頓別高等学校 (町内全学校対象) /地場産物を使用した給食提供の取り組み	学校給食を通じ、町内の産物や特産物について知り、生産者や地域の恵みに対する感謝の気持ちを育むため。	対象:町内全学校 時期:6月18日、10月21日、10月28日、1月25日 場所:各学校 内容:給食だより、または、おたより(毎日配布)を通じて、地場産物を使用した給食の紹介を行って。食材はホタテ・鮭で、毎年町内の漁業組合から無償で寄付して頂いているものを使用。実施日には、日刊宗谷(地域新聞)に依頼をし、児童が給食を食べている写真と共に、記事を掲載してもらうなど、情報発信に努めている。	360
オホーツク	市内小中学校 くじら給食	網走の鯨食文化の普及・継続を図ること。	時期:2月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・鯨に関するパンフレット、ぬりえの配布。 ・捕鯨事業者による鯨に関する講話の実施(オンラインでの実施)。 ※4校で実施。 【提供した献立】 ・ご飯、くじら肉の竜田揚げ、なめたけ和え、呉汁、牛乳 ※鯨肉は網走くじら協議会より無償提供。	2,800
オホーツク	市内小中学校 行者菜給食	・児童生徒が地場食材に触れる機会を増やすこと。 ・地元食材について理解を深めること。	時期:6月、7月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・行者菜のスタミナラーメン、行者菜入りトシスカンを学校給食で各1回提供。 ※行者菜はJAオホーツク網走から購入。 ・行者菜に関するパンフレットの配布。	2,800
オホーツク	市内小中学校 野菜の日給食	・児童生徒が地場食材に触れる機会を増やすこと。 ・地場の産物や野菜について理解を深めること。	時期:8月、11月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・野菜の日(8.31)と、野菜の収穫期である秋(11月)に、野菜中心の献立を取り入れた。 ※使用した野菜の一部はJAオホーツク網走より無償提供。 【提供した献立】 8月:とうきびライス、長芋コロッケ、ベジータソーテー、夏野菜ミネストローネ、牛乳 11月:ご飯、ほっけの竜田揚げ、もやしと小松菜のごま和え、長いもけんちん汁、牛乳 ・野菜に関するパンフレットの配布。	2,800

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	市内小中学校 ふるさと給食	網走で生産される地場生産物を学校給食に使用するとともに、児童生徒が地元の産業を理解し、地場生産物の味覚・風味・新鮮さなどを知ること。	時期:10月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・地場食材を中心に使用した献立を取り入れた。 【使用した地場食材】 ・鮭・すりみ・しじみ、網走産の野菜 ・ふるさと食材に関するパンフレットの配布。	2,800
オホーツク	市内小中学校 第2回ふるさと給食	網走で生産される地場生産物を学校給食に使用するとともに、児童生徒が地元の産業を理解し、地場生産物の味覚・風味・新鮮さなどを知ること。	時期:12月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・生産者(西網走漁業協同組合青年部)によるほたて、たこに関する講話の実施。 ※4校で実施。 ・食材に関するパンフレットの配布。 【提供した献立】 ・網走産キャロットパン、網走産海の幸クリームパスタ、野菜サラダ、牛乳 ※ほたて・たこは網走市水産漁港課より無償提供。	2,800
オホーツク	網走市立潮見小学校/ 栄養バランスについて考えよう	給食は、赤・黄色・緑の食材をバランス良く摂取できる様に考えられており、心身の成長に欠かせない栄養をとることができる大事な食育の時間だということを知らせる。	時期:令和3年7月 場所:潮見小学校4年生教室 対象:潮見小学校4年生 93名 内容:授業を通して、赤・黄色・緑の食材をバランス良く摂取することが成長期の体作りにとっても大切であることを児童に伝えた。	93
オホーツク	網走市立ひまわり保育園/収穫祭	園児が、農作物を育てて収穫し、それを食べることで食への関心を持たせる。	・園庭でじゃが芋、人参、玉葱等を育て、収穫して園児自らの手でカレーに調理して食べる ・保育所担当栄養士がカレー作りのデモンストレーションを行い、各食材の栄養について紙芝居等を通じて講話を行う ・R3年度は10/9に実施	70
オホーツク	市内小中学校/地場水産物を活用した学校給食	地産地消の促進を目的として、市内小中学校へ学校給食用食材(ホタテ・タコ)を提供。 また、児童と生産者の交流を図り地場産業への理解を深めるため、生産者による講話を実施。	・実施時期:令和3年12月2日～12月17日。 ・対象:市内小中学校の児童・生徒 ・内容 網走産ホタテ、タコを無償提供。 一部で生産者講話を実施(講師:西網走漁業協同組合) ・協力機関:網走市教育委員会	2,700
オホーツク	町内全小中学校対象 地元産農産物学校給食提供事業	学校給食において地元産農作物(アスパラガス・玉葱・人参・澱粉など)を提供し、児童・生徒への食育を行うとともに地産地消を推進する。	・JAから農産物の寄贈を受け、学校給食で複数回使用・提供している。(寄贈農産物)5月:アスパラガス、11月:玉葱・人参・澱粉 ①寄贈を受けた農産物を使用していることなどについては、給食だよりによる児童生徒への周知のほか、町広報紙、地元紙等で広く町民にもPRを行っている。 ②アスパラガス(5月)を給食で提供する際は、学校給食センターにおいて、地元特産品アスパラガスを紹介したパンフレットを作成して全学級に配布するとともに、そのパンフレットを使用して各クラス担任から、児童・生徒へ説明を行っていた。 ※1回あたり1,400人程度へ提供	2,800
オホーツク	町内全小中学校対象 給食を通じた美幌産食材の提供事業	町内の小中学生へ美幌産商品・食材を使用した給食を提供し、町産食材の美味しさを児童や生徒へ伝える。	年数回学校給食で実施 1. 5/26の学校給食で地元産食材を使用 ・アスパラソテー(JA寄贈アスパラガスを使用) 2. 11/4・2/17の学校給食で地元産商品を使用 ・町内の食品会社が製造する「和牛ときたあかりのコロッケ」を提供した。 3. 10/29・11/26・1/21の学校給食で地元産商品を使用 ・びほろあんぱん(館に「びほろ豚醬まるまんま」を使用) 4. 年間を通して学校給食で美幌産農産物を使用 ・米、人参、玉ねぎ、キャベツ、白菜、カット芋 ※1回あたり1,400人程度へ提供	8,400
オホーツク	津別小学校	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	①週に1回、オーガニック牛乳を給食で提供。 ②令和3年11月24・26・29日の3日間、地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつべつ和牛の寄贈を受け、提供している。	360

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	津別中学校	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	①週に1回、オーガニック牛乳を給食で提供。 ②令和2年11月25・27・30日の3日間、地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつべつ和牛の寄贈を受け、提供している。	
オホーツク	津別高等学校	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	①週に1回、オーガニック牛乳を給食で提供。 ②令和2年11月25・27・30日の3日間、地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつべつ和牛の寄贈を受け、提供している。	
オホーツク	認定子ども園「こどもの杜」	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	普段から地元食材を使用しているが、令和3年7月21日、地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。	110
オホーツク	小清水町学校給食センター	よく噛むことを意識付けする	「歯と口の健康週間」と関連付けて、よく噛む食材を使ったかみかみメニューを毎日出す「かみかみウィーク」を実施。期間中は、毎日「給食メモ」を配布して、噛むことの効果を伝えたり、使われている食材の紹介をした。校内の給食掲示板では、噛むことの効果やかみかみクイズなどを掲示し、子どもたちに周知した。 【実施時期】令和3年6月	450
オホーツク	小清水町学校給食センター 地場産品を活用した献立	地場産物について学習する	小清水産の食材を使った献立を実施4月と11月は小清水和牛を使用した「牛丼」「ビーフシチュー」を実施10月は小清水産のピーズ、もち麦、じゃがいも、玉ねぎ、にんじんを使用した「小清水ミネストローネ」を実施実施日は、全校に給食メモを配布し、メニュー紹介と使用している食材や生産者について説明した。	450
オホーツク	佐呂間町立佐呂間小学校 ・給食センター見学(生活)	・給食は様々な人が関わっていることを知り、感謝の気持ちをもって給食を食べる。 ・給食は安全に美味しく作られていることを知り、給食を大切に食べる。	7月14日(1年)給食センター給食センターの中の窓から、下処理室・主調理室を見学。栄養教諭から給食の作り方についての話。実際に、給食で使用している調理道具を持つ体験を行った。	18
オホーツク	佐呂間小学校2年生 「給食に関わっている方々の気持ちを考えよう」	・自分たちが食べている給食には、多くの人々が関わっていることに気づき、感謝して食べようとする気持ちを持つ。	6月29日(2年)2年生教室給食にはどのような方が関わっているかを知り、気持ちを考える。給食に関わっている方々にインタビューをし、思いを伝える。	19
オホーツク	佐呂間小学校4年生 「給食の残り物はどうなるの？」	・給食の残食はリサイクルされていることを知る。 ・残さず大切に食べる大切さを知る。 ・佐呂間町の理解に繋げる。	7月15日(4年)4年生教室4年生社会、「ごみの行方」に関連づけて、給食の残り物はどうのようにリサイクルしているのか、調理員さんはどんな気持ちで洗浄作業を毎日行っているかを話した。(佐呂間町では給食の残食や牛乳のしぼりかすなどを発酵させ、肥料やろ過に使用する土にかえる施設がある。)	37
オホーツク	佐呂間町内各小中学校 ・セレクト給食	食事の楽しさや食べることへの意欲を高めるため。	12月9日 給食を提供している全学校で実施。カレーライスのトッピングを選択する。「チキンカツ」「ハンバーグ」「エビフライ」の3種類より1つ選択する。	424

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	佐呂間町内各小中学校 バイキング給食	①児童が健康の保持増進のために、自分の体に合ったものを選んで食べる力を養う。 ②卒業式前の行事食として、楽しさや満足感をもち、食べることへの意欲を高める。	3月3日佐呂間小学校 家庭科室・6年生教室使用 3月16日浜佐呂間小学校 体育館使用 3月18日若佐小学校 4教室を使用 各学校感染対策を行いながら、実施。	85
オホーツク	佐呂間町内各へき地小学校 栄養教諭による給食指導	給食を通じて食に対する知識や望ましい食習慣を身に付ける。	通年実施(給食時間) 栄養教諭が小学校を訪問し、一緒に給食をとりながら意見を交換したり、給食指導を行う。給食指導は、給食後5分、各テーマにそって食に関する指導を行っている。	54
オホーツク	佐呂間町内各小中学校 ふるさと給食	佐呂間の地場産物をより給食で活用できるように献立を工夫し、給食を通して佐呂間町の魅力を再発見するため。	7月～1月にかけて月1回実施。	424
オホーツク	雄武小学校	食への興味や関心を深め、適切な食生活についての基礎知識を学ぶ。	対象:小学1年生 時期:4/13～4/30(13日間)、5/6～5/31(18日間)、7/1～7/21(14日間) 場所:雄武小学校 内容:栄養教諭から食事の重要性や必要性、作法などを指導した。	35
オホーツク	雄武小学校、沢木小学校、豊丘小学校、共栄小学校	災害時の調理を体験し、避難生活での食事をイメージすることで、防災への意識を高める。	対象:小学5年生 時期:8/26 場所:雄武小学校 内容:防災学校で災害時を想定した非常食づくり(蒸しパン)を行い、試食を行った。	36
オホーツク	雄武小学校	食への関心や興味を持つ	対象:小学1年生 時期:6/1～6/30(22日間) 場所:雄武小学校 内容:栄養教諭が食事の重要性や必要性、マナーなどを指導した。	35
オホーツク	大空町内小中学校 ふるさと給食	大空町で生産される地場生産物を学校給食に供し、子供たちが地元の産業を理解し、地場生産物の味覚・風味・新鮮さなどを知る。	・毎月1回、地場食材を中心に使用した献立を学校給食で提供。 【使用した地場食材】 東藻琴乳酪館のピン牛乳、大空町産の野菜、肉、米、調味料など ・ふるさと食材に関するパンフレットの配付	650
十勝	更別小学校・上更別小学校・更別中央中学校／地産地消の取組	地域で栽培・製造される食物を食べることで地域への理解を深める。	地元産食材を活用した給食の実施。 献立数:135献立 使用食材:アスパラ16kg、キャベツ340kg、メークイン935kg、玉ねぎ980kg、生スイートコーン175本、かぼちゃ48kg、大根230kg、ピーマン16kg、ごぼう62kg、長芋43kg、ヤーコン35kg、牛肉18kg、小豆14kg、小麦粉9kg、更別産うどん(200g)147束、つぶつぶでんぷん30kg	146
十勝	広尾小学校・広尾中学校 ふるさと給食	地元食材の味を知ってもらう	令和3年4月22日(うに)、5月14日(ほっき貝)、6月25日(エゾパイナップ)、9月30日(秋鮭)、10月19日(牛乳)、11月17日(昆布)、12月13日(乳製品) 令和4年2月(とうだいつぶ)、3月(真鱈)	350
十勝	新得町学校給食共同調理場「Sランチ」 新得小学校、屈足南小学校、新得中学校、屈足中学校、新得高等支援学校、富村牛小中学校	子どもたちへ地場産品の理解を深めてもらう 生産者のやりがいを知る	平成28年から毎年実施 令和3年度は9月に実施 JA新得町、JA青年部との共同企画。新得町産の食材を使用した給食メニューを提供し、子どもたちに地場産品を知ってもらうきっかけ作りをしている。 Sランチ給食当日はJA青年部が各学校を訪問し、食材の説明をしており、生産者からも子どもたちのよろこぶ姿を見ることができると好評を得ている。	500
十勝	新得小学校、屈足南小学校、新得中学校、屈足中学校 ／食育指導	児童生徒への食育指導	年間1～2回程度、各小中学校へ栄養教諭が訪問し食育授業を実施	400

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	□学校名:池田小学校1~6年生 □利別小学校1~6年生 □高島小学校1~6年生 □池田中学校1~3年生 □食に関する指導	・食に関する正しい知識を取得し、実践する能力を養う。	□時期:5月~3月 □場所:各学校 □回数:池田小1~5年各1回、6年2回、利別小各1回、高島小1~5年各1回、6年2回・池田中1~2年2回、3年1回 □講師:池田小学校栄養教諭 □内容:主に学級活動の1時間を使い、バランスのよい食事について、給食ができるまでについて等食に関する指導をタブレットを用いて行った。	401
十勝	□学校名:池田小学校、利別小学校、高島小学校 □名称:バイキング給食	・生涯を通じて健康で充実した生活を送るために、数多い食品の中から栄養バランスを考え、適切に食品を選択する能力を育み、食事について自己管理ができる習慣を身に着ける。	□時期:2月1日(高島小)2月10日(利別小)、3月8日(池田小)□場所:各学校 □回数:各1回□講師:池田町学校給食センター調理員、池田小学校栄養教諭 □内容:事前指導では、何をどれくらい食べるかエネルギー計算を行いながら考えた。その学習をもとに給食時間に実際に地場産品を用いた食品を選び、周りへのマナーに配慮しながら喫食した。	570
十勝	□学校名: 池田小学校、利別小学校、高島小学校、北部地域保育所、カトリック幼稚園、池田中学校池田高校 □収穫した作物の活用	・栽培活動や収穫した作物を給食で提供することで、食に対する興味関心を高める。	□時期:12月20日、1月28日、2月22日 □場所:各学校 □回数:各1回 □内容:自ら栽培・収穫した作物を活用し、給食として提供した。ぶどうの収穫後ワインと交換し、ハヤシライスとして、収穫した餅米を赤飯といかめしとしてそれぞれ提供した。また、赤飯、いかめしについては収穫した学年に献立の命名をしてもらった。	570
十勝	大樹町学校給食センター・大樹小学校/ふるさと給食	・町内で生産される、安心安全な食材を給食で提供することにより、生産過程、食料と栄養の関係等健全な成長に必要とされる生活リズム等を学校給食の分野からも取り組む。	・ふるさと給食(年3回 9月2回、12月実施) ・調理~学校給食センター・喫食~各小中高等学校 ・町内で生産された野菜、魚肉類などを年3回のふるさと給食により多く食材として取り込む。 ・町一般会計より支出、給食だよりに掲載	300
十勝	士幌小学校 中士幌小学校 上居辺小学校 士幌中央中学校 「選手に食べてほしい地元の味」(ふるさと給食)	「野球選手に食べてほしい地元の味」をテーマに、新鮮で安心な地元食材を学校給食に使用することで、児童・生徒に地場産物に対する理解を深め、郷土を大切にすることを育む。	対象:士幌町全小・中学校 時期:11月19日 場所:各小・中学校 内容:肉牛振興会さんから提供のしほろ牛や士幌高校のじゃが芋・玉ねぎ・にんじん・手作りヨーグルト、ロマネスコ・大根など、地元食材を豊富に使用した給食を提供。	576
十勝	士幌小学校 中士幌小学校 上居辺小学校 士幌中央中学校 「士幌町美濃市給食相互交流~君の食べる学校給食が知りたい~」	新型コロナウイルス感染症対策により、士幌町と姉妹都市の岐阜県美濃市のフレンドシップ交流事業の中止が続いているため、学校給食を通じて、互いの地域や食文化に触れ、相互交流を図る。	対象:士幌町全小・中学校 時期:2月21日 場所:各小・中学校 内容:学校給食を通じて、士幌町と岐阜県美濃市の地元食材を味わう。 美濃市産のさつまいも「紅はるか」を使用したコロッケと、士幌町産のじゃがいもを使用したコロッケを相互に提供し、同日の給食で提供した。	528
十勝	町内全小中学校	地場産品を使用したメニューを給食として提供することで、地元の農業や農産物への愛着を持ってもらい、食に対する理解を深めてもらう。	年間を通じて 幕別/忠類学校給食センターから提供する小中学校全校。 11/22から11/29のうち4日間 「まくべつの恵み給食」を実施し、地場産食材をメインとした給食を提供した。 参加者:町内小中学生	
十勝	芽室町内全小中学校/めむろまるごと給食	町の基幹産業である農業の大切さと食に関する意識を高めることで、地産地消の推進と食育指導の充実につなげることを目的としている。	時期:5月~3月 計9回実施 場所:芽室町内全小中学校 めむろまるごと給食は、普段の給食より多くの芽室産食材を使用して作る特別な給食である。当日使用した野菜の生産者を給食時間に招き、給食を食べながら芽室町の農業について学ぶ機会となっている。また、生産者の農業に対する思いや苦労を知ることで食べ物や生産者に対しての感謝の気持ちを持つ機会となっている。	1,870
十勝	帯広市学校給食センター	地元産食材を活用した給食を通して、児童生徒の地域の自然や産業、食文化に関する理解を深めるほか、給食に対する理解や関心に加え、望ましい食習慣などについて、家庭への啓発を図るもの。	ふるさとの日の実施 時期:9月、10月、11月の各月に各1日提供 内容:地元の農畜産物を多く使用した特別献立を提供(13,000食×3回)	

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	帯広市学校給食センター	地元産食材を活用した給食を通して、児童生徒の地域の自然や産業、食文化に関する理解を深めるほか、給食に対する理解や関心に加え、望ましい食習慣などについて、家庭への啓発を図るもの。	「食育通信」の配付 時期:毎月発行 内容:健康面や食生活についての注意事項や新メニューの紹介、給食で使用する食材について掲載(12,000世帯×毎月)	
十勝	町内学校給食提供児童・生徒(本別中央小学校、本別中学校、本別高校、勇足保育所、勇足小学校、仙美里小学校)、保護者、生産者	本別町で作られ加工されている野菜や豆などの食材を知ってもらい、それらの食材を使った給食を食べて、ふるさと本別町の食材・食品のすばらしさと食べ物の栄養や働きについて知ることに。	実施時期:令和3年11月24日 概要:毎年11月に『食べて学ぶふるさと給食』を実施しています。地場産食材を最大限に活用し、児童生徒・保護者・生産者が共に給食を食べ、地元の食材及び関わる人々との交流や学びを図っています。(今年度も昨年度に引き続き、コロナ対策のため、保護者及び生産者を招いての交流給食は中止しております) 今年度の新しい取組みとして、役場企画振興課の地域おこし協力隊と共に、献立作成から試作、当日の調理などを行いました。	586
釧路	児童発達支援センター野のはな園/野菜作り	栽培や収穫等の菜園活動を通して、自然と親しみ、野菜に興味関心を持つとともに、野菜を食べようとする気持ちを育てるため。	時期:6月～9月 児童発達支援センター正面玄関前の菜園スペースにて、芋植え、野菜の種まき、水やり等の栽培及び収穫を行う。	216
釧路	児童発達支援センター野のはな園/食育指導の実施	給食献立や調理、栄養等についての話を通して、色々な食材に親しみや興味関心を高め、食べる意欲を育てるため。	対象:児童発達支援センター野のはな園通園児 内容:テーマにもとづき、栄養士が指導室を訪問し、食育指導を行う。 時期:①7月20～8月20日 全7日間 参加人数 44名 ②11月9日～11月29日 全7日間 参加人数 44名 ③2月1日～2月22日 全6日間 参加人数 41名 テーマ「野菜に親しみ、好きになろう」 栽培活動の振り返りや、収穫した野菜を使った給食献立について ②11月9日～11月29日 全7日間 参加人数 44名 テーマ「魚を知り、好きになろう」 魚を使った給食献立や鮭の一生について ③2月1日～2月22日 全6日間 参加人数 41名 テーマ「食事のマナーについて」食事の時のマナーを知り、楽しく食べる	129
釧路	児童発達支援センター野のはな園/地産地消献立の提供	地元でとれた農水産物を地元で消費する地産地消を推進するため「地産地消献立の日」を設定し、給食で提供した。	内容と喫食児童数 ①7月19日 野菜のカレーライス・ほうれんそうのごまだれ和え・根釧牛乳 45名 ②8月23日 阿寒ポークのおろしソース・根釧牛乳 35名 ③9月21日 石狩汁・鶏肉の照り焼き・ウインナーと釧路産パブリカのケチャップ炒め・根釧牛乳 47名	127

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	釧路市立小中学校全校 「ふるさと給食」	ふるさとの食材を通じて、ふるさと釧路の豊かさ、すばらしさを再認識してもらうために実施している。 また、平成14年に再開された釧路沖での調査捕鯨を機に、学校給食でも鯨肉を使った給食を提供し、本市における捕鯨の歴史と鯨食文化に対する理解を深めてもらうために実施していた「鯨肉給食」を令和3年度より「ふるさと給食」として実施。	11月、12月に各1回、釧路産の魚、鯨を使用した献立を実施。 実施校：釧路市内全小中学校 (小学校25校・中学校14校・義務教育学校1校)	10,200
釧路	釧路市立小中学校全校 「鹿肉給食」	地産地消の一環で阿寒地区で養鹿されている、エゾ鹿肉を使用した給食を市内全小中学校に提供している。	市内全小中学校では6月に、もみじ味噌ちゃんこ汁を提供。 実施校：釧路市内全小中学校 (小学校25校・中学校14校・義務教育学校1校)	10,200
釧路	釧路市立保育園・認定こども園食育事業 「おなか博士になろう！～朝ごはんてスッキリうんち～」	朝ごはんの大切さや働きを知り、健康なウンチを出すための食事を楽しく学び、元気に育てもらう	各園年1回、楽しみながら食材や食べることに興味を持ってもらうため、実演やクイズなどを交えて実施している。	323
釧路	釧路市立保育園・認定こども園 「地産地消の日」	①郷土への親しみを持つ②食材の旬を知り季節感を感じる ③地場食材の消費拡大につなげる	令和3年11月26日、地元阿寒町産の鹿ひき肉を使用した「鹿肉のキーマカレー」を提供し、保護者向けおたよりを配布して食材とレシピの普及啓発を図った。	323
釧路	釧路市立保育園・認定こども園 「牛乳の消費拡大に向けた保育園での取り組み」	乳製品のプラス1品に取り組み、牛乳の消費拡大につなげることを目的	国の「NEW(乳)プラスワンプロジェクト」の趣旨に賛同し、保育園給食において、通常の給食メニューから、牛乳と地元食材を使用したメニューに置き換え、地元産の牛乳(根釧牛乳)、鮭(釧路産)、ちぢみほうれん草(釧路産)を使用した「鮭とほうれん草のミルクシチュー」を提供し、市内の私立保育園・認定こども園等にも、実施の協力を呼び掛けた。また、今回のレシピを保護者へも配布し、乳製品を使った料理の活用を、周知。	322
釧路	釧路市立保育園・認定こども園 「牛乳の消費拡大に向けた保育園での取り組み」	乳製品のプラス1品に取り組み、牛乳の消費拡大につなげることを目的	令和4年1月・3月実施(学校の長期休業期間) 国の「NEW(乳)プラスワンプロジェクト」の趣旨に賛同し、保育園給食において、通常の給食メニューから、牛乳と地元食材を使用したメニューに置き換え、地元産の牛乳(根釧牛乳)等を使用したメニュー(1月)「鮭とほうれん草のミルクシチュー」、(3月)「チンゲン菜のクリームスープ」を提供し、市内の私立保育園・認定こども園等にも、実施の協力を呼び掛けた。また、レシピを保護者へも配布、ホームページにも掲載し、乳製品を使った料理の活用を周知。	644
釧路	釧路市立保育園・認定こども園 「食育アンケート調査」	園児の正しい食習慣の把握や、給食への意見等を集約し、今後の給食提供等の参考資料とするため	公立園5園の保護者に、年1回アンケート調査を実施。集計結果を各園に掲示し、給食だよりでも取り上げている。	322
釧路	釧路市立保育園・認定こども園 「給食だより」の配付	保護者に食への意識を高めってもらうため、情報提供を行うため。	毎月、保護者向けに作成し、食について(地産地消、栄養についてなど)情報提供を行う。	3,864

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)
釧路	つくし保育所	食事のマナーを身につける	つくし保育所:3歳児部屋、4歳児部屋、5歳児部屋 5月～6月 食器の持ち方、箸・スプーンの持ち方、正しい姿勢について、正しい手洗いについて	58
釧路	つくし保育所	食べ物それぞれの役割を知り、毎日の給食で食品の栄養を知ってもらう	つくし保育所:3歳児部屋 6月 三色ボードを活用し、食べ物の働きについて学ぶ。 学んだあとに、一人一人前に出てきてもらい、クイズ形式に問題だし、おさらいをする。	20
釧路	はまなす保育所	食べ物それぞれの役割を知り、毎日の給食で食品の栄養を知ってもらう	はまなす保育所:全園児 11月 三色ボードを活用し、食べ物の働きについて学ぶ。 学んだあとに、一人一人前に出てきてもらい、クイズ形式に問題だし、おさらいをする。	5
釧路	つくし保育所	地場産地を食し、食育を通じ、釧路町産野菜の栄養や美味しさを知ってもらう。	つくし保育所:全園児 食育:3歳児部屋、4歳児部屋、5歳児部屋 7月(野菜)、8月(野菜)、9月(鮭)、11月(野菜)、2月(たら)	100

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)
釧路	つくし保育所	保育所で使われる“だし”について、うま味について学んでもらう。	つくし保育所:4歳児部屋、5歳児部屋 7月 “だし”の種類やお味噌汁の大切さについて食育。 ・かつお節や煮干しを触り、匂いをかぐ。 ・だし入りみそ汁、だしなしみそ汁の試飲	40
釧路	つくし保育所	鮭の解体を目の前で披露することで、魚の部位や栄養を知ってもらおう。	つくし保育所ホール:3歳児部屋、4歳児部屋、5歳児部屋 10月 北海道栄養士会ヤクルト協賛事業「鮭の解体ショー」を実施。 感染対策をしっかりとった上で、ホールで子供たちには距離をとってもらい行った。解体した鮭は、以上児のみ“ちゃんちゃん焼き”で提供。	58

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)
釧路	つくし保育所 子育て支援センター	おやつに含まれる砂糖の量について、親に知ってもらい、おやつの与え方を考えてもらう。	つくし保育所子育て支援センター:0歳～2歳の親 11月 おやつの大切さ、子供が食べるおやつの適量を知ってもらったり、実際におやつに含まれる砂糖の量を見せて、食育講座を行った。	6
釧路	つくし保育所	おやつに含まれる油の量について学ぶ。	つくし保育所:3歳児部屋、4歳児部屋、5歳児部屋 12月 おやつの大切さ、子供が食べるおやつの適量を知ってもらったり、実際におやつに含まれる油の量を見せて、食育を行った。	58
釧路	つくし保育所	おやつに含まれる砂糖の量について学ぶ。	つくし保育所:3歳児部屋、4歳児部屋、5歳児部屋 1月 おやつの大切さ、子供が食べるおやつの適量を知ってもらったり、実際におやつに含まれる砂糖の量を見せて、食育を行った。	58

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	つくし保育所	食品の影絵を子供たちに見せて、どんな食材か連想してもらい、その力を養う。	つくし保育所:3歳児部屋、4歳児部屋、5歳児部屋 2月 野菜・果物を影絵で見せて、クイズ感覚で楽しめる食育を行った。 (シルエットクイズ)	58
釧路	釧路町立富原小学校の栄養教諭による食育授業	栄養教諭による食育の授業を通して、小学校から中学校まで発達段階にあった食への理解を図る。	対象:小中学校全クラス児童生徒 内容:食に関する知識・選択する力を学ぶことで健全な食生活への実践力を身につけるための食育指導を実施。	1,300
釧路	真龍小学校2年生雪組	給食センターを見てみよう	R3.5.18 真龍小学校の学級内において、学校給食センターの仕事や給食がどのように作られているのかを学ぶ	21
釧路	真龍小学校4年生月組	食事のマナーについて考えよう	R3.9.28 真龍小学校の学級内において、食事のマナーの大切さについて学ぶ	25
釧路	真龍小学校4年生雪組	食事のマナーについて考えよう	R3.9.28 真龍小学校の学級内において、食事のマナーの大切さについて学ぶ	26
釧路	真龍小学校3年生	主食・主菜・副菜の役割を知ろう	R3.9.28 真龍小学校の学級内において、主食・主菜・副菜の役割とバランスよく食べることの大切さを学ぶ	35
釧路	厚岸小学校4年生	3色の食品群を知ろう	R3.10.4 厚岸小学校の学級内において、3つの食品群の内容と働き、バランスの良い食事の大切さを学ぶ	20
釧路	厚岸小学校5年生	よりよいおやつを取り方を考えよう	R3.10.6 厚岸小学校内の学級内において、お菓子や飲み物の含まれる砂糖や油の量と適切なおやつを取り方について学ぶ	15
釧路	厚岸小学校2年生	給食センターに行ってみよう	R3.11.24 厚岸町学校給食センター内において、給食センターの仕事や給食がどのように作られているかを学ぶ	20
釧路	真龍小学校5年生	よりよいおやつを取り方を考えよう	R3.11.30 真龍小学校の学級内において、お菓子や飲み物の含まれる砂糖や油の量と適切なおやつ取り方について学ぶ	38
釧路	真龍小学校6年生	朝食の大切さを考えよう	R3.11.30 真龍小学校の学級内において、朝食の役割と望ましい朝食の内容について学ぶ	35

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
釧路	太田小学校1・2年生	楽しい給食時間にしよう	R3.12.14 太田小学校の学級内において、楽しい学校給食とマナーを知り、給食の準備と後片付けを学ぶ	8
釧路	太田小学校3・4年生	3色の食品群を知ろう	R3.12.14 太田小学校の学級内において、3つの食品群の内容と動き、バランスの良い食事の大切さを学ぶ	7
釧路	標茶町立標茶小学校 給食時間の指導	児童の喫食状況、嗜好の把握及び食育の推進を図る	栄養教諭が勤務日に月ごとに教室を巡回する。	
釧路	弟子屈小学校	給食について知ろう。	弟子屈小学校1年生/9月2日/給食センターの役割を知る	34
根室	根室内内全校／ふるさと給食事業	児童生徒の地場産物への理解や関心を深めることを目的として、地場産物を使った「ふるさと給食の日」の実施や一部の食材を地場産品に変更するために要する経費を学校給食協会に補助するもの。	年3回実施。提供メニューは以下のとおり 1回目:9月 メニュー:豚丼、マダラすり身汁、ハスカップゼリー 2回目:12月 メニュー:カニカレー、昆布入りサラダ、ヨーグルト 3回目:2月 メニュー:鹿肉ジンギスカン、鉄砲汁、飲むヨーグルト	1,564
根室	町立幼稚園、小中高等学校 出前講座:中標津町立中標津東小学校	中標津町で生産された農畜産物を材料とした給食を提供し、地元の食材に興味関心を持ってもらうことで、地産地消を推進する。	○実施日 給食 令和3年9月30日(木) 出前講座 令和3年10月26日(火) ○実施校 中標津町立中標津東小学校 ○出前講座 時間 11時30分～12時15分(45分間) 場所 体育館 内容 「中標津のじゃがいもについて」 講師 中標津町農協青年部 対象 5年生(72名) ○給食 時間 12時15分～12時50分(35分間) メニュー まるっと中標津カレーライス、 ブロックリーとゴーダチーズのサラダ、 ミルクアイス、中標津牛乳	2,200
根室	標津小学校、川北小学校、標津中学校、川北中学校(町内全小・中学校) ふるさと給食	栄養管理と地元の安全・安心な食材を提供するふるさと教育の両面での食育を関係機関との連携により推進	正しい食事のあり方と望ましい食習慣、自ら健康管理をできることを目指して学校栄養職員による食に関する指導の取組みとあわせて、毎年11月11日の「鮭の日」の前後日において、「ふるさと給食」を実施。この取組みは、町内の水産加工振興協会や標津漁業協同組合女性部の無償協力のもと、標津町の漁業の主力をなしている鮭を活用した給食を提供。	
根室	羅臼町学校給食センター 羅臼定食	地元食材の理解を深めると共に、生産者の方々への感謝の気持ちを育む。	実施時期 10月年1回 対象者 町内の園児・児童・生徒 内容 羅臼町でとれた食材を使って全ての献立を作成した給食を提供。食材について記載した資料を配布し、各学級で指導を行う。 ※一部幼稚園、学校で栄養教諭が羅臼定食について説明	500
根室	羅臼町公式フェイスブック、ツイッター掲載	地元食材を使用した給食献立に関する情報発信	実施時期 提供後随時掲載 内容 給食センターでは羅臼町の海産物を羅臼漁業協同組合や水産加工業者からいただいているため、いただいた食材の内容や献立を羅臼町公式フェイスブック、ツイッターに情報発信として掲載している。	

(2)総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	岩見沢市立中央小学校	ふるさとを支える農業経営者のもとで、大豆を植える、収穫する農業体験、味噌作り体験を通して、食について学びを深める。	対象:小学校3年生 時期:5月中旬事前学習 6月大豆苗植え 9月収穫 12月味噌作り 場所:中央小学校集合学習室、家庭科室、学年農園、北村農園 内容: 事前学習を行ったあと、大豆の苗を植えて、収穫をする。学年農園では十分な収穫ができないので、講師の経営する農園に行き収穫。その後、講師を招いて、味噌の仕込み作業を家庭科室で行う。コロナ禍であったため。調理実習などは行わず、作った味噌を持ち帰る。	61
空知	北村小学校/稲作体験学習「米Mystaデー」	①「つくる→育てる→食べる→活用する」という一連の体験を通し、地域の農業や食に対する関心を高める。 ② 自然と生きる厳しさや感謝の気持ち、豊かな心など、必要な力を身に付けさせる。	5月下旬 田植え集会(田植え体験…協力者10名) 9月中旬 稲刈り集会(稲刈り・はさがけ作業…児童30名、協力者20名) 10月中旬 脱穀集会(脱穀作業…児童60名、協力者10名) ※新型コロナウイルス感染拡大により、今年度は田植え作業においては児童は行わないことにした。	63
空知	岩見沢市立緑中学校/農業体験学習(田植え・稲刈り)、お米試食会	自分の地域の農業生産活動や自然・環境について理解し、食の安全や安定供給と環境問題について考える	6月～田植え体験 農業生産法人(株)道下産地 岩見沢市栗沢町 9月～稲刈り体験 同上 12月～お米試食会 緑中学校(家庭科の調理実習との抱き合わせ) 参加者数 1年生90名、教職員7名 上記の計画を立てていたが、コロナウイルス感染防止の観点から、田植え体験については中止となった	97
空知	岩見沢市立上幌向中学校	地域の特色ある稲作農法を学び、農業と食に関する興味関心を高める。	対象:全学年 時期:10月12日 場所:上幌向中学校各教室 内容:下水汚泥肥料を活用した稲作に取り組んでいる地元農家の峯淳一さんを講師に迎え、農法の特長や栽培された米の栄養価等に関する講演を実施した。また、寄贈された栽培米を生徒が自宅で食し、米の味についてまとめる学習を行った。	55
空知	美唄市内小学校 農業体験学習	・作物の栽培から収穫、食べることまでの一連の食農体験を通し、子供達の「豊かな心」「社会性」「主体性」など将来にわたる「生きる力」を育成する。	□時期 稲刈り(9月)、脱穀(9月下旬～10月下旬)、試食会(11月上旬～12月中旬)、学校内野菜、畑作、花壇づくり等(5月～10月) □場所 稲作体験は農家ほ場 野菜、畑作、花壇づくりは学校敷地内	660
空知	芦別市立芦別小学校 地域協力農家と連携した農業体験学習及び収穫祭	地場産業である農業の「体験プログラム」実施により、栽培と食の関連性を図った取組みを行い、身近な地域産業を理解するとともに、自ら育てた作物を調理し、それを食することで食への関心を高める。	学級園や農業実施者の田畑でとれた米や野菜を調理して試食する。また、実施者を招待するなどして、研究発表会・収穫祭・感謝祭を開催し、感謝の気持ちを伝えている。 【時期】 全学年、収穫後に実施 【参加者】 全児童と保護者 【内容】 全学年、学級園において専門家の協力を得ながら野菜等を栽培している。さらに3・4・5年生は、農業実施者の協力を得て、カボチャ・メロン・米を種まきから収穫の体験学習を行った。そして、自分たちが育て収穫した野菜を味わうとともに協力していただいた実施者への感謝を伝える会を開催した。 市役所農政課・JAなどの協力を得ながら、来年度も実施予定。	279
空知	上芦別小学校 ・稲作体験 ・栽培学習	・専門家の指導のもと体験することで、地場産物などに関する知識・理解を深める。 ・作物栽培とその収穫物を使った調理実習を通し、食に関する知識や理解を深める。	・芦別市JA青年部の協力のもと、田植えから収穫・脱穀までを体験し、収穫した米を使って調理実習を行い、感謝祭兼収穫祭としてJA青年部の方々とともに会食を行った。(5年生14人対象) ・学級教材園での野菜の栽培活動や、栽培の過程で観察・調べ学習を実施(全学年76人)	90
空知	芦別市立芦別中学校 ・栽培学習	作物栽培とその収穫を通し、食に関わる知識・理解を深める。	・学校菜園で3～4種類の野菜を栽培し、草取りや追肥、水やり、手入れ等に取り組む。収穫した野菜は、各自持ち帰った。	152

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	深川市立深川小学校・深川市立納内小学校	食事の大切さを理解する	学校の要請に応じ、学年に応じたテーマを設け、栄養教諭が指導を行う。	58
空知	深川市立深川小学校・深川市立一巳小学校・深川市立北新小学校・深川市立多度志小学校 農業体験学習	食に関する理解を深めるため、基幹産業の「稲作」を中心とした農業体験学習を行うもの。	□対象小学5年生(他学年と合同で行う小学校もある) □内容5・6月～田植え、9・10月～稲刈り ・一部の小学校においては、他学年が畑作体験を実施	110
空知	深川市立一巳小学校 サケの放流	サケの稚魚の飼育・放流を通して、生命のサイクルを理解し、また、サケの回帰が可能な環境の保全に関心をもってもらう。	□内容12月～サケの卵の譲渡、1月～孵化 2月～給餌・飼育、5月～石狩川支流に放流 普段食べているサケを卵から育てることで、ふるさとの環境保全と生命のサイクルを理解し、食べ物を大切にする気持ちを学ぶもの。	51
空知	南幌町立南幌小学校 バケツ稲づくり事業	バケツで稲を育てる一連の農作業を通じて、米づくりに対する豊かな感性を養い、広い視野で稲作文化についての理解を深めるとともに食料の大切さを認識する機会を創出するため。	○対象 小学4年生 ○場所 南幌町立南幌小学校 ○内容 4月 芽出し 5月 種まき 9月 稲刈り 11月 脱穀・粳摺り・精米※精米した米は児童へ配布	48
空知	奈井江町立奈井江中学校	・心身の成長や健康の保持増進の上で、望ましい栄養・食事のとり方や生活習慣を理解させる。 ・食物を大事にし、食物の精算等に係る人々への感謝する心を育む。	対象:全校生徒 時期:6月29日(金)5校時 場所:体育館 内容:朝ごはんの効果	90
空知	新十津川町立新十津川小学校 スマート農業を学ぶ学習の実施	地域の農業の実際をみて学ぶ	対象:第5学年 時期:5月から11月 場所:新十津川小学校 学校前に広がる圃場で、第5学年児童が農業の最先端技術を利用して作業を進めている新十津川のスマート農業をみて学んだ。11月30日に田んぼの学習でお世話になった農家の方々に講師に招き、学習したことを発表した。	55
石狩	大麻小学校／雑豆教室	北海道は、全国的にみても豆の産地でありながら、あまり身近ではないため、豆を育てながらいろいろな豆の種類を知り、豆に興味を持ってほしいと思うため。	対象:1年生 時期:6月～12月 場所:大麻小学校 内容:学校菜園で4種類の豆(赤花豆・白花豆・パンダ豆・とらまるうずら豆)を成長観察をしながら自分たちでお世話をして育てる。育てた4種類の豆を収穫し、それぞれの豆の形や色などを観察。最後の日に、豆農家さんにゲストティーチャーとして来校してもらい、児童からの豆の質問に回答してもらったり、豆の生体や栄養などについて知識を深めた。 ※この取組は、総合ではなく生活科の時間で実施しました。	36
石狩	新篠津小学校／〇わくわくプロジェクト(おいしいお米を作ろう！)	○自然・社会とそこに生きる人々との関わりの中で、体験を通して課題を発見し必要な情報を収集し分析を行う。	○時期:令和3年5月～令和3年11月 ○場所:みのり農園、小学校家庭科教室、食堂 ○対象:小学校5年1組 ○概要:調理実習、地域の方との交流	16
石狩	新篠津小学校／〇わくわくプロジェクト(小豆と作って、お汁粉を作ろう！)	○小豆の栽培活動や汁粉作りを通して、人々とのふれあいや食の大切さを学ぶ。	○時期:令和3年5月～令和3年10月 ○場所:学習園、小学校家庭科教室 ○対象:小学校6年1組 ○概要:調理実習、地域の方との交流	18
後志	寿都小学校・潮路小学校/子ども教室(食べ物のパワーを知ろう)	食べ物には主に3つの働きがあり、3つの働きがそうように食べることの大切さを知る。	対象:小学生 時期:令和4年1月13日・20日・2月4日 場所:寿都町総合文化センター 内容:①食べ物ビンゴ②食べ物が体の中で発揮するパワーについて講話③食べ物釣りゲーム	9
後志	ニセコ小学校 「ニセコ町小学校稲作体験」 主催:ニセコ町役場	農業体験を通して、町の豊かな自然と基幹産業である農業に触れる。	実施時期:6月～11月 内容:稲作体験事前授業、田植え体験、稲刈り体験、粳摺り・精米体験 場所:ニセコ小学校、町内協力農家の水田 対象:ニセコ小学校5年生	45

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
後志	ニセコ 「食育講習」 主催: HIS	バランスよく食べる事の大切さ、食事の時のマナーを知る。	実施日: 1月24日 場所: HIS 対象: HIS低学年、高学年、中等部、幼稚部 内容: 3色食品群について、姿勢の話	30
後志	留寿都小学校/ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体: 留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎農業体験交流事業(小学2～6年生対象) 5月～10月実施 「総合的な学習の時間」の中で、農作物の播種から収穫までを行い、成長過程を学習した。農協青年部に農作業の指導を依頼した。また、児童・教諭・地域が一緒に活動したことで異年代交流も図ることができた。 ○具体的活動内容 2年生: さつまいも 3年生: 馬鈴薯 4年生: 大根 5年生: スイートコーン 6年生: ビート	100
後志	留寿都小学校/ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体: 留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎高校生との農業体験交流事業(小学1・2年生対象) 6月～10月実施 高校生の協力を得ながら、農業の大切さを伝えるとともに、作物がどのように成長していくのかを農業実習体験を通して学習する。また、異年齢交流も図る。 今年度は、枝豆・スイートコーン・大豆の作付を行った。	38
後志	留寿都小学校/ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体: 留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎大豆の殻落とし体験(小学1年生対象) 10月実施 令和2年度に高校生との農業体験交流事業で収穫した大豆を使い、地域ボランティアの協力を得ながら、昔の農機具(唐傘・當美)を活用して殻を落とす過程を学習する。	17
後志	留寿都小学校/ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体: 留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎きな粉作り体験(小学1年生対象) 11月実施 10月に殻落としをした大豆を使い、地域ボランティアの協力を得て、きな粉作りを体験する。	17
後志	留寿都小学校/ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体: 留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画による地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎でん粉作り体験(小学3年生対象) 10月実施 農業体験交流事業で収穫した馬鈴薯を使い、昔のでん粉工場を再現した「ミニでん粉工場」を稼働し、農協青年部と地域ボランティアの協力を得ながら、どのようにでん粉が作られるかを学習した。	17
後志	留寿都高等学校/ 留寿都村地域学校協働活動推進事業(主体: 留寿都村教育委員会)	地域住民等の参画により地域の実情に応じた多様な協力活動を行うことにより、地域全体で子どもの成長を支えとともに、地域住民の生涯学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力向上により、地域の活性化を図ることを目的として、留寿都村地域学校協働活動推進事業を実施する。	◎食品加工実習(そば打ち)(高校2、3年生対象) 10月実施 地域ボランティアの協力を得て、曾於場うちの指導をしてもらいながら、手打ちそばを打つ体験学習を行う。 高校2年生については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。	12

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
胆振	登別市立若草小学校 「朝ごはんのミラクルパワー」	朝食や生活リズムの大切さを学ぶ。	□対象 小学校2学年 □実施時期 8月25日 □内容 各学級で、明治の職員より、朝ごはんや生活リズムの大切さについて学んだ。 □成果と課題 自分の体に興味を持ち、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。	57
胆振	登別市立若草小学校 「正しい食習慣と生活習慣」～おなか元気教室～	胃や腸の働きを整える規則正しい生活リズムについて知る。	□対象 小学校3学年 □実施時期 8月28日 □内容 各学級で、ヤクルトの職員より、胃や腸の働きや生活リズムの大切さについて学び、クイズ形式で腸の長さや消化器官の機能について答えたりした。 □成果と課題 自分の体に興味を持ち、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。	39
胆振	登別市立若草小学校 「望ましいおやつを食べ方」	1日の望ましいおやつ摂取量について学ぶ。	□対象 小学校4学年 □実施時期 11月13日 □内容 多目的ルームで、普段実際に食べるポテトチップスの摂取量を計ったり、クイズに答えたりして、カルビー職員より望ましい1日のおやつ摂取量について学んだ。 □成果と課題 子どもたちの大好きなポテトチップスが教材のため、子どもたちは意欲的に学んでいた。	58
胆振	登別市立若草小学校 「骨の成長に大切なことを考えよう」	給食に出る牛乳の栄養、骨の成長、牛乳が出来るまでについて学ぶ	□対象 小学校6学年 □実施時期 11月4日 □内容 雪印メグミルクの職員より子どもたちが給食で毎日飲む牛乳の豊富な栄養と大切さについて学んだ。 □成果と課題 外部講師による専門的な指導により、楽しく活動できた。	52
渡島	函館市内小学校／ “はこだてげんきな子”食育啓発事業	食育月間の普及啓発のため	対象:小学1年生 時期:6月 内容:はこだてげんきな子”食育啓発クリアファイルを配布	1563
渡島	北斗市内小学校／ 落花生のは種・管理・収穫体験	農業体験を行い、農業及び食物の理解を深めるため	対象:小学4年生 時期:6、7、10、12月 内容:4Hクラブの落花生のは種で、市内の小学4年生がは種、収穫などの農業体験を行い、12月にフィードバック学習と北斗市の農産物について学んだ。	12
渡島	北斗市内小学校／ ミニトマトの収穫体験	市の基幹作物を知り、野菜を身近に感じ、食物を作っている人がいることを再認識してもらうため	対象:小学生144名、引率者35名 時期:7月、8月、9月 内容:小学生を対象に農業者のハウスでミニトマトの収穫体験を実施。	179
渡島	七飯町中学校/ 三木町交流給食	給食時間のオンライン交流事業を通じて、姉妹都市間の交流を深めるとともに自分の町の地場産品や産業に誇りを持ち、継承しようという心を育てるため	対象:町内小中学生(オンライン交流は七重小学校6年生) 時期:12月3日 内容:姉妹都市である香川県三木町と学校給食のレシピの交換 互いの町の特産品を贈り合い、学校給食で提供 給食時間における三木町内の小学校とのオンライン交流	2200
渡島	七飯町中学校/ プレミアムなえデー	学校給食での地場産物の積極的な活用による地産地消の推進	対象:町内小中学生 時期:通年(月1・2回の実施) 内容:学校給食の献立における地場産物の積極的な活用 教室掲示用資料を各学校に送付し、啓発 栄養教諭配置校(七重小、七飯中)では、給食時間の放送におけるメニューの紹介	2200
渡島	森町全小学校/ セレクト給食	バランスを考えて料理を選び、食事を作る人への感謝の心を育むため	対象:小学校5～6年生 時期:11～12月 内容:栄養教諭による「食に関する指導」の中で、栄養バランス等を考えてセレクト給食の献立を作る。	200
渡島	八雲町山越小学校/ 食育講話	食育月間の普及啓発のため	対象:山越小学校3～5年生 時期:6月 内容:小学校からの依頼により食育講話を実施	4

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
渡島	八雲町熊石中学校／中学生食育講座	望ましい栄養知識や食事の摂り方を理解し、生活習慣病予防につなげるため	対象:熊石中学校1～3年生 時期:11月22日、11月29日 内容:保健師より生活習慣病とはどんな病気なのか、熊石地域の健康課題について触れ、自分の生活を振り返りながら今後の生活でどんなことに気を付ける必要があるのかを学習	27
檜山	乙部中学校／地域素材活用体験学習	地域の農海産物を食材とした体験学習を通して、地域の理解を図るとともに食生活について考える。	漁業体験学習「サケ定置網体験」(10月2年生) 漁業体験学習「スケソウ体験」(12月1年生) は新型コロナウイルス関係で中止 1月 地域の料理づくり(1年生) 12月 食に関する授業(3年) 1月 食に関する授業(2年) 4月～6月 食に関する授業(1年)	68
檜山	今金小学校／各学年における食の指導	・食物を大事にし、食物の生産などに関わる人々へ感謝する心を持つ。(感謝の心) ・各地域の産物、食文化や成長にかかわる歴史などを理解し、尊重する心をもつ。(食文化)	・1年生「野菜作り」 ・2年生「野菜作り」 ・3年生「日本一の今金男しゃく」 ・4年生「野菜から食を学ぼう」 ・5年生「今金米から食を学ぼう」 ※6年生は家庭科の時間でバイキング給食を実施 (内訳 1年:22名2年:26名3年:35名4年:34名5年:30名6年:35名)	182
檜山	今金町種川小学校／各学年における食に関する指導	・食物を大切に、食物の生産棟にかかわる人々へ感謝する心を持つ。(感謝の心) ・各地域の産物、食文化歴史などを理解し、尊重する心をもつ。(食文化)	○全校児童・ビニールハウスでの野菜作り ・ふるさと先生によるしいたけ、なめこ栽培、収穫作業 ・バイキング給食 ○3～6年生・ふるさと先生による畑での野菜栽培、収穫作業 (内訳 1年:22名2年:26名3年:35名4年:34名5年:30名6年:35名)	182
上川	愛別町幼児センター／あいべつ体験農園	農作業の種まきから収穫までの一連の作業を通じて、食に対する関心、感謝の気持ちをもって食べるということを養う。	・幼児自らじゃがいもの種まき及び収穫を行う。 (令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により保育士のみで行った。) ・作付作物:じゃがいも	56
上川	愛別小学校愛別中学校	減塩の必要性や正しい知識を学童期に身につけることで、児童・生徒及びその家族の減塩に対する意識を高める。	対象:愛別小学校の児童94名及び愛別中学校の生徒58名 実施時期:令和3年2月中概要:児童・生徒1人ずつに対して、減塩リーフレット、減塩商品、減塩の日のポケットティッシュを配布する。	152
上川	愛別小学校愛別中学校	健康的な生活習慣や食生活に関する正しい知識を学童期に身につけることで、児童・生徒及びその家族の健康への意識を高めることを目的とする。	対象:愛別小学校の児童94名及び愛別中学校の生徒58名 実施時期:令和3年2月下旬概要:児童・生徒1人ずつに対して、健康な生活習慣に関するリーフレット、減塩商品(フリーズドライ減塩豆腐味噌汁)、減塩の日のポケットティッシュを配布。	152
上川	音威子府村立音威子府小学校	(1)児童生徒に食に関する指導を行い、食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解させる。(2)食に関する指導を通して、心身の成長や健康保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。	本村は完全給食では無いため、総合学習の時間を利用し食に関する授業を行った。低学年グループ(小学1～4年生)と高学年グループ(小学5年～中学生)の2つのグループに分け、それぞれ1回ずつ実施した。低学年グループは「おやつのとりの方を考えよう」、高学年は「成長期に必要な栄養について知ろう」について授業を行った。低学年グループでは何故おやつを食べるのか考えるきっかけになり、「おやつ＝甘いもの」ではないと学ぶことが出来た。高学年グループでは成長期は骨量を蓄える絶好の機会であり、カルシウムの重要性を学ぶことができた。	17
上川	当麻町立当麻小学校 ・当麻の米作りにかかわる学習(5年) ・5年「お米から見える世界」	地域の基幹産業である稲作を調べる活動を通して、食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深めるようにする。	1 田んぼの作業を体験しよう (1)苗の観察 (2)田植え(動画視聴) (3)生育体験 (4)稲刈り(動画視聴) 2 お米のひみつを調べよう 3 お米のひみつを紹介しよう	48

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	当麻町立当麻中学校 「食育講座」	日常の食生活について、理論的、または体験的な学びを通して望ましい食習慣を身に付ける。	5月には第2学年、11月には第1学年、3月には第3学年で「食育講座」を開催し、町内の栄養教諭による講義・ワークショップ型の学習を行った。それぞれの学年において、子供の発達段階に応じてテーマを設定し、生徒にとっては日常の食生活について考え直す機会となった。授業は全て体育館で行った。	147
上川	市内各小中学校	農作業を通じて、相互協力の大切さや自ら育て収穫する楽しさや喜びを知り、食の大切さや感謝の気持ちを育む。	総合的な学習における農業体験、食の指導、また栄養教諭を活用した栄養に関する授業の実施。	430
上川	東川町立東川第一小学校／地域と共に取り組む食育 一小巻き	児童が田植え・稲刈りをした美味しいお米や干瓢・椎茸などを使って、各家庭で保護者とともに、収穫の喜びと、地域の食材を味わうことにより、食物の生産等にかかわる人々へ感謝の心を持つ	取り組み期間 / 令和3年度 冬期休業中 ①冬休み前に食材(お米・干瓢・椎茸)と一小巻きのレシピを各家庭に配付する。 ②作成の様子または作成した一小巻きの写真をタブレットで撮る。 ③撮った写真に、作成中の苦労や加えた具材、味についてなど我が家の一小巻きアピールコメントを記入する。 ④冬休み終了後、送信された写真データを印刷し、校内に掲示する。	32
上川	士別市内小学校／農業学習	農業に対する理解を深め、食育への関心を深める	対象:市内小学校(3～6年生) 地域生産者(みのりの先生)との交流・自分たちで育てた作物の販売や食事会の実施(コロナ禍のため食事会は開催できず)	485
上川	中川町立中央小学校 食に関する学習	・各学年への食の学習を通して、自らの健康と食の関わりを学ぶ。	対象:全校児童 時期:令和3年11月～令和3年12月(各学年を訪問) 合計6回/年 場所:中川町立中央小学校 内容:「バランスの良い食事」「望ましい食生活を知る」「栄養素について」「かぼちゃの栄養について」など 担当:管理栄養士	65
上川	中川町立中川中学校 食に関する学習	・講話を通して、正しい食に関する知識を身に付け、将来、自身の健康を管理できる能力を養う。	対象:全校生徒 時期:令和3年12月21日(火) 場所:中川町立中川中学校 内容:「生活習慣病の予防と朝食の必要性について」 担当:管理栄養士	23
上川	中川町立中川中学校 食に関する学習	・講話を通して、正しい食に関する知識を身に付け、中学生時期に必要な栄養素を不足なく摂るための食事内容を知る。	対象:中学1年生 時期:令和4年2月2日(水) 場所:中川町立中川中学校 内容:「1日に必要な栄養素を摂るための食事内容を知る」 担当:管理栄養士	5
上川	上川小学校／稲作体験	稲作体験を通して、米作りの大変さや大切さを感じるとともに、作り手の思いを大切にできる力を強める	地域の産業である稲作について考えた。春は田植え、夏は草刈り、秋は稲刈りの体験を辰巳農園で行った。実際に体験することで、田植機やトラクターに乗ることができ、楽しく学ぶことができた。 例年収穫したもち米で餅つきを行っていたが、感染予防のため、収穫したもち米を各家庭に持ち帰り喫食した。 米作りの大変さを学習・体験することにより、よりおいしく感じるようになった。	12
上川	上川小学校／畑作体験	大豆の生産に関心を持ち、自分たちで大豆を育ててみたいという強い願いを持つ	大豆について調べ、実際に育ててから、加工するまでを行った。春から夏にかけて教材園で大豆を栽培し、秋に収穫して豆腐・おからクッキー・きな粉を作った。 豆腐作りでは、豆乳の香りや、大豆のほのかな甘味を感じることができた。また、豆腐を作る過程でできたおからを使用したクッキーを作ることで、大豆を残さずにおいしく食べることができた。	18
上川	和寒小学校(3年)／和寒キャベツ調べ隊	総合的な学習において郷土の農業について課題設定し、追究する学習を行っている。	・3年生「和寒キャベツ調べ隊」・・・和寒町の農業についての学習・・・農想塾の協力により越冬キャベツの収穫～試食などを通して学習を行った。 ○キャベツについて調べよう(1学期) 種まき体験を通して、キャベツ作りへの関心を高める。 ○収穫体験をしよう(2学期) キャベツの成長の様子を観察し、農家の人々と収穫体験を行う。 ○食べ比べよう(3学期) 味を比べながら、試食体験を行う。1年間のまとめとしての発表会を行う。	26

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	和寒小学校(5年)／和寒町のお米の歴史について学ぼう	総合的な学習において郷土の農業について課題設定し、追究する学習を行っている。	・5年生「和寒町のお米の歴史について学ぼう」・・・和寒町の米作りについての学習・・・田植え、稲刈り、試食など年間を通して学習を行った。 ○田植え体験しよう 和寒町で育てられてきた10品種の苗をそれぞれグループで植える。 ○和寒町以外の稲作やお米についても調べよう 道内・道外の稲作について調べ学習を進める。 ○稲刈り・はさがけを体験しよう 稲刈り・はさがけをグループに分かれ体験 ○カントリーエレベーターを見学しよう 脱穀作業・カントリーエレベーター見学(手塩の大地)・千歯こきを使用して脱穀作業 ○お米の食べ比べをしよう 和寒町で作られてきたお米の食べ比べを行う。 ○和寒のお米について 和寒のお米の歴史について再確認する。	25
留萌	小平町立小平小学校	・栄養バランスの取れた食生活や正しい食習慣を身に着ける。 ・食事の組み合わせや食事量、食品の持つ様々な機能性など食と健康の正しい知識を学ぶ。 ・各地域の産物・食文化や食に係る歴史等を理解し、尊敬する心を持つ。	対象:3年生 ・「給食パワー」というテーマで栄養素についての講話を聞き、給食の献立を考え、自分たちで考えた給食を食した。 ・「日本全国のお雑煮について」や「生乳がどのように食品になるのか」をインターネットを活用して調べ、ポスターを作成し、公共施設に掲示し、地域の方に学んだことを見てもらった。	22
宗谷	稚内市立宗谷中学校	ふるさとの漁業について学ぶ	6月から11月、1学年「エビかご実習」を通して地域の漁労を学ぶ 2学年「タコ燻製づくり」を通して地域の海産物の加工・製造を学ぶ。3学年「ホタテ燻製づくり」を通し、地域の海産物の「販売や流通」について学ぶ。それぞれの学習の成果を「産業教育発表会」で発表する。	28
宗谷	稚内市立稚内東中学校	自らの食生活を見直し、食事の取り方について考える。	栄養教諭が2年生を対象に「成長期の食事」についての授業を行った。成長期に必要な栄養と自らの食事についてを中心に、ペアワークを取り入れ進めた。	50
オホーツク	網走市立潮見小学校/ じゃがいもはかせになろう	自分で作った「じゃがいも」を使用して、食材を調理する力を身につけ地産地消の意味合いについて体験を通して学習した。	時期:令和3年11月 場所:潮見小学校 3年生教室 対象:潮見小学校3年生 78名 内容:自分で作った「じゃがいも」の種類や栄養を自分で調べてまとめたことを、栄養士からの授業を通して、終末に結びつけ更に、「じゃがいも」を調理することで、「地産地消」についても学習した。	78
オホーツク	小清水町立小清水中学校	・給食の歴史や衛生管理、食材や調理について学ぶ	【対象者】小清水中学校1年生・2年生【時期】令和3年5月10日(1年生)・令和3年5月14日(2年生)【内容】栄養教諭による食に関する授業「給食について」	73
オホーツク	小清水町立小清水小学校	・給食の残食から食品ロスや生産者、調理員などの作り手の気持ちを学ぶ	【対象者】小清水小学校5年生【時期】令和3年10月18日【内容】栄養教諭による食に関する授業	39
オホーツク	小清水町立小清水中学校	・朝食の大切さや健康的な朝食について理解し、自分の生活や朝食を見直す活動を通して朝食に対する意識を高める	【対象者】小清水中学校1年生【時期】令和3年11月24日【内容】栄養教諭による食に関する授業「朝食の大切さ」	41
オホーツク	小清水町立小清水中学校	・受験期を乗り切るための生活の問題点がわかり、実践可能な方法を考える	【対象者】小清水中学校3年生【時期】令和3年12月2日【内容】栄養教諭による食に関する授業「受験期の食事」	28
オホーツク	小清水町立小清水中学校	・成長期の特徴や大切な栄養素を理解した上で食生活を見直し、よりよくする方法を学ぶ	【対象者】小清水中学校2年生【時期】令和4年3月7日【内容】栄養教諭による食に関する授業「成長期の食と栄養」	32
オホーツク	小清水町立小清水中学校	・高校生に必要な栄養素や食品添加物などを理解し、卒業後の食生活について学ぶ	【対象者】小清水中学校3年生【時期】令和4年3月11日【内容】栄養教諭による食に関する授業「卒業後の食生活」	28

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	佐呂間町内各小学校「水産学習」・ほたての解体(5年)・鮭の解体(6年)	・地元の特産品の理解・生産者との交流	10月～11月 各学校家庭科室 漁業組合の方が講師として来ていただく。	59
オホーツク	大空町女満別小学校 大空町東藻琴小学校 ファームスクール 「稲の成長調査、稲刈り」	稲の成長過程の調査、稲刈りを通じて、農業への理解と食料の大切さを認識することを目的としている	女満別地区の稲作農家の圃場を借りて指導してもらう。 ・稲の成長過程の調査:7月上旬ころ実施(分けつ調査やスケッチなど) ・稲刈り:9月中旬ころ実施(鎌で刈り取り麻ひもで縛る) ・女満別小:4年生、東藻琴小:5年生	50
オホーツク	大空町女満別小学校 大空町東藻琴小学校 ファームスクール 「カボチャ播種、除草等、収穫」	カボチャの栽培を通じて、農業への理解と食料の大切さを認識することを目的としている	女満別地区の(株)大地のMEGUMIの協力で圃場を借りて指導してもらう。 ・播種:6月上旬ころ実施(手植え作業) ・除草作業や根の生育調査:7月中旬ころ実施(マルチビニール剥しなど) ・収穫:9月下旬ころ実施(手作業でひとつずつもぎ取る) ・女満別小:6年生、東藻琴小:6年生	50
十勝	中札内小学校・上札内小学校／子ども農業体験事業	農業体験を通して自然の力や恵みを実感してもらう	日時:令和3年8月24日 場所:村内農場(1か所)、中札内小学校 対象:中札内小学校5年生と上札内小学校5、6年生 内容:農協青年部の協力により、枝豆の収穫体験と収穫後に調理実習を実施	40
十勝	上更別小学校、更別小学校／農業体験の取組	更別村を支える農業を体験し、農業を生業にしている方の苦労や大変さを学び、食物や生産者への感謝の気持ちを育む。	学校農園を活用し、各学級単位に選定した作物を栽培し、秋の収穫祭にて収穫した作物を持ち帰ってもらい食すことで、更別の特産物等への理解を深めることができた。(更別小学校・上更別小学校) 3年生の総合学習において「牛と牛乳」をテーマにバターの手作り体験や肉の部位について学習した。5年生の総合学習においてJA青年部とかぼちゃを栽培。5月に苗植え、9月に収穫を行い、12月にはかぼちゃを使って料理を作り、地域の基盤産業を年間の流れを体験することができた。(更別小学校)	157
十勝	更別中央中学校／地場産品の学習	更別村の主要作物である「小麦」について学習し、地域の基幹産業を学ぶ。	中学校1年生の総合学習として地域の主要作物である「小麦」をテーマに小麦についての学習や地域の小麦を活用したあんパン作りを更別農業高校の教員、生徒とともに実施。	28
十勝	足寄小学校	農業の仕事に携わっている人々の工夫や願いについて分かったことをまとめ、ふるさと足寄の良さを表現する学習に活かす。	11月25日青年部部長宅(酪農) 青年部対応1名 児童41名	42
十勝	新得小学校5年	日本人の主食である米について田植えから収穫、炊飯まで学習した。	共働学舎の協力の下、6月に田植え、10月に稲刈り、12月に米を炊飯し、給食のおかずと一緒に食べた。また、米の品種や産地についても調べ学習を行った。	29
十勝	屈足南小学校／食育指導	小学生児童の給食指導	時期:9月16日 場所:屈足南小学校 講師:新得小学校栄養教諭 5・6年生:噛むことの大切さを知ろう 3・4年生:残さず食べよう 1年生:食べ方のきまりをしよう 2年生:給食センター博士になろう	45
十勝	富村牛小中学校／食育指導	小中学生への食育指導	時期～通年(月1回・給食時間の前半10分程度) 場所～小学生…ランチルーム、中学生…中学生教室 内容～月ごとに設定している食育指導目標に沿った内容を、養護教諭が指導者となり指導している。	14
十勝	新得中学校／食育教室	中学生時代の食事に係る教育	場所:新得中学校 講師:新得小学校栄養教諭 9/13 1年生「食事と運動」 9/13 2年生「間食のとりかた」 9/14 3年生「一日の食事バランスを考えよう」	93
十勝	新得町立屈足中学校	栄養や食事のとり方など、食に関する正しい知識の習得を図る。	生徒が中学校を卒業するにあたり、これまで以上に栄養のバランスやカロリ一等を考えた食生活を送ること、また健康的な生活を送るための心がけをお話いただいた。一人一人の食に関する考えを交流することができた。加えて、教職員にとっても食生活を考え直す有意義な時間となっている。令和4年3月8日(火)実施。	3

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
十勝	札内北小学校食育事業	幕別町で生産されている農畜産物について理解を深めるとともに、安全で美味しい食材の提供に対する感謝の気持ちを育むことを目的としている。	10月25日(月) 圃場 第3学年の総合的な学習の授業の一環として実施。 JAさつない青年部の協力を得て、青空授業・収穫体験・農機具見学を生産者の圃場で実施。 ビートの栽培や収穫の方法を資料で紹介したほか、ビートに関するO×クイズや生産者への質問等を行った。	47
十勝	札内南小学校食育事業	幕別町で生産されている農畜産物について理解を深めるとともに、安全で美味しい食材の提供に対する感謝の気持ちを育むことを目的としている。	10月28日(木) 圃場 第3学年の総合的な学習の授業の一環として実施。 JAさつない青年部の協力を得て、青空授業・収穫体験・農機具見学を生産者の圃場で実施。 ビートの栽培や収穫の方法を資料で紹介したほか、ビートに関するO×クイズや生産者への質問等を行った。	97
十勝	白人小学校食育事業	幕別町で生産されている農畜産物について理解を深めるとともに、安全で美味しい食材の提供に対する感謝の気持ちを育むことを目的としている。	11月30日(火) 白人小学校体育館 第3学年の社会科授業の一環として実施。 JA幕別町青年部の協力を得て、「幕別町の農業を知らう」を授業テーマとし、青年部員がスライドを用いて、レタスと長いもの栽培風景の紹介や流通経路、酪農の搾乳や給餌等について、実際の作物や飼料の実物を用いた説明と質問等を行った。	27
十勝	幕別小学校食育事業	幕別町で生産されている農畜産物について理解を深めるとともに、安全で美味しい食材の提供に対する感謝の気持ちを育むことを目的としている。	12月21日(火) 幕別小学校体育館 第3学年の社会科授業の一環として実施。 JA幕別町青年部の協力を得て、「幕別町の農業を知らう」を授業テーマとし、青年部員がスライドを用いて、レタスと長いもの栽培風景の紹介や流通経路、酪農の搾乳や給餌等について、実際の作物や飼料の実物を用いた説明と質問等を行った。	21
十勝	芽室まるかじりプロジェクト(食農教育)	義務教育課程での総合的な学習の時間等における農業体験などの取り組みを通じて食べ物への関心や大切にすることを育むとともに「私のふるさとの芽室町はこんなまちです」と話すことができるよう、基幹産業である農業に対する理解や強度を愛する心を育むため本事業を実施。	事前学習 5月 ほ場学習(播種) 5月中旬 ほ場学習(管理作業) 7月上旬 ほ場学習(収穫) 8月下旬 事後学習 9月	160
釧路	弟子屈小学校、和琴小学校	食事のマナーを知らう。	①弟子屈小学校/2年生/9月17日/マナーや決まり事の意味を知る。箸の使い方の練習。/31人 ②和琴小学校低学年/2月3日/マナーや決まり事の意味を知る。箸の使い方の練習。/2人	33
釧路	弟子屈小学校	安心な食べ物を知らう。	弟子屈小学校/5年生/9月30日/地産地消を知る。	41
釧路	弟子屈小学校	バランスよく食べよう	弟子屈小学校/4年生/10月7日/成長期に必要な栄養素を知る	30
釧路	弟子屈小学校	脳の働きと食事について知らう。	弟子屈小学校/10月14日/脳のエネルギー源を知る	31
釧路	弟子屈中学校	味の意味と栄養バランスについて	弟子屈中学校/10月25日、27日、28日/甘味、塩味、旨味、苦味の体験をし、意味を考える。	136
釧路	弟子屈小学校	好き嫌いをなくそう。	弟子屈小学校3年生/食べ物の働きを知る	38
釧路	和琴壮学校	朝ごはんについて	和琴小学校/中学年/朝ごはんの大切さについて	2
釧路	和琴小学校	成長と栄養について	和琴小学校/高学年/成長と栄養について	3

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)
根室	別海町立上西春別中学校／乳和食の取組	地域食材を用いた「乳和食」の作成を通して、食育とふるさと教育を推進する。	対象:生徒、保護者、地元酪農家、近隣の高等学校生徒等 時期:授業～年間、試食会～3月 場所:上西春別中学校 内容:生徒の願いやアイデアを基に地元の牛乳を使用した「乳和食」を考案し、学校で試食会を実施した。保護者、地元酪農家、近隣の高等学校、関係事業者などと連携を図りながら、総合的な学習と家庭科の横断的な学習として実施している。	91

(3) 幼稚園の取組

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
1	空知 美唄アカシヤ幼稚園 美唄めぐみ幼稚園	食育に関する取り組みを通して、地元の生産者や農業についての様々な理解を深めるとともに、体験を通じて興味を促すことで、子どもたちが農業について考えるきっかけを与える。	・とうもろこし収穫体験の実施 時期:8月20日 場所:市内ほ場	50
2	空知 上砂川町認定こども園ふたば/ 食育の日	小中学生の肥満が全国より多い健康課題の対策のため、子どもの頃から健全な食生活を学ぶため	時期:毎月19日 年12回 場所:認定こども園ふたば 内容:町栄養士が給食と一緒に食べ、園児の食べ方や好き嫌いなどの実態把握を行い、課題解決に向けた健康教育を5回実施。3色食品群、三角食べ、食器、食具の使い方、食べ物の消化とうんちの関係についてなど健康教育を食育サポーターと実施。まん延防止措置期間は保育士が健康教育を実施。	112
3	空知 上砂川町認定こども園ふたば/ 菜園活動	小中学生の肥満が全国より多い健康課題の対策のため、菜園活動を通して食物の成長を知り、収穫する喜びを味わうとともに食物への関心を持つ。	時期:4月～9月 場所:認定こども園ふたば 内容:野菜や果物の苗植え、草とり、収穫等を実施。収穫時期は収穫した作物を給食やおやつ等の食材として利用	32
4	空知 中央長沼保育園	給食を活用した食育の推進(地産地消)	対象:中央長沼保育園 園児 時期:8月6日～13日 園芸連からいただいた、長沼町の野菜を給食で使用。 (トマト・いちご・ブロッコリー・アスパラ・きゅうり・ねぎ)	126
5	空知 中央長沼保育園	歯の健康の推進	対象:中央長沼保育園4・5才児※保護者の希望による 時期:通年 園児の虫歯を予防し、歯・口腔の健康の保持推進を図るため、フッ化物洗口を実施	55
6	空知 中央長沼保育園	食への興味関心を育む	対象:中央長沼保育園 年長児 自分たちで育て、収穫した野菜を使用したクッキングを実施し、楽しく食べることを体験する。 9/17 にんじんパンケーキ 10/15 いももち 11/14 カレーライス 行事食での調理体験	31
7	空知 中央長沼保育園	食への興味関心を育む	対象:中央長沼保育園 園児 焼き芋会 焼き芋会当日前から、散歩先で枯葉拾いをし、楽しみにする。当日は芋を包む作業から始め、旬を楽しむ体験をする。	125
8	石狩 札幌市幼児教育センター/ 札幌市立幼稚園(9園) 弁当指導	○弁当指導等を通して、園で弁当を食べる楽しさを味わえるようにすると共に、幼児期の食生活に関心をもてるよう保護者啓発を行う。	・視覚教材を使用するなどして、弁当時のマナーを知らせると共に、戸外で弁当を食べる機会を作るなど、弁当の時間の楽しさを味わえるように指導を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもたちが弁当を食べている様子を保護者が参観し、他の幼児の弁当の中身を見て栄養バランス、量などを考える機会を設けた。弁当の写真を掲示板に提示したり、懇談時に安心安全な食事について伝えたり、食べられる量、食べやすい形状などについてお便りで知らせた。 ■成果 ・友達と一緒に楽しい雰囲気での弁当の時間を通して、食材に興味を示したり、苦手なものでも食べるようとする姿につながった。 ・新入園児は、丁寧な指導の下で、安心して弁当を食べる姿につながった。 ・当初の食べやすさ重視から、年齢や時期に応じたサイズや量、形状、盛り付け方など、自立心を養う弁当づくりなども意識するようになった。 ・保護者に完食しやすい弁当を作ってもらったことで、子どもが全部食べられたという喜びを感じることにつながり、食べる楽しさを感じることができた。	466

	振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
9	石狩	札幌市幼児教育センター／札幌市立幼稚園(9園) 畑での栽培活動	○栽培活動を通して、幼児が野菜への興味や関心、育てたものへの愛着をもち、友達と一緒に食べることを楽しむとともに、進んで食べる気持ちを育てる。	・各園で野菜を栽培した。栽培にあたって、育てたい野菜等、子どもと一緒に考え、子どもたちが自分で世話をし、野菜等の生長に関われるように働きかけた。(夏～秋)また、「どのように食べるか」を話し合い、調理することや食べることに見通しをもって活動に取り組んだ。 ■成果 ・自分で育てたことで愛着をもち、食べてみようという意欲をもち、苦手なものもおいしかったという思いをもつことができた。 ・収穫した野菜を家庭に持ち帰ったことで、食材について話題にすることができ、苦手なものでも食べようとする姿につながった。 ・調理の取組を行うことで、より食べ物への興味関心が広がった。家庭へ発信することで、家庭でも取り組んでみる事例もあった。	466
10	石狩	札幌市幼児教育センター／札幌市立幼稚園(9園) 栄養指導	○保健指導を通して、栄養についての興味や関心を持ち、自分の体を作るために食べようとする子どもを育てる。	・養護教諭による栄養指導を行っている。三大栄養素や体の作りについて視覚教材を用いて分かりやすく提示し、身近な食べ物との関係を年齢に応じて分かりやすく指導している。また、「早寝、早起き、朝ごはん」「夏休み、冬休みの生活指導」などを通して食生活の指導も行っている。 ■成果 ・保健指導後に栄養素を3つに色分けした掲示物を用意したことで、自分の弁当を見て、栄養のバランスに関心もつようになった。指導内容は保護者へHPやおたより等で発信することで、親子で意識ができるようになった。(年3回程度)	466
11	石狩	石狩市聚富保育園／ ①調理実習 ②野菜栽培 ③焼きいも会	『野菜の収穫と調理を通じて、食材への興味と関心を育む』 『親子の触れ合いを通じて料理を作る楽しさ、食べることの大切さを知ってもらう』	①園児と保育士共同で栽培。収穫後、年長を中心にカレーライス、おやつ作り。また近くの乗馬のクラブに行き、馬ににんじんの差し入れなどもする。 ②園庭に野菜を植え成長を見守り、収穫を楽しむ。 ③10月に園庭で園児と一緒に焼き芋を焼いて食べる。	16
12	石狩	石狩市厚田保育園／ ①調理実習 ②野菜栽培 ③収穫を楽しむ	・畑作りを通して食への関心を高め食事の大切さや食べ物への感謝の気持ちを育てる。 ・育てた野菜を収穫・調理することを通して食べる喜びを	①園児と保育士との協同作業で、行事等におやつ作りをする。 ②種・苗を植え野菜類の成長を見守り(水遣り・草取り)、収穫を楽しむ。(トマト・きゅうり・レタス・ブロッコリー) ③畑で収穫した野菜(レタス、トマト、ブロッコリー等)をいただく。	50
13	後志	寿都保育園/調理体験	「食に興味を持つ子」「楽しく食事をする子」「食事のマナーを身につける子」を育てる	対象:1歳～年長の園児 時期:通年 場所:寿都保育園 内容:ホットケーキ作り、アイスクリーム作り、サンドイッチ作り、お米について(おにぎり作り)、プリンづくり、だしについて、クッキー作り、芋掘り・稲刈り、いちご狩り	105
14	後志	寿都保育園/箸指導	食事のマナーを身につける	対象:年中～年長の園児 時期:2・3月 場所:寿都保育園 内容:実際に箸を使用し、持ち方の指導を行なった。園児の前に持ち方のポスターを掲示。	40
15	後志	ニンジン取り体験 主催:二セコ町農業青年会	ニンジンの収穫体験を行い、農業の理解を深める。	実施時期:10月7日 場所:町内の協力農家圃場	20
16	後志	幼児食教室 主催:二セコ町	幼児に対する食育を行うため。	実施時期、対象者: 4月、6月、9月、11月、3月→年長児 5月、7月、10月、12月→年中児 内容: ・給食で使われている食材の紹介(年中児) ・お菓子に含まれている砂糖のお話し(年長児) ・食事、お菓子類に含まれている食塩のお話し(年長児) ・姿勢、箸の持ち方(年中児、年長児) ・3色食品群(年中児、年長児) ・小学校の給食紹介(年長児) 参加人数は延べ人数	150
17	後志	共和町立中央幼児センター・はまなす幼児センター／野菜植え・収穫・試食・調理・絵画活動	食事のマナーを守り友達と楽しく食事をする。食育を通して人や食べ物に感謝する心を育てる。	保育者や友達と一緒に楽しく食事をし、食器の並べ方や食べ方などのマナーも指導する。野菜の栽培をする中で、生長や収穫の喜びを味わい食べ物への興味関心を持たせていく。心身の成長を実感しながら好き嫌いをなく食べる事の大切さに気づかせ、食事を作る人への感謝の気持ちを持たせていく。 時期 5月 いもまき、苗の移植 8・9月 野菜の収穫、笹の子試食、いもほり 10月 やきいも、焼きカボチャ、栗拾い、ジャム作り 12月 もちつき 3月 料理ごっこ	148
18	後志	古平町認定こども園ふるびら幼児センターみらいの取組	・当番活動、栽培、調理等を通して、食べる意欲や感謝の気持ちを育てる。 ・食育指導を通して、自分の体の仕組みや食べ物の働き等を知らせたり、食に関わる体験をする。	◆食育指導 ◇日時:①令和3年7月14日・21日 ②令和4年2月9日・10日 ◇場所:幼児センターみらい ◇対象者:4歳児(13名)・5歳児(10名) ※町栄養士による講話～エプロンシアター、紙芝居を使用した指導	23
19	胆振	保育園・認定こども園	・農業体験を通して食への関心、興味、感謝の気持ちを育む。	・園の畑で野菜等を育てる。	

振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
20	胆振 保育園・認定こども園	・職に関する関心、正しい知識を育てるため。	・食育指導計画に基づき、月1回保育園において食育指導を実施。	
21	胆振 保育園・認定こども園	・食を通して行事の意味、関心、大切さを伝える。	・給食のメニューに行事食(正月、ひな祭り等)を取り入れている。	
22	胆振 保育園・認定こども園	・地場産物の利用促進	・給食の食材において、地場の食材にこだわり(魚、昆布、卵、しいたけ等)利用の促進を図っている。	
23	胆振 苫小牧市／苫小牧市保育園食育計画	食を通じた子どもの健全育成のために、食と健康のつながりや正しい食習慣を学ぶことができるよう、さまざまな場面で子どもが食に関わり合えるように配慮し、「楽しく食べる子ども」を目指す。	市内認可保育園及び認定こども園、小規模保育施設では、苫小牧市保育園食育計画で食育活動について共通認識を持ち、各園で独自の年間食育計画を作成し、それに基づく取り組みを実施している。年度末に各園の食育活動報告を取りまとめ、冊子にして各園に配布する。 【対象施設】 苫小牧市立保育園(2園)・私立認可保育園(12園)・私立認定こども園	
24	胆振 登別市立保育所(2カ所)	・給食の食材に興味を持ちながら、楽しく食事をする。 ・食育だよりの配布を通じ、栄養や食についての情報提供を行う。	○富士保育所(106名) 絵本、紙芝居や給食の中での指導を通して食育を行っている。 ○鷺別保育所(122名) 保育所で野菜を栽培し、収穫・調理を行い、喫食する。(じゃがいもなど) ○全保育所 保護者向けに食育だよりを毎月配布し、栄養や食に関する情報提供を行う。	228
25	渡島 福島町認定こども園福島保育所／食育教室	食育の推進のため	対象:保育所園児 時期:5月11日、7月11日、10月1日、2月8日 内容:保育所の園児(4・5歳児)を対象に町の管理栄養士による食育教室を開催 ①咳エチケット、手洗いについて 25人 ②いか・するめについて 25人 ③黒米ごはんについて 23人 ④食事マナーについて 21人	94
26	渡島 福島町認定こども園福島保育所／給食試食会	食育の推進のため	対象:保育年長児の保護者 時期:7月7日 内容:園児と保護者が一緒に会食し、アンケートによる評価などを実施。	11
27	上川 愛別町幼児センター	食べ物の大切さや、食事に係る礼儀を身につける。	・毎月、保育士と調理員による食育に関するお話を、給食前に15分程度の時間で行う。	56
28	上川 当麻町立当麻幼稚園 野菜の収穫	○食事の重要性や楽しさを理解させる。 ・心身の成長や健康の保持増進のため、正しい知識を身に付ける、など	・園の畑を見守り、雑草を抜くなどのお世話をする。 ・定期的に収穫し、給食時に食べる(ミニトマト、きゅうり、枝豆など) ・徐々に野菜の食べごろが分かるようになる。 ・苦手だった野菜でも、自分で育て、収穫した野菜なら食べてみようと思えるようになった。 ・じゃがいもの収穫では、春に植えた1個の種いもからたくさんじゃがいもを収穫できる驚きと喜びを感じるとともに、カレーライスやじゃがバターなど、子どもにとって大好きな食べ物になるとあって特に意欲的に活動している。	60
29	上川 公立保育所	公立保育所の食育計画に基づき食育の推進を図る。	所庭畑において野菜栽培。 給食において季節の行事食を提供、会食の実施、アレルギー食の対応、給食だよりの配布など。 ※例年実施している収穫体験、収穫祭はコロナにより中止	220
30	上川 東川町幼児センター／クッキング	自分たちが畑で育てた食材を使って楽しく料理を作る経験から、食べ物に対する興味、関心を持つ。	対象:4歳児70人、5歳児70人、計140人 時期:令和3年9月～10月 内容:4歳児トマト蒸しパン作り、5歳児おにぎり作り	140
31	上川 中川町幼児センター調理体験	・調理体験を通して食べることへの関心を高め、食べる意欲を育てる機会とする。 ・食べ物の栄養、感謝する気持ちを育てる機会とする。	対象:2歳児以上 時期:令和3年10月～令和4年2月 計7回 場所:幼児センター 内容:調理 担当:管理栄養士	35
32	上川 中川町幼児センターハスカップ摘みハスカップジャム作り	・摘んできたハスカップを使い、ジャム作りの過程を楽しむ。 ・自分たちで作ったジャムをみんなで味わう。	対象:3歳児以上 時期:令和3年7月 場所:幼児センター 内容:ハスカップ摘みと調理 担当:中川町幼児センター	28
33	上川 中川町幼児センター野菜の収穫体験	・育てた野菜の収穫を楽しむ。 ・収穫した野菜の色や形、大きさの違いなどに興味を持つ。	対象:3歳児以上 時期:令和3年10月 場所:幼児センター 内容:野菜の収穫 担当:中川町幼児センター	28
34	上川 中川町幼児センター収穫祭	・収穫した野菜を使って調理することで、食材への興味につなげる。	対象:3歳児以上 時期:令和3年11月 場所:幼児センター 内容:収穫した野菜を食べる体験 担当:中川町幼児センター	28
35	上川 中川町幼児センター焼き芋会	・旬の食材を知り、季節を感じ、味わう。	対象:3歳児以上 時期:令和3年11月 場所:幼児センター 内容:焼き芋作り体験 担当:中川町幼児センター	28
36	上川 中川町幼児センターアイスクリーム作り	・戸外で実際にアイスクリームができるのかを試しながら体験する。 ・みんなで協力して作ったアイスクリームを味わう。	対象:3歳児以上 時期:令和4年1月 場所:幼児センター 内容:アイスクリーム作り体験 担当:中川町幼児センター	28

	振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
37	上川	中川町幼児センター 豆まき会	・日本の伝統行事に触れることで意味を知り、興味を高める。	対象:3歳児以上 時期:令和4年2月 場所:幼児センター 内容:豆まき体験 担当:中川町幼児センター	28
39	上川	認定こども園美深町幼児センター/栄養士による給食前指導の取り組み	・楽しい食事を通じて食べることに関心を持ち、健全な食習慣を身につける ・マナーを知り、みんなで一緒に食べることを楽しむ	・時期:令和3年4月～令和4年3月 ・対象:3歳児 ・指導回数:全5回 ・場所:3歳児クラス ・内容:年間指導計画に沿った、栄養士による食育指導 例)食事マナー、野菜について、スプーンや箸の持ち方 など	19
40	上川	認定こども園美深町幼児センター/栄養士による給食前指導の取り組み	・楽しい食事を通じて食べることに関心を持ち、健全な食習慣を身につける ・食の大切さを知り、苦手な物も食べようとする	・時期:令和3年4月～令和4年3月 ・対象:4歳児 ・指導回数:全6回 ・場所:4歳児クラス ・内容:年間指導計画に沿った、栄養士による食育指導 例)箸のマナー、三角食べ、朝食の大切さ、五感を使うこと、匂 など	22
41	上川	認定こども園美深町幼児センター/栄養士による給食前指導の取り組み	・楽しい食事を通じて食べることに関心を持ち、健全な食習慣を身につける ・食べ物と体の関係を理解し、バランスの良い食事を知る	・時期:令和3年4月～令和4年3月 ・対象:5歳児 ・指導回数:全4回 ・場所:5歳児クラス ・内容:年間指導計画に沿った、栄養士による食育指導 例)感謝の気持ち、3色食品群、オリジナル給食作成 など	20
42	上川	認定こども園美深町幼児センター/給食試食会	・子ども達が食べている給食を実際に味わい、献立の趣旨や食材・栄養素について知ることができる	・時期:令和3年4月、令和4年11月 ・対象:全学年保護者 ・実施回数:年5回 ・場所:会議室 ・内容:給食の試食、栄養士による献立説明や情報提供	11
43	上川	認定こども園美深町幼児センター/給食における地産地消と行事食の取り組み	・地場産食材や旬の食材について知り、食材に興味関心をもつ ・行事と行事食の関係や意味を知り、季節を感じる	・時期:令和3年度 通年 ・対象:全学年 ・内容:美深産食材(アスパラ・メロン・かぼちゃ・じゃがいも)を旬の時期に献立に取り入れ、提供日は園児にも周知する ・行事によって季節を感じる日本独自の文化を大切に、給食の中でも食材や盛り付け方で行事や季節を感じられるようにする 例)七夕、十五夜、クリスマス、節分、ひな祭り など	100
44	留萌	認定こども園あつがる「こども園体験給食」	・翌年度就学を迎える子どもたちが、学校訪問や学校給食を体験することにより、小学校の様子を知り、学校生活への円滑な適応を図る。 ・5歳児の園児と、小学1年生が共に触れ合うことにより、小学校生活への不安を解消するとともに、新たな生活へ希望を持てるようにす	・給食の試食 ・給食に使用される食品カードを用いて、好き嫌いをなく食べるよう指導するミニ授業の実施。	16
45	宗谷	稚内ひかり幼稚園・きらきら保育園	食農体験を通し、食に対する興味や関心・食材又は生産者への感謝の気持ちを育成する	■日本の伝統文化に因んだ食の話し合いや、おやつ等を食べて、楽しく文化を学ぶ(豆まき・七草粥等…食材の展示をし、お話しした)	140
46	宗谷	稚内ひかり幼稚園・きらきら保育園	食べ物の力を知り、普段食べているものは体にどのような影響があるのかを学ぶ バランスの良い食べ方について学び、自分の食べ方を見直す	管理栄養士・栄養士実施	110
47	宗谷	稚内ひかり幼稚園・きらきら保育園	保護者への啓発	管理栄養士・栄養士実施	140
48	宗谷	稚内幼稚園 もぐもぐ保育園 「季節の食育」	・元気な体を作る食品について知る ・季節の食材を使ったものを食べる喜びを感じる	6月 虫歯予防集会・食育(よもぎ団子) 7月 おまつりごっこ(やきそば・かきごおり) 9月 収穫(ふかし芋) 12月 おもちつき(雑煮) 1月 お正月(七草がゆ) 2月 節分(お菓子) 3月 ひなまつり(ひなあられ)	90
49	宗谷	稚内幼稚園 もぐもぐ保育園 「野菜づくり」	野菜づくりや収穫体験から愛情をもって育て好き嫌いを減らしていく	5月 畑作り(種まき)…園庭 8～9月 収穫体験…園庭	90
50	宗谷	稚内幼稚園 もぐもぐ保育園 「お店見学・食材観察」	季節の食材に触れる機会や、調理の経験から「食」への関心と意欲をもつ	11月 お店見学(買い物体験)・食材観察 (コロナ対策により例年実施している調理体験は中止)	90
56	宗谷	稚内市立港保育所	・野菜を栽培し、収穫の喜びを知るために苗を大切に育てる。 ・いろいろな野菜に興味・関心を持ち、食材を知る。	5月末から9月上旬 保育所の畑、プランター 沼川みのり公園(年長児のみ)	38

	振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
57	宗谷	稚内市立港保育所	・みんなで料理する事を楽しみ、カレーライスをおいしくいただく。	8月上旬(年長児おとまり保育) 保育所ホール	9
58	宗谷	稚内市立港保育所	・十五夜にお供えをし、昔からの風習を知る。	令和3年9/21 保育所ホール	9
59	宗谷	稚内市立港保育所	おもちゃが出来るまでを実際に体験し、つきたてのおもちを味わう。	12月上旬 保育所ホール	37
60	宗谷	稚内市立港保育所	豆の種類を知り、大豆、落花生を味わう。	2月中旬 保育所ホール	37
61	宗谷	稚内市立港保育所	食べ物の栄養について知り、体にとって大切なものを知り、進んでいろいろな物を食べようとする	2月中旬 食育講座 保育所ホール(4,5歳児)	15
62	宗谷	稚内市立白樺保育所 「畑で野菜づくり」	野菜づくりを通じて、命の大切さ、食べ物に感謝の気持ちを持つ。	時期:5月から9月 対象:全園児 畑やプランターで野菜づくりを行う(水やりや草取りなど) 収穫した野菜は給食のメニューに取り入れてもらい、いただく。	68
63	宗谷	稚内富岡幼稚園・保育園	様々な体験を通して、食べ物への興味や食べる楽しさを感じる。	対象 5歳児46名 4歳児38名 3歳児43名 時期 5月上旬から9月 内容 くもうえ(きたあかり)、ミニトマト栽培、いもほり)園の畑やプランターに各クラスごとに栽培、収穫。	127
64	宗谷	稚内富岡幼稚園・保育園	様々な体験を通して、食べ物への興味や食べる楽しさを感じる。	対象 5歳児46名 時期 7月17日 内容 くお楽しみ会 カレー作り)野菜を切る作業をした。(コロナ禍の為、調理は職員)夕食として頂いた。	46
65	宗谷	稚内富岡幼稚園・保育園	様々な体験を通して、食べ物への興味や食べる楽しさを感じる。	対象 5歳児46名 4歳児38名 3歳児43名 時期 9月24日 内容 く収穫したジャガイモでクッキング)5歳児が園で収穫したジャガイモを切り、炒めてポテトフライを作る。3歳児4歳児にも作り、給食時にみんなで頂いた。	127
66	宗谷	稚内富岡幼稚園・保育園	様々な体験を通して、食べ物への興味や食べる楽しさを感じる。	対象 5歳児46名 4歳児38名 3歳児43名 時期 12月11日 内容 くもちつき)コロナ禍の為、もちつきする量や食べる量を例年より減らして時間短縮しながら行う。	127
67	宗谷	浜頓別町こども園/食育教室	小学校へ進学する前の一環として行います。	対象:5歳児 時期:1月24日(月) 場所:こども園多目的ホール 内容:「なんでも食べよう3つのいろ」食べ物や毎日の給食を三食食品群に色分けをする子ども達は真剣に取り組んでくれて、食べ物や給食に興味がある事がよくわかります。	22
68	宗谷	浜頓別町こども園/きゆうしよくだより	保護者に給食などに関心興味を持ってもらう為に行います。	対象:全園児保護者 時期:12か月 内容:時期に合った内容や給食について毎月発行しているが、保護者全員が読んでいるかわからない為、今後も興味を持ってもらえるような内容を掲載する必要がある	89
69	宗谷	浜頓別町こども園/食育ボード	子どもや保護者に毎日の給食に興味を持ってもらう為、食育ボードを活用しています。	対象:4・5歳児その保護者 時期:12か月 場所:4・5歳児川廊下 内容:毎日の給食の掲示子ども達は毎日の給食が何か文字だけでなくどの様な食材が使用されているか興味を持ち関心がある	45
70	オホーツク	認定こども園網走藤幼稚園	自分達で作物を大切に育て、収穫し、それを食することで命の大切さを知ると共に食への関心を高める。	・園庭で育てたじゃがいもを収穫し、カレーパーティーを開催する。 ・作物の成長観察の絵本の読み聞かせを行う。 ・令和3年度9/9実施。 ・新型コロナウイルス感染対策のため、園児による調理体験は行ななかった。	140
71	オホーツク	認定こども園網走藤幼稚園	自分達で作物を大切に育て、収穫し、それを食することで命の大切さを知ると共に食への関心を高める。	・各クラスで栽培(トマト、ズッキーニ、ナス、キュウリ等)に取り組み収穫後調理し食べることで食への興味関心を高めている。 ・新型コロナウイルス感染対策のため、園児による調理体験は行ななかった。	140
72	オホーツク	認定こども園つくし	○給食を通し、様々な食材や食事マナーなどへの興味・関心を広げる。 ○食材を知ることで、栄養面にも関心を持ち、元気な体作りへの関心を高める。 ○管理栄養士や給食調理員との直接的な触れ合いの中で、作ってくれた人への感謝の気持ちを持つ。	○毎月の献立表の配布(保護者)。 ○その日の給食の展示。 ○毎日の給食のメニューや食材の紹介。 ○食事マナーの確認。 ○行事食の提供。 *0,1,2歳児 36名 *3,4,5歳児114名	150
73	オホーツク	認定こども園つくし『つくしファーム』	○自分達で作物を育てることで、食への関心を深める。 ○作物が育つ過程を知る。 ○収穫の喜びを感じる。	○5月下旬から苗や種を植える。(園庭の畑・保育室内のプランター) ○成長過程で世話をし、育てる。 ○時期を見て収穫する。 *2~5歳児128名	128

	振興局名	幼稚園名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
74	オホーツク	認定こども園つくし『サンドイッチ作り』年少児 2クラス	○自分達が育てた野菜を使って、クッキングを楽しむ。 ○食べる喜びを感じる。	○7月 ○収穫したレタスを使って、サンドイッチの具材の一つにし、調理をする。 *コロナ禍のため、個人での作業とする。	40
75	オホーツク	認定こども園つくし『おもちつき』	○伝統行事に興味・関心を持ち、楽しむ。	○12月、遊戯室 ○おもちつきについての話を聞く。 ○使用する道具等の見学をする。 ○おもちつきを経験する。 ○給食でお雑煮をいただく。(お雑煮のおもちは給食側からの提供) *コロナ禍のため、今年はおもちつきのみの経験。例年はおもちを丸める作業も行う。 *2345歳児128名	128
76	オホーツク	認定こども園つくし『不思議クッキング～焼きそば～』年長児 2クラス	○食材や調味料、調理の過程に興味を持つ。	○12月、各保育室 ○活動として楽しんでいる「不思議遊び」の一つとして、クッキングでの不思議を感じ、楽しめるよう計画する。 ○材料と調味料を合わせていくことで、色が変わっていく変化を楽しみ、味を感じる。 *コロナ禍のため、調理の工程は教諭が行った。	39
77	オホーツク	認定こども園つくし『ポテトサラダ作り』年中児 2クラス	○食材に興味を持ち、調理の過程を知り、できあがりを楽しむ。	○2月、各保育室 ○身近な野菜に興味を持ち、調理の過程を知り、食べることを楽しめるよう計画する。 *コロナ禍のため、調理の工程は教諭が行った。	35
80	オホーツク	認定こども園 網走若葉幼稚園	自分たちで野菜を育て、生長過程を知り、食への関心を高める	・園庭、近所の畑で、ジャガイモ・トマト・ピーマン・大根を育てる。 ・草むしりをしたり、水やりを行い、生長する過程を観察する。 ・6月に、種芋や苗、種を植える。 ・じゃがいもは、例年よりも収穫量が少なかった為、給食で肉じゃが・粉ふきいもに調理してもらい、みんなで食べた。(9月)	101
81	オホーツク	認定こども園 網走若葉幼稚園	お米が出来る過程を知り、食べ物の大切さを知る	・6月にバケツ田んぼに苗を植えて、生長過程を観察する ・9月に稲刈りを行い、脱穀・もみすり・精米作業を行う ・11月に収穫できたお米を全園児で食べるために、お米研ぎをして、給食時にみんなで食べた。 ・田植え～精米作業は、年長児が行	105
88	オホーツク	雄武町 認定こども園 若草保育所 クッキングパーティー	調理の楽しさを知り、食に対する関心を高める。	対象は年長児。給食で食べるおにぎりを自分たちで調理する。米研ぎやおにぎりをにぎってのりをまく作業を体験し、米が食べられるようになるまでの一連の流れや調理の楽しさを学ぶ。	22
89	オホーツク	雄武町 認定こども園 若草保育所 食べ物の話	食への関心を高め、食べ物と体の関係を知ることで好き嫌いせず食べられるようになることを目的とする。	年少児～年長児を対象に、エプロンシアターや食育紙芝居を用いて学習を行う。	60
90	十勝	更別幼稚園、認定こども園上更別幼稚園/農業体験の取組	播種から収穫までの一連の流れを学び、食物に対する興味・関心を深めるとともに、自らの手で調理するなど食に対する大変さや楽しさを学ぶ	各幼稚園に設置された菜園で、種まきから収穫までを体験することで食物に対する興味・関心を深めることができた。また、日々の園生活で水やりなどを体験することにより、食物を育てる大変さを学ぶことができた。	59
91	十勝	足寄保育園どんぐり	土に触れ作物を育てる喜び、農業・食の大切さについて次代を担う子供達に知	5月14日役員5名畑つくり 後日子供たちが種まき	
92	十勝	認定こども園大樹南保育園・大樹北保育園、尾田認定こども園 おひさま/園児栄養指導	1、バランスよく食事を摂取することが大切であることを知り、実践できる。 2、甘いものが身体に及ぼす影響を知り、自ら正しく選択して摂ることができる。	対象:4、5歳児 時期:令和3年12月16・17・23日 場所:各保育園 内容: ①エプロンシアター「ドキンちゃんの朝ごはん」 ②お菓子の糖分クイズ ③紙芝居「たべものレンジャー」 ④からだに良いのはどの食事? 終了後には野菜がある食事は良い、同じものばかり食べては強くないと分かるようになっていた。前年度実施した内容を覚えている子もおり、それと関連させて質問に答えている子もいた。	70
94	釧路	標茶町立標茶幼稚園/食育についての取組	話を聞いて『食』に関心を持つ。	・対象:全園児 ・毎月1回月末に食育日を設け、食について(食器の並べ方、生産地、食品群の話、栄養について、種についてなど)写真、ペーパーサートなどを使い短い時間で伝えている。 ・食事の時間に子ども達から伝えたことが返ってきたり、本や図鑑を使って調べたりする姿も見られ、子ども達に浸透していることが分かった。	16
95	釧路	標茶町立標茶幼稚園/クッキングについての取組	自分の手で調理をし、食を楽しむ。	・対象:全園児 ・年長児・年中児共に1年間の計画は立てていたが、コロナウイルス感染症のため5月のおにぎり作り、7月の年長児お楽しみ会(夕飯作り)以外は全て中止となった。 ○5月おにぎり作り…自分の好きな具を選んで握ることができた。 ○7月年長児お楽しみ会…畑で採れた野菜を使いカレーライス作りを行う。自分達で育てた野菜を調理したので充実感と、大満足だった。	8
96	釧路	標茶町立標茶幼稚園/畑作りについての取組	自分たちで野菜を育てる	・対象:全園児(年長児が中心になって行う) ・年長児が話し合い、畑起こしから始める。日々の世話を頑張りながら収穫を喜んだ。今年度は収穫物は全て家庭に持ち帰った。	16
97	釧路	標茶町立標茶幼稚園/パン買い体験についての取組	パン屋さんについて、パンが出来るまでについて、パンの買い方について知り、自分の好きなパンを買う。	・対象児:全園児 ・時期:5月12日(年長児) 5月19日(年中児) ・近所のパン屋さんの協力を得て、自分の好きなパンを買いに行く。 ・お礼の手紙を届けたり散歩時などに触れ合う機会を作った。	16

	振興局名	幼稚園名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)
98	釧路	標茶町立標茶幼稚園/焼き芋会 についての取組	焼き芋会を楽しむ	・対象児:全園児 ・時期:10月26日 ・焼き芋会前から散歩先で小枝や枯れ葉拾いをして楽しみにする。 ・当日はサツマイモを包み、自分たちが集めた小枝で芋を焼き、出来立ての焼き芋を食する。	16
99	釧路	標茶町立標茶幼稚園/餅つき会 についての取組	日本古来の伝統行事を楽しむ	・対象児:全園児 ・時期:12月21日 ・今年度は感染防止拡大に伴い、全園児で餅つきをし、食さず鏡餅を作っ てつきたての餅の感触楽しんだ。	16
100	根室	市内保育所/野菜栽培	野菜の栽培や収穫、また、 調理に関する活動によって、 食物を育てる楽しさや、食へ の興味、自然の恵みに感謝 する気持ちを育てることを目 的とする	開催時期:令和3年5月～10月 開催場所:公設保育所園庭等 栽培した野菜:じゃがいも、人参、ミニトマト、ブロッコリー、スナップエンド ウ等	152

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例

(1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	JAたきかわ青年部芦別支部 農業体験	・学習として、種まき、田植、生き物調査、収穫、脱穀・精米を行い農業体験をする。	①4月…種まき ②6月…田植 ③7月…生き物調査 ④9月…収穫 ⑤10月…脱穀、精米	98
空知	JAたきかわ青年部芦別支部 施設見学(メロン)	・特産品の受入れ選別の流れを実際に見学し学習する。	・上芦別小学校の3年生・5年生を対象に行う。農協の集出荷場で集荷から出荷までの行程を学習する。 ※実施月 7月	35
空知	JAたきかわ青年部芦別支部 施設見学(米)	・お米の受入れ選別、出荷までの流れを実際に見学し学習する。	・上芦別小学校の5年生を対象に行う。農協の集出荷場で集荷から出荷までの行程を学習する。 ※実施月 11月	21
空知	JAたきかわ女性部芦別支部 加工部会 地産地消の推進	・自らの手で農産物を生産、加工し地元農産物の消費拡大及びPRに努める。 ・市内「物産センター加工室」を利用し地元農産物を使用した加工	・市内の物産センター加工室を利用し、加工品を生産農産物直売所にて販売。 ※販売品…混ぜご飯の具、煮豆 ※販売先…市内農産物直売所「かあちゃん市」	26
空知	JAたきかわ芦別支店 芦別市産直協議会 芦別市きらきらぼし生産組合 あしべつ虹っ子米販売促進交流	・京都生協店舗にて「あしべつ」虹っ子米の試食と販売を行い交流を図る。 (販売促進活動)	・京都生協店舗で「お米の試食・販売」を通じて、生協組合員と対面販売をして消費者との交流を図る。	6
空知	芦別市きらきらぼし生産組合 (櫻田浩生圃場 中山間事業) 農業体験	・学習として、田植、生き物調査、収穫を行い農業体験をする。	①6月…田植 ②7月…生物調査 ③9月…稲刈 ※芦別小学校の5年生を対象に行う。(47名×3回)	141
空知	芦別市南瓜生産組合 (滝 和也圃場 中山間事業) 農業体験	・学習として、定植、生育調査、収穫、販売を行い農業体験をする。	①4月…種まき ②6月…定植 ③7月…生育調査 ④9月…販売(収穫は中止) ※芦別小学校の3年生を対象に行う。(46名×4回)	184
空知	芦別市メロン生産組合 (吉村正之圃場 中山間事業) 農業体験	・学習として、定植、収穫を行い農業体験をする。	①5月…定植 ②6月…観察 ③8月…収穫 ※芦別小学校の4年生を対象に行う。(48名×3回)	144
空知	芦別市農業まつり実行委員会 星の降る里芦別 農業まつり代替 農産物即売会	農業まつりに向け作型を調整し栽培している主要農産物の販路確保と市民への消費拡大を図ることを目的に特例的に農業まつりの代替措置とする。	・地元農産物の販売	35
空知	南幌町農業協同組合 学習田(田植え事前学習・田植え・稲刈り学習)	稲作における一連の農作業を体験することにより、農業に対する理解を深めるとともに食の大切さを知ってもらうため	○対象 小学5年生 ○場所 町内圃場 ○内容 5月事前学習～稲刈り体験	40
空知	南幌町農業協同組合 学校給食への食材提供	学校給食への食材の提供を通じて、子ども達に南幌町の基幹産業である農業に対する理解と食生活の大切さについて理解を深めてもらう	○対象 小学・中学生 ○場所 町内の小・中学校 ○内容 地元産の新米(ピュアライスきたくりん)、小麦(ゆめちから)、キャベツ、ピーマン、玉ねぎ、長ねぎ、じゃがいも、しいたけを提供	429

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	そらち南農業協同組合/ 由仁のもの学校給食事業	地産地消の取組を促すとともに、子どもたちに安心・安全な給食を提供し、地元でどんな農産物が生産されているかを学んでもらうことにより、学校給食を通じ食育を推進するため。	対象:町内の保育園、認定こども園、小・中学校の児童・生徒 時期:9月、10月、11月 場所: 内容:由仁町の農家から集荷した新鮮な肉や野菜を給食センターに提供してもらい、「由仁のもの」にこだわった給食を食べてもらう事業。 令和3年度は、由仁産の新米、夏野菜、秋野菜を中心とした由仁のもの学校給食をの計3回実施。(450人×3回)	450
空知	そらち南農業協同組合青年部由仁支部/ 稲刈り体験	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうことにより、食育を推進するため。	対象:由仁小学校5年生 時期:9月16日 場所:町内のほ場 内容:稲刈り体験	29
空知	そらち南さつまいもクラブ/ さつまいも収穫体験	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうことにより、食育を推進するため。	対象:保育園児及び認定こども園児 時期:10月12日 場所:町内のほ場 内容:さつまいも収穫体験	45
空知	由仁町4Hクラブ/ 食育体験	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうことにより、食育を推進するため。	対象:由仁中学校1年生 時期:11月 場所:由仁中学校 内容:家庭科の時間を利用し、、生産工程等の講義及び大根、人参、ゴボウ等の由仁産農産物を使った豚汁と餃子づくりを行った。	27
空知	由仁土地改良区/ タライ稲作り体験学習	水の大切さ及び作物を作る楽しさや大変さを知ってもらうことにより、食育を推進するため。	対象:由仁小学3年生 時期:5月25日、10月11日、11月15日 場所:由仁小学校 内容:児童自らの手で土や水をケースに入れ、代掻き作業、苗植え、脱穀、籾摺り、精米作業を行い、自分で育てたお米を試食した。	42
空知	沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会	沼田の基幹産業である米作りを通じ、米ができるまでの過程を通じて食への関心興味を高める。	対象:市沼田小学校5年生 時期:①5/25日(火)、②7/13(火)、③9/17(金)、④10/5(火) 場所:沼田町農業者ほ場①・②・③、沼田ダム②、沼田小学校④ 内容:全4回に分けた小学生へ向けた農業体験事業。①田植え体験事業、②農業用ダムの役割についてとほ場見学、③稲刈り体験とはさがけ体験、④脱穀と籾摺り体験。 収穫した米は後日精米バック詰め後、児童一人あたり2kgずつ配布された。	14
石狩	札幌市農業協同組合(平岸統括支店)/リンゴ並木育成事業	豊平区にゆかりのあるリンゴの絵付け(シール貼り)や調理実習を行い、地域の歴史を学ぶ。	【時期】6月～11月 【対象】美園小学校4年生(78名) 【場所】環状通リンゴ並木及び美園小学校 【内容】 ①リンゴの袋かけ作業体験 7/1 ②シール貼り体験 9/3 ③収穫体験 10/22 ④美園小学校発表会(リンゴフェスティバル) 11/10	92
石狩	札幌市農業協同組合(琴似統括支店)/馬鈴薯の定植・収穫作業体験	馬鈴薯の定植・収穫作業の体験を通じて、食と農産物への理解を深める。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園児の体験は行わず、職員の農作業見学で対応。	【時期】5月～9月 【対象】西区あづま幼稚園の園児(120名) 【場所】西区発寒の圃場 【内容】 ①種芋の定植 5/7 ②馬鈴薯の収穫 9/7 ※後日、収穫した馬鈴薯を幼稚園へ寄贈	133
石狩	札幌市農業協同組合(西町統括支店)/野菜の植え付け・収穫体験	野菜の苗と馬鈴薯の植え付け・収穫体験を通じて、食と農産物への理解を高める。	【時期】5月～9月 【対象】西区西野桜幼稚園の年長園児(90名) 【場所】西野桜幼稚園 【内容】 ①野菜苗・種芋の定植 5/25 ②馬鈴薯の収穫 9/7	102
石狩	札幌市農業協同組合(清田統括支店)/札幌清田ライオンズクラブとともに田植え・稲刈り体験	田植え・稲刈り体験を通じて食と農産物への理解を高める。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、田植え・稲刈りへの児童の参加は見合わせ、脱穀・精米作業体験を実施。	【時期】5月～10月 【対象】清田区 清田小学校5年生(60名) 【場所】清田小学校 【内容】 ①田植え 5/25 ※児童の体験無し ②稲刈り 9/22 ※児童の体験無し ③脱穀・精米作業体験 10/15	70
石狩	札幌市農業協同組合(JAさっぽろ青年部)/給食を通じて札幌産野菜の魅力を紹介する食育授業	JAさっぽろ青年部員から日々の農作業についての授業を行い、同青年部員が生産した野菜を給食に提供し食べてもらうことで食と農産物への理解を深める。	【時期】9月13日/10月11日 【対象】南区 札幌伏見支援学校もなみ学園分校 全校生徒86名 【場所】札幌伏見支援学校もなみ学園分校 【内容】 ①青年部員が生産した小松菜、空心菜、玉ねぎ、キャベツ、ミニトマト、レタスを給食に提供 9/13 ②青年部員による食育授業(野菜栽培の様子をまとめた動画の放映、質問コーナーなど)。青年部員が生産した小松菜、空心菜、玉ねぎ、キャベツを給食に提供 10/11	90
石狩	当別町/北石狩農業協同組合青年部 当別ブロック	食育体験	青年部員のほ場を使い地域の小学生を対象とした大豆の播種・管理・収穫を行いました。例年通り12月に豆腐作りを行う予定でしたが、コロナ禍の影響で調理・飲食はすべきではないと判断し、教室で豆腐作りの映像を流しながら説明する授業に変更致しました。	230

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	当別町/北石狩農業協同組合青年部 西当別ブロック(西当別地区)	食育体験	青年部員のほ場を使い地域の小学生を対象とした田植及び収穫体験を行い、収穫したお米を使い、おにぎりして給食時に提供する予定でしたが、コロナ禍の影響で脱穀体験しか行うことが出来ませんでした。脱穀体験は小学校のグラウンドで行いました。	60
後志	JAようてい青年部留寿都支部	学年毎に担当品目を分け、播種・定植や収穫を通じ、食と農の大切さを学んでもらう事を目的としている。	名称:小学生農業体験 時期:令和3年5月26日・10月12日・27日 場所:留寿都村小学校園場 対象:留寿都村小学生	50
後志	JAきょうわ青年部/食農教室	地域の子も達に共和町(地元)の農産物がどのようにして出来て、どのように流通されているかなどを理解してもらおうとともに社会人として地元を離れたときに共和町の良さ(名産のことなど)を広めてもらうことを目的としている。	令和3年6月・9月 ②場所 各小学校園場(定植変・収穫編) 概要 ・メロンのトンネル栽培方法とハウス栽培方法及びメロン収穫体験 ・メロンとスイカの肥料の施肥→マルチの設置→トンネルの設置→定植作業まで一緒に作業を行った。	49
胆振	鶴川農業協同組合、むかわ町教育委員会/納豆の配布	町内児童生徒への、むかわ産大豆のPR	令和4年2月 町内の小中学校、高校の児童生徒約700人を対象に、むかわ町産の大豆を使用した納豆と納豆に関する栄養等を掲載したチラシを配布し、むかわ町産大豆のPRを行った	700
胆振	白老牛肉まつり実行委員会	白老牛PR・地元生産者と消費者の交流の保持 姉妹都市交流及び道内他市町村との地域連携	例年6月開催の白老牛肉まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため通常開催を中止しドライブスルーにて予約販売を行う予定でした。しかし、令和3年5月16日(日)発令の北海道における緊急事態宣言を受け、ドライブスルー開催を中止し、予約いただいた方に対して、送料無料で商品の発送を行った。	800
胆振	JAとまこまい広域白老支所	生産者と消費者の交流の保持	開催時期:8月、12月 開催場所:ポロミントラ	
胆振	水産物消費拡大推進事業実行委員会	地場水産物の消費拡大、魚食の普及を図るため、魚食普及PR事業を企画・実施し、地域水産物の振興に寄与する	昨年度に引き続き、今年度についても新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベント等の開催が見送られ、特産品をPRする機会は例年と比較して、減少したが、観光インフォメーションセンターでのポロミントラフェスティバルや東胆振物産まつりではコロナ感染防止対策を徹底したうえで、特産品の販売によるPRを行った。	
日高	JALずない 青年部/食育出前授業	特産物であるミニトマト「太陽の瞳」の認知及び生産方法を学んでもらう子供たちに農業の楽しさや興味をもってもらうことを目的としている。	6月～7月 各学校(保育所・小学生)へ出前授業として、学校のハウスにミニトマトの定植体験(1時間)を行う。学校側の要望があれば選果場見学やミニトマト農家の見学も受け入れる(選果場等はJALずない)で受け入れる。R3食育事業参加人数 約200名 選果場・農場見学 約130名	230
日高	みついし水稲振興会	地場産米PR活動及び消費拡大の一環として、三石地区の各機関施設へ毎年新米を寄贈している。	令和3年11月30日(火)実施 ・ゆとりの里 10kg*2袋 ・特別養護老人ホーム蓬萊荘 10kg*3袋 ・三石小学校 3合袋*174袋 ・三石中学校 3合袋*87袋	334
檜山	北檜山農協青年部/水稲農業体験学習	町内の小学3年生を対象に、1年間を通した水稲の農作業体験を実施することにより、お米や町の基幹産業である農業に興味・関心を持ってもらう。	○実施日時・内容 5月:田植体験 7月:水稲に関する学習会 9月:稲刈り 11月:脱穀、精米作業 ○対象 北檜山小学校3年生	30
檜山	新函館農業協同組合若松基幹支店/水稲農業体験学習	町内の小学生を対象に、1年間を通した水稲の農作業体験を実施することにより、お米や町の基幹産業である農業に興味・関心を持ってもらう。	○実施日時・内容 5月25日:田植体験(手作業) 9月24日:稲刈り作業体験 11月 9日:収穫祭(子供たちの体験発表他) ○対象 若松小学校全校児童	12
檜山	新函館農業協同組合若松基幹支店/料理教室・食育事業	せたな町の農畜産物・体に良い食事について学ぶ。(北檜山小学校5年生対象)	○実施日時 令和3年11月10日 ○内容 「せたなの食を知ろう!作ろう!食べよう!」をテーマに食育教室を実施。スープカレー「札幌らっきょ」の井出店主を招き、せたな町農畜産物の素材を活かしたスープカレーを作り、美食をする。そのほかにも、農家・JA職員・栄養士からも食育に関する事業を実施。 ○対象 北檜山小学校5年生、若松小学校5年生	49
檜山	新函館農業協同組合青年部	将来を担う子供たちが特産品である「あっさぶメーカー」を栽培から販売まで行うことで、メーカーに対する愛着を醸成するとともに、食の大切さを体感する。	定植:4月 栽培管理:4月から7月 収穫:7月 販売:9月 栽培:町内ほ場 販売:道の駅 美食:認定こども園 JA青年部等10人、認定子ども園児40人	50
上川	北はるか農業協同組合下川支	しもりんマルシェ	令和3年10月16日(土) 下川町まちおこしセンター「コモレビ」	100
上川	株式会社北碓プロジェクト/パン作り教室・料理教室・マナー教室	地場産物の良さを理解し、食文化への関心を高めるため。地消地産を推進するため。	時期:1月18日(火) 場所:ビブレ(美瑛町) 対象:町内高校生3年生 内容:食育×キャリア教育として、美瑛産食材を使用した町内一流シェフによる料理を体験。レストランで基本的なテーブルマナーを学ぶ。	44
上川	ネットワークすずらん/農畜産活用推進事業	農村女性ネットワークの交流により、食文化の継承を図るため。	時期:11月26日(金)・12月8日(水)・12月13日(月)・1月13日(木) 場所:美瑛町農業技術研修センターみのり 内容:他地域の農村女性グループと交流することで新たな知識や技術を学び、美瑛町らしい食文化を再発見し、食文化の継承を図る。	51

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	水土里ネットとうま (当麻土地改良区) 農業体験	土地改良施設の役割や農業農村の持つ多面的機能について子供たちを通じて広く地域の人々に理解してもらうことを目的に、「田んぼ」を総合学習の場(教室)とした農業体験やかんがい用水路等の農業用施設、農業・農村が持つ多面的機能、田んぼに生息する生き物観察、地域農業の歴史等について学習する。	【時期】年3回(5月～12月) 【対象】町内小学5年生延べ人数150名 【実施場所】当麻町食育教育施設『田んぼの学校』、当麻小学校 【協力機関】当麻町教育委員会、当麻町農林業振興課、地域担い手農家(田んぼの学校校長) 【内容】 コロナ禍のため例年行っている取組みはできないが、感染防止対策を取れば開催できる取組みを選定し実施した。 5月:当麻町の農業の歴史と稲の生育観察 『田んぼの学校』農舎において当麻町の農業の歴史や昔の農機具について学習した後、ポット苗の観察や地域担い手農家が作成した紙芝居式のクイズが行われお米について学習した。 7月:稲の生育観察と田んぼに棲む生物観察、農業農村の持つ多面的機能 田んぼで稲の生育と水田に棲む生き物について観察し、農業・農村が持つ多面的機能についても併せて学習した。農舎では、当麻町の田んぼに棲む生き物についてより理解を深めてもらうことを目的に、地域担い手農家が作成したお手製の生き物クイズが行われた。 12月:収穫の喜びとまとめ お米の収穫(今と昔)についてや一年を通して苦労していること、工夫していること、収穫の喜びについて、また農業者の減少や高齢化、担い手の規模拡大や農地の集積、北海道の食料自給率や産地地消について地域担い手農家より説明を受け、1年間のまとめを行った。 具体的には、ドローンやGoProで撮影した農作業の動画を地域担い手農家が編集し、播種作業、田起こし、肥料撒き、代掻き、田植え、ラジコンボートや無人ヘリ、ドローンでの防除、稲刈り、カントリーエレベーターでの出荷まで学習した。	150
上川	旭川米生産流通協議会	地元産ゆめぴりかを市内小中学校の学校給食へ提供することで産地地消への意識醸成を図る。	*対象:市内小中学校79校 *場所:市内小中学校 *協力機関:旭川市、旭川市教育委員会 *時期:令和3年10月26日、27日 *内容:市内小中学校の学校給食へ地元産新米ゆめぴりかを提供	
上川	旭川市果樹協会	旭川産りんごを市内小中学校等の学校給食へ提供することで産地地消への意識醸成を図る。	*対象:市内小中学校79校 *場所:市内小中学校 *協力機関:旭川市、旭川市教育委員会 *時期:令和3年10月5日、6日、14日、15日 *内容:市内小中学校の学校給食へ旭川産りんごを提供するとともに、一部の学校にて生産者が講話を行うことで、産地地消の推進と生産者と消費者の交流を図る。	
上川	旭川市営農改善推進協議会(経営・担い手育成専門部会)	都市住民の農業・農村に対する理解の促進、農村地域の活性化、農業経営の多角化をめざす	*構成:市内農業者、農業関係者及び旭川市 *場所:市内 *時期:令和3年4月～令和4年3月 *内容:市内小・中学校農作業体験モデル事業の実施 参加校:知新小、第3小 2校	
上川	JA北ひびき青年部和寒支部 子供農業体験事業	地元特産品である越冬キャベツの栽培体験を行い「食育」の知識を高めてもらう為に実施	和寒小学校3年生が対象、農協青年部が毎年事業として実施し、和寒町活性化センター内圃場において播種から収穫まで年間4回実施。 1回目:6月中旬 播種作業 2回目:7月中旬 定植作業 3回目:11月中旬 収穫作業(切り取り・越冬準備作業) 4回目:1月下旬 掘り取り作業(雪の下からの掘り取り)	26
宗谷	農村生活文化伝承活動を進める会	世代交流を図りながら、昔ながらの良いものを伝え、あるいは受け継ぎ、更に新しいものへと発展させることにより、農村生活の向上と地域の活性化を図る。	対象:豊富町民ほか 時期:10/23、10/24 場所:豊富町民センター 内容:農産加工品・手工芸品・野菜などの展示販売	6
オホーツク	西網走漁業協同組合	市内の小中学生等を対象に、網走湖産ワカサギの認知度向上と消費拡大を図るため、ワカサギメニューの学校給食を実施。	・実施時期:令和4年2月7日～2月18日。 ・対象:市内小中学校の児童・生徒(一部、アレルギー等により実施せず。) ・内容 網走湖産ワカサギ佃煮を無償提供。 なお、本事業については令和元年度より継続して実施している。 ・協力機関:網走市教育委員会	2700
オホーツク	網走くじら協議会(会員:市内捕鯨会社2社及び市) / くじら学校給食	市内の小中学生等を対象に、地域産業としての捕鯨業並びに鯨食文化に対する関心を高めてもらうことを目的として、鯨肉等を利用した学校給食を実施。	・実施時期:令和4年2月8日～2月25日。 ・対象:市内全小中学校の児童・生徒 ・内容 市内小中学校へ網走産ミンクジラの鯨肉を無償で提供、くじら講話の実施。 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、WEB講話にて実施。 本年の給食メニューは鯨肉を利用した「竜田揚げ」であった。	2700
オホーツク	JAオホーツク網走青年部 「親と子のぶれあいアグリスクール」	小学校児童やその家族を対象とし、網走・東藻琴の「地元の農業」の体験等を通じ、『農』や『食』の大切さを知ってもらう事や、家族の大切な時間を過ごしてもらうため実施する。	○時期～6月から11月 ○場所～JA本所、Web配信、エコーセンター、麦乾工場他 ○概要 ①農産物栽培体験(絹さや、栽培キットの配布、Webにて栽培方法公開) ②農業施設見学(麦乾工場、ロボット搾乳牛舎) ③収穫体験(さくらんぼ・いちご狩り) ④農産物加工体験(ハロウィン南瓜ランタン作り) ⑤料理教室(地元の食材を使用したピザ作り)	30

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
オホーツク	JAオホーツク網走/ 学校給食関係者を対象とした農畜産物研修会、学校給食への食材提供	学校給食関係者を対象とした地元農畜産物生産に関わる研修会の実施や学校給食へ地元食材を提供することで、農畜産物の新鮮さ・美味しさを知ってもらい、生産者の厳正な生産管理から食の安全性が保たれている事を理解してもらう。	学校給食へ食材提供 ・8/31を「やさいの日」と称し、多くの野菜を使用した献立が考案され、JAで食材提供。(R3.8月と11月に2回実施) ・オホーツク網走和牛ハンバーグの提供。(R3.11月実施)	
オホーツク	しれとこ斜里農業協同組合青年部	子どもたちに農業体験を通じて、作物が育つ過程や育てる楽しさなどを伝えるため	令和3年9月27日 斜里小学校3年生と一緒に当団体副部長の圃場にて馬鈴しょ・人参の収穫体験を実施。	40
オホーツク	JA清里町/食農教育活動「清里楽しいキッズスクール農園」	次世代を担う子どもたちが、農作業を通じて農業と食の繋がりを学び、農業の素晴らしさ・大切さを理解してもらうこと。	JA青年部で管理している畑にて、総合学習の時間にて清里小学校3年生児童が馬鈴薯の生育と観察を行い、収穫したものを給食の時間にて自分たちで食べる。 9月27日収穫会 12月17日給食会	41
オホーツク	JAめまんべつ青年部	農作業を通じて、「食の大切さ」と「農業」に関心をもってもらう。	場所: 町有地を賃借している。(オホーツクNOSAI横) 時期: 7月植付け、10月収穫 対象: 女満別幼稚園の年長 概要: 6支部ある青年部を3グループに分け、大根、枝豆、ひまわりの作付を行った。幼稚園の授業の一環として取り組んでもらい、作物ができるまでの一連の過程を体験してもらった。	80
十勝	JAさらべつ青年部/農業体験の取組	児童・園児に農作物の種植から収穫、調理までの一連の食育活動を体験してもらうことを通じて、育てる大変さ、作って食べる楽しさ等、食の大切さを伝える。	播種から収穫までを一連の食育活動として実施することで、児童・園児の食に対する興味・関心を深めることができた。また、普段自分たちが育ててくれない野菜なども取り扱うことで自らの食に対する知識を深めることもできた。	10
十勝	JA十勝池田町青年部 食育事業	町内の小学生と保護者等を集め、野菜のは種から収穫を行う。収穫した野菜を実際に食べ、作物の育つ過程の楽しさや収穫の喜びなどを体験してもらう。	□対象: 町内の小学生等 □場所: JA池田内のほ場	31
十勝	大樹漁業協同組合女性部/食育事業	地元水産物を通して食の重要性などの学習を支援する。	時期: 令和3年10月1日(金) 対象者: 大樹小学校4年生42人 内容: ・秋サケ定置網漁やサケの説明 ・サケフレークや秋アジ鍋の調理実習 など	60
十勝	士幌町農業協同組合青年部 こどもアグリスクール	農業体験を通して将来を担う子ども達へ「食」と「農」の大切さや農業の魅力、命の尊さ等を理解してもらおうと共に地元の基幹産業である農業について興味を持ってもらう	士幌小学校の3年生を対象に実施 ○1回目 時期 10月5日 場所 士幌町農業試験センター 概要 馬鈴しょ収穫体験、パワーポイントを利用した馬鈴しょについての授業	52
十勝	士幌町農業協同組合青年部 こどもアグリスクール	農業体験を通して将来を担う子ども達へ「食」と「農」の大切さや農業の魅力、命の尊さ等を理解してもらおうと共に地元の基幹産業である農業について興味を持ってもらう	士幌小学校の3年生を対象に実施 ○2回目 時期 12月9日 場所 士幌小学校3年生教室 概要 パワーポイントを利用した酪農に関する授業、乳製品配布	40
十勝	帯広市川西農業協同組合青年部/ 農作物種子の配布	市内小学校等に農作物(メークイン、大豆、スイートコーン)の種子を無償提供し、農業体験を通じて食の生産に対する関心や理解を深めてもらう。	時期: 令和3年5月下旬 場所: 帯広市農業技術センター 対象: 帯広市立小学校26校の児童及び教員 社会医療法人 北斗 十勝自立支援センター介護老人保健施設 かけはし	
釧路	釧路市水産業対策協議会(事務局 釧路市水産課) 「魚食普及事業」	釧路産水産物を使った料理教室等の開催を通じて、PRや魚食普及を目的に実施している。	釧路産の水産物を使った料理教室「釧路おさかな教室」の開催。市内小学生及び市民団体等を対象に釧路産水産物の調理やさばき方実習を実施し、全13回開催。	469
釧路	釧路市水産業対策協議会(事務局 釧路市水産課) 「魚食普及事業」	釧路産水産物の提供を通じて魚食普及を目的に実施している。	提供日: 令和4年2月10日 児童発達支援センターにて、野のはな園通園児を対象に平成30年度より実施。	69
釧路	釧路水産加工振興協議会(事務局 釧路市水産課 水産加工振興センター) 人材養成研修事業	釧路産の水産物を使った加工体験教室の開催などを通じて、釧路産の水産物のPRや魚食普及を図る。	「夏休み親子水産加工体験教室」 日時 令和4年8月4日、5日 場所 釧路市水産加工振興センター 参加者 小学生9名、保護者8名 内容 イワシの缶詰、ホッケの天ぷら蒲鉾作り 特記事項 釧路市水産業対策協議会との共催 「加工体験実習」 日時 令和4年8月20日 場所 釧路市水産加工振興センター 参加者 小学生1名、教諭1名 内容 イワシの缶詰、ホッケの天ぷら蒲鉾作り	26
釧路	JA摩周湖青年部	地域で生産されている農産物を知り、食べ物の大切さを伝える。	2022/9/21 食育授業 芋ほり	35

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)
釧路	JA摩周湖青年部	地域で生産されている農産物を知り、食べ物の大切さを伝え、味わってもらふ。	小中学校の給食牛乳を町内酪農家から生産されている牛乳に代替で配布 ①9月30日 504本 ②令和4年3月1日 500本 合計1004本	1004
根室	ねむろ水産物普及推進協議会 (愛称:まるごと根室)／ 浜の母ちゃん直伝!根室おさかな漬物教室開催事業	魚食の普及	根室産水産物の魚食普及・消費拡大を図るため、根室市内4漁業協同組合女性部が講師となり、根室市内での漬物教室を実施。 (令和3年度 漬物メニュー) ますのはさみ漬け、秋鮭の飯寿司、こまいの切り漬け、いわしの飯寿司 ※参加者数内訳:受講者55名、関係者22名	77
根室	野付漁協女性部	食育普及と地元食材消費拡大のため、調理指導を行い子供たちが魚食への興味を持つきっかけを提供する。	【講師】野付漁協女性部役員 7名 【対象者】野付中学校 1年生 【場所】野付中学校家庭科室 【日時】令和3年11月2日(火) 【内容】地域食材(サケ、ホタテ)を使った調理実習	7
根室	別海町漁協青年部(野付漁協青年部、別海漁協青年部)／別海町漁協青年部出前授業	サケ定置網漁業への取組、ロープワーク等の実演を通じて、漁業への理解を深めるとともに、魚食普及活動の一環として体験授業を実施。	【講師】野付漁協青年部 14名、別海漁協青年部 13名 【対象者、実施日】 ①中西別小学校5学年 4名 令和3年9月24日 ②上西春別小学校5学年 20名 令和3年10月5日 ③野付小学校6学年 21名 令和3年10月19日 ④別海中央小学校4学年 62名 令和3年10月26日 ⑤中春別小学校5学年 15名 令和3年10月28日 【場所】各小学校教室及び家庭科室 【内容】定置網の仕組みの説明、ロープワーク及びサケの裁割作業実習	27
根室	羅臼町 羅臼漁協 組合 女性部	地元の新鮮な魚介類を使用した料理教室を通じ魚食への関心を深め、地産地消へ繋がる事を目的とする。	<羅臼高校料理教室(水産教室のカリキュラムとして)> 日時 令和3年11月17日(火)10時45分～12時35分 場所 羅臼高校 家庭科調理室 参加 生徒25名 教員1名(女性部員7名) 内容 4品調理 鮭としめじのクリームパスタ、スケソのザンギ、すり身のハンバーグ、つみれのすまし汁 <羅臼小学校料理教室> 日時 令和3年10月26日(火)10時25分～12時00分 場所 羅臼小学校 家庭科調理室 参加 生徒16名 教員2名(女性部員7名) 内容 5品調理 つぶカレー、スケソのザンギ、ドスイカのサラダ、つみれのすまし汁、フルーツポンチ	76

(2) 農林水産業団体以外の取組

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	砂川市/砂川市さくら保育園	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	6月頃より年中・年長児が園庭内の畑で土おこしと土づくりをし、きゅうり・トマトの苗を植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	32
空知	砂川市/砂川市ひまわり保育園	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	年中・年長児が園庭内の畑で土おこしと土づくりをし、きゅうり・トマトの苗を植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	39
空知	砂川市/空知太保育所	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	6月頃より年中・年長児が園庭内の畑で土おこしと土づくりをし、きゅうり・枝豆の苗を植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	30
空知	深川市へるし一会親睦会(自主活動グループ)	会員自らの生活習慣病の排除に留意し会員相互の親睦を図り、明るく楽しい長寿の会として発展させることを目的とし活動	○活動の中で、市栄養士に講師依頼のあった調理実習「栄養に関する講話、調理実習」令和3年12月2日 デ・アイ 参加者17名	17
空知	栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会 農業体験受入れ	農家での農作業体験を通じて、食と農の理解を深め、都市農村交流を図る。	□時期: 通年 □場所: 町内 □対象: 道内の高校生 □概要: 農家での農作業体験 道内高校生 宿泊 12人	12
石狩	札幌市中央卸売市場水産協議会/生鮮食料品販売促進事業	食育を推進するとともに、小売店の活性化及び卸売市場の健全な発展に資することを目的とする。	小売店等地区講習会 学校等に生魚を持って訪問し、子供に触れさせ、さばき方や簡便な調理方法の講習会を行う。9月末から計25回実施。	1426
石狩	札幌市中央卸売市場青果部運営協議会/消費拡大対策事業	野菜・果物に対する消費者の理解を深め、消費の拡大と小売店の健全な発展を図ることを目的とする。	出前食育料理教室 小学校5,6年生を対象に、食育と市場の役割などの授業と調理実習を実施。小学校2校で4回(10月)実施。	118
石狩	上記2団体合同	上記のとおり	・食育セミナー 札幌市内の消費者を対象に、子育て・働き盛り世代の食生活改善、食育を重視するセミナーを2回(7月・10月)実施。	89
石狩	江別市食育推進協議会 小学生食育事業 小麦追跡学習	江別市は「麦の里えべつ」として全国でも知られるように、小麦は江別を代表する農産物となっている。この学習を通し、地元産業・農業への興味関心を高める。	①小麦に関する事前学習(見学前:学校) ②小麦畑見学、製粉・製麺出前授業(7月中旬:生産地) ③調理体験(10~11月)	144
後志	共和町役場/ 秋祭り	子供たちに地元で製造しているお菓子を知らせ、自分の住む町への愛着、食べることの楽しさや感謝の気持ちを持つきっかけをつくる。	概要: 子供達の前で製造し、全員へ配付。 場所: 中央/はまなす幼児センター 時期: 10月下旬(本間製菓/あんドーナツ)	154
胆振	保育園・認定こども園	歯の健康の推進	・児童のむし歯を予防し、歯・口腔の健康の保持増進を図るため、フッ化物洗口を実施。 対象: 町内保育園、認定こども園の4・5歳児※保護者希望による	
胆振	社会法人白老町社会福祉協議会	生活習慣病の発症・重症化の予防	・一人暮らしの高齢者等への配食サービス 実利用人数R4.3末現在 41名(登録者数 45名)	41

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
上川	中川町老人クラブ連合会	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響(活動量低下や食欲低下)による高齢者のフレイルリスクを減少させるため、必要な食生活について知ってもらう機会とする。	対象:中川町老人クラブ連合会会員(75歳以上) 時期:令和3年11月24日(水) 場所:中川町生涯学習センターちやいむ アリーナ 内容:「自宅のできるフレイル予防」 担当:管理栄養士	57
十勝	士幌町教育委員/大地くんと学ぼう	士幌町における特色ある学習活動実施するため	時期 ●中士幌小学校 3・4年生:11月2日、1・2年生:11月5日、5・6年生:12月15日 ●上居辺小学校 3・4年生:2月9日、1・2年生:2月10日、5・6年生:2月16日 場所:しほろキッチン 内容:ピザ作り 備考:コロナ対策のため、人数の少ない中士幌・上居辺小のみ実施	60
十勝	いただきますカンパニー/出前食育講座	ワークショップを通じて安全安心な農産物の生産に向けた生産者の取り組みを伝えることで、食の安全安心に対する理解を促進する。	対象:小学校児童 時期:令和3年10月~令和4年2月 場所:全道の小学校 内容:お砂糖の食育授業	1418
十勝	いただきますカンパニー/出前食育講座	ワークショップを通じて安全安心な農産物の生産に向けた生産者の取り組みを伝えることで、食の安全安心に対する理解を促進する。	対象:小学校児童 時期:令和4年1月~3月 場所:十勝管内の小学校 内容:小麦の食育授業	186
十勝	いただきますカンパニー/オンライン出前食育講座	ワークショップを通じて安全安心な農産物の生産に向けた生産者の取り組みを伝えることで、食の安全安心に対する理解を促進する。	対象:小学校児童 時期:令和3年7月~令和4年3月 場所:全国の小学校(海外も) 内容:オンラインでの食育授業(主に酪農)	862
釧路	地産地消くしろネットワーク(釧路管内の生産者・流通業者・支援団体等で構成)	地元への愛着心を高めることに努めながら、「質のよい商品やサービスを地元で育て地元で消費」する地産地消の取組を継続し域内循環を進める。	対象:釧路市内小学3~6年生と保護者 時期:2021年7月29日(木) 場所:釧路市生涯学習センター(まなぼと幣舞) 内容:地産地消親子体験イベント 木工体験と地場産品を使用した簡単料理をA・Bグループに分けて体験(11組21名参加)	21
釧路	地産地消くしろネットワーク(釧路管内の生産者・流通業者・支援団体等で構成)	地元への愛着心を高めることに努めながら、「質のよい商品やサービスを地元で育て地元で消費」する地産地消の取組を継続し域内循環を進める。	対象:釧路市内小学生 時期:2021年7月~12月 場所:釧路市内小学校 内容:出前授業 くしろの産業と地場産品への関心や理解を深めてもらうため、児童を対象に地場産品の生産や活用をしている方、地元を支えている企業の方を講師に招いた出前授業(26件、1,331名)	1331
釧路	地産地消くしろネットワーク(釧路管内の生産者・流通業者・支援団体等で構成)	地元への愛着心を高めることに努めながら、「質のよい商品やサービスを地元で育て地元で消費」する地産地消の取組を継続し域内循環を進める。	対象:釧路市民 時期:2021年5月11日(火) 場所:釧路市生涯学習センター(まなぼと幣舞) 内容:出前講座 くしろの産業と地場産品への関心や理解を深めてもらうため、市民を対象に事務局が講師となり行う講座(1件、32名)	32
釧路	釧路市消費者協会(釧路市共催) 「食品ロス削減」に関するパネル展	食品ロスの問題や食品ロスを減らすために家庭でできる取組などを紹介する。	10月の「食品ロス削減推進月間」と10月30日の「食品ロス削減の日」にちなみ、「食品ロス削減」に関するパネル展を開催 期間:令和3年10月1日(金)~16日(土) 会場:イオン釧路昭和店	
釧路	釧路市消費者協会 フードドライブ	家庭で余っている食品を寄付してもらい生活困窮者等に提供する。	事務局窓口で家庭における余剰食品を受入れ(常設)、生活相談支援センターや児童養護施設に提供	
釧路	釧路町/さくら保育園子育て支援センター「赤ちゃん教室」	乳児期に健やかな生活習慣、利用できる社会資源等を知り、また、地域の保護者同士のつながりを持つことで、子育て期の孤立化を防ぐ。	日付:令和3年10月8日(金) 場所:釧路町保健福祉センターあいぱーる栄養・調理研修室、会議室 タイトル:「見て、聞いてわかる!離乳食のすすめ方」 講師:町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士 参加者:乳児の保護者 3名(保育士による託児あり) 内容:離乳食づくりのコツやベビーフードの活用方法などをデモンストレーション方式で伝える(食材に触るが、試食なし)。 ※栄養士以外にも、別日程で助産師、保健師、保育士が講師となる教室	3
釧路	釧路町/さくら保育園子育て支援センター「子育て講座」	乳幼児期の適切なおやつとの与え方を知ること。	日付:令和3年12月17日(金) 場所:さくら保育園子育て支援センター タイトル:「こどものおやつ役割」 講師:町パートタイム会計年度任用職員管理栄養士 参加者:乳幼児の保護者4名(託児あり) 内容:市販のおやつ利用のしかた・含まれる糖分について おやつ組み合わせ・補食について 母の食事バランスについて 個別相談	4
釧路	標茶消費者協会	出前講座を通じ、健全な食生活に関する啓発や健康づくりに関与することを目的に実施する。	味噌づくり第1回出前講座(令和4年3月18、19日) " 第2回出前講座(令和4年3月21、22日) ・一般町民を対象に、安全な食生活の大切さを学びながら自家製味噌づくりの出前講座を行った。	7

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
空知	芦別市食生活改善協議会 よい食生活普及のためのレシピ配布(地区組織活動)	市民にライフステージにあったパンフレットやレシピを配付し、よい食生活を普及する	対象:親子、若者、成人、高齢者 時期:令和3年11月~12月の冬期 内容:サバ缶レシピの配布、魚食の普及	89
空知	食生活改善協議会 「男の料理教室」	料理を経験した事のない男性を中心に「簡単な料理を経験してみよう」をテーマに減塩しながらバランスのよい献立を体験学習を通じて学んでもらう	・実施日:10月8日(金) ・砂川市ふれあいセンター ・対象:成人男性 ・実施献立:豚キムチ、切干大根の甘酢あえ	3
空知	新十津川町食生活改善推進員協議会 親子クッキング教室	食に関する興味、関心を持ち、自分の健康を守ることができるようになる。	【時期】年1回(11月27日) 【対象者】小学生とその保護者 【内容】調理実習とミニ講話 【テーマ】楽しく調理しよう! 【メニュー】焼きカレーパン、カニカマサラダ、牛乳みそスープ、あずきミルクゼリー	22
空知	新十津川町食生活改善推進員協議会 食育シアター	保育園児が食や体のしくみに関する興味を持つことができるようになる。	【時期】年2回(10月19日・11月18日) 【場所】保育園 【対象者】保育園児 【内容】食生活改善推進員が「新十津川町のしんちゃん人形」とタペストリーを用いて、園児にもわかりやすいシナリオで演劇をしながら、食と健康に関する正しい知識の普及啓発活動を実施。 【テーマ】「好き嫌いのない よく噛んで食べよう」「うちのお話」	100
空知	新十津川町食生活改善推進員協議会 食育の日PR・減塩対策	食育に関心をもち、食育の日や減塩に関する知識の普及啓発を行う。	【時期】6月11日 【場所】町内スーパー2店舗 【対象者】買い物客 【内容】食育の日のぼりの掲示と、減塩食品コーナーを設置して、減塩レシピや減塩POPの作成と掲示。食育アンケートの実施	
空知	新十津川町食生活改善推進員協議会 中学校食育教室	成長期に必要な栄養を理解し、食育に関心をもってもらえる。	【時期】11月30日 【場所】中学校 【対象者】中学1年生 【内容】「朝食について」「食事のマナーについて」他	53
空知	農天氣の会	①子供たちに農業の良さを知ってもらおう。 ②子供たちに食べ物の作られる過程を知ってもらおう。 ③食べ物を大切にすることで、生き物へのやさしい心を養ってもらいたい。	対象:沼田小学校4年生 時期:①6/14(月)、②6/16(水)、③8/24(月)、④9/14(月) 場所:沼田町農業者ほ場②・③・④、沼田小学校①・④ 内容:全4回に分かれ開催。①事前学習、②定植体験、③皿敷き体験、メロン皿回収作業、④収穫、シャーベットづくり。	12
空知	沼田町食生活改善協議会 低栄養予防講習会	要介護状態の予防とその発症を遅らせるため、栄養に関するセルフケア能力向上のための知識を得ることが出来る。	【実施日】 令和3年10月22日(金) 【場 所】 健康福祉総合センター「ふれあい」すこやかホール 【対象者】 65歳以上の町民(介護予防事業参加者) 【内 容】 まろやか炊き込みご飯、かぼちゃとピーマンのカレー炒め	16
空知	沼田町食生活改善協議会 親子食育教室	幼児期及び学童期に親子で正しい食習慣を身につけることによって、健康増進を図る。	【実施日】 令和3年12月18日(土) 【場 所】 健康福祉総合センター「ふれあい」調理室 【対象者】 町内在住の幼児・小学生とその保護者 【内 容】 ピザ、クレープ	22
空知	沼田町食生活改善協議会 男性の料理教室	料理経験の少ない男性が調理をしなければならない状況になった時に慌てることがないように、また将来的な介護予防のためにも“食”を通じた自立支援を促す。	【実施日】 令和3年7月29日(木) 【場 所】 健康福祉総合センター「ふれあい」調理室 【対象者】 町内在住及び町内勤務の男性 【内 容】 ビビンバ丼、春巻きの皮のりんごパイ	7
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(手稲区)/食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行	開催日:9月6日~8日	120
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(北区)/食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行	開催日:11月16日~17日	280
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(南区)/食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行	開催日:11月26日	70

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(厚別区)/食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行	開催日:12月1日	56
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(白石区)/食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行	開催日:3月1日~2日	50
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会/食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行	開催日:令和4年3月15日 場所:札幌駅前通地下歩行空間北1条イベントスペース(東)	400
石狩	江別市食生活改善協議会ふれあいレストラン	高齢者と推進員が集う場を設けることで、介護予防的役割を担う	70歳以上の高齢者を対象に、レクリエーションや低栄養予防、減塩などの健康講話を実施。 時期:10月	11
石狩	千歳市立富丘中学校/弁当の日	生徒に、食べ物の大切さ、感謝の心を伝える。	【日時】令和3年11月21日(月) 【内容】生徒自身が考案し、調理した弁当を持ち寄る。(PTA役員などがプロジェクトチームを結成し、イベントを開催する。)生徒に食について考えてもらう機会になっている。	507
石狩	千歳市食生活改善協議会/食生活フェア	市民に身近なスーパーを会場に、食と健康、食生活改善に関する情報提供を行うことにより、適切な食生活の実践に繋げる機会とする	【実施日時】令和3年10月23日(土)10時~15時 【実施場所】ちとせモール1階センター広場 【対象者】スーパーを利用する市民 【実施内容】1.野菜1日摂取目標量350gの計量体験、野菜料理レシピの配布 2.カルシウム摂取量チェック、カルシウムの効果に関するパンフレットの配布、乳製品を活用したレシピの配布 3.豆運びゲーム 【参加者の感想・意見】 ・自分の1日の野菜量が足りていないことに気付いてよかったです。 ・何気ない食生活でしたが、改めて考えることができました。	140
石狩	千歳市食生活改善協議会/こどもの食育教室	子どもの頃から栄養バランスのとれた食事をとることの大切さや、調理実習を通して料理を作る楽しさを学び、食に対して関心を持つとともに、食の知識を身につける機会とする	【実施日時】①令和3年10月2日(土)10時~13時 ②令和4年1月7日(金)10時~13時 【実施場所】千歳市北ガス文化ホール 調理教室 【対象者】市内の小学生 【参加者内訳】①11人②12人 【実施内容】食育についての学習と調理実習 【調理実習メニュー】肉巻きチーズおにぎり、ガリバタ鮭ポテト、大根と卵のとりみスープ、フルーツサイダーゼリー 【参加者の感想・意見】 ・免疫力の上がる食べ物や栄養の量のことについてわかった。 ・みんなで料理したり色んなものを切ったり、作ることが楽しかった。作り方も学べた。 ・自分たちで作った料理はおいしかったです。	23
石狩	千歳市食生活改善協議会/減塩料理教室	高血圧を予防する食事の知識について普及啓発を行い、参加者へ減塩の必要性について理解を図り、食生活改善の実践につなげてもらう機会とする	【実施日時】令和3年11月18日(木)10時~13時 【実施場所】千歳市北ガス文化ホール 調理教室 【対象者】市民 【実施内容】高血圧予防についての講話と調理実習 【調理実習メニュー】雑穀ご飯、牛肉と焼きネギのとりみ煮、白菜のコールスロー風、根菜ときのこの具だくさん味噌汁、フルーツサイダーゼリー 【参加者の感想・意見】 ・普段テキストに料理しているので、しっかり計量したりと、良い経験となった。 ・家でだしはほとんど使用していないため、勉強になった。	15
石狩	当別町食生活改善推進協議会/小学生への食育授業	健康的な食生活の普及・啓発	対象:当別町内の小学生 時期:令和3年12月~令和4年1月 場所:当別小学校、西当別小学校 内容:市販のおやつに含まれている糖分を示した掲示物 ※当別町福祉部保健福祉課、当別町立当別小学校栄養教諭と協議しながら作成	494
石狩	当別町食生活改善推進協議会/高齢者への食育事業	健康的な食生活の普及・啓発	対象:集いの場に参加している高齢者(友遊会・かすみ草の集い参加者) 時期:①令和3年11月16日②令和3年11月22日 場所:①西当別コミュニティーセンター②当別町総合保健福祉センターゆとろ 内容:食育エブロンを用いてバランスの良い食事について伝える	34
石狩	新篠津村食生活改善協議会/夏休みこどもクッキング	○こどもの頃から食と栄養に興味を持ってもらい、正しい食生活及び料理をすることの楽しさを知るきっかけを作る。	○時期:令和3年8月 ○場所:新篠津村立新篠津小学校 ○対象:小学5年生 ○概要:おやつレシピセット♪プレゼント(レシピ2種類、ホットケーキミックス粉)	16
石狩	新篠津村食生活改善協議会/おやこの食育教室	○おやこで食事をする事により、食事に興味を持ってもらい、バランスの良い食べ方、食事のマナーなど、適切な食習慣を身につけるきっかけとなる場所を提供	○時期:令和3年11月 ○場所:新篠津村立新篠津小学校 ○対象:小学6年生 ○概要:おやこの食育教室教材プレゼント(レシピ、パンダナ)	21
石狩	新篠津村食生活改善協議会/キッズ☆キッチン	○食育目標「食べる力」(5つ)のうち、「食事を味わって食べる」「一緒に食べたい人がいる」「食事づくりや準備に関わる」ことの大切さを学	○時期:令和3年9月 ○場所:新篠津村保健センター ○対象:保育所年長児 ○概要:おやつレシピセット♪プレゼント(レシピ2種類、ホットケーキミックス粉)	22

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
石狩	新篠津村食生活改善協議会/ ○野菜350g普及事業	○健康的な食生活の普及	○時期:令和4年2月 ○概要:新聞折込にて「野菜350g」についての記事、野菜のレシピを掲載	
胆振	厚真町食生活改善推進協議会 厚真町文化祭	学習活動で得た知識を町民へ伝達する。	時期:令和3年11月3日 内容:テーマ「厚真町の食材を食べて元気に!」 ポスター掲示、食材とレシピ配布 場所:厚真町総合福祉センター 対象:全町民	
胆振	厚真町食生活改善推進協議会 子ども料理教室	発育期における食習慣は将来に大きく影響することから、子ども自身に厚真町の食生活の現状を知らせるとともに正しい知識を身につけさせることにより健康増進及び生活習慣病の一役を担	時期:令和3年11月18日 内容:推進員講話、間食の提供 対象:放課後児童クラブに通う児童(厚真・上厚真)	100
胆振	厚真町食生活改善推進協議会 食改協だより	学習活動で得た知識を全町民へ普及する。	時期:令和3年12月・令和4年3月(2回) 内容:レシピ等の掲載 対象:全町民	
胆振	厚真町食生活改善推進協議会 冬季栄養健康教室	町民の高齢化に伴い、特に罹患率の高い高血圧、脂質異常、糖尿病について正しい知識を普及し、生活習慣病の予防・改善に努める。	時期:令和4年1月から3月(5回) 内容:調理実習、栄養士・保健師講話 場所:厚真町総合ケアセンターゆくり、各自治会館 対象:全町民	47
日高	浦河町食生活改善推進協議会 「おやこ食育料理教室」	健康を考えたバランスよい食事を親子で楽しく学ぶ	対象:町内の小学生とその保護者 日時:令和4年11月14日 会場:浦河町保健センター 内容:ランチボックス(トマトソーススパゲッティ、鶏のからあげ、かぼちゃ リン、ミルク白玉)	18
檜山	江差町食生活改善推進協議会	シニア世代の食生活を豊かにする。	10月に実施。一品でバランスの良い献立を考える。調理実習でパエリアを作る。	16
檜山	上ノ国町食生活改善協議会/ 「戦国メシ」料理教室	郷土の食材(身欠きニンジン)を取り入れた献立を調理することにより、家庭においても活用できる能力を身につける。また、0.8%減塩味噌汁を作成、試食することにより減塩を普及する。	【実施日】令和3年12月9日 【対象者】ガイド協会の方 【講師】食生活改善協議会会員 【内容】調理実習 【メニュー】身欠きニンジンの炊き込みごはん、みそまる(減塩味噌汁)	10
檜山	上ノ国町食生活改善協議会/シニアカフェ	高齢者の低栄養予防と野菜摂取量増加を目的とする。	【実施日】令和4年1月18日 【対象者】中須田地区高齢者 【講師】食生活改善協議会会員 【内容】低栄養予防の栄養講話、野菜350gあてゲーム	11
上川	士別市食生活改善協議会	望ましい食生活の実践を普及するために必要な知識・技術を学び、地区に普及する。	・市内高校生への講話(早寝早起き朝ご飯、体格、買い物学習)、調理実習 ・市内イベントでの普及活動(350g野菜重量当てクイズ、活動紹介) ・簡単レシピの作成(蒸し鶏とコンソメスープ、厚揚げとニラのオイスターソース炒めなど) ・認知症予防教室講話担当(主食・主菜・副菜について、BMIの計算など)	170
留萌	苫前町食生活改善協議会/骨と筋肉のための料理教室(生涯骨太クッキング事業)	日本人の20~50代の世代で摂取不足が目立つカルシウムは不足するとロコモティブシンドローム、高血圧や動脈硬化などを招くため、カルシウム摂取に効率の良い製品の摂取の普及を図る	実施日:令和3年11月28日(日) 対象者:一般成人 開催場所:苫前町公民館 共催:苫前町教育委員会(社会教育課) 内容:栄養講話、運動講話・実技 実施方法:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調理実習を中止。栄養講話で紹介するモデル献立を食改で調理し、教室内で1口試食を行った。 モデル献立:玄米ご飯、カラフル野菜の塩昆布和え、スペイン風オムレツ 栄養講話:骨と骨を作る栄養素について、モデル献立に使用されている食材の栄養、レシピ紹介 講師:町管理栄養士、苫前町食生活改善協議会会長 運動講話:「正しく学ぶ!筋力トレーニング講座」 講師:学校法人三幸学園札幌スポーツ&メディカル専門学校専門課長 健康運動指導士 澤田友紀氏	11
留萌	苫前町食生活改善協議会/おやこ料理教室	子どもの体験学習を通して豊かな感性を培い、心と体のバランスのとれた人格形成に寄与する	実施日:令和3年10月31日(土) 対象者:町内の3歳~小学2年生とその保護者 開催場所:苫前町公民館 協力機関:苫前町教育委員会(社会教育課) 内容:調理実習、栄養講話 実施方法:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調理台1台につき1家庭、食改1名とし、小学生未満は午前、小学生は午後の実施とした。また、喫食せずお持ち帰りとした。 メニュー:変わりいなり2種、甘酒プリン(とまさえ風あまぎけ使用) 講話:身体を動かす遊びと食事 講師:町管理栄養士 参加者の感想:思っていたより調理ができていた、イベント料理を作っていた、講話でバランスの良い食事が身体を作るために大切だと改めて思った	18

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数(人)
留萌	苫前町食生活改善協議会/男性料理教室	男性の食事における自立支援、生活習慣病予防の生涯教育。	実施日:令和3年12月3日(金) 対象者:町内に住む男性 開催場所:苫前町公民館 内容:調理実習、栄養講話 実施方法:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調理台1台につき参加者1名、食改1名とした。また、喫食せずお持ち帰りとした。 メニュー:塩キャベツの豚肉巻き、切り干し大根の甘酢和え、三色おにぎり 講話:嗜好品を楽しもう! 講師:町管理栄養士 参加者の感想:料理の楽しさを感じた、食改の方が丁寧にアドバイスをしてくれ楽しんで料理ができた、飲み物の糖の量が思いのほか多いことが分かった	6
オホーツク	食生活サポーターヘルシースプーン会	健康や食事に関する正しい知識を習得し、自身の生活や食事に生かすとともに、地域への支援につなげる。	時期:通年 場所:保健福祉センターほか 内容: ・健康や食事に関する講習会:2回 ・町内の図書館2箇所に副菜のレシピを配布(毎月1回交換)	14
十勝	しんと子ども食堂「もぐもぐ」	食育、孤食の解消、子育て支援、地域交流	開催時期 令和3年9月~令和4年3月(令和4年1月から3月はコロナにより休止) 開催日 毎月第2、第4水曜日	140
十勝	幕別町食生活改善協議会/食改さんをつくるアイデア料理教室	減塩とバランスの良い健康食の普及と本協議会の活動PRを図る。	対象:20~50代の幕別町民(託児6名) 時期:10月22日、10月27日 場所:保健福祉センター、百年記念ホール 内容:ツナとなめたけの炊き込みご飯、中華風蒸し鶏、南瓜と野菜のカレースープ コロナ対策を行い、食生活改善協議会が主体となって企画・調理指導を実施した。託児を用意し、こどもも喜ぶ野菜たっぷりバランス食をテーマに実施した。家庭料理のコツなど伝えることができ、参加者からも、手軽なメニューなので家でも作ってみたい、薄味の目安も参考になったという声も多く好評であった。次年度も実施する。	10
十勝	帯広市食生活改善推進協議会/「まちなか」カフェ	野菜をたっぷり使用した、ヘルシーメニューを、レシピとともに提供することで、栄養バランスの取れた食事や食生活改善の普及を図る。	対象:高齢者いきいきふれあい館「まちなか」カフェ利用者 時期:令和3年11月17日(水)11:30~13:00 場所:高齢者いきいきふれあい館「まちなか」 メニュー:豆たっぷりドライカレー、野菜のはちみつマリネ、つるんとにんじんゼリー 内容:会員4人で調理・接客を実施し、21食を提供。事前周知により予約が入るなど好評で、熱量・たんぱく質・脂質・塩分量を記載したレシピを配ることで、減塩で野菜たっぷりでも満足できるボリュームと味付けであると喜ばれた。	21
十勝	帯広市/コミュニティ講座	市民が生涯にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう啓発していくもの。	時期:通年 ・6/10 無添加ふりかけ講座 23名 ・11/28 手作り福神漬け 10名 ・2/5 味噌づくり講習会 11名 ・12/7 12/8 あんこ作り講習会 計24名 ・2/8 みそ作り 6名 内容:市内各小学校区単位に設置されているボランティア団体「生涯学習推進委員会」が主体となって随時実施。料理教室・講話等を通じて食育を推進	74
十勝	本別町食生活改善推進協議会	親子で共に調理体験をすることで、食事の大切さを知り、親子でのコミュニケーションを充実させるため	対象:小学生と保護者 時期:令和4年1月13日 場所:本別町健康管理センター 内容:調理実習、食育クイズ	14
釧路	釧路市食生活改善協議会/家族介護教室での講師	低栄養予防に役立つ簡単な調理方法等を紹介し実践してもらうことにより、住民の低栄養予防に寄与する。	対象:家族介護教室参加者 日時:10月13日 場所:音別町福祉保健センター 内容:調理の実演と説明(さんまのかば焼き野菜和え、えだ豆ベジージュルトスープ、豆花風台湾スイーツ)	8
釧路	釧路市食生活改善協議会/シニアカフェ	住民がフレイル予防・認知症予防のための食事について理解し実践することにより、自然に健康になれる食環境づくりの推進に取り組む	対象:音別町パークゴルフ協会会員 日時:10月28日 場所:音別町パークゴルフ場 内容:低栄養予防・認知症予防のための食事に関する講話や演習	13
釧路	釧路市食生活改善協議会(音別町行政センター保健福祉課と共催)/親と子の料理教室	親と子が食について一緒に考え、調理実習を行う機会を設けることにより、「食」からの健康づくりとして栄養バランスのとれた食事や望ましい生活習慣の習得を目指し、生活習慣病の予防を	対象:音別小学校1~6年生と保護者 日時:12月18日、12月19日 場所:音別町福祉保健センター 内容: ・釧路市食生活改善協議会ヘルスメイトとの調理実習と試食(焼きそばナポリタン、白菜とベーコンのスープ、プリンアラモード) ・管理栄養士講話「野菜の動きについて」	10
釧路	釧路町食生活改善協議会 ・レシピ集の作成配布 ・栄養情報媒体パネル作成展示	・町民がコロナ禍においても家庭で健康に配慮した食事ができるよう、手軽な調理方法を周知する。 ・自身の健康状態と関連付けて日々の食事の振り返りとなるよう、加工食品に含まれる食塩相当量を周知す	・レシピ集作成時期/令和3年11月~令和4年1月 【設置配布開始】令和4年2月 【設置場所】支所、公民館、保健福祉センター、町内郵便局2か所 ・栄養情報媒体パネル作成時期/令和4年2月 【展示開始】令和4年3月 【展示場所】保健福祉センター	
釧路	厚岸町食生活改善協議会 食育授業	児童の健康な体と心を育てることを目的に食育の推進を図る	【時期】夏休み(8月12日)、冬休み(1月7日) 【場所】児童館 【対象者】小学生 【内容】食育講話(夏野菜について、塩分摂取量について等)、食品の塩分を見える化したパネルの	21

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数 (人)
釧路	厚岸町食生活改善協議会 食生活教室	食を通して地域に密着した健康づくりの推進活動の充実強化を図る	【時期】11月2日 【場所】尾幌酪農ふれあい館、門静地区 【対象者】地区婦人部 【内容】フレイル予防を中心とした講話、野菜の計量、減塩を基本にカルシウムがたくさんとれるレシピの紹介と配布。	10
釧路	標茶町食生活改善協議会	・児童の健康な食生活の推進・高齢者を対象に調理実習や健康講話を行う。	・親子食育教室 時期:令和4年1月14日場所:塘路公民館内容:小学生と保護者を対象に冬休みを利用して、調理実習を行った	8
釧路	待合室「みちくさ」運営委員会/こども食堂	こどもの居場所づくりおよび食への関心を高める。	町内の生産者や企業に食材の提供を働きかけ、第3土曜日に開催。年11回実施。/待合室「みちくさ」で実施。/こども171人、大人298人	469
釧路	白糠町食生活改善協議会	・親子で楽しく料理をする ・幼児期に必要な食事内容を知る	おやこ食育教室 日程:令和3年10月22日 場所:白糠町保健センター 参加者:子育て支援センターを利用している親子 内容:調理実習(豚とれんこんのしょうが焼き丼、ごぼう入り麻婆豆腐、かにかまとブロッコリーのサラダ)	5
根室	根室市食生活改善協議会/ 骨粗鬆症予防啓発	骨粗鬆症予防のため、カルシウムのとり方などの食事方法について啓発する。	内容:骨粗鬆症集団検診にて、受診者にカルシウムが豊富な料理のレシピを配布し、食事についての相談を行う。	46
根室	別海町消費者協会/牛乳・乳製品消費拡大事業	牛乳・乳製品の知識や料理法を講習会等の事業を通じて普及し、牛乳・乳製品の地産地消と消費拡大、併せて健全な食生活に関する啓発や健康づくりに寄与する。	実施日:令和3年11月9日、令和3年11月12日 場所:別海町農漁村加工体験施設 内容:パン作り	20
根室	別海町消費者協会/第16回牛乳パッケージイメージデザインコンクール	牛乳消費拡大の一環として、町内の小学生を対象に、牛乳パッケージのイメージデザイン募集を実施することにより、乳製品への興味・関心を高める。	募集:令和3年12月～令和4年1月 審査:令和4年1月28日	165